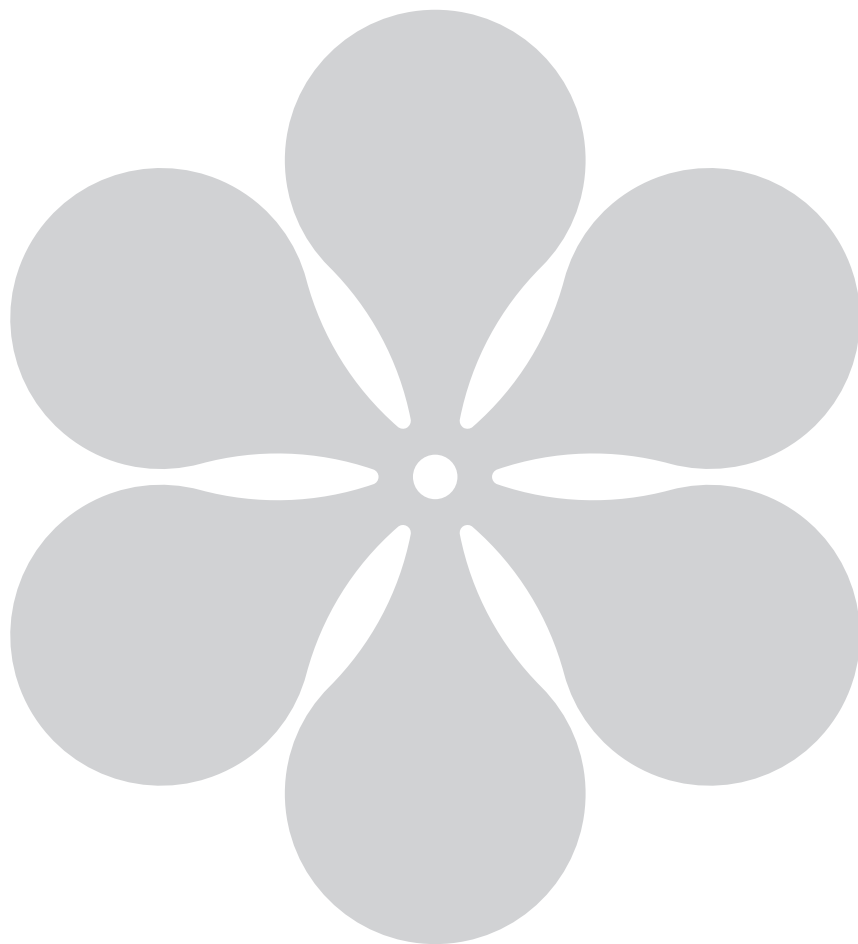

札幌市立大学年報

2020年度



札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY

目 次

I 概要

1	大学の概要	1
2	デザイン学部の概要	4
3	看護学部の概要	5
4	デザイン研究科の概要	6
5	看護学研究科の概要	7
6	助産学専攻科の概要	8
7	2020年度の特筆すべき事項	9
8	行事	10

II 教育活動

1	教育活動概要	11
2	共通教育・連携教育	12
3	デザイン学部	14
4	看護学部	32
5	デザイン研究科	46
6	看護学研究科	52
7	助産学専攻科	65
8	デザインと看護の連携教育	68

III 研究活動

1	個人研究費による研究一覧	70
2	学内公募研究課題一覧	73
3	学外からの研究費、研究補助金などの受入状況	74
4	寄附金の受入状況	76
5	その他研究助成	76

IV 社会活動

1	地域貢献諸活動	77
2	公開講座開催実績	87
3	国・自治体審議会等への就任状況	89
4	専門職支援・セミナー講師等	94
5	国際交流実績	101
6	サテライトキャンパスの利用状況	101

V キャリア支援活動

1	デザイン学部	102
2	看護学部(助産学専攻科含む)	107
3	デザイン研究科	110

VI 令和3年度入学者選抜結果

1	デザイン学部・看護学部	113
2	デザイン研究科・看護学研究科	120
3	助産学専攻科	125

Ⅶ 附属図書館

1 概要	126
2 利用状況	127

Ⅷ 法人・学内運営の概要

1 2020年度公立大学法人札幌市立大学 組織図	128
2 役員会及び審議会の審議状況	128
3 役員会及び審議会委員名簿	129
4 経営会議	130
5 部局長会議	130
6 企画室	131
7 広報室	131
8 教授会	131
9 地域連携研究センター	132
10 附属図書館	133
11 アドミッションセンター	133
12 教育支援プロジェクトセンター	133
13 学内委員会	134
14 構成員名簿	136
15 FD・SD活動	141

Ⅸ 資料

1 2020年度計画	144
2 2020年度決算報告書	154
3 教職員数	155
4 管理職一覧表	155
5 学生定員及び学生数	156
6 授業料等	157
7 奨学金貸与・授業料減免実施状況	157
8 学生の入選・受賞(デザイン学部)	159
9 学生の課外活動	160
10 後援会	161
11 教育・研究刊行物一覧	161
12 施設	162
13 大学へのアクセス	167
14 札幌市立大学 大学歌『みらいの手』	168

X 教員一覧

1 教員一覧	169
2 教員業績一覧	170



I 概要

1 大学の概要

1) 設置の経緯

環境問題や少子高齢化、高度情報化、国際化などの進展に伴い、社会構造がますます複雑化する中で、学術研究の高度化、学際化とともに、社会では高い資質と能力を持った職業人が強く求められている。

特に、札幌市においては、公共事業の削減が進む中、IT産業に代表される札幌の産業特性に対応したデザイン分野、積雪寒冷という札幌の気候風土に着目したデザイン分野など、地域社会に密着した産業の振興への取組が特に重要であり、こうした取組に対応できる幅広いデザイン能力を持った職業人が求められている。

また、今後も当分の間、看護職の不足が続くと予測されているにもかかわらず、看護職養成施設の廃止や定員の削減に伴う新卒看護職の減少が懸念されている。そうした中、在宅医療を支える訪問看護等の需要増加を始めとして、今後は、患者の生活の質向上を目指したケアを行うことができる、広範で高度な看護能力を有する看護職の確保が求められている。

一方、今日の高等教育機関には、その高度な教育研究機能を通じて、これまで以上に地域社会への貢献を果たすことが大きな社会的要請となっている。

1991年に開校した札幌市立高等専門学校は、中学卒業時から5年間の早期一貫教育を行うデザイン系高等教育機関として、実践的職業人を数多く輩出してきたほか、企業や行政からの受託研究などを通じて、産業の振興や市民生活の向上に貢献してきた。

また、1965年に開校した札幌市立高等看護学院は、高校卒業後の3年課程の専修学校として、市立札幌病院を始めとする札幌市内の医療機関に看護職を多数輩出し、市民の健康支援に貢献してきた。

このような状況の中で、先の地域課題への対応や社会的要請にこたえるために、札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院の大学化の必要性と方向性について幅広い論議を行うべく、2001年11月、「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会」を設置した。

大学化検討懇話会は、市民論議の中心的役割を担う立場から、インターネットを始め、さまざまな形で寄せられる市民の意見に耳を傾け、審議経過を逐次公開しながら検討を進め、2002年12月、約1年間にわたる市民論議の集大成として、「札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院が社会構造の変化に的確に対応し、かつ、地域社会の要請にこたえていくためには、4年制大学化によるレベルアップをできるだけ早期に図る必要がある。」とした「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に関する提言」をまとめた。

こうした市民論議の経過を踏まえて、札幌市では、2003年9月に「(仮称)札幌市立大学基本構想」を策定し、2006年春の開学を目指すこととした。

そして、この基本構想に盛り込まれた方向性を具体化するために、2003年11月に大学教育の専門家を中心とする「(仮称)札幌市立大学設置準備委員会」を設置して調査・審議を進め、学部・学科や教育課程、学生の受け入れ、校地・校舎のあり方といった事項について、準備委員会における検討内容を踏まえて、2004年7月に「(仮称)札幌市立大学基本計画」を策定し、2005年4月に札幌市立大学の設置認可申請を行った。同年12月に大学の設置が認可され、2006年4月に開学した。

また、デザインと看護の学部での教育を基盤として、より高度な専門的知識を有する高度専門職業人及び研究者・教育者の育成を目的として大学院修士課程を設置することとした。

大学院修士課程は大学院基本計画に基づき学部1期生の卒業時期に合わせた開設が計画され、2009年5月に札幌市立大学大学院設置認可申請書を文部科学省に提出、10月に大学院の設置が認可され、2010年4月に札幌市立大学大学院修士課程を開設した。

大学院修士課程の開設と併せて、より高度な能力を持った助産師の養成が必要とする社会的要請を受け、本学に助産学専攻科を設置して助産師を育成することとした。

その後、2011年5月に大学院デザイン研究科・看護学研究科の課程変更認可申請書(修士課程を博士課程に変更)を文部科学省に提出、同年10月に認可され、2012年4月に大学院デザイン研究



科・看護学研究科に博士後期課程を開設するとともに、両研究科の修士課程を博士前期課程に改称した。

2) 理念

札幌市立大学では、造形の基盤となる芸術的要素に機能の基盤となる工学的要素を融合させたデザイン学と看護学を教育研究の対象とする。

また、札幌市立大学では、次の二つの理念を掲げて、デザイン学及び看護学に関する教育研究に取り組むとともに、社会における有為な人材の育成に取り組む。

① 「人間重視を根幹とした人材の育成」

デザイン学と看護学は、いずれも人間を対象とした学問領域であることから、両者に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、一人の人間から社会全体までを対象に、安全で快適な暮らしを創造できる職業人を育成するとともに、知識・技術に加え、教養と人間性を涵養し、有為な人材を育成する。

② 「地域社会への積極的な貢献」

札幌市立大学が市民からの負託にこたえ、「市民に開かれた大学」、「市民の力になる大学」、「市民が誇れる大学」という三つの視点を掲げて、地域貢献という使命を果たし続けていくため、時代の要請に柔軟に対応しながら質の高い教育研究を追究する。

3) 特長

札幌市立大学では、教育研究上の理念のもと、「デザイン学部」及び「看護学部」の二つの学部を設けて教育研究を行うとともに、次の二つの特長を備え、開学後及び将来にわたっての大学の基本的な方向性としている。

① 「デザイン学部と看護学部の連携」

デザイン学部と看護学部を併せ持つという特長を生かし、両学部の教員が連携・共同して教育を行うとともに、保健・医療・福祉分野を対象とするデザインなどを共同研究し、両学部の連携を目指す。

② 「幅広いネットワーク」

行政施策や公的機関、市民、産業界などと連携することにより、幅広いネットワークを持った大学とし、地域課題等に対応した教育研究を積極的に展開することを目指す。

4) 目的

① 学術研究の高度化等に対応した職業人の育成

デザインと看護に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、デザイン分野においては、幅広いデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、看護分野においては、医療の高度化に対応する知識・技術に加え、問題解決能力を有し、他職種と連携できる職業人の育成を目指す。

② まちづくり全体により大きな価値を生み出す「知と創造の拠点」

デザイン学部の設置によって、産業や芸術・文化の振興、都市機能・都市景観の向上などへの貢献を果たすとともに、看護学部の設置によって、少子高齢社会における地域看護の充実、看護職への学習機会の提供などを通じた、市民の健康の保持増進への貢献を果たす。

また、札幌市の行政施策との緊密な連携によって、地域課題の解決に積極的に取り組み、その成果を広く市民に還元して地域貢献を実現する。



沿革

1965年4月	札幌市立高等看護学院 開校
1991年4月	札幌市立高等専門学校 開校
1996年4月	札幌市立高等専門学校専攻科 開設 札幌市立高等専門学校附属研究所 開設
2001年11月	「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会」設置
2002年12月	同懇話会による「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に関する提言」
2003年9月	「（仮称）札幌市立大学基本構想」策定
2003年11月	「（仮称）札幌市立大学設置準備委員会」設置
2004年7月	「（仮称）札幌市立大学基本計画」策定
2005年12月	大学設置認可
2006年3月	公立大学法人札幌市立大学 設立認可
2006年4月	札幌市立大学 開学
2006年10月	サテライトキャンパス 開設
2007年4月	地域連携研究センター 開設 アドミッションセンター 開設
2008年3月	札幌市立高等看護学院 閉校
2008年4月	キャリア支援センター 開設
2008年8月	認定看護管理者制度サードレベル教育課程 開講
2009年3月	札幌市立高等専門学校本科 閉科
2009年10月	大学院（修士課程）設置認可
2009年12月	助産学専攻科の助産師学校指定通知
2010年4月	大学院（修士課程）デザイン研究科・看護学研究科・助産学専攻科 開設
2011年3月	札幌市立高等専門学校専攻科 閉校
2011年10月	大学院（博士課程）変更認可
2012年4月	大学院（博士後期課程）開設 大学院（博士前期課程）に改称



2 デザイン学部の概要

1) 特色

デザイン学部では、大学の特色を踏まえ、幅広い職業人の育成を行うことを基盤とし、デザインという特定の専門分野の教育研究を通じて、社会に貢献することを特色としている。具体的には、優秀で創造的な人材を社会に輩出するほか、企業との共同研究や受託研究といった産学連携、個人の創造性・スキルに基盤を置き、知的資産によって価値を生み出す創造的な産業の振興などを通じて社会に貢献するものである。

また、2005年1月中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」にある七つの機能のうち、「幅広い職業人養成」を主軸とするほか、デザインという「特定の専門的分野の教育・研究」及び「社会貢献機能」に比重を置いて教育研究に取り組むことを特色としている。

2) 教育目的

デザイン学部では、次のような人材の育成を目的とする。

① 幅広いデザイン能力を持った人材の育成

デザインの基礎的な理論や技術について幅広く教育を行い、高度な職業人に必要なデザイン能力を持った人材を育成する。

② 人間中心の視点に立ったデザインに取り組める人材の育成

造形の基盤となる芸術的要素に機能の基盤となる工学的要素を融合させ、人にやさしいデザインや使いやすいデザインなど、人間中心の視点に立ったデザインに取り組むことのできる人材を育成する。

③ 地域社会に貢献できる人材の育成

時代や社会の要請を的確に捉えた教育研究に取り組むとともに、地域産業や芸術・文化の振興をはじめ、都市機能や都市景観の向上など、まちづくり全体に幅広く貢献する人材を育成する。

3) 育成する人材像

札幌市においては、IT産業に代表される札幌の産業特性に対応したデザイン分野や、積雪寒冷という札幌の気候風土に着目したデザイン分野など、地域社会に密着した産業の振興への取組が特に重要視されており、こうした取組に対応できる幅広いデザイン能力を持った職業人が求められている。

デザイン学部では、そうした社会の人材需要にこたえるとともに、教育目的を達成するため、次の能力を備えた人材を育成する。

① 多様なコミュニケーション能力

的確に意思疎通を図り、豊かな人間関係を形成することができる能力のほか、海外とのコミュニケーションに必要な実用的な英語能力、高度情報化社会に不可欠な情報処理能力を養う。

② 課題探求能力と問題解決能力

社会の課題やニーズを自ら探求する能力と、その問題をデザインによって解決することのできる能力を養う。

③ デザインの基礎となる表現力

豊かな感性を涵養するとともに、創造的な発想と豊かな表現力を養う。

④ 人間や環境に配慮したデザイン思考能力

人間にとって使いやすいデザインや環境への負荷に配慮したデザインを行う能力を養う。

⑤ 新たな価値を発見する柔軟な発想力

固定観念にとらわれず、さまざまな視点からデザインに取り組むことのできる柔軟な発想力を養う。

⑥ 企画力や管理・運営能力

デザインを実践的に活用することのできる企画力や管理・運営能力を養う。



3 看護学部の概要

1) 特色

看護学部では、幅広い職業人を育成することを基盤として、看護学という特定の専門的分野の教育研究を通じて、社会貢献を果たしていくことを特色としている。具体的には、確実な看護実践力を持ち、高い資質を有する看護職を輩出するとともに、保健・医療・福祉行政や関係機関などと連携し、地域看護の充実や市民の健康の保持増進につながる研究を通して社会に貢献するものである。

したがって、看護学部では、2005年1月中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」にある7つの機能のうち、「幅広い職業人養成」を主軸とするほか、看護という「特定の専門的分野の教育・研究」及び「社会貢献機能」に比重を置いて教育研究に取り組むことを特色としている。

2) 教育目的

看護学部では、看護職として活躍する次のような人材の育成を目的とする。

① 的確な実践力を有する人材の育成

看護は、看護の理論や知識を基盤とした看護実践を通して研鑽を重ねつつ、専門性を深める学問である。

高度・専門化する医療、多様化する看護ニーズに対応するためには、緻密な観察に基づく的確な判断能力と技術力、さらにこれらを基盤とした問題解決能力が求められる。また、人々がより高い水準の健康を維持・獲得するためには、科学的根拠に基づいた専門的知識・技術を用いて、自律的にケアを推進する実践的な援助能力が求められる。

このため、あらゆる健康レベルや場において、人々が快適で安全に安心して生活できるよう、理論・知識・根拠に基づき的確に看護を実践できる技術と能力を有する看護職を育成する。

② 人間性を尊重した対人関係形成能力を備えた人材の育成

看護の援助過程は、看護職と看護を必要とする人との人間関係形成により進行するものである。看護職は、人間の尊厳を重視し、安心感を与える態度・態様が求められるとともに、看護行為を実施する上では、すべての人に対する人権の擁護と倫理的判断ができるように常に志向することが肝要である。

また、医療施設における看護はもとより、福祉施設や在宅における看護、地域における看護など、看護職に求められる能力、期待される役割が増大しているとともに、高度化する医療は、さまざまな職種の医療従事者を必要としており、看護職や他の従事者と連携・協働し、対象である人間を中心とする視点に立った医療・看護を提供することが重要である。

このため、対象あるいは医療従事者間との意思疎通を図り、対人関係の形成のために、身体的側面だけではなく、心理的、社会的側面から人間を理解し、幅広い教養を基盤とした豊かな人間性と倫理観を備えた看護職を育成する。

③ 地域社会に貢献できる人材の育成

市民の健康に対するニーズの増大や価値観の多様化などに伴い、看護職に対する需要は増大、複雑化してきており、本学では、このような地域の看護需要に対応することが必須になる。

このため、保健・医療・福祉などの学びに加えて、幅広い分野・職種と連携し、創造的、主体的に学習することで、積極的に地域社会における市民の健康の保持増進に貢献できる人材を育成する。また、看護職に対する需要は、それぞれの地域ごとに異なっており、札幌市はもとより、北海道内あるいは全国的な視点から、看護の発展に寄与できる看護職を育成する。

3) 育成する人材

札幌市には、多くの高度・専門的医療機関が立地し、北海道における高度・先進的医療技術の中核的役割を担っている。少子高齢化が急速に進行し、さらに、独居老人世帯数、高齢夫婦世帯数も増加しており、このような社会情勢に的確に対応した看護職が求められている。

このため、看護学部では、医療機関における高度・専門的医療を担う看護職を育成することはもとより、在宅の高齢者等に対する看護、保健指導など地域の看護需要に対応できる看護職を育成す



ることとし、こうした社会の人材需要の充足と教育目的を達成するため、次の能力を備えた人材を育成する。

- ① 対人関係形成能力
豊かな人間性と倫理的判断力を備え、安心感を与える的確な意思疎通により対人関係を形成できる能力を養う。
- ② 権利擁護・安全なケア提供能力
さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階、さまざまな場において、対象の権利を擁護し、安全なケアを提供できる能力を養う。
- ③ 的確な判断能力と問題解決能力に基づく看護実践技術力
緻密な観察と科学的知識に基づく的確な判断能力と問題解決能力を培い、これらを基盤とした看護実践技術力を養う。
- ④ 医療従事者間における調整・指導のための基礎的能力
看護対象者の視点から保健・医療・福祉を追究し、各分野における看護の専門性と役割を認識の上、医療従事者間の調整や指導的役割を担うための基礎的な能力を養う。
- ⑤ 課題解決力を高めるための自己研鑽能力
主体的・創造的に課題探求に取り組み、解決する力を高めるために継続的に自己研鑽できる能力を養う。

4 デザイン研究科の概要

1) 特色

デザインの役割が拡張し、従来のように造形や視覚表現にとどまらず、社会や地域、産業等の複雑な問題をデザイン課題として受け止め、人間や環境に配慮したデザイン提案によりその解決策を実現できる、高度なデザイン能力を有する人材が必要となっている中で、デザイン研究科では、よりよい地域社会の実現に貢献できる高度専門職業人及び研究者・教育者を育成するため、以下の能力を修得することを特色とする。

また、2005年9月中央教育審議会答申「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」の四つの「大学院に求められる人材養成機能」のうち「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」及び「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」に比重を置いて教育・研究に取り組むことを特色とし、以下の能力の修得を目指している。

【博士前期課程】

- ① 複合的かつ複雑な課題・問題を解決する「課題解決能力」
- ② デザインを通じて新たな価値を見出す「創造力」
- ③ 課題・問題の発見、分析から具体的事業化までを一貫したデザインプロセスとしてまとめる「企画調整能力」
- ④ 一連のデザインプロセスを具体化する「実践能力」

【博士後期課程】

- ① 自身の専攻分野の専門的知識・技能を中心としつつ、関連近隣分野の基礎的素養をも修得し、幅広い見識から事象の本質を捉える「課題発見・分析・解決能力」
- ② デザインの視点を通じて自主的・自立的に研究や調査、分析等を実践できる「研究遂行能力」
- ③ 国内外の専門家や研究者とのコミュニケーションを図りながら、広く社会全体を俯瞰し、「リーダーシップ」を発揮できる確かな「調整力」及び「指導力」



2) 教育目的

【博士前期課程】

地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、産業、芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たす。

【博士後期課程】

自立した研究者として独創的な視点から社会課題を発見するとともに、深く研究に取り組み、デザイン分野における学術理論及び技能の高度化の追求を通じて、社会への貢献を果たす。

3) 育成する人材像

【博士前期課程】

学部における人材育成の発展・充実に図りつつ、「人間空間デザイン分野」、「人間情報デザイン分野」の2分野において、高度なデザイン能力を有する高度専門職業人及び研究者・教育者を育成します。

① 人間空間デザイン分野

高質な建築・都市空間や自然と共存する地域環境のデザイン、およびこれからの社会を提案するまちづくりや地域コミュニティデザインの能力を有する人材

② 人間情報デザイン分野

個々の人間に着目し、デザインを科学的に探求するとともに、ものづくりとコミュニケーションのデザイン能力を有する人材

【博士後期課程】

① デザインを通じた組織構築や質改善のためのシステム開発を実践し、組織において指導的立場となり得る高度専門職業人

② 自立して研究活動を行い、デザインの学問的体系を構築できる研究者・教育者

5 看護学研究科の概要

1) 特色

近年、看護分野は専門分化しており、これに対応する卓越した実践能力を有する看護職及び統合的な調整能力を有する看護管理者の育成が急務となっている。

また、これら卓越した臨床能力及び看護の専門性のさらなる向上には、看護の未来を見据えた洞察力・創造力を有し、学問的理念を基盤として研究を推進する自立した教育者・研究者の果たす役割が大きい。

看護学研究科は、このような社会の要請に応える人材を育成し、札幌を発信源に、21世紀の看護の一端を担い、これを保健・医療・福祉分野へ発信できる、看護のバランス感覚に優れた人材の育成を目指している。

なお、本研究科では、2005年9月5日中央教育審議会答申「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」の4つの「大学院に求められる人材養成機能」のうち「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」及び「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」に比重を置いて教育・研究に取り組むことを特色とし、以下の能力の修得を目指している。

【博士前期課程】

① 正確性・緻密性及び独創性を有する高度な臨床看護実践能力

② 高度な倫理観に基づき、専門看護分野において分析・判断・行動・評価ができる能力

③ 他職種と協働し、看護における将来展望に資する統合・調整ができる能力

④ 積雪寒冷地における健康づくり支援に取り組む能力

【博士後期課程】

① 看護に対する社会的課題を的確に認識し、将来を見据えた技術開発やシステムの検証・創出、組織での施策提言等を行う能力



- ② 豊かな人間性や広い視野に加え、高度な倫理観、専門知識や技能に裏打ちされる高い管理能力、指導能力
- ③ 高度な学識と臨床の両面から、看護学の基礎研究や応用研究に自立的に取り組み、実践科学としての看護学を追究する能力

2) 教育目的

【博士前期課程】

保健・医療・福祉分野における様々な課題に主体的に取り組む高度な看護実践能力を有する看護職及び総合的な調整能力を有する看護管理者の育成を目指し、市民の健康の保持増進への貢献を果たすことを目的としている。

【博士後期課程】

自立した研究者として、様々な看護現象に対して深く研究に取り組み、看護の枠組みの再構築やシステム開発や、技術開発などを行い、看護分野における学術理論及び技能の高度化の追究を通じて、社会への貢献を果たすことを目的としている。

3) 育成する人材像

【博士前期課程】

- ① 保健・医療の中核を担う高度臨床看護実践者（専門看護師を含む）
- ② 総合的に看護ケアをマネジメントする看護管理者
- ③ 地域や在宅において健康な生活と福祉の向上に率先して貢献する看護職
- ④ 看護の未来を創造・開拓する看護研究者・看護教育者
- ⑤ 看護技術の開発及び評価能力を備える人材
- ⑥ 幅広い視野のもとで新しい看護システムや制度の開発に資する人材

【博士後期課程】

- ① 他職種との協働・連携を円滑に行える人間性ととも交渉力や調整能力、さらにはイノベーション力等を推進できる高度専門職業人
- ② 健康問題や社会の動向をグローバルに捉え、高度な専門知識と豊かな臨床経験の両面から、エビデンスに基づく基礎研究や応用研究を自立的に推進して的確な分析・評価等を行い、地域や保健医療機関等が抱える課題解決に真摯に向き合う研究者
- ③ 大学等の高等教育機関において、次世代を担う看護職に高度な教育・研究の成果とその方法論、指導論等をより高い倫理観や職業観をもって教授できる教育能力を有する教育者

6 助産学専攻科の概要

1) 特色

助産学専攻科では、学士課程4年間に於いて培った自己研鑽力が発揮できる教育課程を特色としている。

その1つとして、選択科目を設定せず、学生個々に助産学に広く関連した課題を発見し、自ら学びを深める機会を創っている。加えて、この学びの更なる発展に向け文献研究を行う。

また、1年間の学修では、助産師に必要な基本的知識・技術を土台に、ハイリスク事例に対応できるような高度な知識・技術を熟練した助産師と専門医のもとで修得する。この学修では、看護師資格が大いに役立っている。

2) 教育目的

札幌市立大学の理念である「人間重視を根幹とした人材の育成」と「地域社会への積極的な貢献」を基盤に、各種助産技術能力の正確な修得を目指し、次のような教育を目的とする。

- ① 助産師に必要な基本的かつ高度な知識が修得できる。
- ② 助産師に必要な基本的かつ正確な助産技術が修得できる。
- ③ 助産師に必要な知識と技術を統合し、助産ケアが実践できる。



3) 育成する人材像

北海道、札幌市においては、需給見通しで助産師の不足が見込まれる一方、産科医師の減少などにより、助産師の需要がさらに増加する可能性がある。また、少子高齢化が急速に進行する中で、より一層安全で安心な分娩介助が求められるとともに、思春期や更年期への相談など、助産師が担う役割は広範化・高度化する傾向にある。

このため、助産学専攻科においては、次のような人材を育成する。

- ① 助産に関する高度な知識と正確な技術を幅広く有する助産師
- ② 地域社会における母子健康の向上に貢献できる助産師
- ③ 人間性豊かな助産師

7 2020年度の特筆すべき事項

1) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応（大学運営について）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大に伴い、特に2020年2月以降、大学運営に様々な影響が生じた。

2019年2月に設置した危機対策本部を随時開催して、コロナ禍における大学運営について協議を行った。

学生生活においては、多くの授業をオンラインで実施したほか、入学式及び卒業式や、オープンキャンパス、大学祭等のイベントをオンライン開催とした。

2) 新型コロナウイルスの感染症（COVID-19）への対応（学生への対応について）

感染症拡大防止のため、国や自治体による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置にもとづき、各学期において授業実施方針を定め、オンライン授業・オンデマンド授業・クラス分散の実施、履修登録や成績確認方法の遠隔化、登校禁止措置、課外活動の制限や施設利用制限を実施した。

また、感染症対応の基本方針を制定し、学生が罹患した場合やその疑いがある場合の対応を行った。これにあたっては、SCU119早期通知システムや濃厚接触者との接触状況報告システムなどを構築し運用した。

そのほか、各種発表会や卒業式・修了式のオンライン化、キャリア支援のオンライン化、大学祭のオンライン化、入試やオープンキャンパスにおける感染防止対策を行った。

学生への支援としては、パソコン等の機器貸し出し、仮設コンピュータ室の開設、文部科学省による「学びの継続のための学生支援緊急給付金」の募集、独立行政法人日本学生支援機構の「新型コロナウイルス感染症対策助成事業」による経済的支援などを実施した。



8 行事

行 事 名	月 日
入学式	4月2日
前期ガイダンス	4月17日
前期授業開始	5月11日
前期履修登録期間	6月29日～7月3日
健康診断（デザイン学部）	4月8日、10月6日
健康診断（看護学部）	4月6日、 11月28日、 12月23日、
第1回オープンキャンパス	6月20日
デザイン学部3年次編入学試験	7月18日
大学院デザイン研究科博士前期課程推薦選抜入学試験	7月18日
夏季休業（デザイン学部）	8月15日～9月1日
夏季休業（看護学部）	8月29日～9月9日
看護学部社会人特別選抜入学試験	9月12日
助産学専攻科入学試験	9月12日
第2回オープンキャンパス	9月19日
大学祭	9月20日・21日
後期ガイダンス（デザイン学部）	9月30日
後期ガイダンス（看護学部）	10月1日
大学院デザイン研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験	9月26日
大学院看護学研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験	9月28日
後期授業開始	10月1日
後期履修登録期間	10月1日～8日
デザイン学部総合型選抜入学試験	10月10日
デザイン学部学校推薦型選抜・特別選抜（社会人） 入学試験	11月21日
看護学部特別選抜入学試験（推薦入学）	11月21日
冬季休業	12月24日～1月3日
後期定期試験期間（デザイン学部）	1月6日～7日・ 2月9日～15日
後期定期試験期間（看護学部）	1月4日～5日・ 2月9日～16日
大学院看護学研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験（2次募集）	2月6日
大学院看護学研究科博士後期課程入学試験	2月6日
デザイン学部一般選抜入学試験（前期日程）	2月25日
看護学部一般選抜入学試験（前期日程）	2月25日
デザイン学部特別選抜入学試験（私費外国人留学生）	2月25日
春季休業	3月1日～31日
大学院デザイン研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験（2次募集）	3月6日
大学院デザイン研究科博士後期課程入学試験	3月6日
卒業式・修了式	3月19日



II 教育活動

1 教育活動概要

1) デザイン学部・看護学部

デザイン学部・看護学部共通の「共通教育科目」は、両学部に通ずる「人間重視」の考え方を基本に、両学部の学生が一緒に学習することにより、学部間の交流を深め、異なる分野を志す学生が互いの発想に触れ、広い視野を持つことができるよう体系化した。また、「共通教育科目」は、①大学における心構えや履修方法、あるいは基本的な学習の進め方や研究方法を学ぶ「導入科目」、②文化や人間、社会に対する理解を目的とする「教養科目」、③語学などのコミュニケーション・ツールの修得を目的とする「コミュニケーション科目」の3つの区分で構成した。

デザイン学部の「専門教育科目」は、デザインの基礎的な理論や技術から、より専門性の高い知識や技術、実践的・発展的な知識やデザインの方法までを体系的に理解できるよう、①「基本科目」、②「展開科目」、③「発展科目」の3つの科目群で構成した。また、学芸員の資格を取得するために必要となる科目を「自由科目」という区分で開講した。その他、専門教育科目を履修する上で必要となる技術や知識を補完する目的で特別講義を3件計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響をうけて全て中止となった。

看護学部の「専門教育科目」は、専門科目を学ぶ前提や基礎となる「専門基礎科目」と看護の専門的知識・技術を学ぶ「専門科目」で構成し、段階を踏んで学修できるよう体系化している。特に「専門科目」の各看護領域の授業カリキュラムは、まず「概論科目」により基本理念や考え方を理解した後、「演習科目」「実習科目」を学ぶことで、高度な実践的能力を修得できる構成としている。「実習科目」は、1年次から4年次まで開講し、各学年の講義・演習のレベルに応じた実習を行っている。また、2012年度（編入学生は2014年度）以降の入学生のうち、保健師国家試験受験資格の取得を希望する場合は、必要な単位を修得したうえで保健師コースを選択することとしている。保健師コースは3年次前期終了時に選択（編入学生を含む）することとしており、選択希望者が30名を上回る場合は、面接及び3年次前期までの成績等により総合的に判定し、選択者を決定している。

2) デザイン研究科

デザイン研究科博士前期課程の授業科目は、幅広い視野を身につけ、デザインと看護に共通する関連領域の基礎的素養を涵養するため、看護学研究科と合同で行う「研究科連携科目」とデザイン分野における高度専門職業人及び研究者・教育者に必要な専門知識・技術、研究方法を修得するための「専門教育科目」の2つに区分し、「専門教育科目」はさらに「基本科目」、「展開科目」、「実践科目」及び「修了研究」の4つの科目群で構成され、学生がデザインの高度かつ専門的な知識・技術を学ぶことができるよう体系化している。

デザイン研究科博士後期課程では、「基本科目」、「展開科目」、「研究指導科目」の3つの科目区分を設け、体系的なコースワークによる教育課程を編成し、研究指導を体系的・組織的に展開する教育・研究環境を整備している。それにより、専門分野に関する高度な専門知識及び能力を修得させるとともに、関連する分野の教育を行っている。

3) 看護学研究科

看護学研究科博士前期課程の授業科目は、課程制大学院の趣旨に従い、教育目標を達成するために体系化した構成としている。科目区分は、デザイン研究科と合同で授業を行う「研究科連携科目」と、看護学の各専攻分野に関する高度の専門的知識および能力を修得する「専門教育科目」に区分し、卓越した能力を発揮できる人材を育成する。また、専門看護師（CNS）教育課程の認定基準に沿った授業科目も配置し、広く保健・医療・福祉や看護学の発展に寄与することを目指している。



看護学研究科博士後期課程は、課程制大学院としてコースワークを意識し、コースワークがリサーチワークの基礎となるよう学修できる教育課程を構成している。「連携科目」、「専門科目」、「研究指導科目」の3つの科目区分に基づき体系的な授業展開を行い、看護学開発の基盤形成をねらいとする「看護学特講（1年次前期）」の学修を通じて、社会を広く俯瞰し看護学のさらなる進化、発展に取り組む提案力を形成する。各特講科目では、高度な創造性を涵養して主体的に課題発見や新たな提案を行い、「特別研究」で独創的な研究を取りまとめる。

4) 助産学専攻科

助産学専攻科では、助産に関する幅広く、高度な知識と正確な技術を有し、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目標として教育課程を編成している。また、助産師活動に不可欠な技術・能力を高い次元で身につけるため、学部教育と同様にOSCEを導入し、各種助産技術能力の修得度を適正に評価している。

2 共通教育・連携教育

1) 教育活動

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
スタートアップ演習	演習・60時間	1年次前期	◎町田佳世子 小林 重人 武田 亘明 張 浦華 松井 美穂 丸山 洋平 山田 信博 横溝 賢 大淵 一博 小宮加容子 定廣和香子 荒木 奈緒 菅原 美樹 藤井 瑞恵 大友 舞 鬼塚 美玲 齋 若菜 田仲 里江
哲学と倫理	講義・30時間	1年次前期	★中島 孝一
体のしくみ	講義・30時間	1年次前期	小宮加容子
人間関係を考える	講義・30時間	1年次前期	★野々原由佳子
自然科学を学ぶ	講義・30時間	1年次前期	★小野田波里
現代社会と家族	講義・30時間	1年次前期	丸山 洋平
英語 I A	演習・30時間	1年次前期	★赤間 荘太 ★遠藤 愛 ★清水 香
英語 I B	演習・30時間	1年次前期	町田佳世子 松井 美穂 ★白土 淳子 ★長嶋みさと
英語 I C	演習・30時間	1年次前期	★バマイ モクター ★山田 パトリシア
日本語表現法	演習・30時間	1年次前期	★斎木 正直 ★齊田 春菜 ★錦戸 葵 ★安永 立子
基礎カウンセリング	演習・30時間	1年次前期	★小坂 守孝
情報リテラシー I (デザイン学部)	演習・30時間	1年次前期	大淵 一博
情報リテラシー I (看護学部)	演習・30時間	1年次前期	★杉野 佑太
宗教と思想	講義・30時間	1年次後期	★堀 雅彦
芸術と文化	講義・30時間	1年次後期	★望月由美子
心のしくみ	講義・30時間	1年次後期	★岸 靖亮
動物の暮らし	講義・30時間	1年次後期	★桑原 禎知
札幌を学ぶ	講義・30時間	1年次後期	◎丸山 洋平 町田佳世子
現代社会と経済	講義・30時間	1年次後期	★近藤 公彦



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
統計の世界（看護学部）	講義・30時間	1年次後期	丸山 洋平
英語ⅡA	演習・30時間	1年次後期	町田佳世子 ★赤間 荘太 ★遠藤 愛 ★清水 香
英語ⅡB	演習・30時間	1年次後期	松井 美穂 ★白土 淳子 ★長嶋みさと
英語ⅡC	演習・30時間	1年次後期	★バマイ モクター ★山田 パトリシア
プレゼンテーション	演習・30時間	1年次後期	◎武田 亘明 矢久保空遥
対人コミュニケーション	演習・30時間	1年次後期	町田 佳世子
手話	演習・30時間	1年次後期	★高橋 淨
情報リテラシーⅡ（デザイン学部）	演習・30時間	1年次後期	★児玉潤二郎
情報リテラシーⅡ（看護学部）	演習・30時間	1年次後期	★杉野 佑太
生活と文化	講義・30時間	2年次前期	★高鳥 廉
環境を考える	講義・30時間	2年次前期	★矢部 和夫
現代社会と国際関係	講義・30時間	2年次後期	★先川信一郎
ボランティア活動を考える	講義・30時間	2年次前期	★篠原 辰二
日本国憲法を学ぶ	講義・30時間	2年次前期	★岡田 信弘
実践英語A（デザイン学部）	演習・30時間	2年次前期	松井 美穂
実践英語B（デザイン学部）	演習・30時間	2年次前期	★バマイ モクター
実践英語A（看護学部）	演習・30時間	2年次前期	★二ノ宮靖史
実践英語B（看護学部）	演習・30時間	2年次前期	★山田 パトリシア
グループ・ダイナミックス	演習・30時間	2年次 前期・後期	★山口 司
教育を考える	講義・30時間	2年次後期	◎★光本 滋 ★木下 卓弥
ジェンダーと文化	講義・30時間	2年次前期	松井 美穂
健康とスポーツ（看護学部）	講義・30時間	2年次後期	★出町 道代
韓国語（デザイン学部）（看護学部）	演習・30時間	2年次後期	★松田 由紀
中国語（看護学部）	演習・30時間	2年次後期	★照井はるみ
ロシア語（看護学部）	演習・30時間	2年次後期	★ジダーノフ ウラジーミル
健康とスポーツ（デザイン学部）	講義・30時間	3年次前期	★出町 道代
中国語（デザイン学部）	演習・30時間	3年次前期	★照井はるみ
ロシア語（デザイン学部）	演習・30時間	3年次前期	★ジダーノフ ウラジーミル
統計の世界（デザイン学部）	講義・30時間	3年次後期	丸山 洋平

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



3 デザイン学部

1) 2020年度時間割

① 1年前期・前半 (5/11～6/24)

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	人間空間デザイン論			体のしくみ	人間関係を考える
2	10:40 ～ 12:10	人間情報デザイン論	デザイン史		英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	哲学と倫理
3	13:10 ～ 14:40	デザイン史	デザインと数学	英語 I A 英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	英語 I A 英語 I B 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	現代社会と家族
4	14:50 ～ 16:20	人間空間デザイン論	デザインと数学	英語 I A 英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	スタートアップ演習	英語 I A 英語 I B 英語 I C 英語 I C 基礎カウンセリング
5	16:30 ～ 18:00	人間情報デザイン論		自然科学を学ぶ		英語 I A 英語 I B 英語 I C 英語 I C 基礎カウンセリング

② 1年前期・後半 (6/29～)

		月	火	水	木	金		
1	9:00 ～ 10:30	材料加工理論 ／実習 I	表現基礎 (描画)	材料加工理論 ／実習 I	表現基礎 (描画)	時間表現理論/ 演習 I	体のしくみ	人間関係を考える
	情報リテラシー I (D)							
2	10:40 ～ 12:10	材料加工理論 ／実習 I	表現基礎 (描画)	材料加工理論 ／実習 I	表現基礎 (描画)	時間表現理論/ 演習 I	英語 I A 英語 I B 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	哲学と倫理
	情報リテラシー I (D)							
3	13:10 ～ 14:40	時間表現理論/ 演習 I	時間表現理論/ 演習 I	英語 I A 英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	英語 I A 英語 I B 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	現代社会と家族		
	情報リテラシー I (D)							
4	14:50 ～ 16:20	材料加工理論 ／実習 I	表現基礎 (描画)	材料加工理論 ／実習 I	表現基礎 (描画)	英語 I A 英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	スタートアップ演習	英語 I A 英語 I B 英語 I C 英語 I C 基礎カウンセリング
5	16:30 ～ 18:00					自然科学を学ぶ		英語 I A 英語 I B 英語 I C 英語 I C 基礎カウンセリング



③ 1年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30		情報リテラシーⅡ (D)	芸術と文化	デザイン工学	情報リテラシーⅡ (N)
						手話
2	10:40 ～ 12:10	Webデザイン	情報リテラシーⅡ (D)	宗教と思想	札幌を学ぶ	情報リテラシーⅡ (N)
				動物のくらし	心のしくみ	手話
3	13:10 ～ 14:40	アイデア生成プロセス		英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC 英語ⅡC プレゼンテーション	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡB 英語ⅡC プレゼンテーション	現代社会と 経済
				対人コミュニケー ション		
4	14:50 ～ 16:20	表現基礎(製図)	材料加工理論/ 実習Ⅱ	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC 英語ⅡC	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡB 英語ⅡC	英語ⅡA
		表現基礎(構成)				英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC
5	16:30 ～ 18:00	表現基礎(製図)		視覚・色彩心理学	統計の世界(N)	英語ⅡA
		表現基礎(構成)				英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC

④ 2年前期・前半(5/11～6/24)

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30		日本国憲法を学ぶ	コミュニティデザイン論	建築計画論	デザイン研究法 (人間空間)
			ボランティア活動 を考える		プロダクトデザインⅠ	ビジュアルイゼーションⅠ (人間情報)
2	10:40 ～ 12:10		実践英語A(D)		建築計画論	環境計画論
					プログラミングⅠ	実践英語B(D)
3	13:10 ～ 14:40	デザイン研究法 (人間情報)	実践英語A(D)	フィールドスタディ	環境芸術論	実践英語B(D)
		ビジュアルイゼーションⅠ (人間空間)				
4	14:50 ～ 16:20	協同デザインⅠ	環境を考える		環境芸術論	
			生活と文化			
5	16:30 ～ 18:00	近現代建築史	グループ・ ダイナミックス			学部連携基礎論
		情報製品製図	ジェンダーと文化			



⑤ 2年前期・後半 (6/29～)

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	デザイン総合実習Ⅰ	日本国憲法を学ぶ	コミュニティデザイン論	建築設計製図	デザイン研究法 (人間空間)
			ボランティア活動を考える		プロダクトデザインⅠ	ビジュアライゼーションⅠ (人間情報)
2	10:40 ～ 12:10	デザイン総合実習Ⅰ	実践英語A (D)	フィールドスタディ	建築設計製図	環境計画論
			時間表現理論/ 演習Ⅱ		プログラミングⅠ	実践英語B (D)
3	13:10 ～ 14:40	デザイン研究法 (人間情報)	実践英語A (D)	時間表現理論/ 演習Ⅱ	時間表現理論/ 演習Ⅱ	実践英語B (D)
		ビジュアライゼーションⅠ (人間空間)				
4	14:50 ～ 16:20	協同デザインⅠ	環境を考える	デザイン総合実習Ⅰ	建築系CAD実習	時間表現理論/ 演習Ⅱ
			生活と文化			
5	16:30 ～ 18:00	近現代建築史	グループ・ ダイナミックス	デザイン総合実習Ⅰ	建築系CAD実習	学部連携基礎論
		情報製品製図	ジェンダーと文化			

⑥ 2年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	プロダクトデザイン Ⅱ	現代社会と国際関係	環境心理学	コンピュータ グラフィックス	エコロジカル デザイン
			韓国語 (D)			
2	10:40 ～ 12:10	プロダクトデザイン Ⅱ	韓国語 (D)	ユニバーサル デザイン論	Webプログラミング	情報社会論
3	13:10 ～ 14:40	空間デザイン史	家具・インテリア デザイン	メディア芸術論	一般構造	建築デザイン論
		プログラミングⅡ			協同デザインⅡ	
4	14:50 ～ 16:20	製品系CAD実習	家具・インテリア デザイン	3DCG実習 (建築系)	デザイン総合実習Ⅱ	教育を考える
5	16:30 ～ 18:00					



⑦ 3年前期・前半 (5/11～6/24)

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30		生涯学習概論	都市計画論	建築設備計画 プログラミングⅢ	ランドスケープ アーキテクチャ
2	10:40 ～ 12:10	博物館資料論 第1～7回	中国語 (D)	構造力学 I	ヒューマン インタラクション I	博物館資料論 第8～13回
		博物館概論 第8～13回	ロシア語 (D)			
3	13:10 ～ 14:40	都市計画論	中国語 (D)	インターンシップ	健康とスポーツ (D)	デザイン総合実習Ⅲ
			ロシア語 (D)			
4	14:50 ～ 16:20	感性情報学	ユーザーエクス ペリエンスデザイン I	博物館概論 第1～7回		
5	16:30 ～ 18:00	空間演出デザイン論	メディア社会論	博物館教育論		

⑧ 3年前期・後半 (6/29～)

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30		生涯学習概論	デザイン総合実習Ⅲ	建築設備計画 プログラミングⅢ	ランドスケープ アーキテクチャ
2	10:40 ～ 12:10	博物館資料論 第1～7回	中国語 (D)	構造力学 I	ヒューマン インタラクション I	博物館資料論 第8～13回
		博物館概論 第8～13回	ロシア語 (D)			
3	13:10 ～ 14:40	デザイン総合実習Ⅲ	中国語 (D)	インターンシップ	健康とスポーツ (D)	デザイン総合実習Ⅲ
			ロシア語 (D)			
4	14:50 ～ 16:20	感性情報学	ユーザーエクス ペリエンスデザイン I	博物館概論 第1～7回		
5	16:30 ～ 18:00	空間演出デザイン論	メディア社会論	博物館教育論		



⑨ 3年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	寒冷地デザイン論	建築構法 ヒューマンインタラク ションII	空間映像表現		デザイン展開プロセス
2	10:40 ～ 12:10	博物館経営論	統計の世界(D)	構造力学II	建築法規	ユーザー エクスペ リエンス デザイン II
3	13:10 ～ 14:40				建築生産	ビジュアライゼー ションII
4	14:50 ～ 16:20	博物館資料保存論	学部連携演習			
5	16:30 ～ 18:00	キャリアデザイン		博物館展示論	構造・材料実験	デザイン総合実習IV

⑩ 4年前期・前半後半共通

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30		知的財産権論	デザイン英語		
2	10:40 ～ 12:10	博物館実習 第1～7回	起業・経営論			ビジュアライ ゼーションIII
3	13:10 ～ 14:40		住宅論		ユーザーエクス ペリエンスデザイン III	
4	14:50 ～ 16:20	博物館実習 第8～13回	観光デザイン論		景観デザイン文化論	
5	16:30 ～ 18:00					



⑪ 4年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ∟ 10:30					
2	10:40 ∟ 12:10					
3	13:10 ∟ 14:40					
4	14:50 ∟ 16:20					
5	16:30 ∟ 18:00	キャリアガイダンス				



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

2012～2015年度（編入学生は2014～2017年度）入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位			
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次					
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	2			○										2単位	
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義	2			○										4単位以上
		宗教と思想	講義	2				○									
		芸術と文化	講義	2				○									
		教育を考える	講義	2						○							
		生活と文化	講義	2						○							
		ジェンダーと文化	講義	2						○							
	人間に対する理解	心のしくみ	講義	2				○									4単位以上
		体のしくみ	講義	2			○										
		人間関係を考える	講義	2			○										
		健康とスポーツ	講義	2						○							
		環境を考える	講義	2						○							
		自然科学を学ぶ	講義	2			○										
	社会に対する理解	動物のくらし	講義	2				○									6単位以上
		現代社会と家族	講義	2				○									
		現代社会と国際関係	講義	2						○							
		現代社会と経済	講義	2				○									
		札幌を学ぶ	講義	2			○										
		ボランティア活動を考える	講義	2						○							
	外国語	英語 I A	演習	1			○									8単位以上	
		英語 I B	演習	1			○										
		英語 I C	演習	1			○										
		英語 II A	演習	1				○									
		英語 II B	演習	1				○									
		英語 II C	演習	1				○									
		実践英語A	演習		1					○	○						
		実践英語B	演習		1					○	○						
		韓国語	演習		1						○						
		中国語	演習		1						○	○					
		ロシア語	演習		1						○	○					
		コミュニケーション科目	日本語表現法	演習		1		○									
	プレゼンテーション		演習	1				○									
	基礎カウンセリング		演習		1		○										
対人コミュニケーション	演習			1			○										
グループ・ダイナミクス	演習			1					○								
手話	演習			1				○									
情報リテラシー I	演習		1			○											
情報リテラシー II	演習		1			○											
専門教育科目	デザイン基礎	デザイン原論	講義	2			○								さらに基本科目から10単位以上		
		デザイン史	講義	2			○										
		デザイン方法論	講義	2				○									
		色彩設計論	講義	2				○									
		感性科学	講義	2				○									
		工学基礎	講義		2				○								
		感性デザイン論	講義	2						○							
		ユニバーサルデザイン論	講義	2						○							
		創造産業論	講義	2						○							
		現代芸術論	講義		2					○							
		デザイン解析論	講義		2					○							
		ヒューマンファクターズ入門	講義		2					○							
	近現代建築史	講義		2					○								
	設計製図基礎	演習		2					○								
	認知科学	講義		2					○								
	デザイン法規	講義		2					○								
	エコロジーデザイン論	講義		2						○							
	情報社会論	講義		2						○							
	造形基礎	造形基礎実習 I	実習	2				○									6単位以上
		表現基礎実習	実習	2				○									
		造形基礎実習 II	実習	2					○								
		デザイン材料加工実習 I	実習		2					○							
		デザイン材料加工実習 II	実習		2						○						
		造形基礎実習 III	実習	2							○						
情報基礎	コンピュータ基礎実習 I	実習	2					○							8単位以上		
	コンピュータ基礎実習 II A (3D)	実習		2					○								
	コンピュータ基礎実習 II B (ムービー)	実習		2						○							
	コンピュータ基礎実習 II C (CAD)	実習		2							○						
	プログラミング I	演習	2					○									
	プログラミング II	演習		2						○							



区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位				
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次						
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
展開科目 専門教育科目	空間デザイン系	空間デザイン論	講義	2					○									
		空間デザイン史	講義	2					○									
		景観デザイン論	講義	2							○							
		都市計画論	講義	2							○							
		空間デザイン法規	講義	2								○						
		構造力学	講義+演習	2									○					
		建築構法	講義+演習	2									○					
		構造・材料実験	実習	2									○					
		建築設備計画	講義+演習	2											○			
		建築計画論	講義	2								○						
		環境計画論	講義	2								○						
	家具・インテリアデザイン	講義+演習	2						○									
	住宅論	講義	2											○				
	製品デザイン系	製品デザイン論	講義	2						○								
		製品デザイン史	講義	2									○					
		製品造形論	講義	2						○								
		製品計画論	講義	2								○						
		感性情報学	講義	2								○						
		ヒューマンファクターズ	講義+演習	2						○								
		インタラクションデザイン	講義+演習	2							○							
		メカトロニクス	講義+演習	2								○						
		ロボティクス	講義+演習	2										○				
		感性インタラクションデザイン	演習	2									○					
		プロトタイプシミュレーションI	演習	2								○						
	プロトタイプシミュレーションII	演習	2									○						
	ヒューマンケア機器デザイン	演習	2										○					
	コンテンツデザイン系	コンテンツデザイン論	講義	2						○								
		デジタル映像史	講義	2										○				
		コンテンツ制作システム論	講義	2									○					
		物語デザイン論	講義	2									○					
		バーチャルリアリティ	講義	2										○				
		コンピュータグラフィクス	講義+演習	2							○							
		アニメーションI	講義+演習	2								○						
		アニメーションII	講義+演習	2									○					
		デジタル音響デザイン	講義+演習	2											○			
		ダイナミックオブジェクトデザイン	演習	2						○								
		マルチメディアコンテンツデザイン	演習	2								○						
	デジタル映像コンテンツデザイン	演習	2									○						
	ネットワークシステムデザイン	演習	2										○					
	メディアデザイン系	メディアデザイン論	講義	2						○								
		メディア文化史	講義	2									○					
		知的財産権論	講義	2									○					
メディア芸術論		講義	2									○						
アートマネジメント論		講義	2										○					
広告デザイン		講義+演習	2							○								
ブランド構築		講義+演習	2									○						
デジタルアーカイブ		講義+演習	2										○					
コンテンツ流通技術		講義+演習	2											○				
メディアビジネス		演習	2						○									
出版メディアデザイン		演習	2								○							
インターネットメディアデザイン	演習	2									○							
放送メディアデザイン	演習	2										○						
発展科目	一般構造	講義+演習	2									○						
	寒冷地デザイン論	講義	2										○					
	観光とデザイン	演習	2											○				
	地場産業振興論	講義	2											○				
	建築生産	講義+演習	2											○				
	デザインマネジメント	演習	2												○			
	起業論	講義	2												○			
	デザイン英語	演習	2												○			
	構造力学II	講義+演習	2												○			
	学外実習A (インターンシップ)	実習	2										◎					
	学外実習B (フィールドスタディ)	実習	2											◎				
ユニバーサルデザイン都市札幌	講義+演習			2									○					
学部連携	学部連携演習	演習	2											○			2単位	
デザイン総合実習	デザイン総合実習I	実習	2										○					6単位
	デザイン総合実習II	実習	2											○				
	デザイン総合実習III	実習	2											○				
卒業研究	卒業研究	演習	6											○	○		6単位	
自由科目	学芸員課程 関連科目	生涯学習概論	講義			2								○				19単位
		博物館概論	講義			2								○				
		博物館経営論	講義			2									○			
		博物館資料論	講義			2									○			
		博物館資料保存論	講義			2									○			
		博物館展示論	講義			2									○			
		博物館博物館情報・メディア論	講義			2									○			
		博物館教育論	講義			2									○			
		博物館実習	実習			3										◎		

注1) ◎は集中開講 注2) 展開科目(単位数の網掛け部分) : 所属コース系内の各科目は卒業要件単位となるため、すべて履修する必要があります。

注3) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。



2016年度（編入学生は2018年度）入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位			
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次					
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	2			○										2単位	
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義	2			○										4単位以上
		宗教と思想	講義	2				○									
		芸術と文化	講義	2				○									
		教育を考える	講義	2							○						
		生活と文化	講義	2						○							
		ジェンダーと文化	講義	2						○							
	人間と自然に対する理解	心のしくみ	講義	2				○									4単位以上
		体のしくみ	講義	2			○										
		人間関係を考える	講義	2			○										
		健康とスポーツ	講義	2							○						
		環境を考える	講義	2						○							
		自然科学を学ぶ	講義	2			○										
	社会に対する理解	動物のくらし	講義	2				○									4単位以上
		現代社会と家族	講義	2				○									
		現代社会と国際関係	講義	2							○						
		現代社会と経済	講義	2					○								
		札幌を学ぶ	講義	2			○										
		ボランティア活動を考える	講義	2							○						
	外国語	英語 I A	演習	1			○										8単位以上
		英語 I B	演習	1			○										
		英語 I C	演習	1			○										
		英語 II A	演習	1				○									
		英語 II B	演習	1				○									
		英語 II C	演習	1				○									
		実践英語A	演習	1	1					○							
		実践英語B	演習	1	1					○							
		韓国語	演習	1							○						
		中国語	演習	1								○					
		ロシア語	演習	1									○				
		コミュニケーション科目	日本語表現法	演習		1		○									
	プレゼンテーション		演習	1				○									
	基礎カウンセリング		演習		1		○										
対人コミュニケーション	演習			1			○										
グループ・ダイナミクス	演習			1					○								
手話	演習			1				○									
情報リテラシー I	演習		1			○											
デザイン	人間空間デザイン論	講義	2			○									4単位		
デザイン概論	人間情報デザイン論	講義	2			○										20単位以上	
	デザイン史	講義	2			○											
	近現代建築史	講義	2	2					○								
	情報社会論	講義	2							○							
	エコロジカルデザイン	講義	2							○							
	メディア社会論	講義+演習	2								○						
	知的財産権論	講義	2										○				
	デザインと数学	講義+演習	2			○											
	デザイン工学	講義+演習	2				○										
	コンピュータグラフィックス	講義+演習	2							○							
	アイデア生成プロセス	講義+演習	2				○										
	デザイン展開プロセス	講義+演習	2	2								○					
	視覚・色彩心理学	講義	2					○									
	環境心理学	講義		2							○						
ユニバーサルデザイン論	講義	2								○							
感性情報学	講義	2									○						
デザイン基本	デザイン研究法	講義+演習	2							○						20単位以上	
	デザイン英語	講義+演習		2									○				
	表現基礎 (描画)	実習	2			○											
	表現基礎 (製図)	講義+演習		2			○										
	表現基礎 (構成)	講義+演習		2			○										
	材料加工理論/実習 I	実習	2			○											
	材料加工理論/実習 II	実習	2				○										
	建築設計製図	演習	2							○							
	情報製品製図	演習	2							○							
	3DCG実習	実習	2							○	○						
	建築系CAD実習	実習	2							○							
	製品系CAD実習	実習	2								○						



区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位	
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基本科目	時間表現理論/演習Ⅰ	講義+演習		2			○								20単位以上
	時間表現理論/演習Ⅱ	講義+演習		2				○							
	Webデザイン	演習	2					○							
	Webプログラミング	講義+演習		2					○						
展開科目	建築デザイン論	講義		2						○					所属するコースから22単位以上/他コースから10単位以上
	空間デザイン史	講義		2						○					
	建築計画論	講義		2					○						
	都市計画論	講義		2							○				
	景観デザイン文化論	講義		2									○		
	住宅論	講義		2									○		
	環境計画論	講義+演習		2					○						
	建築設備計画	講義+演習		2							○				
	構造力学Ⅰ	講義+演習		2							○				
	構造力学Ⅱ	講義+演習		2								○			
	一般構造	講義+演習		2						○					
	建築構法	講義+演習		2								○			
	構造・材料実験	実習		2								○			
	建築生産	講義+演習		2								○			
	建築法規	講義		2								○			
	家具・インテリアデザイン	実習		2						○					
	ランドスケープアーキテクチャ	講義		2							○				
	コミュニティデザイン論	講義		2						○					
	メディア芸術論	講義		2						○					
	空間演出デザイン論	講義+演習		2							○				
	地域ブランド構築	講義+演習		2								○			
	観光デザイン論	講義+演習		2									○		
	環境芸術論	講義+演習		2						○					
	空間プロダクト	講義+演習		2							○				
	空間映像表現	演習		2								○			
	寒冷地デザイン論	講義+演習		2								○			
起業・経営論	講義		2									○			
人間空間デザインコース	プロダクトデザインⅠ	講義+演習		2					○						
	プロダクトデザインⅡ	講義+演習		2						○					
	ユーザーエクスペリエンスデザインⅠ	講義+演習		2							○				
	ユーザーエクスペリエンスデザインⅡ	講義+演習		2								○			
	ユーザーエクスペリエンスデザインⅢ	講義+演習		2									○		
	プログラミングⅠ	演習		2						○					
	プログラミングⅡ	講義+演習		2							○				
	プログラミングⅢ	演習		2								○			
	ヒューマンインタラクションⅠ	演習		2							○				
	ヒューマンインタラクションⅡ	演習		2								○			
	協同デザインⅠ	講義+演習		2						○					
	協同デザインⅡ	講義+演習		2							○				
	ビジュアライゼーションⅠ	講義+演習		2								○			
	ビジュアライゼーションⅡ	講義+演習		2									○		
ビジュアライゼーションⅢ	講義+演習		2										○		
人間情報デザインコース	学部連携基礎論	講義	2							○					
	学部連携演習	演習	2								○				
	地域プロジェクト	演習			2	○	○	○	○	○	○	○	○		
	地域プロジェクトⅠ(基礎編)	演習			2	○	○	○	○						
	地域プロジェクトⅡ(応用編)	演習			2			○	○	○	○	○	○		
	地域プロジェクトⅢ(発展編)	演習			2				○	○	○	○	○		
	ユニバーサルデザイン都市札幌	講義+演習			2					○					
	デザイン総合実習Ⅰ	実習	2						○						
	デザイン総合実習Ⅱ	実習	2							○					
	デザイン総合実習Ⅲ	実習	2								○				
デザイン総合実習Ⅳ	実習	2									○				
卒業研究	卒業研究Ⅰ	演習	3									○			
	卒業研究Ⅱ	演習	3										○		
	キャリア教育	講義		2						◎					
キャリア教育	フィールドスタディ	実習		2							◎				
	インターンシップ	実習		2								◎			
	キャリアデザイン	講義		2								○			
自由科目	生涯学習概論	講義			2						○				
	博物館概論	講義			2						○				
	博物館経営論	講義			2							○			
	博物館資料論	講義			2							○			
	博物館資料保存論	講義			2								○		
	博物館展示論	講義			2								○		
	博物館情報・メディア論	講義			2							○			
	博物館教育論	講義			2								○		
	博物館実習	実習			3									◎	

注1) ◎は集中開講 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。
 注3) 「ユニバーサルデザイン都市札幌」は、2020年度開講しません。
 ※開講時期(前期・後期)は変更になる可能性があります。



2017年度（編入学生は2019年度）以降入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位				
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次						
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	演習	2			○										2単位	
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義	2			○											4単位以上
		宗教と思想	講義	2				○										
		芸術と文化	講義	2					○									
		教育を考える	講義	2							○							
		生活と文化	講義	2						○								
		ジェンダーと文化	講義	2						○								
	人間と自然に対する理解	心のしくみ	講義	2				○										4単位以上
		体のしくみ	講義	2			○											
		人間関係を考える	講義	2				○										
		健康とスポーツ	講義	2							○							
		環境を考える	講義	2						○								
		自然科学を学ぶ	講義	2				○										
	社会に対する理解	動物のくらし	講義	2					○									4単位以上
		現代社会と家族	講義	2					○									
		現代社会と国際関係	講義	2						○								
		現代社会と経済	講義	2						○								
		札幌を学ぶ	講義	2				○										
		ボランティア活動を考える	講義	2						○								
	外国語	統計の世界	講義	2										○				8単位以上
		日本国憲法を学ぶ	講義	2						○								
		英語 I A	演習	1				○										
		英語 I B	演習	1				○										
		英語 I C	演習	1				○										
		英語 II A	演習	1					○									
		英語 II B	演習	1					○									
		英語 II C	演習	1					○									
		実践英語A	演習	1	1					○								
		実践英語B	演習	1	1					○								
		韓国語	演習	1							○							
中国語		演習	1								○							
ロシア語		演習	1									○						
コミュニケーション科目		日本語表現法	演習	1	1			○										
	プレゼンテーション	演習	1				○	○										
	基礎カウンセリング	演習	1	1			○											
	対人コミュニケーション	演習	1	1				○										
	グループ・ダイナミックス	演習	1	1					○									
	手話	演習	1	1					○									
	情報リテラシー I	演習	1				○											
情報リテラシー II	演習	1					○											
専門教育科目	デザイン概論	人間空間デザイン論	講義	2			○										4単位	
		人間情報デザイン論	講義	2			○											
	デザイン理論	デザイン史	講義	2				○									20単位以上	
		近現代建築史	講義	2	2				○									
		情報社会論	講義	2						○								
		エコロジカルデザイン	講義	2						○								
		メディア社会論	講義+演習	2							○							
		知的財産権論	講義	2								○						
		デザインと数学	講義+演習	2				○										
		デザイン工学	講義+演習	2					○									
		コンピュータグラフィックス	講義+演習	2						○								
		アイデア生成プロセス	講義+演習	2						○								
	デザイン展開プロセス	講義+演習	2	2								○						
	デザイン基盤	視覚・色彩心理学	講義	2					○									20単位以上
		環境心理学	講義	2	2					○								
		ユニバーサルデザイン論	講義	2						○								
		感性情報学	講義	2							○							
		デザイン研究法	講義+演習	2						○								
		デザイン英語	講義+演習	2	2									○				
		表現基礎 (描画)	実習	2				○										
表現基礎 (製図)		講義+演習	2	2					○									
表現基礎 (構成)		講義+演習	2	2					○									
材料加工理論/実習 I		実習	2				○											
材料加工理論/実習 II	実習	2	2					○										
建築設計製図	演習	2							○									
情報製品製図	演習	2							○									
3DCG実習	実習	2						○	○									
建築系CAD実習	実習	2						○										
製品系CAD実習	実習	2							○									



区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位	
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基本科目	デザイン基盤	時間表現理論/演習 I		2											20単位以上
		時間表現理論/演習 II		2											
		Webデザイン		2											
		Webプログラミング		2											
展開科目	人間空間デザインコース	建築デザイン論		2											所属するコースから22単位以上/他コースから10単位以上
		空間デザイン史		2											
		建築計画論		2											
		都市計画論		2											
		景観デザイン文化論		2											
		住宅論		2											
		環境計画論		2											
		建築設備計画		2											
		構造力学 I		2											
		構造力学 II		2											
		一般構造		2											
		建築構法		2											
		構造・材料実験		2											
		建築生産		2											
	建築法規		2												
	家具・インテリアデザイン		2												
	ランドスケープアーキテクチャ		2												
	コミュニティデザイン論		2												
	メディア芸術論		2												
	空間演出デザイン論		2												
	地域ブランド構築		2												
	観光デザイン論		2												
	環境芸術論		2												
	空間プロダクト		2												
	空間映像表現		2												
	寒冷地デザイン論		2												
	起業・経営論		2												
人間情報デザインコース	プロダクトデザイン I		2												
	プロダクトデザイン II		2												
	ユーザーエクスペリエンスデザイン I		2												
	ユーザーエクスペリエンスデザイン II		2												
	ユーザーエクスペリエンスデザイン III		2												
	プログラミング I		2												
	プログラミング II		2												
	プログラミング III		2												
	ヒューマンインタラクション I		2												
	ヒューマンインタラクション II		2												
	協同デザイン I		2												
	協同デザイン II		2												
	ビジュアライゼーション I		2												
ビジュアライゼーション II		2													
ビジュアライゼーション III		2													
発展科目	連携	学部連携基礎論		2										4単位以上	
		学部連携演習		2											
		地域プロジェクト I (基礎編)			2										
		地域プロジェクト II (応用編)			2										
		地域プロジェクト III (発展編)			2										
	ユニバーサルデザイン都市札幌			2											
	総合実習	デザイン総合実習 I		2										8単位	
		デザイン総合実習 II		2											
		デザイン総合実習 III		2											
		デザイン総合実習 IV		2											
卒業研究			3												
キャリア教育	卒業研究 II		3										6単位		
	フィールドスタディ		2												
	インターンシップ		2												
自由科目	学芸員課程関連科目	キャリアデザイン		2									4単位以上		
		生涯学習概論			2										
		博物館概論			2										
		博物館経営論			2										
		博物館資料論			2										
		博物館資料保存論			2										
		博物館展示論			2										
		博物館情報・メディア論			2										
		博物館教育論			2										
		博物館実習			3										

注1) ◎は集中開講 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。
 注3) 「ユニバーサルデザイン都市札幌」は、2020年度開講しません。
 ※開講時期(前期・後期)は変更になる可能性があります。



② 卒業要件

2015年度（編入学生は2017年度）以前入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	13	15	28
専門教育科目	40	56	96
(基本科目)	(26)	(14)	(40)
(展開科目)	—	(34)	(34)
(発展科目)	(14)	(8)	(22)
合 計	53	71	124

2016年度（編入学生は2018年度）以降入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	11	15	26
専門教育科目	42	56	98
(基本科目)	(24)	(20)	(44)
(展開科目)	—	(32)	(32)
(発展科目)	(18)	(4)	(22)
合 計	53	71	124



3) 教育活動 (デザイン学部)

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
人間空間デザイン論	講義・30時間	1年次前期	◎大島 卓 中島 秀之 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 山田 良 小林 重人 武田 亘明 森 朋子 山田 信博 石田 勝也 片山めぐみ 小宮加容子 須之内元洋 金子 晋也
人間情報デザイン論	講義・30時間	1年次前期	◎安齋 利典 石井 雅博 細谷 多聞 柿山浩一郎 藤木 淳 三谷 篤史 若林 尚樹 張 浦華 横溝 賢 大淵 一博 金 秀敬 福田 大年 松永 康佑 矢久保空遥
デザイン史	講義・30時間	1年次前期	◎細谷 多聞 金子 晋也
デザインと数学	講義+演習・30時間	1年次前期	◎石井 雅博 大淵 一博 松永 康佑
表現基礎 (描画)	実習・60時間	1年次前期	◎藤木 淳 横溝 賢
材料加工理論/実習 I	実習・60時間	1年次前期	◎山田 良 矢久保空遥 ★川上 理恵
時間表現理論/演習 I	講義+演習・30時間	1年次前期	◎須之内元洋 石田 勝也
デザイン工学	講義+演習・30時間	1年次後期	◎齊藤 雅也 細谷 多聞
アイデア生成プロセス	講義+演習・30時間	1年次後期	福田 大年
視覚・色彩心理学	講義・30時間	1年次後期	石井 雅博
表現基礎 (製図)	講義+演習・30時間	1年次後期	◎山田 信博 森 朋子
表現基礎 (構成)	講義+演習・30時間	1年次後期	◎横溝 賢 金 秀敬
材料加工理論/実習 II	実習・60時間	1年次後期	◎安齋 利典 張 浦華 ★石崎 友紀 ★山田 祥子 ★小甲楠緒子
Webデザイン	演習・30時間	1年次後期	大淵 一博
地域プロジェクト I (基礎編) 2020年度開講無し	演習・60時間	1年次・2年次 次通年	◎若林 尚樹 大淵 一博 藤井 瑞恵
近現代建築史	講義・30時間	2年次前期	◎金子 晋也 ★藤田 純也 ★平 輝
デザイン研究法 (人間空間デザイン)	講義+演習・30時間	2年次前期	◎小林 重人 椎野亜紀夫 森 朋子
デザイン研究法 (人間情報デザイン)	講義+演習・30時間	2年次前期	◎柿山浩一郎 石井 雅博 張 浦華 金 秀敬
建築設計製図	演習・30時間	2年次前期	◎山田 良 森 朋子 山田 信博
情報製品製図	演習・30時間	2年次前期	◎柿山浩一郎 安齋 利典
3DCG実習 (表現系)	実習・60時間	2年次前期	松永 康祐
建築系CAD実習	実習・60時間	2年次前期	★五十嵐雄祐
時間表現理論/演習 II	講義+演習・30時間	2年次前期	◎石田 勝也 須之内元洋
建築計画論	講義・30時間	2年次前期	◎山田 信博



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
環境計画論	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	◎齊藤 雅也 椎野亜紀夫
コミュニティデザイン論	講義・30時間	2年次前期	◎片山めぐみ
環境芸術論	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	◎大島 卓 須之内元洋
プロダクトデザイン I	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	安齋 利典
プログラミング I	演習・30時間	2年次前期	石井 雅博
協同デザイン I	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	福田 大年
ビジュアルライゼーション I	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	横溝 賢
学部連携基礎論	講義・30時間	2年次前期	◎若林 尚樹 椎野亜紀夫 小宮加容子 福田 大年 松永 康佑 ◎喜多 歳子 貝谷 敏子 原井 美佳
デザイン総合実習 I (建築・環境)	実習・60時間	2年次前期	◎山田 信博 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 山田 良 森 朋子 石田 勝也 大島 卓 片山めぐみ 金子 晋也
デザイン総合実習 I (地域コミュニケーション・総合系)	実習・60時間	2年次前期	◎武田 亘明 片山めぐみ 小宮加容子
デザイン総合実習 I (人間情報デザインコース)	実習・60時間	2年次前期	◎安齋 利典 三谷 篤史 横溝 賢 大淵 一博
フィールドスタディ	実習・60時間	2年次集中	◎山田 良 小林 重人 横溝 賢 矢久保空遥
情報社会論	講義・30時間	2年次後期	武田 亘明
エコロジカルデザイン	講義・30時間	2年次後期	椎野亜紀夫
コンピュータグラフィックス	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	松永 康祐
環境心理学	講義・30時間	2年次後期	片山めぐみ
ユニバーサルデザイン論	講義・30時間	2年次後期	小宮加容子
3DCG実習 (建築系)	実習・60時間	2年次後期	山田 信博
製品系CAD実習	実習・60時間	2年次後期	◎三谷 篤史
Webプログラミング	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	大淵 一博
建築デザイン論	講義・30時間	2年次後期	◎山田 良
空間デザイン史	講義・30時間	2年次後期	金子 晋也
一般構造	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	★西川 忠
家具・インテリアデザイン	実習・60時間	2年次後期	◎片山めぐみ ★岸本 幸雄 ★祐川 諭 ★藤原 誠
メディア芸術論	講義・30時間	2年次後期	須之内元洋



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
空間プロダクト	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	小宮加容子
プロダクトデザインⅡ	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	三谷 篤史
プログラミングⅡ	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	松永 康祐
協同デザインⅡ	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	若林 尚樹
デザイン総合実習Ⅱ (建築・環境)	実習・60時間	2年次後期	◎大島 卓 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 山田 良 森 朋子 山田 信博 片山めぐみ 金子 晋也
デザイン総合実習Ⅱ (地域コミュニケーション・総合系)	実習・60時間	2年次後期	◎石田 勝也 須之内元洋 小林 重人
デザイン総合実習Ⅱ (人間情報デザインコース)	実習・60時間	2年次後期	◎矢久保空遥 細谷 多聞 張 浦華
地域プロジェクトⅡ(応用編) 2020年度開講無し	演習・60時間	2年次・3年 次・4年次 通年	◎若林 尚樹 大淵 一博 藤井 瑞恵
メディア社会論	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	小林 重人
感性情報学	講義・30時間	3年次前期	◎張 浦華 金 秀敬
都市計画論	講義・30時間	3年次前期	森 朋子
建築設備計画	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	齊藤 雅也
構造力学Ⅰ	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	★石丸 修二
ランドスケープアーキテクチャ	講義・30時間	3年次前期	◎椎野亜紀夫 大島 卓
空間演出デザイン論	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	◎石田 勝也 小宮加容子
ユーザーエクスペリエンスデザイン Ⅰ	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	金 秀敬
ヒューマンインタラクションⅠ	演習・30時間	3年次前期	矢久保空遥
プログラミングⅢ	演習・30時間	3年次前期	三谷 篤史
ユニバーサルデザイン都市札幌 2020年度開講無し	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	
デザイン総合実習Ⅲ(建築・環境) ※人間空間デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎山田 良 細谷 多聞 柿山浩一郎 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 森 朋子 山田 信博 大島 卓 片山めぐみ 金子 晋也
デザイン総合実習Ⅲ (地域コミュニケーション・総合系) ※人間空間デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎小林 重人 若林 尚樹 山田 信博 大島 卓 小宮加容子
デザイン総合実習Ⅲ (ものづくり・総合系) ※人間情報デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎柿山浩一郎 細谷 多聞 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 山田 良 森 朋子 山田 信博 大島 卓 片山めぐみ 福田 大年 金子 晋也



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
デザイン総合実習Ⅲ (情報・総合系) ※人間情報デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎若林 尚樹 藤木 淳 大島 卓 小宮加容子 松永 康佑
インターンシップ	実習・60時間	3年次集中	◎椎野亜紀夫 安齋 利典 若林 尚樹 山田 信博
デザイン展開プロセス	講義+演習・ 30時間	3年次後期	安齋 利典
構造力学Ⅱ	講義+演習・ 30時間	3年次後期	★石丸 修二
建築構法	講義+演習・ 30時間	3年次後期	金子 晋也
構造・材料実験	実習・60時間	3年次後期	◎齊藤 雅也 ★西川 忠 ★上原 浩志 ★半浦 剛 ★山内 昇 ★金谷 哲也
建築生産	講義+演習・ 30時間	3年次後期	★佐野 天彦
建築法規	講義・30時間	3年次後期	★小林 宏
地域ブランド構築	講義+演習・ 30時間	3年次後期	小林 重人
空間映像表現	演習・30時間	3年次後期	石田 勝也
寒冷地デザイン論	講義・30時間	3年次後期	◎齊藤 雅也 大島 卓
ユーザーエクスペリエンスデザインⅡ	講義+演習・ 30時間	3年次後期	◎柿山浩一郎 張 浦華
ヒューマンインタラクションⅡ	演習・30時間	3年次後期	石井 雅博
ビジュアルライゼーションⅡ	講義+演習・ 30時間	3年次後期	藤木 淳
学部連携演習	演習・60時間	3年次後期	◎柿山浩一郎 三谷 篤史 藤木 淳 細谷 多聞 小林 重人 森 朋子 横溝 賢 石田 勝也 大島 卓 須之内元洋 矢久保空遥 ◎卯野木 健 小田 和美 佐藤ひとみ 神島 滋子 伊藤健太郎 工藤 京子 高橋 奈美 武富貴久子 原井 美佳 渋谷 友紀 中田亜由美
デザイン総合実習Ⅳ (人間空間デザインコース)	実習・60時間	3年次後期	◎須之内元洋 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 山田 良 小林 重人 武田 亘明 森 朋子 山田 信博 石田 勝也 大島 卓 片山めぐみ 小宮加容子 金子 晋也
デザイン総合実習Ⅳ (人間情報デザインコース)	実習・60時間	3年次後期	◎三谷 篤史 石井 雅博 細谷 多聞 安齋 利典 柿山浩一郎 藤木 淳 若林 尚樹 張 浦華 横溝 賢 大淵 一博 金 秀敬 福田 大年 松永 康佑 矢久保空遥
キャリアデザイン	講義・30時間	3年次後期	◎山田 信博 福田 大年
地域プロジェクトⅢ (発展編) 2020年度開講無し	演習・60時間	3年次・4年 次通年	◎若林 尚樹 大淵 一博 藤井 瑞恵



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
デザイン英語	講義＋演習・ 30時間	4年次前期	松井 美穂
知的財産権論	講義・30時間	4年次前期	◎安齋 利典 須之内元洋 ★伊藤 博之 ★川上 大雅 ★岩崎 孝治 ★田中 勝也 ★渡辺 直行 ★吉田 聡子
景観デザイン文化論	講義・30時間	4年次前期	★中井 和子
住宅論	講義・30時間	4年次前期	山田 良
観光デザイン論	講義＋演習・ 30時間	4年次前期	大島 卓
起業・経営論	講義・30時間	4年次前期	★小林 元 ★河嶋 峻
ユーザーエクスペリエンスデザインⅢ	講義＋演習・ 30時間	4年次前期	細谷 多聞
ビジュアルライゼーションⅢ	講義＋演習・ 30時間	4年次前期	柿山浩一郎
卒業研究Ⅰ (人間空間デザインコース)	演習・45時間	4年次前期	◎森 朋子 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 山田 良 小林 重人 武田 亘明 山田 信博 石田 勝也 大島 卓 片山めぐみ 小宮加容子 須之内元洋 金子 晋也
卒業研究Ⅰ (人間情報デザインコース)	演習・45時間	4年次前期	◎藤木 淳 石井 雅博 細谷 多聞 安齋 利典 柿山浩一郎 三谷 篤史 若林 尚樹 張 浦華 横溝 賢 大淵 一博 金 秀敬 福田 大年 松永 康佑 矢久保空遥
卒業研究Ⅱ (人間空間デザインコース)	演習・45時間	4年次後期	◎小林 重人 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 山田 良 武田 亘明 森 朋子 山田 信博 石田 勝也 大島 卓 片山めぐみ 小宮加容子 須之内元洋 金子 晋也
卒業研究Ⅱ (人間情報デザインコース)	演習・45時間	4年次後期	◎藤木 淳 石井 雅博 細谷 多聞 安齋 利典 柿山浩一郎 三谷 篤史 若林 尚樹 張 浦華 横溝 賢 大淵 一博 金 秀敬 福田 大年 松永 康佑 矢久保空遥
生涯学習概論	講義・30時間	3年次前期	★木村 純
博物館概論	講義・30時間	3年次前期	◎椎野亜紀夫 ★岩崎 直人 ★越前谷宏紀
博物館資料論	講義・30時間	3年次前期	◎★佐藤 弥生 ★小野 裕子
博物館情報・メディア論	講義・30時間	3年次前期	武田 亘明
博物館教育論	講義・30時間	3年次前期	★細川 健裕
博物館経営論	講義・30時間	3年次後期	★苔名 真
博物館資料保存論	講義・30時間	3年次後期	★守屋 開
博物館展示論	講義・30時間	3年次後期	★岩崎 直人
博物館実習	実習・90時間	4年次前期 (学外での実 習は集中)	◎椎野亜紀夫 ★岩崎 直人 ★越前谷宏紀 ★山崎 真実

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



4 看護学部

1) 2020年度時間割

① 1年前期

		月		火	水	木	金
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)				
1	9:00 ~ 10:30				情報リテラシー I	体のしくみ	人間関係を考える
2	10:40 ~ 12:10			看護観察技術論	情報リテラシー I	英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法	哲学と倫理
3	13:10 ~ 14:40	形態機能学 I		形態機能学 II	英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法	英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法	札幌を学ぶ
4	14:50 ~ 16:20	形態機能学 I		形態機能学 II	英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法	スタートアップ演習	英語 I A 英語 I B 英語 I C 基礎カウンセリング
5	16:30 ~ 18:00	看護学 原論	地域 保健学 概論	人間発達援助論	自然科学を学ぶ		英語 I A 英語 I B 英語 I C 基礎カウンセリング

② 1年後期

		月		火		水	木	金
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)			
1	9:00 ~ 10:30	病理病態学		看護過程論		芸術と文化		情報リテラシー II
								手話
2	10:40 ~ 12:10	病理病態学		看護理論	看護過程論	宗教と思想	現代社会と家族	情報リテラシー II
						動物のくらし	心のしくみ	手話
3	13:10 ~ 14:40	基礎看護技術論		薬理学		英語 II A 英語 II B 英語 II C プレゼンテーション	英語 II A 英語 II B 英語 II C プレゼンテーション	現代社会と経済
								対人コミュニケーション
4	14:50 ~ 16:20	基礎看護技術論		感染予防論		英語 II A 英語 II B 英語 II C	英語 II A 英語 II B 英語 II C	
5	16:30 ~ 18:00						統計の世界	英語 II A 英語 II B 英語 II C



③ 2年前期

		月		火	水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	精神看護学概論	人間工学	現代社会と国際関係 日本国憲法を学ぶ ボランティア活動を考える	老年看護学概論			家族社会学		
2	10:40 ~ 12:10	生命科学	環境保健	実践英語A 実践英語B	医療情報		成人看護学概論		臨床栄養学	
3	13:10 ~ 14:40	公衆衛生学	成人看護援助論	実践英語A 実践英語B	生命倫理		疾病治療学概論		症状マネジメント論	
4	14:50 ~ 16:20	公衆衛生学	成人看護援助論	環境を考える 生活と文化					症状マネジメント論	
5	16:30 ~ 18:00	疾病治療学B		グループ・ダイナミックス ジェンダーと文化			疾病治療学A		学部連携基礎論	

④ 2年後期

		月		火	水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30		精神看護援助論	グループ・ダイナミックス	臨床薬理学			社会福祉学		
2	10:40 ~ 12:10	母性看護学概論	精神看護援助論		臨床心理学		小児看護学概論	看護倫理学		
3	13:10 ~ 14:40	感染管理論	教育を考える	中国語 ロシア語	健康とスポーツ		老年看護援助論	がん看護学	援助的 人間関係論	在宅看護 援助論
4	14:50 ~ 16:20	在宅看護学概論	教育を考える	中国語 ロシア語	韓国語		老年看護援助論	がん看護学	援助的 人間関係論	在宅看護 援助論
5	16:30 ~ 18:00				公衆衛生看護学概論			チーム医療論	疾病治療学C	



⑤ 3年前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	認知症ケア		母性看護 援助論		成人看護 技術論		保健医療 福祉行政論 I		保健統計	
2	10:40 ~ 12:10	認知症ケア		母性看護 援助論		成人看護 技術論		保健医療 福祉行政論 I		保健統計	
3	13:10 ~ 14:40			在宅看護 技術論				リハビリ テーション 看護学		精神看護 技術論	
4	14:50 ~ 16:20	小児看護 援助論		在宅看護 技術論				リハビリ テーション 看護学		精神看護 技術論	
5	16:30 ~ 18:00	小児看護 援助論				疫学 I					

⑥ 3年後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	研究方法論		健康教育 指導法		看護教育学		公衆衛生 看護援助論 (前半 I / 後半 II)		老年看護 技術論	
2	10:40 ~ 12:10	研究方法論		健康教育 指導法		透析ケア		公衆衛生 看護援助論 (前半 I / 後半 II)		老年看護 技術論	
3	13:10 ~ 14:40	公衆衛生 看護援助論 (前半 I / 後半 II)						小児看護 技術論		重症集中 ケア	
4	14:50 ~ 16:20	公衆衛生 看護援助論 (前半 I / 後半 II)						小児看護 技術論		母性看護 技術論	
5	16:30 ~ 18:00	救急看護学		学部連携演習				放射線医療 管理論		母性看護 技術論	



⑦ 4年前期

		月		火		水		木	金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	国際保健学		バリアティブ ケア		看護管理学		卒業研究	ヘルスプロ モーション 活動論	
2	10:40 ~ 12:10	現代専門 職論		災害看護学		看護管理学		卒業研究	ヘルスプロ モーション 活動論	
3	13:10 ~ 14:40	公衆衛生 看護技術論		医療経営学		看護情報学			医療安全 管理論	
4	14:50 ~ 16:20	公衆衛生 看護技術論		寒冷地医療					ペリネイタル ケア	
5	16:30 ~ 18:00			国際看護学						

⑧ 4年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:30			公衆衛生看護管理論	卒業研究	保健医療福祉行政論Ⅱ
2	10:40 ~ 12:10			公衆衛生看護管理論	卒業研究	保健医療福祉行政論Ⅱ
3	13:10 ~ 14:40					疫学Ⅱ
4	14:50 ~ 16:20					
5	16:30 ~ 18:00					



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

2016年度（編入学生は2018年度）入学生用

区分	科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数				配当年次(◎は集中で開講)								卒業要件単位			
				必修	選択	保健師 コース 必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次					
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
共通教育科目	導入科目	C1B000	スタートアップ演習	演習	2				○										2単位
	文化に対する理解	C1B001	哲学と倫理	講義		2			○										4単位以上
		C1B002	宗教と思想	講義		2				○									
		C1B003	芸術と文化	講義		2					○								
		C2B004	教育を考える	講義		2						○							
		C2B005	生活と文化	講義		2							○						
		C2B006	ジェンダーと文化	講義		2								○					
	人間と自然に対する理解	C1B007	心のしくみ	講義		2					○								4単位以上
		C1B008	体のしくみ	講義		2				○									
		C1B009	人間関係を考える	講義		2					○								
		C2B010	健康とスポーツ	講義		2							○						
		C2B011	環境を考える	講義		2						○							
		C1B012	自然科学を学ぶ	講義		2					○								
	社会に対する理解	C1B013	動物のくらし	講義		2						○							4単位以上
		C1B014	現代社会と家族	講義		2						○							
		C2B015	現代社会と国際関係	講義		2							○						
		C1B016	現代社会と経済	講義		2							○						
		C1B017	札幌を学ぶ	講義		2						○							
		C2B018	ボランティア活動を考える	講義		2								○					
	外国語	C1B019	統計の世界	講義		2						○							8単位以上
C2B020		日本国憲法を学ぶ	講義		2							○							
C1B101		英語 I A	演習	1						○									
C1B102		英語 I B	演習	1							○								
C1B103		英語 I C	演習	1								○							
C1B104		英語 II A	演習	1								○							
C1B105		英語 II B	演習	1									○						
C1B106		英語 II C	演習	1										○					
C2B107		実践英語 A	演習		1								○						
C2B108		実践英語 B	演習		1									○					
C2B109		韓国語	演習		1										○				
コミュニケーション科目	C2B110	中国語	演習		1										○				
	C2B111	ロシア語	演習		1											○			
	C1B112	日本語表現法	演習		1						○								
	C1B113	プレゼンテーション	演習		1							○							
	C1B114	基礎カウンセリング	演習		1								○						
	C1B115	対人コミュニケーション	演習		1									○					
	C2B116	グループ・ダイナミクス	演習		1										○				
	C1B117	手話	演習		1											○			
	C1B118	情報リテラシー I	演習		1											○			
C1B119	情報リテラシー II	演習		1												○			
専門基礎科目	人間と命	N1B201	形態機能学 I	演習	2						○							5単位以上	
		N1B202	形態機能学 II	演習	2								○						
		N2B203	生命科学	講義		1								○					
		N2B204	生命倫理	講義		1									○				
		N2B205	環境保健	講義		1										○			
		N2B206	人間工学	講義		1											○		
	健康と健康障害と予防	N1B207	薬理学	講義	2									○					12単位
		N2B208	臨床薬理学	演習	1											○			
		N2B209	臨床栄養学	演習	1												○		
		N1B210	病理形態学	演習	2										○				
		N2B211	疾病治療学概論	演習	1											○			
		N2B212	疾病治療学 A	演習	1												○		
		N2B213	疾病治療学 B	演習	1												○		
		N2B214	疾病治療学 C	演習	1													○	
		N1B215	感染予防論	講義	2											○			
		N2B216	公衆衛生学	演習	1												○		
	保健と医療と福祉	N2B217	社会福祉学	講義	1												○		
		N2B218	家族社会学	講義		1												○	
		N2B219	チーム医療論	講義		1												○	
		N2B220	感染管理論	講義		1												○	
		N2B221	臨床心理学	講義		1												○	
		N1B222	地域保健学概論	講義	1									○					
		N3B223	保健医療福祉行政論 I	演習	1												○		
		N4B224	保健医療福祉行政論 II	演習		1												○	
		N3B225	保健統計	講義	2													○	
		N3B226	疫学 I	講義	1													○	
N4B227	疫学 II	講義		1												○			
N2B228	医療情報	演習	1													○			



区分	科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数				配当年次(◎は集中で開講)								卒業要件単位		
				必修	選択	保健師コース必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門教育科目	看護の基礎となるもの	N1B301	看護学原論	講義	1				○									7単位
		N1B302	看護理論	講義	1					○								
		N2B303	援助の人間関係論	演習	1						○							
		N1B304	人間発達援助論	演習	1				○									
		N1B305	看護初期実習	実習	1				◎									
		N2B306	看護倫理学	講義	1						○							
		N3B307	健康教育指導法	演習	1							○						
		N1B308	看護過程論	演習	1					○								
		N1B309	看護観察技術論	演習	1				○									
		N2B310	症状マネジメント論	演習	2					○								
		N1B311	基礎看護技術論	演習	2					○								
		N1B312	基礎看護学臨地実習 I	実習	1					◎								
		N2B313	基礎看護学臨地実習 II	実習	2						◎							
		N3B314	研究方法論	演習	1								○					
		N2B315	小児看護学概論	講義	1						○							
		N3B316	小児看護援助論	演習	1							○						
		N3B317	小児看護技術論	演習	1								○					
		N3B318	小児看護学臨地実習	実習	2								◎					
	N2B319	母性看護学概論	講義	1						○								
	N3B320	母性看護援助論	演習	1							○							
	N3B321	母性看護技術論	演習	1								○						
	N3B322	母性看護学臨地実習	実習	2								◎						
	N2B323	成人看護学概論	講義	1						○								
	N2B324	成人看護援助論	演習	1						○								
	N3B325	成人看護技術論	演習	1							○							
	N2B326	成人看護学臨地実習 I	実習	3						◎								
	N3B327	成人看護学臨地実習 II	実習	2							◎							
	N2B328	老年看護学概論	講義	1						○								
	N2B329	老年看護援助論	演習	1							○							
	N3B330	老年看護技術論	演習	1								○						
	N3B331	老年看護学臨地実習 I	実習	1								◎						
	N3B332	老年看護学臨地実習 II	実習	2								◎						
	N2B333	精神看護学概論	講義	1						○								
	N2B334	精神看護援助論	演習	1							○							
	N3B335	精神看護技術論	演習	1								○						
	N3B336	精神看護学臨地実習	実習	2								◎						
N2B337	在宅看護学概論	講義	1							○								
N2B338	在宅看護援助論	演習	1							○								
N3B339	在宅看護技術論	演習	1								○							
N3B340	在宅看護学臨地実習	実習	2								◎							
N3B341	リハビリテーション看護学	演習	1								○							
N2B342	がん看護学	演習	1							○								
N3B343	認知症ケア	演習	1								○							
N3B344	透析ケア	講義	1									○						
N3B345	重症集中ケア	講義	1									○						
N3B346	救急看護学	講義	1									○						
N3B347	放射線医療管理論	講義	1									○						
N4B348	ペリネイタルケア	講義	1										○					
N4B349	バリアティブケア	講義	1										○					
N4B350	寒冷地医療	講義	1										○					
N2B401	公衆衛生看護学概論	講義	1							○								
N3B402	公衆衛生看護援助論 I	演習	1									○						
N3B403	公衆衛生看護援助論 II	演習	1			1						○						
N4B404	公衆衛生看護技術論	演習	1			1						○						
N4B405	ヘルスプロモーション活動論	演習	1			1						○						
N4B406	公衆衛生看護学臨地実習 I	実習	2			2						◎						
N4B407	公衆衛生看護学臨地実習 II	実習	3			3						◎						
N4B408	看護管理学	演習	1										○					
N3B409	看護教育学	講義	1										○					
N4B410	卒業研究	演習	4										○	○				
N4B411	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3										◎	◎				
N4B412	公衆衛生看護管理論	講義	1			1							○					
N4B413	看護情報学	講義	1										○					
N4B414	災害看護学	講義	1										○					
N4B415	国際看護学	講義	1										○					
N4B416	国際保健学	講義	1										○					
N4B417	医療経営学	講義	1										○					
N4B418	医療安全管理論	講義	1										○					
N4B419	現代専門職論	講義	1										○					
N5B421	地域プロジェクト	演習	2			2	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
N5B423	地域プロジェクトI(基礎編)	演習	2			2	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
N5B424	地域プロジェクトII(応用編)	演習	2			2			○	○	○	○	○	○	○			
N5B425	地域プロジェクトIII(発展編)	演習	2			2				○	○	○	○	○	○			
N2B422	学部連携基礎論	講義	2							○								
N3B420	学部連携演習	演習	2										○					

注1) ◎は集中 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。
 注3) 単位数(選択)の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)
 注4) 開講時期(前期・後期)は変更になる場合があります。



2017年度（編入学生は2019年度）以降入学生用

区分	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数				配当年次（◎は集中で開講）								卒業 要件 単位			
				必修	選択	保健師 コース 必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次					
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
共通教育科目	導入科目	C1C000	スタートアップ演習	演習	2				○										2単位
	文化に 対する 理 解	C1C001	哲学と倫理	講義		2			○										4単位 以上
		C1C002	宗教と思想	講義		2				○									
		C1C003	芸術と文化	講義		2				○									
		C2C004	教育を考える	講義		2						○							
		C2C005	生活と文化	講義		2						○							
		C2C006	ジェンダーと文化	講義		2						○							
	人間と 自然に 対する 理 解	C1C007	心のしくみ	講義		2					○								4単位 以上
		C1C008	体のしくみ	講義		2			○										
		C1C009	人間関係を考える	講義		2			○										
		C2C010	健康とスポーツ	講義		2						○							
		C2C011	環境を考える	講義		2						○							
		C1C012	自然科学を学ぶ	講義		2			○										
	社会に 対する 理 解	C1C013	動物のくらし	講義		2				○									4単位 以上
		C1C014	現代社会と家族	講義		2				○									
		C2C015	現代社会と国際関係	講義		2					○								
		C1C016	現代社会と経済	講義		2					○								
		C1C017	札幌を学ぶ	講義		2			○										
		C2C018	ボランティア活動を考える	講義		2					○								
外国語	C1C101	英語 I A	演習	1				○										8単位 以上	
	C1C102	英語 I B	演習	1				○											
	C1C103	英語 I C	演習	1				○											
	C1C104	英語 II A	演習	1					○										
	C1C105	英語 II B	演習	1					○										
	C1C106	英語 II C	演習	1					○										
	C2C107	実践英語A	演習		1					○									
	C2C108	実践英語B	演習		1					○									
	C2C109	韓国語	演習		1						○								
	C2C110	中国語	演習		1						○								
	C2C111	ロシア語	演習		1						○								
コミュニ ケーション 科目	C1C112	日本語表現法	演習		1			○										4単位 以上	
	C1C113	プレゼンテーション	演習		1				○										
	C1C114	基礎カウンセリング	演習		1			○											
	C1C115	対人コミュニケーション	演習		1				○										
	C2C116	グループ・ダイナミックス	演習		1					○									
	C1C117	手話	演習		1					○									
	C1C118	情報リテラシー I	演習	1				○											
	C1C119	情報リテラシー II	演習	1					○										
人間と命	N1C201	形態機能学 I	演習		2			○										5単位 以上	
	N1C202	形態機能学 II	演習		2			○											
	N2C203	生命科学	講義		1					○									
	N2C204	生命倫理	講義		1					○									
	N2C205	環境保健	講義		1					○									
	N2C206	人間工学	講義		1					○									
健康と健康 障害と予防	N1C207	薬理学	講義		2				○									12単位	
	N2C208	臨床薬理学	演習		1					○									
	N2C209	臨床栄養学	演習		1					○									
	N1C210	病理病態学	演習		2				○										
	N2C211	疾病治療学概論	演習		1					○									
	N2C212	疾病治療学A	演習		1					○									
	N2C213	疾病治療学B	演習		1					○									
	N2C214	疾病治療学C	演習		1					○									
	N1C215	感染予防論	講義		2					○									
	保健と医 療と福祉	N2C216	公衆衛生学	演習		1					○								
N2C217		社会福祉学	講義		1						○								
N2C218		家族社会学	講義		1						○								
N2C219		チーム医療論	講義		1						○								
N2C220		感染管理論	講義		1						○								
N2C221		臨床心理学	講義		1						○								
N1C222		地域保健学概論	講義		1				○										
N3C223		保健医療福祉行政論 I	演習		1							○							
N4C224		保健医療福祉行政論 II	演習		1								○						
N3C225		保健統計	講義		2							○							
N3C226		疫学 I	講義		1							○							
N4C227	疫学 II	講義		1								○							
N2C228	医療情報	演習		1							○								



区分	科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数				配当年次 (◎は集中で開講)								卒業要件単位		
				必修	選択	保健師 コース 必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門教育科目	看護の基礎となるもの	N1C301	看護学原論	講義	1				○									7単位
		N1C302	看護理論	講義	1					○								
		N2C303	援助的人間関係論	演習	1							○						
		N1C304	人間発達援助論	演習	1				○									
		N1C305	看護初期実習	実習	1				◎									
		N2C306	看護倫理学	講義	1							○						
		N3C307	健康教育指導法	演習	1									○				
		N1C308	看護過程論	演習	1					○								
		N1C309	看護観察技術論	演習	1					○								
		N2C310	症状マネジメント論	演習	2						○							
		N1C311	基礎看護技術論	演習	2					○								
		N1C312	基礎看護学臨地実習 I	実習	1					◎								
		N2C313	基礎看護学臨地実習 II	実習	2						◎							
		N3C314	研究方法論	演習	1										○			
	N2C315	小児看護学概論	講義	1							○							
	N3C316	小児看護援助論	演習	1								○						
	N3C317	小児看護技術論	演習	1									○					
	N3C318	小児看護学臨地実習	実習	2										◎				
	N2C319	母性看護学概論	講義	1							○							
	N3C320	母性看護援助論	演習	1								○						
	N3C321	母性看護技術論	演習	1									○					
	N3C322	母性看護学臨地実習	実習	2										◎				
	N2C323	成人看護学概論	講義	1							○							
	N2C324	成人看護援助論	演習	1							○							
	N3C325	成人看護技術論	演習	1								○						
	N2C326	成人看護学臨地実習 I	実習	3							◎							
	N3C327	成人看護学臨地実習 II	実習	2									◎					
	N2C328	老年看護学概論	講義	1							○							
	N2C329	老年看護援助論	演習	1								○						
	N3C330	老年看護技術論	演習	1									○					
	N3C331	老年看護学臨地実習 I	実習	1									◎					
	N3C332	老年看護学臨地実習 II	実習	2										◎				
	N2C333	精神看護学概論	講義	1							○							
	N2C334	精神看護援助論	演習	1								○						
	N3C335	精神看護技術論	演習	1									○					
N3C336	精神看護学臨地実習	実習	2										◎					
N2C337	在宅看護学概論	講義	1								○							
N2C338	在宅看護援助論	演習	1								○							
N3C339	在宅看護技術論	演習	1									○						
N3C340	在宅看護学臨地実習	実習	2										◎					
N3C341	リハビリテーション看護学	演習	1									○						
N2C342	がん看護学	演習	1								○							
N3C343	認知症ケア	演習	1									○						
N3C344	透析ケア	講義	1		1								○					
N3C345	重症集中ケア	講義	1		1								○					
N3C346	救急看護学	講義	1		1								○					
N3C347	放射線医療管理論	講義	1		1								○					
N4C348	ペリネイタルケア	講義	1		1									○				
N4C349	バリアティブケア	講義	1		1									○				
N4C350	寒冷地医療	講義	1		1									○				
N2C401	公衆衛生看護学概論	講義	1							○								
N3C402	公衆衛生看護援助論 I	演習	1									○						
N3C403	公衆衛生看護援助論 II	演習			1								○					
N4C404	公衆衛生看護技術論	演習			1									○				
N4C405	ヘルスプロモーション活動論	演習		1										○				
N4C406	公衆衛生看護学臨地実習 I	実習			2									◎				
N4C407	公衆衛生看護学臨地実習 II	実習			3									◎				
N4C408	看護管理学	演習	1											○				
N3C409	看護教育学	講義	1										○					
N4C410	卒業研究	演習	4											○				
N4C411	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3											◎				
N4C412	公衆衛生看護管理論	講義			1									○				
N4C413	看護情報学	講義		1										○				
N4C414	災害看護学	講義		1										○				
N4C415	国際看護学	講義		1										○				
N4C416	国際保健学	講義		1										○				
N4C417	医療経営学	講義		1										○				
N4C418	医療安全管理論	講義		1										○				
N4C419	現代専門職論	講義		1										○				
N5C423	地域プロジェクトI (基礎編)	演習			2	○	○	○	○									
N5C424	地域プロジェクトII (応用編)	演習			2	○	○	○	○	○	○	○	○					
N5C425	地域プロジェクトIII (発展編)	演習			2					○	○	○	○					
N2C422	学部連携基礎論	講義	2							○								
N3C420	学部連携演習	演習	2										○					

注1) ◎は集中 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。
 注3) 単位数 (選択) の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)
 注4) 開講時期 (前期・後期) は変更になる場合があります。



② 卒業要件

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	10	16	26
専門教育科目	93	7	100
(専門基礎科目)	(24)	(2)	(26)
(専門科目)	(69)	(5)	(74)
合 計	103	23	126

3) 教育活動

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
形態機能学Ⅰ	演習・60時間	1年次前期	★高野 廣子
形態機能学Ⅱ	演習・60時間	1年次前期	★高野 廣子
地域保健学概論	講義・15時間	1年次前期	◎喜多 歳子 本田 光
看護学原論	講義・15時間	1年次前期	◎定廣和香子 佐藤ひとみ 檜山 明子
人間発達援助論	演習・30時間	1年次前期	◎小田 和美 荒木 奈緒 松浦 和代 貝谷 敏子 守村 洋
看護初期実習	実習・45時間	1年次前期	◎藤井 瑞恵 大野 夏代 神島 滋子 菅原 美樹 本田 光 村松 真澄 守村 洋 伊東健太郎 工藤 京子 高橋 奈美 武富貴久子 原井 美佳 檜山 明子 矢野祐美子 山本真由美
看護観察技術論	演習・30時間	1年次前期	◎檜山 明子 大野 夏代 武富貴久子 鬼塚 美玲 渋谷 友紀
薬理学	講義・30時間	1年次後期	★松本真知子
病理病態学	演習・60時間	1年次後期	◎★鳥越 俊彦 ★廣橋 良彦 ★塚原 智英 ★金関 貴幸 ★久保 輝文 ★村田 憲司
感染予防論	講義・30時間	1年次後期	★永坂 敦
看護理論	講義・15時間	1年次後期	◎定廣和香子 檜山 明子
看護過程論	演習・30時間	1年次後期	◎武富貴久子 大野 夏代 檜山 明子 渋谷 友紀
基礎看護技術論	演習・60時間	1年次後期	◎大野 夏代 樋之津淳子 武富貴久子 檜山 明子 矢野祐美子 渋谷 友紀
基礎看護学臨地実習Ⅰ	実習・45時間	1年次後期	◎武富貴久子 定廣和香子 樋之津淳子 大野 夏代 檜山 明子 石引かずみ 大友 舞 鬼塚 美玲 近藤 圭子 齋 若奈 渋谷 友紀 田中 純 田仲 里江 中田亜由美 高橋 葉子
地域プロジェクトⅠ (基礎編)	演習・60時間	1・2年次 通年	◎若林 尚樹 藤井 瑞恵
生命科学	講義・15時間	2年次前期	★鈴木 健史
生命倫理	講義・15時間	2年次前期	★村上 友一



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
環境保健	講義・15時間	2年次前期	★齋藤 健
人間工学	講義・15時間	2年次前期	◎檜山 明子 樋之津淳子 ★佐藤 秀一
臨床栄養学	演習・30時間	2年次前期	★高野 良子
疾病治療学概論	演習・30時間	2年次前期	◎★高野 廣子 ★檀上 渉
疾病治療学A	演習・30時間	2年次前期	◎★和田 典男 他
疾病治療学B	演習・30時間	2年次前期	◎★永坂 敦 他
公衆衛生学	演習・30時間	2年次前期	◎★高橋 恭子 ★廣田 洋子
家族社会学	講義・15時間	2年次前期	◎丸山 洋平 小田 和美 松浦 和代
医療情報	演習・30時間	2年次前期	◎★小笠原克彦 ★遠藤 晃 ★谷 祐児
症状マネジメント論	演習・60時間	2年次前期	◎藤井 瑞恵 貝谷 敏子 川村三希子 神島 滋子 菅原 美樹 村松 真澄 工藤 京子 柏倉 大作 齋 若奈
基礎看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	2年次前期	◎大野 夏代 定廣和香子 樋之津淳子 武富貴久子 檜山 明子 石引かずみ 大友 舞 鬼塚 美玲 柏倉 大作 近藤 圭子 渋谷 友紀 田中 純 田仲 里江 中田亜由美 高橋 葉子
成人看護学概論	講義・15時間	2年次前期	◎小田 和美 卯野木 健 川村三希子
成人看護援助論	講義・30時間	2年次前期	◎神島 滋子 小田 和美 菅原 美樹 藤井 瑞恵 工藤 京子 柏倉 大作 齋 若奈
老年看護学概論	講義・15時間	2年次前期	貝谷 敏子
精神看護学概論	講義・15時間	2年次前期	守村 洋
学部連携基礎論	講義・30時間	2年次前期	◎喜多 歳子 貝谷 敏子 原井 美佳 ◎若林 尚樹 椎野亜紀夫 小宮加容子 福田 大年 松永 康佑
臨床薬理学	演習・30時間	2年次後期	◎★後藤 仁和 ★川本由加里 ★加納 宏樹
疾病治療学C	演習・30時間	2年次後期	◎★三澤 一仁 他
社会福祉学	講義・15時間	2年次前期	★新田 雅子
チーム医療論	講義・15時間	2年次後期	◎矢野祐美子 佐藤ひとみ
感染管理論	講義・15時間	2年次後期	◎貝谷 敏子 卯野木 健 牧田 靖子 ★土佐理恵子
臨床心理学	講義・15時間	2年次後期	◎守村 洋 ★菊池 浩光
援助の人間関係論	演習・30時間	2年次後期	◎守村 洋 藤井 瑞恵 伊東健太郎 渋谷 友紀
看護倫理学	講義・15時間	2年次後期	◎荒木 奈緒 檜山 明子
小児看護学概論	講義・15時間	2年次後期	松浦 和代
母性看護学概論	講義・15時間	2年次後期	荒木 奈緒



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
成人看護学臨地実習 I	実習・ 135時間	2年次後期	◎工藤 京子 卯野木 健 小田 和美 川村三希子 神島 滋子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 大友 舞 鬼塚 美玲 近藤 圭子 齋 若奈 渋谷 友紀 田仲 里江 中田亜由美 高橋 葉子
老年看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎村松 真澄 原井 美佳 中田亜由美 ★前沢 政次
精神看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎伊東健太郎 ★松原 良次 ★松永 力
在宅看護学概論	講義・15時間	2年次後期	菊地ひろみ
在宅看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎高橋 奈美 菊地ひろみ ★石谷 夕子 ★松田 諭
がん看護学	演習・30時間	2年次後期	◎川村三希子 松浦 和代 齋 若奈 ★松田 夕香
公衆衛生看護学概論	講義・15時間	2年次後期	◎喜多 歳子 本田 光
地域プロジェクトⅡ (応用編)	演習・60時間	2・3・4年次 通年	◎若林 尚樹 藤井 瑞恵
保健医療福祉行政論Ⅰ	演習・30時間	3年次前期	◎田仲 里江 本田 光 守村 洋 矢野祐美子 近藤 圭子
保健統計	講義・30時間	3年次前期	◎★榎 洋一
疫学Ⅰ	講義・15時間	3年次前期	★池野多美子
小児看護援助論	演習・30時間	3年次前期	◎牧田 靖子 松浦 和代 田中 純 ★佐野 仁美 ★水島 正人
母性看護援助論	演習・30時間	3年次前期	◎山本真由美 石引かずみ ★菅原 照夫
成人看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎柏倉 大作 卯野木 健 小田 和美 川村三希子 神島 滋子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 工藤 京子 齋 若奈
成人看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	3年次前期	◎菅原 美樹 卯野木 健 小田 和美 川村三希子 神島 滋子 藤井 瑞恵 工藤 京子 柏倉 大作 齋 若奈
老年看護学臨地実習Ⅰ	実習・45時間	3年次前期	◎原井 美佳 貝谷 敏子 村松 真澄 中田亜由美
精神看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎伊東健太郎 守村 洋
精神看護学臨地実習	実習・90時間	3年次前期	◎伊東健太郎 守村 洋
在宅看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎高橋 奈美 菊地ひろみ ★鈴木 英樹 ★御厩美登里
在宅看護学臨地実習	実習・90時間	3年次前期	◎高橋 奈美 菊地ひろみ
リハビリテーション 看護学	演習・30時間	3年次前期	◎神島 滋子 柏倉 大作 ★山中 康裕 ★石井 陽史
認知症ケア	演習・30時間	3年次前期	◎村松 真澄 貝谷 敏子 原井 美佳
健康教育指導法	演習・30時間	3年次後期	◎田仲 里江 近藤 圭子
研究方法論	演習・30時間	3年次後期	◎貝谷 敏子 神島 滋子 檜山 明子 ★平 紀子



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
小児看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎牧田 靖子 松浦 和代 田中 純 ★能登奈々枝
小児看護学臨地実習	実習・90時間	3年次後期	◎牧田 靖子 松浦 和代 田中 純
母性看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎石引かづみ 山本真由美 大友 舞
母性看護学臨地実習	実習・90時間	3年次後期	◎山本真由美 荒木 奈緒 石引かづみ 大友 舞
老年看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎原井 美佳 貝谷 敏子 村松 真澄 中田亜由美
老年看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	3年次後期	◎村松 真澄 貝谷 敏子 原井 美佳 中田亜由美
透析ケア	講義・15時間	3年次後期	◎藤井 瑞恵 ★木村 剛 ★宮腰 麻矢
重症集中ケア	講義・15時間	3年次後期	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★高橋 正浩
救急看護学	講義・15時間	3年次後期	◎菅原 美樹 卯野木 健 ★三上 剛人
放射線医療管理論	講義・15時間	3年次後期	◎★池田 光 ★神島 保
公衆衛生看護援助論Ⅰ	演習・30時間	3年次後期	◎近藤 圭子 本田 光 田仲 里江
公衆衛生看護援助論Ⅱ	演習・30時間	3年次後期	◎本田 光 近藤 圭子 田仲 里江
看護教育学	講義・15時間	3年次後期	◎定廣和香子 檜山 明子
学部連携演習	演習・60時間	3年次後期	◎卯野木 健 小田 和美 佐藤ひとみ 神島 滋子 伊東健太郎 工藤 京子 高橋 奈美 武富貴久子 原井 美佳 渋谷 友紀 中田亜由美 ◎柿山浩一郎 藤木 淳 三谷 篤史 小林 重人 森 朋子 横溝 賢 石田 勝也 大島 卓 須之内元洋 矢久保空遥
地域プロジェクトⅢ (発展編)	演習・60時間	3・4年次 通年	◎若林 尚樹 藤井 瑞恵
ペリネイタルケア	講義・15時間	4年次前期	◎黒田 紀子 田仲 里江
パリアティブケア	講義・15時間	4年次前期	◎川村三希子
寒冷地医療	講義・15時間	4年次前期	◎原井 美佳 ★前沢 政次
公衆衛生看護技術論	演習・30時間	4年次前期	◎近藤 圭子 田仲 里江
ヘルスプロモーション活動論	演習・30時間	4年次前期	◎本田 光 近藤 圭子 田仲 里江
公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ	実習・90時間	4年次前期	◎田仲 里江 喜多 歳子 本田 光 近藤 圭子
公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ	実習・ 135時間	4年次前期	◎本田 光 喜多 歳子 近藤 圭子 田仲 里江
看護管理学	演習・30時間	4年次前期	◎佐藤ひとみ 矢野祐美子 鬼塚 美玲
看護情報学	講義・15時間	4年次前期	佐藤ひとみ
災害看護学	講義・15時間	4年次前期	◎矢野祐美子 本田 光 鬼塚 美玲 近藤 圭子 田仲 里江 ★浅井 康文
国際看護学	講義・15時間	4年次前期	大野 夏代
国際保健学	講義・15時間	4年次前期	★千葉 逸朗



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
医療経営学	講義・15時間	4年次前期	◎佐藤ひとみ 矢野祐美子 鬼塚 美玲 ★勝見 真澄
医療安全管理論	講義・15時間	4年次前期	◎佐藤ひとみ 檜山 明子 矢野祐美子 鬼塚 美玲
現代専門職論	講義・15時間	4年次前期	◎樋之津淳子 佐藤ひとみ ★上田 順子 ★釣部 公映 ★木村 禎 ★田中 聖美
保健医療福祉行政論Ⅱ	演習・30時間	4年次後期	◎本田 光子 近藤 圭子 田仲 里江
疫学Ⅱ	講義・15時間	4年次後期	喜多 歳子
ヘルスケアマネジメント実習	実習・ 135時間	4年次後期	◎矢野祐美子 佐藤ひとみ 大野 夏代 神島 滋子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 村松 真澄 守村 洋 伊東健太郎 工藤 京子 高橋 奈美 武富貴久子 原井 美佳 檜山 明子 鬼塚 美玲
公衆衛生看護管理論	講義・15時間	4年次後期	◎本田 光 喜多 歳子
卒業研究	演習・ 120時間	4年次通年	◎小田 和美 荒木 奈緒 卯野木 健 貝谷 敏子 川村三希子 菊地ひろみ 喜多 歳子 定廣和香子 佐藤ひとみ 樋之津淳子 松浦 和代 大野 夏代 神島 滋子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 本田 光 村松 真澄 守村 洋 伊東健太郎 工藤 京子 黒田 紀子 高橋 奈美 武富貴久子 原井 美佳 檜山 明子 矢野祐美子 山本真由美 鬼塚 美玲 柏倉 大作 近藤 圭子 齋 若奈 渋谷 友紀 田中 純 田仲 里江 中田亜由美 牧田 靖子

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



4) 実習概要

※機関種別

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
看護初期実習※	2020年6月9日～11日 (すべて学内演習)	医療機関	0名
		老人福祉センター	0名
		健診センター、その他	0名
基礎看護学臨地実習Ⅰ	2020年10月12日～16日	医療機関	231名
基礎看護学臨地実習Ⅱ※	2020年5月25日～6月5日 (すべて学内演習)	医療機関	0名
成人看護学臨地実習Ⅰ	2020年10月26日～11月13日	医療機関	470名
老年看護学臨地実習Ⅰ※	2020年5月11日～15日 (すべて学内演習)	老人福祉センター	0名
		介護老人保健施設	0名
		老人クラブ	0名
成人看護学臨地実習Ⅱ※	2020年6月22日～7月31日 (すべて学内演習)	医療機関	0名
精神看護学臨地実習※	2020年6月22日～7月31日 (すべて学内演習)	医療機関	0名
		社会福祉施設	0名
在宅看護学臨地実習※	2020年6月22日～7月31日 (すべて学内演習)	医療機関	0名
		訪問看護ステーション	0名
		地域包括支援センター・居宅介護支援事業所	0名
母性看護学臨地実習	2020年11月23日 ～2021年1月29日 (すべて学内演習)	医療機関	0名
小児看護学臨地実習	2020年11月23日 ～2021年1月29日 (すべて学内演習)	医療機関	0名
		保育所	0名
老年看護学臨地実習Ⅱ	2020年11月23日 ～2021年1月29日 (すべて学内演習)	医療機関	0名
		介護老人保健施設	0名
公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ・Ⅱ※	2020年6月15日～7月31日 (すべて学内演習)	保健所・保健センター	0名
		事業所	0名
		教育機関	0名
ヘルスケアマネジメント実習	2020年9月23日～10月16日	医療機関	1,028名
		介護老人保健施設	48名

※以下の実習は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に係り、実習施設での実習からすべて学内演習に変更。

看護初期実習、基礎看護学臨地実習Ⅱ、老年看護学臨地実習Ⅰ、成人看護学臨地実習Ⅱ、精神看護学臨地実習、在宅看護学臨地実習、公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ・Ⅱ、母性看護学臨地実習、小児看護学臨地実習、老年看護学臨地実習Ⅱ



5 デザイン研究科

1) 2020年度時間割

① 前期

		月		火	水	木		金	土
		芸森キャンパス		芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス		芸森キャンパス	桑園キャンパス
		博士前期1年生	博士後期課程	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期2年生	博士前期1年生	博士前期1年生
1	9:00 ～ 10:30			認知・感性 科学特論					コミュニケー ション特論
2	10:40 ～ 12:10			メカトロニ クス特論		製品造形特論			国際関係 特論
3	13:10 ～ 14:40	環境共生 デザイン特論		製品デザイ ン特論		形状情報処 理特論			少子高齢 社会特論
4	14:50 ～ 16:20	環境マネジ メント特論		景観デザイ ン特論		インタラク ションデザ イン特論		地域創成デ ザイン特別 セミナーB	連携プロジェ クト演習
5	16:30 ～ 18:00	建築計画特論		インターシッ プ I(事前講義) インターシッ プ II(事前講義)	建築構造デ ザイン特論	地域創成デ ザイン特別 セミナーA			
6	18:10 ～ 19:40		人間空間デ ザイン研究法 人間情報デ ザイン研究法	デザイン特論	メディアプロ デュース特論		地域プロジェ クト演習	デザイン 研究法	
7	19:50 ～ 21:20								

※デザイン特別演習、特別研究、横断型連携特別演習、博士デザイン特別演習および博士特別研究Ⅰ～Ⅲの開講時期は担当教員により異なる。

② 後期

		月		火	水	木		金	土
		芸森キャンパス		芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス		芸森キャンパス	桑園キャンパス
		博士前期1年生	博士後期課程	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期1年生		博士前期1年生	博士前期1年生
1	9:00 ～ 10:30					インタフェースデザイン 特論	建築環境学 特論	健康福祉 政策特論	
2	10:40 ～ 12:10	ビジュアル デザイン特論		製品評価特論		コンピューショナル・ アート特論	デザインマネ ジメント特論	地域経済 政策特論	
3	13:10 ～ 14:40	地域ブランド 構築特論				映像デザイン特論		ヒューマニ ティ特論	
4	14:50 ～ 16:20	日本建築史 特論						連携プロジェ クト演習	
5	16:30 ～ 18:00	地域環境 評価特論				感性価値特論			
6	18:10 ～ 19:40	現代芸術特論	人間空間デ ザイン特講 人間情報デ ザイン特講						
7	19:50 ～ 21:20								



2) カリキュラム

① 授業科目一覧・履修モデル
＜博士前期課程＞

2018年度入学生用

科目区分	授業科目の名称	科目ナンバリング	配当年次(時期)	単位数			空間デザイン分野		製品デザイン分野		コンテンツ・メディアデザイン分野		備考
				必修	選択	自由	建築デザイン	環境デザイン	プロダクトデザイン	インタフェースデザイン	コンテンツ制作	メディア展開	
研究科連携科目	国際関係特論	C5C701	1・2 前期		2								
	少子高齢社会特論	C5C702	1・2 前期		2			△	△				
	健康福祉政策特論	C5C703	1・2 後期		2								
	地域経済政策特論	C5C704	1・2 後期		2		△					△	
	ヒューマニティ特論	C5C705	1・2 後期		2								
	コミュニケーション特論	C5C706	1・2 前期		2					△	△		
	連携プロジェクト演習	C1C701	1 通年		2		△	△	△	△	△	△	
	小計(7科目)		—	-	14	-	4	4	4	4	4	4	4単位以上
基本科目	デザイン特論	D1C801	1 前期	2			◎	◎	◎	◎	◎		
	デザイン研究法	D1C802	1 前期		2			△	△	△	△		
	デザインマネジメント特論	D1C803	1 前期		2		△		△		△		
	小計(3科目)		—	2	4	-	4	4	4	4	4	4	4単位以上
専門教育科目	建築計画特論	D5C801	1・2 前期		2		△■						
	建築環境学特論	D5C802	1・2 後期		2		△■						
	建築構造デザイン特論	D5C803	1・2 前期		2		△■						
	日本建築史特論	D5C804	1・2 後期		2		△						
	景観デザイン特論	D5C805	1・2 前期		2			△					
	地域環境評価特論	D5C806	1・2 後期		2			△					
	環境共生デザイン特論	D5C807	1・2 前期		2		△■	△					
	環境マネジメント特論	D5C808	1・2 前期		2			△	△				
	製品造形特論	D5C831	1・2 前期		2				△				
	製品評価特論	D5C832	1・2 後期		2				△	△			
	メカトロニクス特論	D5C833	1・2 前期		2				△	△			
	インタフェースデザイン特論	D5C834	1・2 後期		2					△			
	製品デザイン特論	D5C835	1・2 前期		2				△				
	感性価値特論	D5C836	1・2 後期		2					△			
	認知・感性科学特論	D5C861	1・2 前期		2					△	△		
	インタラクションデザイン特論	D5C862	1・2 前期		2						△	△	
	形状情報処理特論	D5C863	1・2 前期		2						△	△	
	映像デザイン特論	D5C864	1・2 後期		2						△	△	
	ビジュアルデザイン特論	D5C865	1・2 後期		2							△	
	コンピュータショナル・アート特論	D5C866	1・2 後期		2						△		
	現代芸術特論	D5C867	1・2 後期		2							△	
	メディアプロデュース特論	D5C868	1・2 前期		2							△	
	地域ブランド構築特論	D5C869	1・2 後期		2				△			△	
	デザイン特別演習	D1C804	1 前・後	2			◎■	◎	◎	◎	◎	◎	
小計(24科目)		—	2	46	-	12	12	12	12	12	12	12単位以上	
実践科目	地域プロジェクト演習	D2C801	2 前期	2			◎■	◎	◎	◎	◎	◎	
	地域創成デザイン特別セミナーA	D5C891	1・2 前期		2							△	
	地域創成デザイン特別セミナーB	D5C892	1・2 前期		2					△	△		
	インターンシップI	D5C893	1・2 集中		2		△■	△	△				
	インターンシップII	D5C894	1・2 集中			4	△■						
	小計(5科目)		—	2	6	4	8	4	4	4	4	4	4単位以上
修了研究	特別研究	D5C899	1~2 通年	6	-	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	小計(1科目)		—	6	-	-	6	6	6	6	6	6	6単位
合計(40科目)			—	12	70	4	34	30	30	30	30	30	

◎: 必修科目 △: 推奨される選択科目

■は一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な指定科目(8科目・18単位からインターンシップIIを含む16単位以上の履修が必要となります)

※「建築・環境デザイン」履修モデルは一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な科目の取得を想定しているため、合計単位数が34単位となっています。



2019年度以降入学生用

科目区分	授業科目の名称	科目ナンバリング	配当年次(時期)	単位数			人間空間デザイン分野		人間情報デザイン分野	
				必修	選択	自由	履修モデル名		履修モデル名	
							建築・環境デザイン	地域コミュニケーションデザイン	ものづくりデザイン	情報コミュニケーションデザイン
							研究テーマ例		研究テーマ例	
研究科連携科目	国際関係特論	C5D701	1・2 前		2			△	(△)	
	少子高齢社会特論	C5D702	1・2 前		2		(△)	(△)		
	健康福祉政策特論	C5D703	1・2 後		2					
	地域経済政策特論	C5D704	1・2 後		2		△	(△)		
	ヒューマニティ特論	C5D705	1・2 後		2			(△)	(△)	
	コミュニケーション特論	C5D706	1・2 前		2		(△)	△	(△) △	
	連携プロジェクト演習	C1D701	1 通		2		△	△	△	
	小計(7科目)		-	-	14	-	4単位以上			
基本科目	デザイン特論	D1D801	1 前	2			◎	◎	◎	◎
	デザイン研究法	D1D802	1 前		2		△	(△)	△	(△)
	デザインマネジメント特論	D1D803	1 後		2		(△)	△	(△)	△
	小計(3科目)		-	2	4	-	4単位以上			
専門教育科目	建築計画特論	D5D801	1・2 前		2		△■	(△)	(△)	
	建築環境学特論	D5D802	1・2 後		2		△■	(△)	(△)	
	建築構造デザイン特論	D5D803	1・2 前		2		△■			
	日本建築史特論	D5D804	1・2 後		2		(△)			
	景観デザイン特論	D5D805	1・2 前		2		△	(△)		
	地域環境評価特論	D5D806	1・2 後		2		(△)	△		
	環境共生デザイン特論	D5D807	1・2 前		2		△■	(△)		
	環境マネジメント特論	D5D808	1・2 前		2		(△)	△		(△)
	現代芸術特論	D5D809	1・2 後		2		(△)	△		
	メディアプロデュース特論	D5D810	1・2 前		2			△		(△)
	地域ブランド構築特論	D5D811	1・2 後		2			△		
	製品造形特論	D5D841	1・2 前		2				(△)	
	製品評価特論	D5D842	1・2 後		2				△	(△)
	メカトロニクス特論	D5D843	1・2 前		2				△	(△)
	インタフェースデザイン特論	D5D844	1・2 後		2			(△)	△	(△)
	製品デザイン特論	D5D845	1・2 前		2				△	(△)
	感性価値特論	D5D846	1・2 後		2			(△)	(△)	△
	認知・感性科学特論	D5D847	1・2 前		2		(△)		(△)	△
	インタラクションデザイン特論	D5D848	1・2 前		2				△	△
	形状情報処理特論	D5D849	1・2 前		2				(△)	
	映像デザイン特論	D5D850	1・2 後		2				(△)	△
	ビジュアルデザイン特論	D5D851	1・2 後		2				(△)	(△)
	コンピュータショナル・アート特論	D5D852	1・2 後		2		(△)		(△)	△
	デザイン特別演習	D1D804	1 前・後	2			◎■	◎	◎	◎
	小計(24科目)		-	2	46	-	12単位以上			
実践科目	地域プロジェクト演習	D2D801	2 前	2			◎■	◎	◎	◎
	地域創成デザイン特別セミナーA	D5D891	1・2 前		2			△		
	地域創成デザイン特別セミナーB	D5D892	1・2 前		2					△
	インターンシップI	D5D893	1・2 集中		2		△■		△	
	インターンシップII	D5D894	1・2 集中		4		△■			
	小計(5科目)		-	2	6	4	4単位以上			
修了研究	特別研究	D5D899	1-2 通	6	-	-	◎	◎	◎	◎
	小計(1科目)		-	6	-	-	6単位			
	合計(40科目)		-	12	70	4	30単位以上			

◎：必修科目 △：推奨される選択科目 (△)：選択科目の組み合わせ候補(研究課題によって選択)
 ■：一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な指定科目(8科目・18単位からインターンシップIIを含む16単位以上の履修が必要となります)
 ※「建築・環境デザイン」履修モデルは一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な科目の取得を想定しているため、合計単位数が34単位となっています。

< 博士後期課程 >

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
基本科目	横断型連携特別演習	1通年		2				○	
	人間空間デザイン研究法	1前期			2		○		
	人間情報デザイン研究法	1前期			2		○		
	小計(3科目)		-	2	4	0	-		
展開科目	人間空間デザイン特講	1後期			2		○		
	人間情報デザイン特講	1後期			2		○		
	博士デザイン特別演習	2前期		2				○	
	小計(3科目)		-	2	4	0	-		
研究指導科目	博士特別研究I	1通年		2				○	
	博士特別研究II	2通年		2				○	
	博士特別研究III	3通年		4				○	
	小計(3科目)		-	8	0	0	-		
	合計(9科目)		-	12	8	0	-		



② 修了要件

< 博士前期課程 >

科目区分		修了要件	
研究科連携科目		4単位以上	
専門教育科目	基本科目	4単位以上	
	展開科目	人間空間デザイン分野	12単位以上
		人間情報デザイン分野	
	実践科目	4単位以上	
修了研究	6単位		
合計		30単位以上	

「研究科連携科目」から4単位以上、「基本科目」から4単位以上(必修2単位を含む)、「展開科目」から12単位以上(必修2単位を含む)、「実践科目」から4単位以上(必修2単位を含む)、「特別研究」を6単位、合計30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文等の審査に合格したものに学位を授与する。

< 博士後期課程 >

科目区分	修了要件
基本科目	4単位以上
展開科目	4単位以上
研究指導科目	8単位以上
合計	16単位以上

「基本科目」から4単位以上(必修2単位を含む)、「展開科目」から4単位以上(必修2単位を含む)、「研究指導科目」から8単位、合計16単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査に合格したものに学位を授与する。

3) 教育活動

< 博士前期課程 >

研究科連携科目

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
国際関係特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎スーディ神崎和代 石井 雅博 安齋 利典 張 浦華 ★千葉 逸朗
少子高齢社会特論	講義・30時間	1・2年次前期	丸山 洋平
コミュニケーション特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎町田佳世子 石井 雅博 柿山浩一郎 三谷 篤史 山田 信博 片山めぐみ
健康福祉政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎守村 洋 喜多 歳子 本田 光 ★大久保一郎 ★塚本 容子
地域経済政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	★森 邦恵
ヒューマニティ特論	講義・30時間	1・2年次後期	松井 美穂
連携プロジェクト演習	演習・30時間	1年次通年	◎石井 雅博 藤木 淳 若林 尚樹 森 朋子 荒木 奈緒 本田 光 檜山 明子

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



専門教育科目

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
デザイン特論	講義・30時間	1年次前期	◎藤木 淳 柿山浩一郎 椎野亜紀夫 三谷 篤史 山田 良 小林 重人 森 朋子 山田 信博 横溝 賢 大島 卓 片山めぐみ 金 秀敬 松永 康佑
デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎椎野亜紀夫 柿山浩一郎 町田佳世子
デザインマネジメント特論	講義・30時間	1年次後期	◎安齋 利典 ★及川 雅稔 ★近藤 公彦 ★高橋 尚基
建築計画特論	講義・30時間	1・2年次前期	山田 信博
建築環境学特論	講義・30時間	1・2年次後期	齊藤 雅也
建築構造デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	★渡邊 和之
日本建築史特論	講義・30時間	1・2年次後期	★羽深 久夫
景観デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	椎野亜紀夫
地域環境評価特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎森 朋子 ★矢部 和夫
環境共生デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	山田 良
環境マネジメント特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎片山めぐみ 大島 卓
製品造形特論	講義・30時間	1・2年次前期	★石崎 友紀
製品評価特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎柿山浩一郎 張 浦華
メカトロニクス特論	講義・30時間	1・2年次前期	三谷 篤史
インタフェースデザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	若林 尚樹
製品デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	安齋 利典
感性価値特論	講義・30時間	1・2年次後期	金 秀敬
認知・感性科学特論	講義・30時間	1・2年次前期	石井 雅博
インタラクションデザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	細谷 多聞
形状情報処理特論	講義・30時間	1・2年次前期	★城間 祥之
映像デザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	松永 康佑
ビジュアルデザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	横溝 賢
コンピューショナル・アート特論	講義・30時間	1・2年次後期	藤木 淳
現代芸術特論	講義・30時間	1・2年次後期	★上遠野 敏
メディアプロデュース特論	講義・30時間	1・2年次前期	★久保 俊哉
地域ブランド構築特論	講義・30時間	1・2年次後期	小林 重人
デザイン特別演習	演習・30時間	1年次 前期・後期	◎石井 雅博 細谷 多聞 安齋 利典 柿山浩一郎 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 藤木 淳 三谷 篤史 山田 良 若林 尚樹 小林 重人 張 浦華 森 朋子 山田 信博 横溝 賢 金 秀敬
地域プロジェクト演習	演習・30時間	2年次前期	◎石井 雅博 柿山浩一郎 齊藤 雅也 藤木 淳 三谷 篤史 山田 良 若林 尚樹 山田 信博 金 秀敬 松永 康佑



地域創成デザイン特別セミナー A	演習・30時間	1・2年次前期	◎齊藤 雅也 山田 良
地域創成デザイン特別セミナー B	演習・30時間	1・2年次前期	◎安齋 利典 石井 雅博 柿山浩一郎 三谷 篤史
インターンシップ I	実習・90時間	1・2年次集中	◎齊藤 雅也 椎野亜紀夫 山田 良 森 朋子 山田 信博 横溝 賢 大島 卓 片山めぐみ
インターンシップ II	実習・180時間	1・2年次集中	◎齊藤 雅也 椎野亜紀夫 森 朋子 山田 信博 大島 卓
特別研究	演習・90時間	1~2年次通年	◎石井 雅博 細谷 多聞 安齋 利典 柿山浩一郎 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 藤木 淳 三谷 篤史 山田 良 若林 尚樹 小林 重人 張 浦華 森 朋子 山田 信博 横溝 賢 金 秀敬

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

< 博士後期課程 >

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
人間空間デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎椎野亜紀夫 齊藤 雅也
人間情報デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎三谷 篤史 石井 雅博 細谷 多聞
横断型連携特別演習	演習・30時間	1年次通年	◎柿山浩一郎 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 藤木 淳 三谷 篤史 丸山 洋平 山田 信博
人間空間デザイン特講	講義・30時間	1年次後期	◎山田 良 山田 信博
人間情報デザイン特講	講義・30時間	1年次後期	◎藤木 淳 安齋 利典 柿山浩一郎
博士デザイン特別演習	演習・30時間	2年次前期	石井 雅博 細谷 多聞 安齋 利典 柿山浩一郎 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 藤木 淳 三谷 篤史 山田 良 小林 重人 森 朋子 山田 信博
博士特別研究 I	演習・30時間	1年次通年	石井 雅博 細谷 多聞 安齋 利典 柿山浩一郎 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 藤木 淳 三谷 篤史 山田 良 小林 重人 森 朋子 山田 信博
博士特別研究 II	演習・30時間	2年次通年	石井 雅博 細谷 多聞 安齋 利典 柿山浩一郎 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 藤木 淳 三谷 篤史 山田 良 小林 重人 森 朋子 山田 信博
博士特別研究 III	演習・60時間	3年次通年	石井 雅博 細谷 多聞 安齋 利典 柿山浩一郎 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 藤木 淳 三谷 篤史 山田 良 小林 重人 森 朋子 山田 信博



6 看護学研究科

1) 2020年度時間割

<博士前期課程>

①1年次

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ~ 10:30						
2	10:40 ~ 12:10						
3	13:10 ~ 14:40						
4	14:50 ~ 16:20	看護理論特論	看護コンサル テーション特論	看護研究法特論	寒冷地生活支援 看護学特論 がん看護・緩和 ケア特論	看護専門職教育特論 小児看護学特論A	在宅看護学特論C 小児看護学特論E クリティカルケア 看護学特論 がん看護学援助特論 精神看護学特論C
5	16:30 ~ 18:00	地域生活看護学特論 母子看護学特論 成人看護学特論 精神看護学特論A 看護技術学特論I 看護教育・看護 マネジメント学特論	老年看護学特論 在宅看護学特論A・B 地域看護学特論 小児看護学特論B 母性看護学特論 慢性期看護学特論 がん看護学特論 精神看護学特論B 看護技術学特論II 看護教育学特論 看護マネジメント 学特論	看護管理学特論	家族看護学特論 小児看護学特論C がん薬物療法看護 特論 精神看護学特論D	看護倫理学特論	継続教育特論
		急性期看護学特論					
6	18:10 ~ 19:40	地域生活看護学特論 母子看護学特論 成人看護学特論 精神看護学特論A 看護技術学特論I 看護教育・看護 マネジメント学 特論	老年看護学特論 在宅看護学特論A・B 地域看護学特論 小児看護学特論B 母性看護学特論 慢性期看護学特論 がん看護学特論 精神看護学特論B 看護技術学特論II 看護教育学特論 看護マネジメント 学特論	看護研究法特論	寒冷地生活支援 看護学特論 小児看護学特論C がん看護・緩和 ケア特論	看護専門職教育 特論 小児看護学特論A	在宅看護学特論C 小児看護学特論E クリティカルケア 看護学特論 がん看護学援助 特論 精神看護学特論C
		急性期看護学特論					
7	19:50 ~ 21:20	看護理論特論	看護コンサル テーション特論	看護管理学特論	家族看護学特論 がん薬物療法看護 特論 精神看護学特論D	看護倫理学特論	継続教育特論

※ 「特別研究」及び「課題研究」は、指導教員ごとに開講する。

※ 開講曜日・時間は週によって変更する場合がある。

※ 集中講義の日程は別途、掲示する。



木		金		土		
前期	後期	前期	後期	前期	後期	
				コミュニケーション特論	健康福祉政策特論	
				国際関係特論	地域経済政策特論	
				少子高齢社会特論	ヒューマニティ特論	
地域生活看護学演習 母子看護学演習 成人看護学演習 精神看護学演習A 看護技術学演習I 看護教育・看護マネジメント学演習	老年看護学演習 在宅看護学演習 地域看護学演習 小児看護学演習A 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 看護技術学演習II 看護教育学演習 看護マネジメント学演習 急性期病態管理学特論 (後期)		アドバンスト・ フィジカルアセ メント論	連携プロジェクト演習		
		フィジカルアセスメント論				
		臨床哲学特論 病態生理学特論	臨床薬理学特論			がん病態治療特論
				小児看護学演習B		
地域生活看護学演習 母子看護学演習 成人看護学演習 精神看護学演習A 看護技術学演習I 看護教育・看護マネジメント学演習	老年看護学演習 在宅看護学演習 地域看護学演習 小児看護学演習A 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 看護技術学演習II 看護教育学演習 看護マネジメント学演習 急性期病態管理学特論 (後期)	臨床哲学特論 病態生理学特論	臨床薬理学特論			
			アドバンスト・ フィジカルアセ メント論			
		フィジカルアセスメント論				



②2年次

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ～ 10:30						
2	10:40 ～ 12:10						
3	13:10 ～ 14:40						
4	14:50 ～ 16:20					小児看護学特論D	
5	16:30 ～ 18:00	老年看護学特論 地域看護学特論 母性看護学特論 慢性期看護学特論 看護技術学特論Ⅱ 看護教育学特論 看護マネジメント学特論		在宅看護学特論D 慢性期精神看護学特論	慢性期精神看護学演習	在宅看護学特論E	
		クリティカルケア看護学演習Ⅰ		がん看護・緩和ケア演習 がん薬物療法看護演習		クリティカルケア看護学演習Ⅱ	
6	18:10 ～ 19:40	老年看護学特論 地域看護学特論 母性看護学特論 慢性期看護学特論 看護技術学特論Ⅱ 看護教育学特論 看護マネジメント学特論		在宅看護学特論D 慢性期精神看護学特論	慢性期精神看護学演習	小児看護学特論D	
		クリティカルケア看護学演習Ⅰ		がん看護・緩和ケア演習 がん薬物療法看護演習		クリティカルケア看護学演習Ⅱ	
7	19:50 ～ 21:20					在宅看護学特論E	

※ 「特別研究」及び「課題研究」は、指導教員ごとに開講する。

※ 開講曜日・時間は週によって変更する場合がある。

※ 集中講義の日程は別途、掲示する。



木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
				コミュニケーション特論	健康福祉政策特論
				国際関係特論	地域経済政策特論
				少子高齢社会特論	ヒューマニティ特論
老年看護学演習 地域看護学演習 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 精神看護学演習B 看護技術学演習Ⅱ 看護教育学演習 看護マネジメント学演習	急性期病態管理学 特論（後期）			小児看護学演習B がん看護学演習Ⅱ	
老年看護学演習 地域看護学演習 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 精神看護学演習B 看護技術学演習Ⅱ 看護教育学演習 看護マネジメント学演習	急性期病態管理学 特論（後期）				



< 博士後期課程 >

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ∟ 10:30						
2	10:40 ∟ 12:10						
3	13:10 ∟ 14:40						
4	14:50 ∟ 16:20			後期特別研究ⅠⅡⅢ			
5	16:30 ∟ 18:00			(横断型連携特別演習)			
6	18:10 ∟ 19:40			後期特別研究ⅠⅡⅢ			
7	19:50 ∟ 21:20			(横断型連携特別演習)			

※ 開講曜日・時間は週によって変更する場合がある。

※ 「後期特別研究ⅠⅡⅢ」は、教員と学生が協議の上で授業時間帯を確定する。

※ 集中講義の日程は別途、掲示する。

	木		金		土	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
看護学特講					横断型連携特別演習	
看護技術学特別演習 実践看護学特別演習 機能看護学特別演習						
看護学特講						
看護技術学特別演習 実践看護学特別演習 機能看護学特別演習						



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

<博士前期課程>

2017年度以前入学生用

科目区分	科目ナンバリング	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			修了要件		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習			
研究科連携科目	C5A701	国際関係特論	1・2 前		2		○			4単位以上		
	C5A702	少子高齢社会特論	1・2 前		2		○					
	C5A703	健康福祉政策特論	1・2 後		2		○					
	C5A704	地域経済政策特論	1・2 後		2		○					
	C5A705	ヒューマニティ特論	1・2 後		2		○					
	C5A706	コミュニケーション特論	1・2 前		2		○					
	C1A701	連携プロジェクト演習	1 通		2			○				
専 門 基 礎 科 目	N1A801	看護理論特論	1 前	2			○			8単位以上		
	N1A802	看護研究法特論	1 前	2			○					
	N1A803	看護倫理学特論	1 前		2		○					
	N1A804	看護管理学特論	1 前		2		○					
	N1A805	臨床哲学特論	1 前		2		○					
	N1A806	看護コンサルテーション特論	1 後		2		○					
	N1A807	看護専門職教育特論	1 前		2		○					
	N1A808	継続教育特論	1 後		2		○					
	N1A809	寒冷地生活支援看護学特論	1 後		2		○					
	N1A810	家族看護学特論	1 後		2		○					
専 門 実 践 科 目	N1A821	地域生活看護学特論	1 前		2		○			1つの領域から8単位以上(専門看護師認定希望者16単位以上)		
	N5A821	老年看護学特論	1・2 後		2		○					
	N5A822	在宅看護学特論	1・2 後		2		○					
	N5A823	地域看護学特論	1・2 後		2		○					
	N1A822	地域生活看護学演習	1 通		2			○				
	N5A824	老年看護学演習	1・2 通		2			○				
	N5A825	在宅看護学演習	1・2 通		2			○				
	N5A826	地域看護学演習	1・2 通		2			○				
	N1A831	母子看護学特論	1 前		2		○					
	N5A831	母子看護学特論	1・2 後		2		○					
	N1A832	小児看護学特論A	1 前		2		○					
	N1A833	小児看護学特論B	1 後		2		○					
	N1A834	小児看護学特論C	1 後		1		○					
	N2A831	小児看護学特論D	2 前		1		○					
	N1A835	母子看護学演習	1 通		2			○				
	N5A832	母子看護学演習	1・2 通		2			○				
	N1A836	小児看護学演習A	1 通		2			○				
	N5A833	小児看護学演習B	1・2 通		2			○				
	N5A834	小児看護学実習 I	1・2 通		4				○			
	N5A835	小児看護学実習 II	1・2 通		2				○			
教 育 科 目	N1A841	成人看護学特論	1 前		2		○			1つの領域から8単位以上(専門看護師認定希望者16単位以上)		
	N5A841	急性期看護学特論	1・2 後		2		○					
	N5A842	慢性期看護学特論	1・2 後		2		○					
	N5A843	がん看護学特論	1・2 後		2		○					
	N5A844	急性期病態管理学特論	1・2 後		2		○					
	N1A842	クリティカルケア看護学特論	1 前		1		○					
	N1A843	がん看護学・緩和ケア特論	1 前		1		○					
	N1A844	がん看護学・緩和ケア援助特論	1 後		1		○					
	N1A845	腫瘍学特論	1 前		2		○					
	N1A846	病態治療特論	1 後		2		○					
	N1A847	成人看護学演習	1 通		2			○				
	N5A845	急性期看護学演習	1・2 通		2			○				
	N1A848	アドバンスト・フィジカルアセスメント演習	1 前		1			○				
	N1A849	クリティカルケア看護学演習	1 通		2			○				
	N5A846	慢性期看護学演習	1・2 通		2			○				
	N5A847	がん看護学演習 I	1・2 通		2			○				
	N2A841	がん看護学演習 II	2 通		2			○				
	N5A848	急性期看護学実習	1・2 通		6				○			
	N1A850	がん看護学実習 I	1 後		2				○			
	N2A842	がん看護学実習 II	2 通		4				○			
科 目	N1A861	精神看護学特論 I	1 前		2		○			1つの領域から8単位以上(専門看護師認定希望者16単位以上)		
	N5A861	精神看護学特論 II	1・2 後		2		○					
	N5A862	精神看護学特論 III	1・2 前		2		○					
	N5A863	精神看護学特論 IV	1・2 前		1		○					
	N1A862	精神看護学特論 V	1 後		2		○					
	N2A861	精神看護学特論 VI	2 前		2		○					
	N1A863	精神看護学演習 I	1 通		2			○				
	N5A864	精神看護学演習 II	1・2 通		2			○				
	N5A865	精神看護学演習 III	1・2 通		2			○				
	N1A864	クリティカル精神看護学演習	1 後		1			○				
	N2A862	リハビリテーション精神看護学演習	2 前		1			○				
	N1A865	精神看護学実習 I	1 後		2				○			
	N2A863	精神看護学実習 II	2 通		4				○			
	目 録	N1A871	看護技術学特論 I	1 前		2		○				8単位(専門看護師認定希望者4単位)
		N5A871	看護技術学特論 II	1・2 後		2		○				
N1A872		看護技術学演習 I	1 通		2			○				
N5A872		看護技術学演習 II	1・2 通		2			○				
N1A881		看護教育・看護マネジメント学特論	1 前		2		○					
N5A881		看護教育学特論	1・2 後		2		○					
N5A882		看護マネジメント学特論	1・2 後		2		○					
N1A882		看護教育・看護マネジメント学演習	1 通		2			○				
N5A883		看護教育学演習	1・2 通		2			○				
N5A884		看護マネジメント学演習	1・2 通		2			○				
研究	N5A891	特別研究	1~2 通		8			○		8単位(専門看護師認定希望者4単位)		
	N5A892	課題研究	1~2 通		4			○				



2018年度以降入学生用

科目区分	科目 ナンバリング	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			修了要件
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
研究科連携科目	C5B701	国際関係特論	1・2 前		2			○		4単位以上
	C5B702	少子高齢社会特論	1・2 前		2			○		
	C5B703	健康福祉政策特論	1・2 後		2			○		
	C5B704	地域経済政策特論	1・2 後		2			○		
	C5B705	ヒューマノディ特論	1・2 後		2			○		
	C5B706	コミュニケーション特論	1・2 前		2			○		
	C1B701	連携プロジェクト演習	1 通		2				○	
専 門 基 礎 科 目	N1B801	看護理論特論	1 前	2				○		8単位以上 (専門看護師認定希望者14単位以上)
	N1B802	看護研究法特論	1 前	2				○		
	N1B803	看護倫理学特論	1 前		2			○		
	N1B804	看護管理学特論	1 前		2			○		
	N1B805	臨床哲学特論	1 前		2			○		
	N1B806	看護コンサルテーション特論	1 後		2			○		
	N1B807	看護専門職教育特論	1 前		2			○		
	N1B808	継続教育特論	1 後		2			○		
	N1B809	寒冷地生活支援看護学特論	1 後		2			○		
	N1B810	家族看護学特論	1 後		2			○		
	N1B811	フィジカルアセスメント論	1 通		2			○		
	N1B812	病態生理学特論	1 前		2			○		
	N1B813	臨床薬理学特論	1 後		2			○		
専 門 実 践 科 目	N1B821	地域生活看護学特論	1 前		2			○		1つの領域から8単位以上 専門看護師認定希望者22単位以上
	N5B821	老年看護学特論	1・2 後		2			○		
	N1B822	在宅看護学特論A	1 後		1			○		
	N1B823	在宅看護学特論B	1 後		1			○		
	N1B824	在宅看護学特論C	1 後		2			○		
	N2B821	在宅看護学特論D	2 前		2			○		
	N2B822	在宅看護学特論E	2 前		2			○		
	N5B822	地域看護学特論	1・2 後		2			○		
	N1B825	地域生活看護学演習	1 通		2				○	
	N5B823	老年看護学演習	1・2 通		2				○	
	N1B826	在宅看護学演習	1 通		2				○	
	N5B824	地域看護学演習	1・2 通		2				○	
	N1B827	高度在宅看護学実習 I	1 通		2				○	
	N2B823	高度在宅看護学実習 II	2 通		3				○	
	N2B824	高度在宅看護学実習 III	2 通		3				○	
	N2B825	高度在宅看護学実習 IV	2 通		3				○	
	N1B831	母子看護学特論	1 前		2			○		
	N5B831	母性看護学特論	1・2 後		2			○		
	N1B832	小児看護学特論A	1 前		2			○		
	N1B833	小児看護学特論B	1 後		2			○		
	N1B834	小児看護学特論C	1 後		1			○		
	N2B831	小児看護学特論D	2 前		1			○		
	N1B835	小児看護学特論E	1 後		2			○		
	N1B836	母子看護学演習	1 通		2				○	
	N5B832	母性看護学演習	1・2 通		2				○	
N1B837	小児看護学演習A	1 通		2				○		
N5B833	小児看護学演習B	1・2 通		2				○		
N1B838	高度小児看護学実習 I	1 後		2				○		
N2B832	高度小児看護学実習 II	2 通		4				○		
N2B833	高度小児看護学実習 III	2 通		4				○		
専 門 教 育 科 目	N1B841	成人看護学特論	1 前		2			○		1つの領域から8単位以上 専門看護師認定希望者22単位以上
	N1B842	急性期看護学特論	1 通		2			○		
	N5B841	慢性期看護学特論	1・2 後		2			○		
	N1B843	がん看護学特論	1 後		2			○		
	N5B842	急性期病態管理学特論	1・2 後		2			○		
	N1B844	クリティカルケア看護学特論	1 後		2			○		
	N1B845	アドバンスト・フィジカルアセスメント論	1 後		2			○		
	N1B846	がん看護学援助特論	1 後		2			○		
	N1B847	がん薬物療法看護学特論	1 後		2			○		
	N1B848	がん看護・緩和ケア特論	1 後		2			○		
	N1B849	がん病態治療特論	1 後		2			○		
	N1B850	成人看護学演習	1 通		2				○	
	N5B843	急性期看護学演習	1・2 通		2				○	
	N2B841	クリティカルケア看護学演習 I	2 通		2				○	
	N2B842	クリティカルケア看護学演習 II	2 通		2				○	
	N5B844	慢性期看護学演習	1・2 通		2				○	
	N2B843	がん薬物療法看護学演習	2 通		2				○	
	N2B844	がん看護・緩和ケア演習	2 通		2				○	
	N1B851	高度急性期看護学実習 I	1 後		3				○	
	N2B845	高度急性期看護学実習 II	2 通		3				○	
N2B846	高度急性期看護学実習 III	2 通		2				○		
N2B847	高度急性期看護学実習 IV	2 通		2				○		
N1B852	高度がん看護学実習 I	1 後		2				○		
N2B848	高度がん看護学実習 II	2 通		4				○		
N2B849	高度がん看護学実習 III	2 通		4				○		
専 門 科 目	N1B861	精神看護学特論A	1 前		2			○		1つの領域から8単位以上 専門看護師認定希望者22単位以上
	N1B862	精神看護学特論B	1 後		2			○		
	N1B863	精神看護学特論C	1 後		2			○		
	N1B864	精神看護学特論D	1 後		2			○		
	N2B861	慢性期精神看護学特論	2 前		1			○		
	N1B865	精神看護学演習A	1 通		2				○	
	N2B862	精神看護学演習B	2 通		2				○	
	N2B863	慢性期精神看護学演習	2 後		1				○	
	N1B866	高度精神看護学実習 I	1 後		2				○	
	N1B867	高度精神看護学実習 II	1 後		2				○	
	N2B864	高度精神看護学実習 III	2 通		4				○	
	N2B865	高度精神看護学実習 IV	2 通		4				○	
	N1B871	看護技術学特論 I	1 前		2				○	
	N5B871	看護技術学特論 II	1・2 後		2				○	
	N1B872	看護技術学演習 I	1 通		2				○	
	N5B872	看護技術学演習 II	1・2 通		2				○	
	看護教育・マネジメント学領域	N1B881	看護教育・看護マネジメント学特論	1 前		2			○	
N5B881		看護教育学特論	1・2 後		2			○		
N5B882		看護マネジメント学特論	1・2 後		2			○		
N1B882		看護教育・看護マネジメント学演習	1 通		2				○	
N5B883		看護教育学演習	1・2 通		2				○	
N5B884		看護マネジメント学演習	1・2 通		2				○	
研究	N5B891	特別研究	1~2 通		8					8単位 (専門看護師認定希望者4単位)
	N5B892	課題研究	1~2 通		4					



< 博士後期課程 >

科目区分	科目ナンバリング	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			修了要件
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
連携科目 博士後期	N1A901	横断型連携特別演習	1 通	2				○		2 単位
博士後期専門科目	N1A911	看護学特講	1 前	2			○			4 単位以上
	N1A912	看護技術学特別演習	1 通		2			○		
	N1A913	実践看護学特別演習	1 通		2			○		
	N1A914	機能看護学特別演習	1 通		2			○		
博士後期研究指導科目	N1A921	後期特別研究 I	1 通	2				○		8 単位
	N2A921	後期特別研究 II	2 通	2				○		
	N3A921	後期特別研究 III	3 通	4				○		

② 修了要件

< 博士前期課程 >

※修士論文コース

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計	
研究科連携科目	—	4	—	4	2
専門教育科目	4	20	—	24	
専門基礎科目	4	4	—	8	
専門科目	—	16	—	16	
選択する領域・分野から	—	8	—	8	
研究	—	8	—	8	
合計	4	26	—	30	

※専門看護師コース

(2017年度以前入学生)

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計	
研究科連携科目	—	4	—	4	2
専門教育科目	4	24	—	28	
専門基礎科目	4	4	—	8	
専門科目	—	20	—	20	
選択する領域・分野から	—	16	—	16	
研究	—	4	—	4	
合計	4	30	—	34	



(2018年度以降入学生)

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
研究科連携科目	—	4	—	4
専門教育科目	4	36	—	40
専門基礎科目	4	10	—	14
専門科目	—	26	—	26
選択する領域・分野から	—	22	—	22
研究	—	4	—	4
合計	4	42	—	46

<博士後期課程>

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
博士後期連携科目	2	—	—	2
博士後期専門科目	2	2	—	4
博士後期研究指導科目	8	—	—	8
合計	12	2	—	14

3) 教育活動

<博士前期課程>

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
国際関係特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎★スーディ崎和代 安齋 利典 石井 雅博 張 浦華 ★千葉 逸朗
少子高齢社会特論	講義・30時間	1・2年次前期	丸山 洋平
健康福祉政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎守村 洋 喜多 歳子 本田 光 ★大久保一郎
地域経済政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	★森 邦恵
ヒューマニティ特論	講義・30時間	1・2年次後期	松井 美穂
コミュニケーション特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎町田佳世子 石井 雅博 柿山浩一郎 三谷 篤史 山田 信博 片山めぐみ
連携プロジェクト演習	演習・30時間	1年次通年	◎荒木 奈緒 本田 光 檜山 明子 石井 雅博 藤木 淳 若林 尚樹 森 朋子
看護理論特論	講義・30時間	1年次前期	◎松浦 和代 小田 和美 川村 三希子 菅原 美樹 大野 夏代 ★山内まゆみ
看護研究法特論	講義・30時間	1年次前期	◎松浦 和代 菊地ひろみ 貝谷 敏子 ★平 紀子
看護倫理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎川村三希子 荒木 奈緒 ★古都 昌子
看護管理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎佐藤ひとみ ★勝見 真澄
臨床哲学特論	講義・30時間	1年次前期	★尾形 敬次



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
看護コンサルテーション特論	講義・30時間	1年次後期	◎佐藤ひとみ 牧田 靖子 ★藤野 智子 ★葛西 陽子
看護専門職教育特論	講義・30時間	1年次前期	定廣和香子
継続教育特論	講義・30時間	1年次後期	◎定廣和香子 ★古都 昌子 ★舟島なをみ ★中山登志子 ★佐藤 紀子 ★田中かおり
寒冷地生活支援看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎村松 真澄 ★池田 貴夫 ★前沢 政次 ★鈴木 英樹
家族看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎小田 和美 菊地ひろみ ★柳原 清子 ★川村 真澄
フィジカルアセスメント論	講義・30時間	1年次通年	◎菅原 美樹 ★羽賀 将衛 ★石川 幸司 ★牧野 夏子
病態生理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎★齋藤 重幸 卯野木 健 貝谷 敏子 神島 滋子 藤井 瑞恵 ★岡村 英明 ★増田 陽介 ★今井 崇
臨床薬理学特論	講義・30時間	1年次後期	◎★齊藤 浩司 松浦 和代 川村三希子 菊地ひろみ 守村 洋
地域生活看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎菊地ひろみ 貝谷 敏子 喜多 歳子 本田 光 村松 真澄
老年看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎貝谷 敏子 村松 真澄 ★樋渡ひとみ ★大久保抄織
在宅看護学特論A	講義・15時間	1年次後期	◎菊地ひろみ ★石崎 剛
在宅看護学特論B	講義・15時間	1年次後期	◎菊地ひろみ
在宅看護学特論C	講義・30時間	1年次後期	◎菊地ひろみ ★鈴木真一郎 ★吉崎 秀夫 ★土島 智幸 ★西川 就 ★矢崎 一雄 ★今井 浩平
在宅看護学特論D	講義・30時間	2年次前期	◎菊地ひろみ 村松 真澄 ★鈴木 英樹
在宅看護学特論E	講義・30時間	2年次前期	菊地ひろみ
地域看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎喜多 歳子 本田 光
地域生活看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎村松 真澄 菊地ひろみ 貝谷 敏子 喜多 歳子 本田 光 高橋 奈美 原井 美佳 ★平原 優美
老年看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎貝谷 敏子 村松 真澄 原井 美佳
在宅看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美 ★門脇 陸子
地域看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎本田 光 喜多 歳子
高度在宅看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次通年	◎高橋 奈美 菊地ひろみ
高度在宅看護学実習Ⅱ	実習・135時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美
高度在宅看護学実習Ⅲ	実習・135時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美
高度在宅看護学実習Ⅳ	実習・90時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美
母子看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎松浦 和代 荒木 奈緒
母性看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	荒木 奈緒
小児看護学特論A	講義・30時間	1年次前期	松浦 和代



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
小児看護学特論B	講義・30時間	1年次後期	松浦 和代
小児看護学特論C	講義・15時間	1年次後期	松浦 和代
小児看護学特論D	講義・15時間	2年次前期	松浦 和代
小児看護学特論E	講義・30時間	1年次後期	◎★佐野 仁美 松浦 和代 牧田 靖子 ★水島 正人 ★島山 欣也 ★伊藤 智城 ★山崎 健史 ★工藤絵理子
母子看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎荒木 奈緒 松浦 和代 ★山内 豊明
母性看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎荒木 奈緒 黒田 紀子
小児看護学演習A	演習・60時間	1年次通年	◎松浦 和代 牧田 靖子
小児看護学演習B	演習・60時間	1・2年次通年	◎松浦 和代 牧田 靖子
高度小児看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次後期	◎松浦 和代 牧田 靖子
高度小児看護学実習Ⅱ	実習・180時間	2年次通年	◎松浦 和代 牧田 靖子
高度小児看護学実習Ⅲ	実習・180時間	2年次通年	◎松浦 和代 牧田 靖子
成人看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎小田 和美 卯野木 健 川村三希子
急性期看護学特論	講義・30時間	1年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹
慢性期看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	小田 和美
がん看護特論	講義・30時間	1年次後期	川村三希子
急性期病態管理学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎卯野木 健 ★七戸 康夫 ★上村 修二 ★提嶋 久子 ★櫻井 佳祐
クリティカルケア看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎卯野木 健 菅原 美樹
アドバンスト・フィジカルアセスメント論	講義・30時間	1年次後期	◎菅原 美樹 卯野木 健 神島 滋子 ★小川 謙 ★木村 禎
がん看護学援助特論	講義・30時間	1年次後期	◎川村三希子 ★荒尾 晴恵
がん薬物療法看護特論	講義・30時間	1年次後期	◎川村三希子 ★石岡 明子
がん看護・緩和ケア特論	講義・30時間	1年次後期	川村三希子
がん病態治療特論	講義・30時間	1年次後期	◎★小林 正伸 川村三希子 ★福原 敬 ★鈴木恵士郎
成人看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎小田 和美 神島 滋子 藤井 瑞恵 ★山内 豊明
急性期看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎菅原 美樹 卯野木 健 神島 滋子 ★平尾 明美 ★藤野 智子
クリティカルケア看護学演習Ⅰ	演習・60時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★伊藤 伸子
クリティカルケア看護学演習Ⅱ	演習・60時間	2年次通年	◎菅原 美樹 卯野木 健 神島 滋子 ★平尾 明美
慢性期看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎小田 和美 藤井 瑞恵
がん薬物療法看護演習	演習・60時間	2年次通年	◎川村三希子 齋 若菜 ★小野 聡子 ★石岡 明子
がん看護・緩和ケア演習	演習・60時間	2年次通年	◎川村三希子 ★内海 明美 ★田中いづみ
高度急性期看護学実習Ⅰ	実習・135時間	1年次後期	◎菅原 美樹 卯野木 健 ★藤野 智子
高度急性期看護学実習Ⅱ	実習・135時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹



授業科目	授業 形態・時数	年次	担当教員
高度急性期看護学実習Ⅲ	実習・90時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹
高度急性期看護学実習Ⅳ	実習・90時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹
高度がん看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次後期	川村三希子
高度がん看護学実習Ⅱ	実習・180時間	2年次通年	川村三希子
高度がん看護学実習Ⅲ	実習・180時間	2年次通年	川村三希子
精神看護学特論A	講義・30時間	1年次前期	◎守村 洋 ★山本 勝則
精神看護学特論B	講義・30時間	1年次後期	◎守村 洋 ★吉野 淳一
精神看護学特論C	講義・30時間	1年次後期	◎守村 洋 ★齊藤 浩司 ★吉野 淳一
精神看護学特論D	講義・30時間	1年次後期	◎★山本 勝則 守村 洋
慢性期精神看護学特論	講義・15時間	2年次前期	◎★山本 勝則 守村 洋
精神看護学演習A	演習・60時間	1年次通年	◎守村 洋 伊東健太郎
精神看護学演習B	演習・60時間	2年次通年	◎守村 洋 伊東健太郎
慢性期精神看護学演習	演習・30時間	2年次後期	◎守村 洋 伊東健太郎
高度精神看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次後期	◎守村 洋 伊東健太郎
高度精神看護学実習Ⅱ	実習・90時間	1年次後期	◎守村 洋 伊東健太郎
高度精神看護学実習Ⅲ	実習・180時間	2年次通年	◎守村 洋 伊東健太郎 ★中村 創
高度精神看護学実習Ⅳ	実習・90時間	2年次通年	◎伊東健太郎 守村 洋
看護技術学特論Ⅰ	講義・30時間	1年次前期	樋之津 淳子
看護技術学特論Ⅱ	講義・30時間	1・2年次後期	◎樋之津淳子 大野 夏代 檜山 明子
看護技術学演習Ⅰ	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津淳子 大野 夏代 檜山 明子 ★山内 豊明
看護技術学演習Ⅱ	演習・60時間	1・2年次通年	◎大野 夏代 樋之津淳子 檜山 明子
看護教育・マネジメント学特論	講義・30時間	1年次前期	◎定廣和香子 佐藤ひとみ
看護教育学特論	講義・30時間	1・2年次後期	定廣和香子
看護マネジメント学特論	講義・30時間	1・2年次後期	佐藤ひとみ
看護教育・看護マネジメント学演習	演習・60時間	1年次通年	◎定廣和香子 佐藤ひとみ
看護教育学演習	演習・60時間	1・2年次通年	定廣 和香子
看護マネジメント学演習	演習・60時間	1・2年次通年	佐藤ひとみ
特別研究	演習・240時間	1～2年次通年	◎菊地ひろみ 荒木 奈緒 卯野木 健 小田 和美 貝谷 敏子 川村三希子 喜多 歳子 定廣和香子 佐藤ひとみ 樋之津淳子 松浦 和代 神島 滋子 菅原 美樹 村松 真澄 守村 洋 大野 夏代 藤井 瑞恵 本田 光 原井 美佳 檜山 明子
課題研究	演習・120時間	1～2年次通年	◎菊地ひろみ 卯野木 健 川村三希子 樋之津淳子 松浦 和代 菅原 美樹 守村 洋

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



< 博士後期課程 >

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
横断型連携特別演習	演習・30時間	1年次通年	◎樋之津淳子 荒木 奈緒 卯野木 健 貝谷 敏子 川村三希子 菊地ひろみ 喜多 歳子 定廣和香子 松浦 和代
看護学特講	講義・30時間	1年次前期	◎松浦 和代 卯野木 健 喜多 歳子 ★真田 弘美 ★スーディ神崎和代 ★中山 和弘
看護技術学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津淳子 村松 真澄
実践看護学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎松浦 和代 荒木 奈緒 卯野木 健 貝谷 敏子 川村三希子 菊地ひろみ 村松 真澄 守村 洋
機能看護学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎定廣和香子 喜多 歳子 佐藤ひとみ 本田 光
後期特別研究Ⅰ	演習・60時間	1年次通年	◎菊地ひろみ 卯野木 健 川村三希子 貝谷 敏子 喜多 歳子 定廣和香子 樋之津淳子 松浦 和代 本田 光 村松 真澄 守村 洋
後期特別研究Ⅱ	演習・60時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 卯野木 健 川村三希子 貝谷 敏子 喜多 歳子 定廣和香子 樋之津淳子 松浦 和代 本田 光 村松 真澄 守村 洋
後期特別研究Ⅲ	演習・120時間	3年次通年	◎菊地ひろみ 中村 恵子 卯野木 健 川村三希子 貝谷 敏子 喜多 歳子 定廣和香子 樋之津淳子 松浦 和代 本田 光 村松 真澄 守村 洋

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



7 助産学専攻科

1) 2020年度時間割

① 前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ～ 10:30	妊娠期助産診断・技術学		分娩期助産診断・技術学		周産期ハイリスク援助論		分娩期助産診断・技術学		産褥期助産診断・技術学	
2	10:40 ～ 12:10	妊娠期助産診断・技術学		分娩期助産診断・技術学		周産期ハイリスク援助論		分娩期助産診断・技術学		産褥期助産診断・技術学	
3	13:10 ～ 14:40	助産学総論		助産学フィールド演習		周産期医学論		乳幼児支援論		助産管理論	
4	14:50 ～ 16:20	助産学総論		助産学フィールド演習		周産期医学論		乳幼児支援論			
5	16:30 ～ 18:00			地域母子保健論							

※開講曜日時間は週によって変更する場合がある。

② 後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ～ 10:30	助産学演習									
2	10:40 ～ 12:10	助産学演習									
3	13:10 ～ 14:40	助産学課題研究									
4	14:50 ～ 16:20	助産学課題研究									
5	16:30 ～ 18:00										

※開講曜日時間は週によって変更する場合がある。



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

区分	授業科目の名称	授業形態	単位数 (全科目：必修)
基礎助産学	助産学総論	講義	2
	周産期医学論	講義	2
	乳幼児支援論	講義	2
	妊娠期助産診断・技術学	演習	1
	分娩期助産診断・技術学	演習	2
	産褥期助産診断・技術学	演習	1
実践助産学	助産学フィールド演習	演習	1
	周産期ハイリスク援助論	演習	1
	地域母子保健論	講義	1
	助産管理論	講義	1
	助産学実習Ⅰ	実習	3
	助産学実習Ⅱ	実習	3
	助産学実習Ⅲ	実習	3
	助産学実習Ⅳ	実習	2
	助産学実習Ⅴ	実習	1
統合助産学	助産学演習	演習	2
	助産学課題研究	演習	2
合計			30

② 修了要件

30単位（全科目必修）

3) 教育活動

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
助産学総論	講義・30時間	前期	◎荒木 奈緒 ★吉 裕子 ★佐藤みはる
周産期医学論	講義・30時間	前期	◎山本真由美 黒田 紀子 森川 由紀 ★高野 良子 ★後藤 仁和 ★西 基 ★森川 守 ★渡利 道子 ★津村 宣彦 ★荒木 英司 ★鈴木 伸和 ★木島 弘道
乳幼児支援論	講義・30時間	前期	◎黒田 紀子 石引かずみ ★小林 正樹 ★渡邊 大地
妊娠期助産診断・技術学	演習・30時間	前期	◎黒田 紀子 大友 舞
分娩期助産診断・技術学	演習・60時間	前期	◎森川 由紀 黒田 紀子 山本真由美 大友 舞 石引かずみ ★森川 守
産褥期助産診断・技術学	演習・30時間	前期	◎山本真由美 森川 由紀



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
助産学フィールド演習	演習・30時間	前期	◎石引かずみ 黒田 紀子
周産期ハイリスク援助論	演習・30時間	前期	◎森川 由紀 黒田 紀子 石引かずみ ★平山 恵美 ★佐野 敬夫 ★塩野 展子 ★山田 俊 ★石田 桐代 ★城戸真紗美
地域母子保健論	講義・15時間	前期	◎荒木 奈緒 大野 夏代 ★阿部位江子 ★釣部 公映
助産管理論	講義・15時間	前期	◎荒木 奈緒 ★下山 友子 ★佐々木理恵 ★加藤 葉子
助産学実習 I	実習・135時間	通年	◎黒田 紀子 荒木 奈緒 森川 由紀 山本真由美 大友 舞 石引かずみ
助産学実習 II	実習・135時間	通年	◎森川 由紀 荒木 奈緒 黒田 紀子 山本真由美 大友 舞 石引かずみ
助産学実習 III	実習・135時間	通年	◎黒田 紀子 荒木 奈緒 森川 由紀 山本真由美 大友 舞 石引かずみ
助産学実習 IV	実習・90時間	後期	◎荒木 奈緒 黒田 紀子 森川 由紀 山本真由美 大友 舞 石引かずみ
助産学実習 V	実習・45時間	後期	◎山本真由美 荒木 奈緒 黒田 紀子 森川 由紀 大友 舞 石引かずみ
助産学演習	演習・60時間	通年	◎荒木 奈緒 黒田 紀子 森川 由紀 山本真由美 大友 舞 石引かずみ 金子 晋也 ★渡利 道子 ★森川 守
助産学課題研究	演習・60時間	通年	◎荒木 奈緒 黒田 紀子 森川 由紀 大友 舞 石引かずみ

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

4) 実習概要

(単位：名)

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
助産学実習	2020年8月27日～12月3日	医療機関	259



8 デザインと看護の連携教育

「デザイン」・「看護」という、異なる学部の学生たちが、共に学ぶことが札幌市立大学の特色である。常識にとらわれない多彩なカリキュラムと自由な雰囲気での授業で、地域社会に根ざした豊かな人間性と柔軟な感性を育む。

1年次前期「スタートアップ演習」（共通教育科目）では、「デザインと看護の連携」をテーマに、大講義室での合同講義や少人数編成によるグループ活動、地域調査を通じ、主体的に勉学・研究を進めるための基礎的な学習方法や課題解決の手法などを学ぶ。また、調査・分析プロジェクトを通じ、地域社会に対する関心や貢献の姿勢を育てる。

令和2年度（2020年度）「スタートアップ演習」

前半課題（各チーム共通課題）「札幌市立大学の知名度を高めるにはどうすればよいか」

後半課題（各チームで設定）

チーム	後半テーマ	成果物タイトル	グループ名
チーム1	『札幌市立大学の知名度を高めるためにはどうすればよいか』に対する提案をD×Nで考える	病院を好きになる絵本作り	ミネストローネグループ
		高齢者施設と協力して高齢者と若者の交流を図り心身の健康を目指す	グラタン
		新しい感染病棟の提案	イチゴ8個
		昼カラオケ コロナウイルス感染症対策に留意した交流の場をつくる提案	ハンバーグ
		患者さんに安らぎを与える病棟のデザイン	Camellia
チーム2	コロナウイルス感染に伴う様々な影響に対して、どのような取り組みができるか	コロナウイルスによって打撃を受けた企業の救済方法	チームこはだ
		オリンピックを安心して開催するために	チームえんがわ
		コロナと教育～コロナと共存した大学受験について～	チームいくら
		コロナによる影響を受けた観光業への消費活動促進対策	チームほたて
		夏のマスク問題について	チームさば
チーム3	いろいろな人が地域で、心身ともに安全安心に暮らしていくために、私たちは何ができるだろうか？	人種性年代を超えたコミュニティカフェ ～いろいろな人が地域で、心身ともに安全安心に暮らしていくために～	チームA
		優先席のピクトグラムデザイン	チームB
		老若マッチングホームシェアについての提案	チームC
		コロナ状況下における世代別のオンライン交流	チームD
チーム4	病院の新しい空間デザイン	1. 高齢者向け診療所さりげない心のケアをする空間デザイン 2. 病院での終末期における緩和ケアのための空間デザイン 3. 感染症対策用の小児科の待合室 4. 動物園のような子供のための病院 5. 入院患者やその家族のための空間デザイン	グループ名無し
チーム5	恋愛対象からの好感度を上げるにはどうすればいいか？	戦略的恋愛術 恋愛対象からの好感度を上げるには	チームかさまし
		心理学を使って好きな人に近づこう!!!	ツムツムの菜
		単純接触効果を用いた好感度の上げ方	ひよっこ
		SNS×心理学で好感度UP!	2ちゃんねる
		大学生による大学生のための恋愛対象からの好感度の上げ方	ずーしーほつきー愛好会



チーム6	『デザインうんどう』 をデザインする	足から全体へどンドン立ち上がっていく	G1あし
		デザイン運動	G2サーキット
		ボンデ体操	G3ボンデリング
		デザイン運動 運命共同体の企画	G4運命共同体
		美ボディになりたい	G5美ボディ
チーム7	おいしい餃子屋さんを 札幌の人に発信しつ つ、お店に表彰などを してscuに興味を持っ てもらう。	SCU GYOZA SELECT	超絶泥酔プリティ ぎょうぎズ
チーム8	コロナ禍におけるコ ミュニケーションの提 案	人と人との繋がりが感じられるオンライン上でのコミュニ ケーションの提案	1グループ
		遠隔でも学生同士が距離を縮められるようなコミュニケー ション方法を考える！！	2グループ
		オンラインで対面のぬくもりを感じられる楽しいコミュニ ケーション方法	教室3
		おうち花火	4グループ
		コミュニケーションを目的とした子供向けスマホアプリ	5グループ

2年次前期「学部連携基礎論」（専門教育科目）では、札幌市の各地域の特徴と課題をそれぞれの専門的視点から分析し、課題発見のプロセスや、相互の専門性や異分野連携に必要な基礎的知識・技術・態度を学び、3年次の学部連携演習に備える。

授業の前半では、地域についての基礎知識を学ぶ他、交換授業においてデザイン学部・看護学部の学生がお互いの学問領域の基礎や実践方法など相互の専門性を理解する。後半では、札幌市南区の各地域について特徴や課題把握、課題解決方法をグループごとに討議し、成果発表を行う。

3年次後期「学部連携演習」（専門教育科目）では、スタートアップ演習から2年を経て、基本的な専門教育の上に、相互の専門性を尊重し合い、それぞれがデザイン・看護の専門家として積極的に取り組む姿勢を身につける。両学部生を少人数グループに編成し、デザイン・看護相互に関わりのあるテーマや課題を、札幌市南区の地域に見出し、相互の学生が共同・協力しながら、課題発見・解決に取り組む。

令和2年度（2020年度）「学部連携演習」

地区	テーマ
真駒内	真駒内地区に適した災害時の「食」に関する提案
芸術の森	オタンぼ 芸術の森地区 散歩マップデザイン
澄川	すみっこぐらし～すみっ子のための防犯計画at公園～
藻岩下	藻岩下～藻岩下で捉えた「いき」を踏まえた提案～
藻岩	MOI碗～おばあちゃんの味
南沢	ゲームを用いた南沢住民のQOLの向上
石山	大改造！！石山ビフォーアフター～多角的視点から石山地区の暮らしを豊かに～
藤野	藤野ビンゴ
簾舞	ワインで繋ぐ。～簾舞と人、人と人～
定山溪	住むように、泊まる。「定山溪おうちホテル」



III 研究活動

1 個人研究費による研究一覧

デザイン学部

教員名	研究課題
中島 秀之	看護とデザインとAIの融合
細谷 多聞	触覚刺激の調整能力を有する幼児向け玩具のデザイン
石井 雅博	ポータブルモーションキャプチャーのデータを用いた姿勢の視覚フィードバックの表現法
安齋 利典	授業のオンライン化に関する研究
柿山 浩一郎	COVID-19 感染拡大に伴う大学教育の遠隔化
齊藤 雅也	地域の気候風土を活かす「住みこなし」を実現するための「温度想像力」養成に関する研究
椎野 亜紀夫	大規模停電時における都市公園の生活支援機能の懸賞
藤木 淳	非接触インタラクションによる対話型アート表現
町田 佳世子	インタビューデータに対する定量的分析と定性的分析の併用
三谷 篤史	1.防水・防汚性コーティングを用いたクッションの開発（乗馬療育向けクッションの開発とその基礎実験） 2.看護基礎技術教育のための食事介護シミュレーションモデルの開発
山田 良	公共空間のデザインに関する研究
若林 尚樹	視覚的対話における主観的印象評価の研究
小林 重人	ミクロ・メゾ・マクロループの枠組みに基づいたソーシャルデザインに関する研究
武田 亘明	クリエイティブ人材育成のための実践的学びのデザイン
張 浦華	a.セラミック作品装飾効果の研究 b.作品制作
松井 美穂	アメリカ南部文学研究、アメリカ女性文学研究
丸山 洋平	1.人口移動が親との同居率の地域差に与える影響 2.地域指標の客観的解釈に関する研究
森 朋子	札幌における冬季オリンピック前後の都市形成に関する研究
山田 信博	北海道UR賃貸住宅の団地整備方針に関する研究
横溝 賢	生活世界を基盤とした社会実践のデザイン学研究
石田 勝也	サウンドアンドビジュアルを使用した空間的創造性の構築
大島 卓	札幌市駒岡小学校屋上緑化施設の施工時植栽種および植物出現種の実態調査
大淵 一博	タブレット型端末を活用した看護OSCE 運営・評価支援システムの運用と検証
片山 めぐみ	コミュニティマネジメントと住民の交流実態からみた「多世代共生住宅」の可能性
金 秀敬	カタチの認知相違に着目したデザイン指標に関する研究
小宮 加容子	ユニバーサルな遊びのデザインに関する研究
須之内 元洋	文化資源活用のためのデジタルアーカイブ基盤構築にむけたリサーチと制度設計
福田 大年	オンラインの協創で生成される学び場を支える手技法構築の基礎研究
松永 康佑	切頂二十面体を用いた色合わせ立体パズルゲームの設計
金子 晋也	北海道の木造住宅の建築類型学的研究
矢久保 空遥	柔らかさをもたらす味覚刺激に関する先行研究調査



看護学部

教員名	研究課題
松浦 和代	1) モンゴル国における発育性股関節形成不全ハイリスク群への育児指導とその評価 2) (2020年度新規) 乳児虐待リスク予測システム(仮称)の構築に向けた基礎調査
菊地 ひろみ	在宅看護を担う若手訪問看護師育成の取り組み
荒木 奈緒	胎児異常を診断された女性への助産師の支援
川村 三希子	看護師の倫理的感受性を育むための組織的アプローチに関する研究
中村 恵子	①大学院における高度実践看護に関する研究(継続) ②看護コンソーシアム構築に関する研究(継続)
卯野木 健	COVID-19 パンデミック下における社会的サポートと、集中治療室看護師の精神保健に関する研究
小田 和美	熟練看護師の療養支援の実践知の可視化に関する研究 - 「病態・病状のわかち合いと合点化」の概念分析
貝谷 敏子	高齢者の脆弱な皮膚に対する効率性の高いスキンケアマネジメント方法の構築
喜多 歳子	子どもの貧困対策に関する保健師活動の質的研究
定廣 和香子	Development of Delivery System for Art in Hospital through Spatial Installation Art, "Breathing House" in Japan
佐藤 ひとみ	看護情報学教育における看護支援システムの活用
樋之津 淳子	大学と医療施設の協働による看護師の遠隔会議システムを用いた継続教育の効果
大野 夏代	①国際的活動な人材育成に関する研究 ②触れることにより実施する人の力を引き出す事象に関する研究 ③病院と大学の協働による継続教育について
神島 滋子	高齢者のサルコペニアの実態
菅原 美樹	クリティカルケア看護専門看護師の直接ケアコンピテンシー評価指標の開発
藤井 瑞恵	看護コンソーシアム構築を目指した大学と医療施設の協働による事業の実施と効果検証
本田 光	札幌市内A団地の高齢者を対象とした「おしえて、人生の先輩！」プロジェクト
村松 真澄	人工知能を利用した高齢者の口腔アセスメントのスクリーニング構築
守村 洋	メンタルヘルスに関する研究(主として精神障害セルフヘルプ・グループへの地域生活支援および自殺予防に関する研究)
伊東 健太郎	精神看護学シミュレーション教育における模擬患者養成の検討 ～気分障害・自殺念慮の講義聴講を通して～
工藤 京子	北海道胆振東部地震が難病患者に与えた影響
黒田 紀子	訪問看護を必要とする新生児集中治療室退院児に対する看護職の連携
高橋 奈美	ALSの発症と進行が未成年の子どもにもたらす影響
武富 貴久子	①リフレクションを活用した副師長継続教育プログラムの実践 ②女性医療人の健康と働きがいを検証するための尺度開発
原井 美佳	寒冷な特別豪雪地帯の高齢者に対する健康啓発プログラムの開発
檜山 明子	転倒リスクアセスメントの評価指標の検討
森川 由紀	①遠隔授業による中堅看護師研修の充実化 ②助産師の助産実践能力自己評価尺度の開発
矢野 祐美子	看護管理者のための継続学習支援
山本 真由美	客観的能力試験「新生児観察」項目の評価者間の一致度から教育方法を考える



教員名	研究課題
石引 かずみ	助産学専攻科におけるプロジェクト学習の実際と意義
大友 舞	妊娠初期における女性の口腔内自覚症状と関連要因の分析
鬼塚 美玲	寒冷環境下での作業に関する文献検討
近藤 圭子	地域在住高齢者の地域医療に関する研究
齋 若奈	1) 進行・再発大腸がん患者が長期に薬物療法を受け続けるプロセス 2) 進行がん患者の希望を支えるアドバンス・ケア・プランニングを推進する看護実践モデルの開発
渋谷 友紀	看護専門学校におけるケーススタディの指導概要
田仲 里江	大学と遠隔地の病院をつないだ中堅看護師研修の学びについて
中田 亜由美	北海道札幌市南区A地域B団地における高齢者の孤立や団地内のつながり、困りごとに関する実態調査
牧田 靖子	北海道における乳幼児の「窒息」による事故の実態と事故予防策の現状
田中 純	小児の発達段階に応じた理解への支援
高橋 葉子	NICUに勤務する看護職の看護技術について



2 学内公募研究課題一覧

学術奨励研究

教員名	研究課題
横溝 賢	非接触型と接触型授業を併用するオルタナティブデザイン教育の枠組みづくり
森 朋子	和人文化から見た沙流川流域文化的景観の形成要因 (副題：沙流川流域の文化的景観の形成要因に関する研究 その2)
鬼塚 美玲	積雪寒冷期大地震時の病院における災害看護活動のリスクアセスメントと看護部に必要な備えの検討
金 秀敬	「情報の多重性」による「干渉」が「認知」に及ぼす影響
田中 純	予防接種を受ける年長児を支援するための臨床判断のアルゴリズムの信頼性と妥当性の検証

共同研究

教員名	研究課題
◎齊藤 雅也、藤木 淳、丸山 洋平、鬼塚 美玲、柏倉 大作	想像温度とウェアラブルデバイスのデータ連携による熱的快の創出
◎川村 三希子、貝谷 敏子、檜山 明子、高橋 葉子	認知症を伴う高齢がん患者に対する疼痛マネジメント教育プログラムの開発 ーシミュレーション学習による実践力向上を目指してー
◎中島 秀之、川村 三希子、齊藤 雅也、細谷 多聞、羽深 久夫、神島 滋子、小林 重人、武田 亘明、張 浦華、丸山 洋平、村松 真澄、横溝 賢、大島 卓、須之内 元洋、武富 貴久子、鬼塚 美玲	D×Nによる理想の病院デザイン
◎藤木 淳、丸山 洋平、鬼塚 美玲	オンライン対人距離に基づく快適なコミュニケーションシステム実現のための基礎研究
◎山田 信博、本田 光	既存空間を活用した福祉支援の実践 ー教育機関と住民の連携による地域課題への関わりー

◎印：代表者

田村ICT基金

教員名	研究課題
◎菊地 ひろみ	ICT活用による訪問看護支援システム開発

◎印：代表者

採択状況

学術奨励研究		共同研究		田村ICT基金		合計	
応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数
7	6	5	5	1	1	13	12



3 学外からの研究費、研究補助金などの受入状況

科学研究費助成事業（科研費）

研究代表者	研究課題	研究種目	金額（円）
川村 三希子	認知症を伴う高齢がん患者の疼痛マネジメント教育プログラム-看護師用の開発	基盤研究（C）	910,000
中田 亜由美	傾聴、聞き書きによる高齢者相互の健康支援基盤構築に関するアクションリサーチ	若手研究（B）	1,040,000
三谷 篤史	看護基礎技術教育のための食事介護シミュレーションモデルの開発	基盤研究（B）	4,030,000
金子 晋也	北海道沿岸部の近代木造建築に関する研究	基盤研究（C）	1,300,000
檜山 明子	転倒予防を目的とした看護師用身体認識誤差測定法の開発	基盤研究（C）	1,300,000
定廣 和香子	看護学教育のための「FD研修過程評価スケール」の開発と有効性検証	基盤研究（C）	910,000
須之内 元洋	多様な環境音のためのマルチスケールフラクタル次元音響特徴量の開発と応用手法の確立	基盤研究（C）	650,000
武富 貴久子	EBN実践に向けた教育・学習モデルの開発：理論-実践ギャップの概念構造に着目して	若手研究	1,170,000
大島 卓	「生活表現」としての農畜産業の景観価値解明と持続可能性	若手研究	650,000
松井 美穂	カーソン・マッカーズとグローバル・ポリティクス	基盤研究（C）	650,000
山田 信博	集約化計画団地における住民コミュニティ支援の研究	基盤研究（C）	780,000
齊藤 雅也	地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断	基盤研究（C）	1,040,000
小林 重人	シビックテックコミュニティ内外における協働の発生・促進メカニズムに関する研究	基盤研究（C）	1,950,000
矢野 祐美子	北海道の道央圏外の看護管理者のための継続学習ネットワーク構築と効果検証	基盤研究（C）	910,000
卯野木 健	日本における集中治療後症候群の実態とリスク因子の解明	基盤研究（C）	1,170,000
貝谷 敏子	高齢者の脆弱な皮膚に対する効率性の高いスキンケアマネジメント方法の構築	基盤研究（C）	1,300,000
本田 光	子育てママの地域とのつながりを育むロボットアプリの開発及びその効果と課題の検証	基盤研究（C）	1,820,000
矢部 和夫	泥炭採掘跡地の再湿潤化による群落、水質、および温室効果気体生成の初期変遷の追跡	基盤研究（C）	1,040,000
石田 勝也	海洋環境情報の簡易取得システムの構築とその公共空間への応用	基盤研究（C）	390,000
金 秀敬	「甘さ」に着目したマルチモーダル知覚情報の「干渉構造」解明に関する実証研究	若手研究	1,170,000
山田 良	国際協奏型プロジェクトによる空間的療養効果の高いアートインホスピタルモデルの開発	挑戦的研究（萌芽）	2,470,000
藤井 瑞恵	看護基礎教育と継続教育の連携による中堅看護師研修プログラムの構築	基盤研究（C）	1,170,000
松浦 和代	モンゴル国における発育性股関節形成不全予防ケアの普及とその評価	基盤研究（C）	1,690,000
丸山 洋平	人口移動が初婚行動に与える影響の人文地理学的研究	若手研究	1,040,000

※課題番号順



受託研究費

研究代表者	研究課題	委託者	金額 (円)
中島 秀之	AIを活用した公共事業の最適化に関する研究	札幌市 (まちづくり政策局)	55,440,000
矢部 和夫	キウシト湿原保全基礎研究	登別市	200,000
横溝 賢	ものづくりワークショップ～障がい者事業所製品の商品化への開発手法研究～	(株) さっされん	300,000
齊藤 雅也	オランウータン屋内放飼場の熱・空気環境のデザイン研究	札幌市 (環境局)	500,000
大島 卓	北海道産動物の生息・飼育・展示環境の総合デザイン研究	札幌市 (環境局)	500,000
矢久保 空遥	動物科学館における展示デザインリニューアルに向けた調査研究	札幌市 (環境局)	500,000
羽深 久夫	厚真町における慰霊碑・慰霊施設に関する調査研究	厚真町	500,000

共同研究費

研究代表者	研究課題	委託者	金額 (円)
高橋 尚人 吉田 彩乃	気象情報とAI学習による防災・生活情報の研究開発	(一財)日本気象協会	220,000
高橋 尚人	構造物に負の影響を与えない凍結防止剤の研究 (その3)	中日本高速道路(株)	530,000
高橋 尚人	深層学習を用いたコンクリートの健全度判定に関する研究	(株)メイセイ・エンジニアリング	500,000
安齋 利典 若林 尚樹	AIRDO航空教室の形態と教材開発	(株)AIRDO	55,000
若林 尚樹 安齋 利典	AIRDOのコミュニケーションツールとしての絵本に関する研究	(株)AIRDO	55,000
藤木 淳	メディア芸術作品を介した仮想世界インターフェースの抽出の共同研究	(学)明治大学	0
高橋 尚人	新型コロナウイルス感染症対策及び今後のまちづくりにおけるオープンデータ、ビックデータの利活用に関する研究	札幌市 (まちづくり政策局)	2,420,000
高橋 尚人	チ・カ・ホにおける災害時の避難行動マルチエージェントシミュレーションの構築	札幌市 (都心まちづくり推進室)	1,999,800
高橋 尚人	雪埋設物の検知による新しい製品・価値の創出のための先行確認	本田技研工業(株)	1,650,000
高橋 尚人	映像に依らない“まちの混雑度”把握に関する実証	日本電気(株) 北海道支社	0



4 寄附金の受入状況

教員名	寄附目的	寄附元	金額（円）
	札幌市立大学の看護学に関わる教育研究活動の充実や人材育成を通じた社会貢献等を図るため	(医)北楡会 札幌北楡病院	50,000
	札幌市立大学の看護学に関わる教育研究活動の充実や人材育成を通じた社会貢献等を図るため	JA北海道厚生連 帯広厚生病院	144,000
羽深 久夫	建築歴史意匠研究の充実発展のため	(株)シビテック	200,000
齊藤 雅也	寒冷地のポテンシャルを活かす建築環境デザイン研究	(株)アトリエブंक	300,000
	札幌市立大学の看護学に関わる教育研究活動の充実や人材育成を通じた社会貢献等を図るため	中村 恵子	200,000
齊藤 雅也	住まい手に心地よい熱的な刺激をもたらす室内気候デザインの研究	(株)遠藤建築アトリエ	450,000

5 その他研究助成

教員名	研究課題	助成元	金額（円）
羽深 久夫	北海道における明治以降の北陸地方の民家の歴史的展開	(公財)トランスコスモス財団	990,000
川村 三希子	ちえのわ～街なかカフェ～がんと暮らしの知恵いろいろ	(公財)笹川保健財団 2020年度「地域啓発活動助成」	200,000



IV 社会活動

1 地域貢献諸活動

1) 受託研究一覧

研究課題	期間	概要	委託者
AIを活用した公共事業の最適化に関する研究	2020年4月1日～ 2021年3月31日	AI技術を活用してごみ収集および除排雪を効率化するため、データ分析、課題抽出を実施した。 ごみ収集については、ごみ収集車23台に位置情報や積載量を随時把握するセンサーを設置し、収集経路等ごみ収集作業を可視化した。収集経路と市中感染エリアの最適化により、ごみ収集作業の効率化を図るための基礎資料を得た。 除排雪については、気象と排雪作業量の関係性を分析し、排雪作業量と積雪深について一定の関係性を見出した。また、積雪状況に応じたリソース（作業人員・除雪機械）配分ができていない可能性を指摘した。	札幌市 （まちづくり政策局）
キウシト湿原保全基礎研究	2020年4月21日～ 2021年3月5日	2019年度に引き続き、ミズゴケ属2種の成長を追跡した。2年間の10cm地剥ぎ後のミズゴケ属移植試験で、ミズゴケ属の再生が確認できた。同時にミズゴケ属の急激な成長を促すためには除草が重要であることがわかった。この結果に基づき今後の保全事業計画の提案を行った。	登別市
ものづくりワークショップ～障がい者事業所製の商品化への開発手法研究～	2020年8月28日～ 2021年2月28日	障がい者事業所で製造・販売する商品の独自性を高めるため、商品の素材として「昆布」を選び、開発手法や改良方法、素材、デザインなどをデザイン学部の学生4名とともにグループワークで検討した。厚岸町・様似町でランプリング、札幌市澄川で昆布加工工場見学を実施し、北海道産昆布の価値を生かしたパッケージデザインを提案した。	(特) さっされん
オランウータン屋内放飼場の熱・空気環境のデザイン研究	2020年9月30日～ 2021年2月26日	円山動物園のオランウータン屋内放飼場（仮称）の基本・実施設計案に基づき、札幌の気候特性に配慮した冬季の屋内放飼場の熱・空気環境を数値流体解析によって予測し、必要とされる建築環境・設備システムとその運用方法を提案した。	札幌市 （環境局）
北海道産動物の生息・飼育・展示環境の総合デザイン研究	2020年9月30日～ 2021年2月26日	円山動物園の「北海道ゾーン（仮称）」整備に向けて、以下を実施した。 ・季節・経年変化を見越した景観要素を把握するための実地調査と記録 ・既存施設を加えた空間特性の考察 ・空間特性を踏まえたサイトプランの検討	札幌市 （環境局）
動物科学館における展示デザインリニューアルに向けた調査研究	2020年9月30日～ 2021年2月26日	円山動物園動物科学館の展示リニューアルに向けて、基本コンセプトを『「知らない」ことを「知りたい」ことに。』に設定し、デザイン指針を検討した。 動物科学館内の現状調査を実施し、偶発的学習を促す具体的な提案例を示した。	札幌市 （環境局）



厚真町における慰霊碑・慰霊施設に関する調査研究	2020年12月24日～ 2021年3月31日	2018年の北海道胆振東部地震の犠牲者を慰霊するとともに、被災の記憶を継承する施設として、慰霊碑・慰霊施設を整備するために必要な調査研究を実施した。	厚真町
-------------------------	----------------------------	--	-----

2) 共同研究（学外との連携）一覧

研究課題	期間	概要	委託者
気象情報とAI学習による防災・生活情報の研究開発	2020年2月18日～ 2022年10月31日	2021年度継続中	(財)日本気象協会
構造物に負の影響を与えない凍結防止剤の研究(その3)	2020年2月25日～ 2021年9月30日	2021年度継続中	中日本高速道路(株)
深層学習を用いたコンクリートの健全度判定に関する研究	2020年6月17日～ 2021年3月31日	ドライアイスペレットをコンクリートにぶつけて得られた衝撃音のスペクトルデータから、深層学習を用いてコンクリート構造物が健全であるか否かを判別する非破壊検査方法の開発に取り組んだ。	(株)メイセイ・エンジニアリング
AIRDO航空教室の形態と教材開発	2020年6月30日～ 2021年3月31日	再現可能で持ち運びが容易な揚力実験装置、擬人化したベルヌーイの定理の解説とゼスチャーを含む原稿付きの紙芝居による揚力の説明ツール、航空教室後のインセンティブとしてのペーパープレーンの提案を実施した。	(株)AIRDO
AIRDOのコミュニケーションツールとしての絵本に関する研究	2020年6月30日～ 2021年3月31日	パイロット、客室乗務員、整備士の仕事について、航空教室に参加する小学生の目で見えた絵本を作成、提案した。	(株)AIRDO
メディア芸術作品を介した仮想世界インターフェースの抽出の共同研究	2020年4月1日～ 2022年3月17日	2021年度継続中	(学)明治大学
新型コロナウイルス感染症対策及び今後のまちづくりにおけるオープンデータ、ビッグデータの利活用に関する研究	2020年8月19日～ 2021年3月31日	コロナ禍における新たな社会経済活動の在り方として、 ①人流データを分析することで「密」状況を可視化し、市民の行動変容を促進する方法 ②人流データと感染症に関するデータを用いた社会経済活動と感染症の関係の分析 ③「密」をコントロールした「混雑分散型」のまちづくりにおけるオープンデータ、ビッグデータの利活用について調査・研究した。	札幌市 (まちづくり政策局)
チ・カ・ホにおける災害時の避難行動マルチエージェントシミュレーションの構築	2020年10月28日～ 2021年3月26日	チ・カ・ホを対象としたマルチエージェントシミュレーションの構築及び災害時の避難行動シミュレーションを実施し、都心のエリアマネジメントに資する基礎資料を得た。	札幌市 (都心まちづくり推進室)
雪埋設物の検知による新しい製品・価値の創出のための先行確認	2020年11月15日～ 2021年3月31日	除雪に関わる降雪地域の冬の困りごと解決に貢献する製品・価値の創出を目的として、マイクロ波等を用いた雪に埋もれた物体の検知実験を実施した。	本田技研工業(株)



映像に依らない“まちの混雑度”把握に関する実証	2021年1月27日～ 3月31日	日本電気(株)が保有する「Wi-Fiセンサーを活用した混雑度推定技術」を用い、札幌市内の対象施設における混雑度推定の実証実験を実施。映像に依らず汎用性の高い「まちの混雑度」可視化手法としての有効性を検証し、本技術の社会実装を見据えた活用可能性の検討を行った。	日本電気(株)北海道支社
-------------------------	----------------------	---	--------------

3) 地域連携研究センターへの協力依頼一覧

事業名	依頼元	担当教員
元気ショップいこーる 商品ディスプレイ機能の向上に係る協働プロジェクト	(社)札幌市手をつなぐ育成会	山田 信博
病院における患者の癒し空間の創造	(医)朋仁会	山田 良
広報さっぽろ南区版表紙デザイン事業	札幌市(南区)	大淵 一博
「洗濯せっけん」「食器用せっけん」の宣材資料の制作	(特非)ステップバイステップ	若林 尚樹
札幌市立芸術の森小学校 校章デザイン募集事業	札幌市立常盤小学校	若林 尚樹 椎野亜紀夫
札幌市グリーティングカード作成事業	札幌市(総務局)	大淵 一博
航空機のより快適でスムーズな利用のためのサービスデザイン	(株)AIRDO	若林 尚樹 安齋 利典
元気ショップいこーる 商品ディスプレイプロジェクト	(社)札幌市手をつなぐ育成会	若林 尚樹
Audio-Technica/no maps アナログ・ワークショップ	(株)オーディオテクニカ	若林 尚樹 安齋 利典
「札幌日信電子」企業イメージ募集	札幌日信電子(株)	福田 大年
札幌軟石を使用した工作キット配布事業	札幌市(南区)	大淵 一博
ショップバックデザインコンペ	(株)土屋ホームトピア	矢久保空遥
WEB版南区U-40アートフェスティバル2020【仮称】	札幌市(南区)	須之内元洋 石田 勝也
「かたづけおせっかい」事業キャラクター・ロゴ作成	(株)鈴木商会	矢久保空遥
円山動物園のモデル観覧ルートとより教育効果の高い子ども向け体験プログラムの検討	札幌市(環境局)	若林 尚樹
札幌市エレクトロニクスセンター多目的ホール空間デザイン作成	札幌市(経済観光局)	山田 信博
札幌市紙製手提げバッグ作成事業	札幌市(総務局)	大淵 一博
北海道の自然や文化に関する学校素材としての「ツルコケモモ」の活用に向けた調査	(地独)北海道立総合研究機構	武田 亘明
第26回 芸術の森地区文化祭	芸術の森地区連合会	小宮加容子 細谷 多聞
「さっぽろ受動喫煙防止宣言」ロゴマーク募集	札幌市(保健福祉局)	福田 大年
指定管理業務 藻南公園・石山緑地パンフレット制作	指定管理者 藻南・石山・常盤・さくらの森グループ 横浜植木(株)北海道支店	椎野亜紀夫 町田佳世子 大島 卓
常盤小 石山東小 工作ワークショップ事業	札幌市立常盤小学校	若林 尚樹
TEL新オフィスにふさわしいロゴデザインの共創	東京エレクトロン(株)	柿山浩一郎 金 秀敬



事業名	依頼元	担当教員
空き家を活用した多世代交流のまちづくり	ときのもり衣食住「かなでる」	片山めぐみ
桑園商店街わくわくプロジェクト	桑園わくわく商店会実行委員会	三谷 篤史 村松 真澄
NoMaps 2020 Conference ニューNoMapsを考える。オンライン落書きコミュニケーションに挑戦	(公財)日本アドバタイザーズ協会	安齋 利典 若林 尚樹
2020年度版防災冊子「もしも北海道」の作成	もしも北海道	三谷 篤史
南区の魅力をPRする啓発品製作事業	札幌市（南区）	大淵 一博
札幌市立大学×JAF札幌支部×厚真町観光ルート創出事業	厚真町（産業経済課）	福田 大年
冬の「雪あかり」イベントPRチラシの製作事業	札幌市（南区）	大淵 一博
厚真町復興PR事業	厚真町（産業経済課）	福田 大年

4) 高大連携

① デザイン学部 第14回高大連携公開講座

開催日	高校名	参加生徒数	タイトル	担当教員
2020年 9月14日・18日	市立札幌旭丘高等学校 市立札幌大通高等学校 市立札幌開成中等教育学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌新川高等学校 市立札幌平岸高等学校 市立札幌藻岩高等学校	34名	日常のデザイン学 第1回 3つのドット ～日常生活を構成するカタチを学ぶ～ 第2回 One by Two ～自然のカタチとデザインの関係を学ぶ～	横溝 賢

※オンライン配信

② 看護学部 高大連携講座（特別公開講座）

開催日・期間	高校名	受講生徒数	受講科目名	担当教員
10月13日（火）	市立札幌旭丘高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌平岸高等学校	21名	オリエンテーション、大学概要説明、施設見学、質疑応答	松浦 和代 守村 洋
10月16日（金）	市立札幌新川高等学校 市立札幌旭丘高等学校 市立札幌藻岩高等学校		11名	オリエンテーション、大学概要説明、施設見学、質疑応答

③ 看護学部 模擬授業

開催日・期間	高校名	受講生徒数	受講科目名	担当教員
2020年9月19日～ 9月25日	市立札幌新川高等学校 市立札幌旭丘高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌平岸高等学校 市立札幌開成中等教育学校 市立札幌啓北商業高等学校	151名	形態機能学	高野 廣子 (非常勤講師)
			看護初期実習	池田千聖子 (実習指導者)
			看護観察技術論	檜山 明子
			VDT予防の体操動画	よさいこいソーラン部 13代目真花

※オンライン（オンデマンド）配信



5) 高校出前講義

① デザイン学部

開催日	高校名	テーマ	担当教員
2020年10月22日	北星学園女子中学高等学校	遊びのデザイン ワクワクを生み出すデザイン	小宮加容子

② 看護学部

開催日	高校名	テーマ	担当教員
2020年9月18日	市立札幌新川高等学校	在宅看護・訪問看護	菊地ひろみ

6) 中大連携

デザイン学部 中大連携公開講座

開催日	中学校名	テーマ	担当教員
2020年9月14日～20日	札幌市立常盤中学校	芸術の森は大きなミュージアム ～市立大学芸術の森キャンパスの空間デザインについて～	金子 晋也

※オンライン（オンデマンド）配信

7) その他の地域貢献諸活動

① デザイン学部

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
細谷 多聞	芸術の森地区文化祭（2020. 11.7-8）にて作品展示	芸術の森文化祭実行委員会	5名	2020年11月7日 ～8日
三谷 篤史	ロボット講習会の実施運営	北海道ロボット教育推進会		2020年4月
	道内学生ロボコン「ロボット・トライアスロン」実施運営	ロボット・トライアスロン運営委員会		2020年6月
	防災冊子「もしも北海道」のデザイン・編集	もしも北海道	1名	2020年8月～9月
	桑園わくわくプロジェクトにて配布するマスクケースのデザイン	桑園わくわく商店会実行委員会	4名	2020年8月～10月
山田 良	インテリアデザインアドバイザー	北新病院		2020年4月～7月
小林 重人	理事として活動	一般社団法人専修大学デジタルコミュニティ通貨コンソーシアムラボラトリー		2020年度
横溝 賢	横溝研究室一期生卒業制作研究展示・札幌市資料館：原初展 やるーおわらない？	横溝研究室	9名	2021年3月2日 ～7日
	就労支援施設事業者向けの商品開発オンラインワークショップ実施	NPO法人さっされん	4名	2021年3月15日
	第11回共創学研究会 共創ワークショップ	共創学会	4名	2021年3月27日



教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
石田 勝也	札幌国際芸術祭に伴う文化事業	SIAF LAB、札幌市札幌国際芸術祭担当課	4人	2021年度
	札幌国際芸術祭 映像コンテンツ制作	札幌国際芸術祭事務局		
大島 卓	大学演習成果を地域の公園整備のアイデアアプランとして提供	常磐団地町内会	34人	2020年12月11日
	学内の学習成果(地域課題解決)発表会にゲストとして参加	札幌市立常磐中学校	なし	2020年12月23日
大淵 一博	南区軟石工作コンテストフライヤー制作	札幌市南区役所	1人	2020年6月
	紙製手提げバッグ制作	札幌市国際部	20人	2020年7月
	南区PRグッズ(マグカップ)制作	札幌市南区役所	1人	2020年11月
	南区雪あかりフライヤー制作	札幌市南区役所	42人	2020年12月
片山 めぐみ	こども食堂事業企画および活動継続の支援	札幌藤野多世代交流ラボ WAO!	なし	通年
	高齢者交流拠点事業企画および活動継続の支援	NPO法人ゆとりの	なし	通年
	コミュニティレストラン事業企画、広報活動の支援	風のごはんや	なし	通年
	子どもの放課後交流拠点の企画運営(学生ボランティア活動)	ときの森衣食住「かなでる」	3人	通年
小宮 加容子	芸術の森地区文化祭(2020.11.7-8)にて作品展示	芸術の森文化祭実行委員会	5人	2020年11月7日 ~8日
須之内 元洋	団体実施ワークショップの告知・推薦など	SMF 札幌メディアアートフォーラム		

② 看護学部

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
菊地 ひろみ	新卒訪問看護師教育プログラム作成ワーキング	北海道看護協会		
貝谷 敏子	札幌医科大学倫理委員会外部委員	札幌医科大学		2021年3月26日
本田 光	高齢者への家庭訪問事業「教えて人生の先輩!プロジェクト」の企画・運営	あけぼの団地自治会	2名	2020年10月 ~2021年2月
村松 真澄	マスクケースのデザインの依頼があった。三谷先生と一緒に対応	地域交流ボランティア同好会、桑園わくわく商店街	4名	2020年12月1日
伊東 健太郎	精神に障害をもつ当事者同士が当事者研究を行い交流をする	ぼれぼれ		2020年4月4日
	精神に障害をもつ当事者同士が当事者研究を行い交流をする	札幌べてるの集い		2021年9月15日・16日
工藤 京子	幹事として役員会出席、医療講演会の企画と運営、会報誌発行の補助	北海道低肺の会(患者団体)	0名	毎月1回
中田 亜由美	本学施設会員の窓口業務(入会・退会管理、回覧物・案内・ニュースレター配布など)	公益社団法人日本看護協会	0名	1年間



教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
牧田 靖子	入院中の子どもたちへのクリスマスプレゼントを贈る事業（地域プロジェクト）	札幌サンタファン		2020年7月12日
	「教えて、ナース」育児相談コロナのため、2020.4～7月は中止。2020.8.20から月1回実施。	南区保育・子育て支援センター		2020年8月～12月

8) マスメディアへの掲載

① デザイン学部

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
中島 秀之	AI化 仕事、教育に本格活用を	北海道新聞	2020年5月2日
	壁なくし交通を最適化、移動プラットフォーム構築	北海道建設新聞	2020年12月11日
齊藤 雅也	エアコンなしで快適に過ごす方法	みんなテレ（UHB北海道文化放送）	2020年8月13日
	建築環境を整えると家族もHappyになる!? 日本ホスピス・在宅ケア研究会 全国大会in福井	日本ホスピス・在宅ケア研究会	2020年9月20日
	新型コロナ 今冬、換気に一工夫を 熱逃がさず、空気きれいに 専門家に聞く／北海道	毎日新聞（朝刊25面（北海道面））オンライン版（毎日新聞社）	2020年10月1日
	コロナ禍でインフル同時流行への備え	産経新聞（朝刊27面（社会面））オンライン版（産経新聞社）	2020年10月12日
	コロナ 冬の備えは 暖房と換気両立 3密回避の工夫	産経新聞（朝刊27面（社会面））（産経新聞社）	2020年10月13日
	注目 「換気と寒さ対策」 キーワードは「換気との両立」 教えて 窓を開けて換気 どうすればいい？寒くなりすぎないために	ミント 毎日放送（大阪MBS）	2020年10月16日
	解決 感染予防で大切 部屋の換気 室温の低下抑えるカギは？ ゆっくりと新鮮な空気を・・・	あさチャン！ TBSテレビ（東京放送）	2020年10月16日
	解決 感染予防で大切 部屋の換気 室温の低下抑えるカギは？ ゆっくりと新鮮な空気を・・・	Live News イット！（フジテレビ）	2020年10月16日
	疑問 各地で今季一番の寒さに コロナ禍の暖房 どう換気？ 換気は「ゆっくり空気を回す」	めざましテレビ（フジテレビ）	2020年10月16日
	コロナ禍での暖房のコツ 換気は分かるが・・・寒い！	みんなテレ（UHB北海道文化放送）	2020年10月21日
	冬のコロナ対策 効率的な換気&加湿法は？ 換気のコツ3つのポイントは？	グッドモーニング（テレビ朝日）	2020年10月26日
	対策 コロナの中 まもなく冬到来 部屋が冷えにくい換気方法	めざまし土曜日（フジテレビ）	2020年10月31日
	コロナ禍で人気「加湿器」 専門家がおすすめする効果的な設置場所は…"窓からも床からも離れた場所"に	みんなテレ（UHB北海道文化放送）	2020年11月6日
換気不足 拡大に直結 冬は室温変化 注意を	北海道新聞 朝刊31面（第1社会面）・オンライン版（北海道新聞社）	2020年11月7日	



教員名	内容	掲載媒体	掲載日
齊藤 雅也	冬におすすめ「2段階換気」 外気は徐々に使っていない部屋から	毎日新聞 オンライン版（毎日新聞社）	2020年11月9日
	対策 コロナの中 まもなく冬到来 部屋が冷えにくい換気方法	Live News イット！（フジテレビ）	2020年11月9日
	対策・冬は「2段階換気」で	ゴゴスマ～GOGO!Smile!～TBSテレビ（東京放送）	2020年11月10日
	注目 コロナ急拡大”寒くても換気”室温下げない「2段階換気」	あさちゃん！TBSテレビ（東京放送）	2020年11月10日
	寒くてもこまめに関係 24時間システム利用／「2段階」もおすすめ	毎日新聞（朝刊29面）（毎日新聞社）	2020年11月10日
	もうひとホリ 重要な「換気」と「加湿」室温低下を防ぐ方法は・・・	今日ドキッ（HBC北海道放送）	2020年11月11日
	対策・冬は「2段階換気」でチャンと！	CBCテレビ（中部放送）	2020年11月11日
	冬コロナに克つ！室温の目安は？	週刊文春（11月19日号）pp.125-127（週刊文春）	2020年11月12日
	空気をゆっくり回す	めざましテレビ（フジテレビ）	2020年11月12日
	北海道で“感染再拡大”難しさ浮き彫り・・・有効な“換気法”は	真相報道バンキシャ！（日本テレビ）	2020年11月15日
	空気質測定器を置いてみた 変動するCO ₂ 濃度、低い湿度…職場環境維持の難しさ	毎日新聞オンライン版（毎日新聞社）	2020年11月15日
	感染予防 室内換気のポイントは“気圧差” 空気の流れをデザインする	サンデーLIVE!!（テレビ朝日）	2020年11月15日
	北海道で“感染再拡大”難しさ浮き彫り・・・有効な“換気法”は（再放送）	news every.（日本テレビ）	2020年11月16日
	北海道で“感染再拡大”難しさ浮き彫り・・・有効な“換気法”は（再放送）	Oha!4 NEWS LIVE（日本テレビ）	2020年11月16日
	「換気」と「潤い」両立を 感染予防 CO ₂ 濃度と湿度維持重要	毎日新聞 朝刊25面（北海道面）（11/15オンライン版と同記事）（毎日新聞社）	2020年11月16日
	北海道で起きたことは全国に広がる 寒さが招く私たちの行動変容とは	週間朝日AERA（11月23日号）（朝日新聞出版）	2020年11月16日
	コロナ対策 まず換気扇	朝刊（社会面）（十勝毎日新聞社）	2020年11月23日
	「2段階換気」とは？加湿のポイントは？	OH! HAPPY MORNING（FM青森・FM岩手・FM秋田・FM山形・FM富山・FM石川・FM三重・FM山陰・FM香川）全国FM放送協議会（JFN）	2020年11月24日
	新型コロナで重要に 冬の換気は“2段階”でどうやるの？	ただいま！テレビ（テレビ静岡）	2020年11月24日
	「2段階換気」とは？人気高まる加湿器	どさんこワイドSTV（札幌テレビ放送）	2020年11月27日
CO ₂ 、湿度、混雑率…広がる数値活用「普段と比べる目安に」	産経新聞 オンライン版（産経新聞社）	2020年11月29日	



教員名	内容	掲載媒体	掲載日
齊藤 雅也	湿度保持 窓際の工夫で 室内の保温性高めて/ 加湿器 設置場所注意	北海道新聞 朝刊13面 (くらし) (北海道新聞社)	2020年11月29日
	「3密」可視化せよ (2020/11/29オンライン版 と同記事) 産経新聞	朝刊1面 (産経新聞社)	2020年11月30日
	感染リスク「小さな飛まつ」には換気	ZIP! (日本テレビ)	2020年12月10日
	[部屋冷やさず感染予防 暖房つけたまま数センチ窓開ける 外気は隣室から「2段階換気」]	東京新聞 (東京新聞社)	2021年1月12日
	換気と室温維持、両立を 専門家「2段階」提唱 (共同通信社札幌支社_配信記事)	中日新聞オンライン版 (中日新聞社)	2021年1月12日
	「コロナ禍で気になる加湿と換気 もんすけ調査隊	HBC (北海道放送)	2021年2月5日
	職場に空気測定器を置いて見えたこと 換気以上に難しいのは?	毎日新聞オンライン版 (毎日新聞社)	2021年2月14日
	職場に空気測定器を置いて見えたこと 換気以上に難しいのは? (2021/02/14オンライン版と同記事)	毎日新聞朝刊 (毎日新聞社)	2021年2月23日
	黄砂・花粉×コロナ禍の換気方法	みんテレ (UHB北海道文化放送)	2021年3月30日
藤木 淳	NHK札幌放送	テレビ	2020年7月13日
	デザイナーズFILE 2021, 株式会社ボンデジタル	専門誌	2020年7月13日
	山陰中央新報 7文化	新聞	2020年8月12日
	福井新聞 19文化・生活	新聞	2020年8月27日
	信濃毎日新聞 5ぶんか	新聞	2020年8月28日
	神奈川新聞 7文化	新聞	2020年8月31日
若林 尚樹	商品名アイヌ語「らしく」	北海道新聞	2020年9月5日
	キッズデザイン賞年度別受賞作品「アナログってなんだろう?」 受賞番号 200237	キッズデザイン協議会	2020年10月23日公開
	3年度新設・札幌市芸術の森小 校章考案3人たたえる 石山東小・常盤小が表彰式	北海道通信	2020年11月13日
	自然に学び未来へ羽ばたいて	北海道新聞	2020年11月25日
	アナログってなんだろう—親子でたのしめる音楽体験ワークショップ (企業web)	株式会社オーディオテクニカ	2021年3月23日公開
丸山 洋平	東京の耐えられない過密さ 加速する人口流入	東京新聞	2020年6月25日
	国勢調査の回答率が下がると困ること	NHKラジオ	2020年10月1日
	札幌集中のリアル「人口集中続く前提 数十年単位で策を」	北海道新聞	2020年10月3日
	札幌集中のリアル「田舎なく、帰省したことない」 増える生涯札幌世代」	北海道新聞	2020年11月29日
大淵 一博	南区行政運営クイズ「なんだべあ?」	広報さっぽろ南区版2020年6月号	2020年6月1日
	広報さっぽろ南区版ヘッダデザイン	広報さっぽろ南区版2020年4月号~2021年3月号	毎月1日



教員名	内容	掲載媒体	掲載日
片山 めぐみ	空き家や古民家を交流拠点に地域活性を支援 札幌市立大学講師 片山めぐみ氏	北海道住宅通信	2020年6月25日
	「地域サロンが日本を救う」	道営住宅広報誌ひろば、第55号（一般財団法人北海道住宅管理公社）	2020年12月
	「多世代交流で楽しい地域づくり～支え合いが健康につながる！」	シニサロン情報誌ちさろ、Vol.9（札幌市社会福祉協議会監修）	2021年3月
小宮 加容子	三角山放送局「飛び出せ車いす（第一火曜日、12:00～13:00）」番組担当	ラジオ番組	月1回×12回
金子 晋也	【特集】空き家対策－人口減少時代の負資産問題－「空き家はマチの彩り」	PRACTICE No35	2020年5月1日
矢久保 空遥	Honda Smile Mission 『おじさんハンコ』	ラジオ 東京FM系 JFN36局	2020年6月22日

② 看護学部

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
卯野木 健	BS朝日 「日曜スクープ」で、集中治療室の看護師数に関する意見がフリップ付きで取り上げられた	テレビ	2020年12月13日
	北海道の病院2021（北海道新聞社）で「いま看護師を守るために何が必要か？」のインタビュー	書籍	2021年2月20日
村松 真澄	新型コロナウイルスと口腔ケア p35-39	ケア	2021年2月号
	「健康アップは歯と口のお手入れから」 p31	Orange Network	2021年1月号
	「健康アップは歯と口のお手入れから」 p30	Orange Network	2021年2月号
	「歯と口の手入れで健康増進」 広告および記事	羅府新報	2021年1月号
守村 洋	自粛生活 楽観思考が大切 コロナ禍 心の健康維持のコツは	北海道新聞（夕刊）	2021年1月27日
伊東 健太郎	看護師が行う当事者研究について、精神科看護師と語った。	ワンダーストレージ FMドラマシティ 77.6Mhz	2020年9月1日
	教育の現場での当事者研究の活用について語った。	ワンダーストレージ FMドラマシティ 77.6Mhz	2020年9月8日



2 公開講座開催実績

1) 札幌市立大学主催

開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2020年7月3日	日本のAI研究を先導する4人が語るpart2 「AI研究の未来」(オンライン講座)	中島 秀之(札幌市立大学 学長) 石黒 浩(大阪大学 栄誉教授) 松尾 豊(東京大学大学院 教授) 松原 仁(東京大学大学院 教授)	169
2020年7月4日	研究の二刀流・第2弾 6話シリーズ① 昆虫のデザイン～その多様なかたちと色の謎～	酒井 正幸(札幌市立大学 名誉教授)	12
2020年8月8日	NCPR(新生児蘇生法)スキルアップコース (Sコース)	荒木 奈緒(看護学部 教授) 黒田 紀子(看護学部 講師)	7
2020年8月22日	NCPR(新生児蘇生法)専門コース(Aコース)	荒木 奈緒(看護学部 教授) 黒田 紀子(看護学部 講師) 大友 舞(看護学部 助教) 小林 正樹(札幌医科大学 助教)	12
2020年8月26日	まちの健康応援室ミニ出張講座③ 「次の出産に向けての心と身体の準備について」	山本真由美(看護学部 講師)	4
2020年8月29日	研究の二刀流・第2弾 6話シリーズ② 自転車のメカニズムとデザイン	細谷 多聞(デザイン学部 教授)	9
2020年10月3日	研究の二刀流・第2弾 6話シリーズ③ 氷上競技アイスホッケーのデザイン	齊藤 雅也(デザイン学部 教授) 山下 拓郎(元アイスホッケー男子日本代表、札幌市役所職員)	20
2020年10月10日	研究の二刀流・第2弾 6話シリーズ④ 日本語のデザイン～外国人にもやさしい日本語をめざして～	酒井 正幸(札幌市立大学 名誉教授)	21
2020年10月13日	まちの健康応援室ミニ出張講座④ 「子どもに多い病気と健康生活(小児感染症・肥満・アトピー・虫歯など)」	牧田 靖子(看護学部 助教)	6
2020年10月17日	研究の二刀流・第2弾 6話シリーズ⑤ パリの街とデザイン(その4)	安齋 利典(デザイン学部 教授)	14
2020年10月24日、 25日	ELNEC-J高齢者プログラム2020in北海道 《二日間コース》(オンライン講座)	川村三希子(看護学部 教授) 山下いずみ(江別市立病院 看護師長) 三浦 直子(札幌西円山病院 副看護師長) 桑田美代子(青梅慶友病院 看護部長代行) 吉岡佐知子(松江市立病院 副看護局長) 西山みどり(有馬温泉病院 看護部長)	46
2020年10月31日	研究の二刀流・第2弾 6話シリーズ⑥ ギター音楽のデザイン#2～演奏とトークによるクラシックギター音楽への誘い～	中原 宏(札幌市立大学 名誉教授)	22
2020年11月16日	まちの健康応援室ミニ出張講座⑤ 「おっぱい、ミルク、と卒乳について」	石引かずみ(看護学部 助教)	3
2021年1月15日	※2020年6月9日の代替開催 まちの健康応援室ミニ出張講座② 「乳幼児のスキンケアと乳幼児の身体発育について」	牧田 靖子(看護学部 助教)	5
2021年2月9日	まちの健康応援室ミニ出張講座⑥ 「産後の身体をケアする体操など」	森川 由紀(看護学部 講師)	2



開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2021年2月13日	北海道の若葉保健師どさんこカフェ (オンライン講座)	本田 光 (看護学部 准教授) 福田 大年 (デザイン学部 講師) 深川 周平 (札幌市役所) 中瀬 彩花 (苫小牧市役所)	32
2021年2月20日	やりたかった活動を実現する力を磨こう！ 保健師のためのWeb講座2021 「もらって嬉しいアンケート(調査票)の作り方」(オンライン講座)	本田 光 (看護学部 准教授)	54
2021年2月27日	やりたかった活動を実現する力を磨こう！ 保健師のためのWeb講座2021 「こころ動かすデータの見せ方」 (オンライン講座)	喜多 歳子 (看護学部 教授)	53
2021年3月1日	※2020年4月14日の代替開催 まちの健康応援室ミニ出張講座① 「産後の心と身体のケア」	大友 舞 (看護学部 助教)	9
2021年3月6日	NCPR(新生児蘇生法)スキルアップコース (Sコース)	荒木 奈緒 (看護学部 教授) 黒田 紀子 (看護学部 講師) 大友 舞 (看護学部 助教)	9
2021年3月6日	やりたかった活動を実現する力を磨こう！ 保健師のためのWeb講座2021 「一緒に考えよう！精神障害者への地域生活 支援」(オンライン講座)	伊東健太郎 (看護学部 講師)	38
2021年3月13日	やりたかった活動を実現する力を磨こう！ 保健師のためのWeb講座2021 「ポピュレーションアプローチを「得意技」 にする！」(オンライン講座)	村中 峯子 (地域医療振興協会ヘルス プロモーション研究センター参事)	24

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、2講座を延期開催とした。

2) 共催講座：「さっぽろ市民カレッジ」連携講座

開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2020年10月6日、 13日	さっぽろ市民カレッジ2020秋期講座 建築からみる札幌の歴史・秋 ～札幌本府の成り立ち～	羽深 久夫 (札幌市立大学 名誉教 授)	20

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、2講座を中止とした。

3) 共催講座：「知活(ちいき)ゼミナール」

開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2020年10月3日	札幌市立大学・道総研共同セミナー 『知活(ちいき)ゼミナール2020』 テーマ「意外と知らない身近なモノ」 ・合う！医療用テープ・絆創膏の選び方使い方 (札幌市立大学) ・きのこの世界(道総研)	貝谷 敏子 (看護学部 教授) 東 智則 (北海道立総合研究機構 林産試験場 利用部 主任主査)	29

4) 共催講座：「公立はこだて未来大学」特別講演会

開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2020年7月2日	人工知能のデザイン (オンライン講座)	中島 秀之 (札幌市立大学 学長) 石黒 浩 (大阪大学 名誉教授) 松尾 豊 (東京大学大学院 教授) 松原 仁 (東京大学大学院 教授)	443



3 国・自治体審議会等への就任状況

デザイン学部

教員名	名称/役職	自治体名・主催団体名
中島 秀之	日本学術会議連携会員/委員	日本学術会議事務局
	(大)宮城大学評価委員会/委員長	宮城県
	札幌国際芸術祭実行委員会/委員(副会長)	札幌国際芸術祭実行委員会
	(大)会津大学参与会/参与	(大)会津大学
	(公財)本田財団/理事	(公財)本田財団
	(社)社会システムデザインセンター/構成員	日本ビジネスシステムズ(株)
	未来社会創造事業 研究開発運営会議/委員	国立研究開発法人科学技術振興機構
	未踏事業審査委員会/委員	(独)情報処理推進機構
	(大)はこだて未来大学/特任教授	(大)はこだて未来大学
	(大)はこだて未来大学未来A I 研究センター/顧問	(大)はこだて未来大学
	(株)未来シェア/取締役会長	(株)未来シェア
	「Sapporo AI Lab」/エグゼクティブ・アドバイザー	Sapporo AI Lab
	HPCI計画推進委員会ポスト「京」重点課題推進ワーキンググループ萌芽的課題サブワーキンググループ/委員	文部科学省研究振興局
	国立障害者リハビリテーションセンター研究所評価委員会/委員	国立障害者リハビリテーションセンター
	「NoMaps実行委員会」/顧問	NoMaps実行委員会
	「第8回星新一賞」/最終審査委員	星新一賞実行委員会
	本田賞/選考委員	(公財)本田財団
	NEDO技術委員会/技術委員	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
	健康脆弱化予知予防研究/客員主管研究員	国立研究開発法人理化学研究所
	(社)日本ディーブラーニング協会/有識者会員	(社)日本ディーブラーニング協会
	ビッグデータ・AIコンペティション実行委員会/審査委員(委員長)	ビッグデータ・AIコンペティション実行委員会(NoMaps合同会社内)
	Innovators Under35 Japan/審査	(株)角川アスキー総合研究所
	大学共同利用機関の自己検証結果報告書に対する意見書作成	科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会 大学共同利用機関改革に関する作業部会
	「石黒共生ヒューマンロボットインタラクションプロジェクト」/事後評価委員	国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略研究推進部 研究人材グループ
	スマートライフ実現のためのAI等を活用したシュミレーションデータ連携基盤委員会/委員	(株)三菱総合研究所
	北海道MaaS推進研究会/会長	(社)北海道産学官研究フォーラム
	特定非営利活動法人産学連携推進機構/理事	特定非営利活動法人産学連携推進機構
公正取引委員会意見聴取	公正取引委員会	
IPA新白書有識者委員会/委員	(独)情報処理推進機構	



教員名	名称/役職	自治体名・主催団体名
細谷 多聞	令和2年度コンテンツ活用促進事業費補助金審査委員会/審査委員	(一財) さっぽろ産業振興財団
	芸術の森地区文化祭実行委員会/委員	芸術の森地区連合会
石井 雅博	数理・データサイエンス教育/客員教授	(大)北海道大学 数理・データサイエンス教育研究センター
齊藤 雅也	札幌市中高層建築物紛争調整委員会/委員	札幌市(都市局)
	BIS認定事業に係る試験講習委員会/委員	(一社)北海道建築技術協会
	登録建築物エネルギー消費性能評価機関・任意評定実施機関/評価員・評定員	(一財)北海道建築指導センター
椎野 亜紀夫	北海道国土利用計画審議会/委員	北海道(総合政策部政策局)
	札幌市都市計画審議会/委員	札幌市(まちづくり政策局)
	岩見沢市都市計画審議会/委員	岩見沢市(建設部都市計画課)
	都市公園の指定管理者選定委員会/委員	札幌市(建設局)
	北海道土地利用審査会/委員	北海道(総合政策部政策局)
	札幌市都心のみどりづくり方針検討委員会/委員	札幌市(建設局)
町田 佳世子	北海道立近代美術館協議会/委員(非常勤特別職)	北海道立近代美術館
	(一財)札幌市水道サービス協会/評議員	(一財)札幌市水道サービス協会
三谷 篤史	介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会/委員	(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
若林 尚樹	ADADA JAPAN/理事	ADADA JAPAN
	(公財)画像情報教育振興協会/委員	(公財)画像情報教育振興協会
	戦略的情報通信研究開発推進事業/専門評価委員	総務省国際戦略局
小林 重人	小樽商科大学グローバル戦略推進センター研究支援部門研究倫理審査専門部会/学外委員	(大)小樽商科大学
	(一社)専修大学デジタル・コミュニティ通貨コンソーシアムラボラトリー/理事	(一社)専修大学デジタル・コミュニティ通貨ラボラトリー
	北陸先端科学技術大学院大学/客員研究員	北陸先端科学技術大学院大学
武田 亘明	いじめ問題調査委員会/委員	当別町教育委員会
	一体型義務教育学校建設検討委員会/アドバイザー	当別町教育委員会
	義務教育学校開校準備委員会/アドバイザー	当別町教育委員会
	義務教育学校教育課程編成委員会/アドバイザー	当別町教育委員会
	第15期北海道生涯学習審議会/委員	北海道(教育庁生涯学習推進局)
	北海道地域学校協働活動推進会議兼コミュニティ・スクール連絡協議会/構成員	北海道(教育庁学校教育局)
張 浦華	札幌家庭裁判所/家事調停委員	札幌家庭裁判所
丸山 洋平	人口移動調査/研究プロジェクト委員	国立社会保障・人口問題研究所
	新潟市都市政策部GISセンター/研究参与	新潟市都市政策部GISセンター
	「少子化対策地域評価ツール」を活用した対応策等に関する調査研究事業/委員	(一社)北海道総合研究調査会
	「特別区における小地域人口・世帯分析及び壮年期単身者の現状と課題(基礎調査)研究会/研究員	特別区長会調査研究機構
	北海道高等学校「高校生対流促進事業」推進協議会/構成員	北海道(教育庁学校教育局)



教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
丸山 洋平	令和2年度品目横断的販売促進緊急対策事業のうち地域創意による販売促進事業／選考委員	(株)博報堂 テーマビジネスデザイン局
森 朋子	札幌市景観審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	札幌市屋外広告物審議会／委員	札幌市（建設局）
	札幌市中高層建築物紛争調整委員会／委員	札幌市（都市局）
	都心部における地下歩行ネットワーク検討委員会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	北広島市旧島松駅通所整備基本計画検討委員会／委員	北広島市教育委員会
	平取町文化的景観に関する有識者・学識者意見交換会／委員	平取町
	弟子屈町景観計画策定委員会／委員	弟子屈町
	コンサルタント依頼／コンサルタント	クリスチャン・マンハート ユネスコ・ネパール
山田 信博	北海道景観審議会／委員	北海道（建設部まちづくり局）
	札幌市広告アドバイザー／アドバイザー	札幌市（建設局）
	「札幌市エレクトロニクスセンター多目的ホール空間デザイン」審査委員会／委員	札幌市（経済産業局）
横溝 賢	令和2年度新たな活動の場創設支援事業審査委員会／委員	札幌市（市民文化局）
	札幌スタイル認証委員会／委員	札幌市（経済観光局）
石田 勝也	SIAFラボ／プロジェクトディレクター	札幌国際芸術祭実行委員会
片山 めぐみ	札幌市緑の審議会／委員	札幌市（建設局）
	安平町未来創生委員会／アドバイザー	安平町（企画財政課）
	札幌市動物愛護管理推進協議会／委員	札幌市（保健福祉局）
	石狩市空家等対策協議会／委員	石狩市（建設水道部）
	札幌市景観審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	札幌市開発審査会／委員	札幌市（都市局）
	令和2年度町内会加入促進啓発事業企画競争実施委員会／委員	札幌市（市民文化局）
	札幌市都心のみどりづくり方針検討委員会／委員	札幌市（建設局）
	北海道住宅対策審議会／委員	北海道（建設部住宅局）
	北海道情報大学大学院学位論文審査／審査委員	北海道情報大学
国有財産北海道地方審議会／委員	北海道（財務局）	
小宮 加容子	介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会／委員	(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
須之内 元洋	認定こども園・浦河フレンドようちえん／理事	(学)フレンド恵学園
福田 大年	「札幌スタイル認証委員会」／委員長	札幌市（経済観光局）
	とくとく検診PRポスターの図案選考会／選考委員	札幌市（保健福祉局）
松永 康佑	ADADA JAPAN／理事	ADADA JAPAN
矢久保 空遥	観光商材開発支援事業審査委員会／委員	札幌市（経済観光局）
	観光商材開発支援事業における「専門家個別相談会」／専門家	札幌市（経済観光局）



看護学部

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
松浦 和代	日本看護系大学協議会 高度実践看護師教育課程認定委員会 小児看護専門分科会／委員	(一社)日本看護系大学協議会 高度実践看護師教育課程認定委員会
	札幌市都市計画審議会／委員	札幌市
	専門看護師認定実行委員会(急性・重症患者看護)／委員	(公社)日本看護協会
菊地 ひろみ	「医療・福祉分野求職開拓事業」に係る提案書技術審査委員会／委員長	北海道労働局職業安定部
	新卒訪問看護師教育プログラム策定ワーキングチーム／委員	(公社)北海道看護協会
中村 恵子	プロトコール専門委員会／委員	札幌市保健福祉局
	特別研究員等審査委員会／専門委員	(独)日本学術振興会
	札幌市救急業務検討委員会／委員	札幌市
喜多 歳子	一般社団法人全国保健師教育機関協議会 北海道・東北ブロック／委員長	(一社)全国保健師教育機関協議会
	科学研究費委員会／専門委員	(独)日本学術振興会
	北海道公衆衛生協会／理事	北海道公衆衛生協会
	国立大学法人北海道大学環境健康科学瀬教育研究センター／招聘教員	国立大学法人北海道大学環境健康科学教育研究センター
定廣 和香子	特別研究員等審査委員会／書面審査担当専門委員	(独)日本学術振興会
樋之津 淳子	科学研究費委員会／専門委員	(独)日本学術振興会
	北海道公立大学法人札幌医科大学附属病院／看護部長選考会議／委員	(大)札幌医科大学附属病院
貝谷 敏子	札幌医科大学倫理委員会／委員	(大)札幌医科大学
佐藤 ひとみ	北海道大学病院／病院長補佐	(大)北海道大学病院
	公益財団法人日本医療機能評価機構評価／調査者	(公財)日本医療機能評価機構
菅原 美樹	一般社団法人日本救急看護学会／社員(評議員)	(公社)日本看護協会
	一般社団法人日本救急看護学会／理事	(公社)日本看護協会
	認定看護師審査会ワーキンググループ(救急看護)／構成員	(公社)日本看護協会
村松 真澄	旭川口腔ケア普及研究会／幹事	上川中部地域歯科保健推進協議会
	一般社団法人日本口腔ケア学会認定施設医療法人社団はぎわら歯科クリニック内／「口腔ケアチーム」における認定指導者	(医)はぎわら歯科クリニック
守村 洋	札幌市社会福祉総合センター管理運営委員会／委員	札幌市(社会福祉総合センター)
	札幌市社会福祉協議会権利擁護審査会／委員	(社)札幌市社会福祉協議会
本田 光	北海道看護協会札幌第1支部／助産師職能委員	北海道看護協会札幌第1支部
山本 真由美	北海道看護協会札幌第1支部／助産師職能委員	北海道看護協会札幌第1支部
黒田 紀子	若手による小児保健検討会準備委員会／委員	(公社)日本小児保健協会



地域連携研究センター

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
高橋 尚人	オープンデータの利活用／客員研究員	(一財) さっぽろ産業振興財団
	産学融合拠点創出事業／コーディネーター	(公財) 北海道科学技術総合振興センター
福谷 遼太	令和3年度用中学校技術・家庭「技術分野」教科書準拠学習指導書／原稿執筆	開隆堂出版(株)



4 専門職支援・セミナー講師等

1) 専門職支援

① 認定看護管理者教育課程サードレベル

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休講。

2) セミナー講師等

① デザイン学部

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
中島 秀之	2020年6月6日	「AIの現状と未来」／講師	日本法律家協会北海道支部
	2020年6月9日	「AI技術を活用する社会のデザイン」／講師	2020年度人工知能学会大会 全国大会
	2020年6月27日	「AI技術の社会応用：皆が健康に暮らせる社会のデザイン」／講師	医療法人社団豊生会
	2020年7月8日	「人工知能・ビッグデータの技術的先端と社会的影響」／講師	日本産学フォーラム
	2020年7月22日	技術者の一日／講師	トヨタ技術会
	2020年8月8日	「AIを用いた健康脆弱化予知予防への挑戦：健康設計コンシェルジュを目指して」／講師	医療法人社団豊生会
	2020年9月2日	NoMapsが切り拓く地図なき世界／講師	NoMaps実行委員会
	2020年10月3日	「AIと対話」／講師	人間文化研究機構 国立国語研究所
	2020年10月21日	「AIをコアとするデジタル基盤がもたらす変革」／講師	日本経済新聞社
	2020年10月29日、 10月30日	「未来型AI公共サービス「SAVS」について」／講師	札幌市
	2020年11月9日、 11月10日	データサイエンティスト協会 7thシンポジウム／講師	(一社)データサイエンティスト協会
	2020年11月24日	「人工知能—その到達点と未来—」／講師	北海道文化放送(株)
	2020年11月25日	第3回「人工知能の過去・現在・未来」／講師	新鋭経営会
	2020年12月4日	「日本社会はAIで変われる」／講師	神戸商工会議所
	2020年12月8日	「人工知能の現状および将来展望」／講師	(公財)中部科学技術センター
	2021年3月2日	「AI技術で支える社会とモビリティ」／講師	芝浦工業大学
	2021年3月9日	SIP学習支援シンポジウム／講師	NTTラーニングシステムズ
2021年3月12日	CVMW2020／講師	CVMW2020 心血管代謝週間	
齊藤 雅也	2021年2月22日	「ペットボトルハウスで考える住まいの温・涼デザイン」／講師	北海道旭川西高等学校
椎野 亜紀夫	2020年10月6日、 10月7日、10月13日	「常盤の自然を生かした公園デザインをしよう」／講師	札幌市立常盤小学校
小林 重人	2020年11月6日	大学改革シンポジウム／講師	山梨大学大学院総合研究部
	2021年2月25日	「第5回貨幣革新・地域通貨国際会議 飛騨高山大会の開催について」／講師	日本政府観光局



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
武田 亘明	2020年11月4日	地域と学校の連携推進協議会／講師	北海道教育庁石狩教育局
	2021年2月27日	「地域学校協働活動の趣旨と地域が取り組む意義について」／講師	千歳市教育委員会
石田 勝也	2020年5月14日	「看護教員のためのオンライン授業の具体的な方法とコツ」／講師	北海道文教大学
片山 めぐみ	2020年10月2日	団地サミット／講師	(一社)北海道住宅管理公社
福田 大年	2021年3月5日	「クリエイティブ活動を刺激するビジュアル思考活用法」／対談	(株)グラグリッド

② 看護学部

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
松浦 和代	2020年4月1日 ～2022年3月31日	札幌市都市計画審議会 都市計画に関する事項の調査審議／委員	札幌市
	2020年7月20日 ～2022年度日本看護系大学協議会定時社員総会の終結の時まで	2020-2021年度 日本看護系大学協議会 高度実践看護師教育課程認定委員会／小児看護専門分科会委員	(一社)日本看護系大学協議会 高度実践看護師教育課程認定委員会
	2020年7月28日 ～2021年3月31日	ノースティック財団「医療機関ニーズ対応型開発補助事業」／審査委員	(公財)北海道科学技術総合振興センター
	2020年9月 ～2021年6月	2020年度一般社団法人日本小児看護学会研究奨励賞選考委員	(一社)日本小児看護学会
菊地 ひろみ	2020年8月1日 ～2021年3月31日	「医療・福祉分野求職開拓事業」に係る提案書技術審査委員会／委員長	北海道労働局職業安定部
	2020年9月15日	令和2年度第1回新卒訪問看護師教育プログラム策定ワーキングチーム	(公社)北海道看護協会
	2020年11月24日	令和2年度第2回新卒訪問看護師教育プログラム策定ワーキングチーム	(公社)北海道看護協会
中村 恵子	2018年7月1日 ～2020年6月30日	専門看護師認定実行委員会（急性・重症患者看護）／委員	(公社)日本看護協会
	2018年10月18日 ～2022年12月	一般社団法人日本看護管理学会／評議員	(一社)日本看護管理学会
	2019年6月14日 ～2023年評議員選挙終了時まで	一般社団法人クリティカルケア看護学会／評議員	(一社)日本クリティカルケア看護学会
	2019年11月1日 ～2021年10月31日	プロトコール専門委員会／委員	札幌市（保健福祉局）
	2018年6月1日 ～2020年5月31日	札幌市救急業務検討委員会／委員	札幌市
荒木 奈緒	2020年4月1日 ～2021年3月31日	学会誌編集委員会に係る委員	日本遺伝看護学会
	2020年4月1日 ～2021年3月31日	(1)出生前診断に関する相談員（産婦人科外来）及び(2)臨床看護研究支援スタッフ育成のための研修会／講師	NTT東日本札幌病院
	2020年3月31日 ～2022年定時社員総会終結まで	一般社団法人日本助産学会／代議員	(一社)日本助産学会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
卯野木 健	2020年5月16日	日本脳神経看護研究会北海道部会記念講演「看護データに関する講演」	日本脳神経看護研究会北海道部会
	2020年10月1日	看護部主催研修～超急性期医療における身体拘束、なぜ拘束をやめられないのか～/講師	手稲溪仁会病院
	2020年11月16日	社内勉強会/講師	アルケア株式会社 ウンド & ナーシングケア事業部
	2020年12月17日 ～2021年学術集会 終了時まで	第9回看護理工学会学術集会/運営委員長	第9回看護理工学会学術集会
	2021年1月12日	院内Web研修/講師	石巻赤十字病院
	2021年1月27日	「超急性期医療における身体拘束 なぜ身体拘束をやめられないのか?」/講演	学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院
	2021年2月27日	第8回日本ニューロサイエンス看護学会学術集会 (Web) 共同企画セッション/座長	日本ニューロサイエンス看護学会学術集会
	2021年2月13日、 14日	第48回日本集中治療医学会学術集会/司会及び演者	第48回日本集中治療医学会学術集会
小田 和美	2020年3月5日 ～9月頃	看護研究指導/講師	(医) 萬田記念病院
貝谷 敏子	2019年10月1日 ～2021年9月30日	公益財団法人日本看護科学会誌/専任査読委員	(公財) 人日本看護科学会
	2020年5月16日	第29回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会ランチョンセミナー/座長	持田ヘルスケア株式会社
	2020年4月1日 ～2022年3月31日	札幌医科大学倫理委員会/委員	(大) 札幌医科大学
喜多 歳子	2019年6月1日 ～2021年6月5日	一般社団法人全国保健師教育機関協議会 北海道・東北ブロック/委員長	(一社) 全国保健師教育機関協議会
	2019年8月 ～2021年8月	北海道建築審査会/委員	北海道
	2020年4月1日 ～2021年3月31日	国立大学法人北海道大学環境健康科学研究教育センター/招へい教員	(大) 北海道大学環境健康科学研究教育センター
	2019年12月1日 ～2020年11月30日	科学研究費委員会/専門委員	(独) 日本学術振興会
定廣 和香子	2019年7月1日 ～2020年6月30日	特別研究員等審査委員会等/書面審査担当の専門委員	(独) 日本学術振興会
	2020年6月11日、 15日、19日、 19日、7月10日	令和2年度北海道専任教員養成講習会の講師①看護論②看護論演習	(公社) 北海道看護協会
	2020年7月1日 ～2021年6月30日	特別研究員等審査委員会等/書面審査担当の専門委員	(独) 日本学術振興会
	2020年11月27日、 12月4日、18日	令和2年度北海道専任教員養成講習会/講師	(公社) 北海道看護協会
佐藤 ひとみ	2020年4月1日 ～2021年3月31日	北海道大学病院/病院長補佐	(大) 北海道大学 北海道大学病院
	2020年5月1日 ～2022年3月31日	公益財団法人日本医療機能評価機構評価調査者	(公財) 日本医療機能評価機構



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
樋之津 淳子	2018年7月7日 ～2020年北海道地 方会総会前日まで	一般社団法人日本看護研究学会北海道地方会/ 役員	(一社)日本看護研究学会北海道 地方会
	2019年11月1日 ～2021年3月31日	北海道公立大学法人札幌医科大学附属病院/ 看護部長選考会議の委員	(大)札幌医科大学附属病院
	2019年8月1日 ～2021年3月31日	日本人間工学会看護人間工学部会/ 総務委員長	看護人間工学会
	2019年5月1日 ～2021年3月31日	日本人間工学会看護人間工学部会/ 理事	看護人間工学会
	2018年10月9日 ～2020年9月30日	一般社団法人日本看護研究学会第46回学術集 会/ 企画委員	(一社)日本看護研究学会第46回 学術集会
	2019年2月28日 ～2023年3月	公益社団法人日本看護科学学会/ 社員(代議員)	(公社)日本看護科学学会
	2019年6月16日 ～2021年6月	公益社団法人日本看護科学学会/ 理事	(公社)日本看護科学学会
	2020年8月28日	一般社団法人日本看護研究学会第46回学術集 会/ 座長	(一社)日本看護研究学会第46回 学術集会
	2020年6月7日 ～2024年度定時評 議委員会の終結の時	一般社団法人日本看護学教育学会/ 評議員	(一社)日本看護学教育学会
	2020年12月1日 ～2021年11月30日	科学研究費委員会/ 専門委員	(独)日本学術振興会
	2019年6月6日 ～2021年学術集会 終了時まで	看護理工学会 第9回学術集会/ 大会長	看護理工学会
神島 滋子	2020年3月	日本ニューロサイエンス看護学会第7回学術集 会/ 会長	日本ニューロサイエンス学 会
	2020年11月27日	2020年度済生会小樽病院看護部「看護研究発 表会」/ 座長	済生会小樽病院看護部
菅原 美樹	2018年11月1日 ～2020年10月31日	認定看護師認定実行委員会(救急看護)/ 委員	(公社)日本看護協会
	2019年4月1日 ～2021年3月31日	認定看護師認定委員会/ 委員	(公社)日本看護協会
	2019年10月3日 ～2023年開催の定 時社員総会の前日 まで	一般社団法人日本救急看護学会/ 社員(評議員)	(一社)日本救急看護学会
	2019年10月3日 ～2021年開催の定 時社員総会締結の 時まで	一般社団法人日本救急看護学会/ 理事	(一社)日本救急看護学会
	2019年11月6日 ～2021年開催の第 23回学術集会の終 了の時まで	第23回日本救急看護学会学術集会/ 会長	(一社)日本救急看護学会
	2020年11月1日 ～2021年3月31日	認定看護師審査会ワーキンググループ(救急 看護)/ 構成員	(公社)日本看護協会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
檜山 明子	2018年7月7日 ～2020年北海道 地方会総会前日まで	一般社団法人日本看護研究学会北海道地方会/ 役員	(一社)日本看護研究学会北海道 地方会
	2020年11月27日、 12月9日、11日、 16日、18日、 23日、1月6日、8日	令和2年度北海道専任教員養成講習会/講師 「看護論演習」	(公社)北海道看護協会
	2020年12月17日 ～2021年学術集会 終了時まで	第9回看護理工学会学術集会/運営委員	第9回看護理工学会学術集会
藤井 瑞恵	2020年4月1日 ～2021年3月31日	札幌医科大学訪問研究員	(大)札幌医科大学
	2019年11月8日 ～2021年11月12日	日本腎不全看護学会CKD委員会/ワーキング メンバー	(一社)日本腎不全看護学会
本田 光	2021年2月 ～2023年2月	令和3年度北海道看護協会札幌第1支部/助産 師職能委員	北海道看護協会札幌第1支部
	2021年3月17日	市立札幌みなみの杜高等支援学校/2学年教科 「保健」講師	市立札幌みなみの杜高等支 援学校
村松 真澄	2019年8月1日 ～2021年7月31日	日本摂食嚥下リハビリテーション学会/評議員	(一社)日本摂食嚥下リハビリ テーション学会
	2020年5月1日 ～2021年3月31日	旭川口腔ケア普及研究会/幹事	上川中部地域歯科保健推進 協議会
	2020年7月17日 ～2022年度社員総 会まで	一般社団法人日本老年看護学会編集委員会/査 読委員	(一社)日本老年看護学会及び日 本老年看護学会編集委員会
	2020年6月29日 ～2024年度社員総 会まで	一般社団法人日本老年看護学会/代議員	(一社)日本老年看護学会
	2020年7月17日 ～2022年度社員総 会まで	一般社団法人日本老年看護学会編集委員会/査 読委員	(一社)日本老年看護学会
	2020年8月28日 ～2022年度社員総 会まで	一般社団法人日本老年看護学会老年看護政策検 討委員会/委員	(一社)日本老年看護学会
	2020年4月1日 ～2025年3月31日	一般社団法人日本口腔ケア学会認定施設医療法 人社団はぎわら歯科クリニック内「口腔ケア チーム」における認定指導者	(医)はぎわら歯科クリニック
	2020年4月1日 ～2022年3月31日	一般社団法人日本口腔ケア学会/評議員	(一社)日本口腔ケア学会
	2020年4月1日 ～2022年3月31日	一般社団法人日本口腔ケア学会医科歯科連携委 員会/委員	(一社)日本口腔ケア学会
	2020年12月17日 ～2023年11月30日	北海道公衆衛生学会/評議員	北海道公衆衛生協会
	2021年2月20日	米国カリフォルニア州オレンジ郡日系協会会員 及びロサンゼルス在住日系人、日本人健康セミ ナー開催に関する講演	オレンジ郡日系協会
	2020年12月17日 ～2021年学術集会 終了時まで	第9回看護理工学会学術集会/運営委員 (プロ グラム委員)	第9回看護理工学会学術集会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
守村 洋	2019年12月1日 ～2023年3月31日	札幌市社会福祉総合センター管理運営委員会／委員	札幌市社会福祉総合センター
	2020年4月1日 ～2022年3月31日	札幌市社会福祉協議会権利擁護審査会／委員	(社)札幌市社会福祉協議会
	2020年8月14日	「精神科訪問看護基本療養指導に係る研修／研修会」講師	(公)北海道看護協会
	2020年7月28日	令和2年度札幌市教育センター専門研修／講師	札幌市(教育委員会)
	2020年10月29日、 12月15日	令和2年度メンタルヘルス研修の開催に伴う講師	北海道社会福祉協議会社会福祉研修所
	2020年9月14日、 2021年2月3日	令和2年度「生活支援員登録に向けた研修・説明会」／講師	(社)札幌市社会福祉協議会
	2020年7月15日 ～2021年3月5日	第40回日本社会精神医学会／プログラム委員	第40回日本社会精神医学会
大野 夏代	2020年8月21日 ～2021年3月31日	日本国際看護学会誌／査読	日本国際看護学会
石引 かずみ	2020年7月1日 ～2020年10月30日	日本フォレンジック看護学会第7回学術集会／実行委員	日本フォレンジック看護学会
	2020年7月20日	書籍化についての許諾願い	樹学研メディカル秀潤社
工藤 京子	2018年7月7日 ～2020年北海道地方会総会前日まで	一般社団法人日本看護研究学会北海道地方会／役員	(社)日本看護研究学会北海道地方会
黒田 紀子	2019年9月1日 ～2020年8月30日	第30回日本新生児看護学会学術集会／学会企画運営委員	第30回日本新生児看護学会学術集会
	2020年8月3日～ 2022年定時社員総会まで	若手による小児保健検討会準備委員会／委員	(公)日本小児保健協会
武富 貴久子	2020年10月～11月	令和2年度札幌第4支部研修「看護研究」研修／講師	(公)北海道看護協会 札幌第4支部
	2020年4月1日 ～2021年3月31日	客員研究員としての研究活動	北海道大学大学院医学研究院
	2020年9月4日	看護研究グループへのアドバイス及び事例検討の研修	町立中標津病院
	2020年9月11日	標準模擬患者指導教員	北海道大学医学研究院
	2020年9月5日	令和2年度札幌第4支部研修「看護研究研修会」研修／講師	(公)北海道看護協会 札幌第4支部
	2020年10月24日	標準模擬患者指導教員	北海道大学医学研究院
矢野 祐美子	2019年3月16日 ～2021年度定時社員総会終結時業務完了まで	一般社団法人日本看護管理学会 学術活動推進委員会委員	(社)日本看護管理学会
	2021年1月25日	苫小牧市立病院「実習指導者研修Ⅰ・プリセプター研修Ⅰ」／講師	苫小牧市立病院



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
山本 真由美	2021年2月 ～2023年2月支部大会まで	令和3年度北海道看護協会札幌第1支部／助産師職能委員	北海道看護協会札幌第1支部
	2020年8月27日 ～2020年8月28日	一般社団法人日本看護研究学会 第46回学術集会 実行委員	(一社)日本看護研究学会第46回学術集会
	2021年2月21日 ～2022年度支部大会修了の日まで	公益社団法人北海道看護協会 札幌第1支部／助産師職能委員	(公社)北海道看護協会
	2020年12月17日 ～2021年学術集会終了時まで	第9回看護理工学会学術集会／運営委員	第9回看護理工学会学術集会
鬼塚 美玲	2018年7月7日 ～2020年北海道地方会総会前日まで	一般社団法人日本看護研究学会北海道地方会／役員	(一社)日本看護研究学会北海道地方会
	2020年4月1日 ～2021年3月31日	自衛隊札幌病院の看護研究指導	自衛隊札幌病院
近藤 圭子	2020年8月25日、 9月30日	令和2年度訪問指導員研修会・連絡会（8・9月実施分）／講師	(社福)札幌市社会福祉協議会
高橋 葉子	2019年5月29日 ～2020年北海道地方会総会前日まで	一般社団法人日本看護研究学会北海道地方会／役員	(一社)日本看護研究学会北海道地方会
	2020年12月17日 ～2021年学術集会終了時まで	第9回看護理工学会学術集会／運営委員	第9回看護理工学会学術集会

③ 地域連携研究センター

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
高橋 尚人	2021年2月8日	「AIを活用した公共事業の最適化に関する研究」／講師	北海道ITSフォーラム



5 国際交流実績

年月日	内容	
2020年8月 ～2021年7月	派遣	ラップランド大学へ交流学生1名を派遣
2020年10月1日 ～2021年9月30日	受入	台中科技大学から特別聴講生1名を受入
2021年1月14日	オンライン 交流	台中科技大学（教員8名、学生24名）と、オンライン国際交流プログラムを実施し、教職員8名、看護学部生15名が参加

6 サテライトキャンパスの利用状況

利用目的	利用件数
セミナー	9
会議	※内訳 会議（学内者のみ）37 産学連携・会議（学外者を含む）74 111
学会	227
その他	0
合計	347

V キャリア支援活動

1 デザイン学部

1) 概要

デザイン学部キャリア支援委員会は、デザイン学部の学生を対象としたキャリア支援の取り組みを図る目的で2008年4月に設立された。本委員会は、定例会議（毎月1回程度）において学生の支援方法及び企業へのPR・求人開拓活動などを協議し、コース毎の独自企画と連携しながら運営を行った。

また、同時に開設されたキャリア支援室では、教職員による就職相談体制を整えるとともに、専門の就職相談員1名を配置し、きめ細かな個別指導を行っている。2020年度においてはオンライン相談の体制を整備した他、後援会からの支援を受けた就職活動支援の取り組みを行っている。活動実績の詳細については下記のとおりである。

学部4年生への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導（就職相談、面接・履歴書・ES対策など）（2020年4月～） ・学内企業説明会の開催（随時） ・求人情報の提供（随時）
学部3年生への支援 大学院1年生への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・OB・OGイベントを含むキャリアガイダンス（2020年4月～2021年1月） ・デザイン学部専門教育科目「キャリアデザイン」（2020年10月～2021年2月） ・就職活動ハンドブックの配布（2020年4月） ・進路希望調査（2020年9月） ・ビジネスEXPO見学会の開催（2020年11月） ・学内業界セミナーの開催（2020年11月～2020年12月） ・求人情報の提供（随時） ・インターンシップ・企業実習情報の提供（随時）
学部2・3年生への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・スケッチ講習会の開催（2020年10月） ・ワークショップ型インターンシップ体験の開催（2020年12月）
後援会からの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬面接（2021年1月～2月） ・エントリーシート個別相談会の開催（2020年11月） ・履歴書用証明写真撮影補助（2020年11月～）

2) 支援体制

デザイン学部のキャリア支援は、本委員会の委員、2コースのゼミ担当教員及び事務局（学生課キャリア支援担当、就職相談員）が行っている。主な役割分担として、事業の企画・運営は本委員会の委員が、就職先の開拓は全教員及びキャリア支援担当が、学生相談のうち専門分野に関わることはキャリア支援室の就職相談員及びキャリア支援担当がそれぞれ行っている。



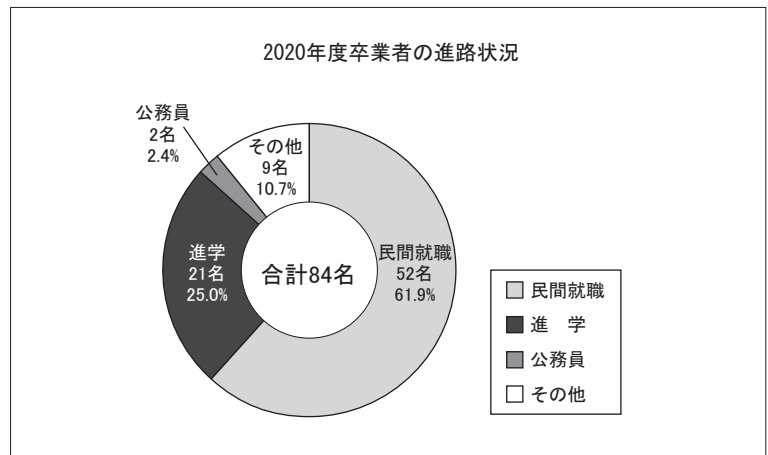
3) 就職・進学結果
(12期生) 2021年3月卒業生

就職先	■建設業 (株)NTTファシリティーズ北海道/(株)オープンハウス・ディベロップメント/豊栄建設(株)/(株)メイセイ・エンジニアリング
	■製造業 (有)自然社/東洋(株)/トライ・ユー(株)/トヨタ自動車(株)/フィールド・クラブ(株)/(株)ロイズコンフェクト
	■情報通信業 (放送・ゲームソフト・インターネット関連・映像制作等) AMAYADORI(株)/mode(株)/Septeni Ad Creative(株)/(株)アイティ・コミュニケーションズ/(株)アカシック/(株)アートフル/(株)エステイデザイン/(株)オブテック北海道/クリナップソリューション(株)/(株)サブリメイション/(株)ジャパンテクニカルソフトウェア/(株)電緑/トランスコスモス(株)/(株)ニシカワ/(株)ホクリン/フリーランス
	■卸売業・小売業 (株)NKユニテッド/青山商事(株)/(株)セコマ/大丸(株)/(株)ビックカメラ/長谷川産業(株)/北海道三菱自動車販売(株)/(株)和らいふ
	■不動産業 日本グランデ(株)
	■金融業 帯広信用金庫
	■専門・技術サービス業 (デザイン業・広告業等) (株)ADKホールディングス/(株)mtc./アクセンチュア(株)/国豊積算(株)/(株)電通東日本/(同)メタサイト
	■飲食サービス業 (株)WONDER CREW
	■娯楽業 新和グループ
	■医療・福祉 (福)帯広福祉協会
	■複合サービス業 北海道農業団体健康保険組合
	■サービス業 (株)アンジェラックスプランニング/(株)ファーストコネクト
	■公務 札幌市
進学先	札幌市立大学大学院/東京工業大学大学院/京都工芸繊維大学大学院/札幌ミュージック&ダンス・放送専門学校

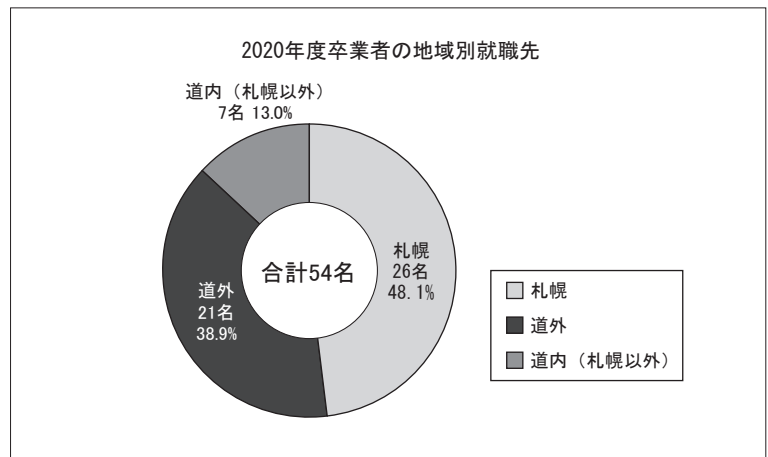


(12期生) 札幌市立大学デザイン学部 2020年度卒業生 就職状況 (2021年7月1日現在)

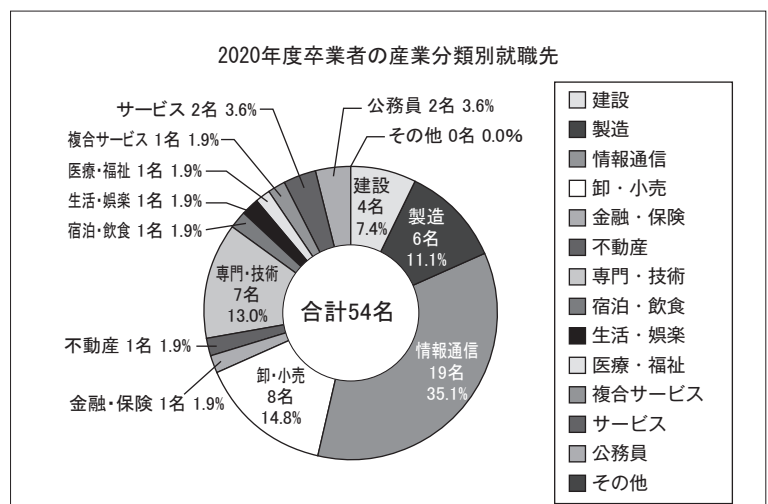
進路状況	人数(名)	割合(%)
民間就職	52	61.9
進学	21	25.0
公務員	2	2.4
その他	9	10.7
合計	84	—



地域別就職先	人数(名)	割合(%)
札幌	26	48.1
道外	21	38.9
道内 (札幌以外)	7	13.0
合計	54	—



産業分類	人数(名)	割合(%)
建設	4	7.4
製造	6	11.1
情報通信	19	35.1
卸・小売	8	14.8
金融・保険	1	1.9
不動産	1	1.9
専門・技術	7	13.0
宿泊・飲食	1	1.9
生活・娯楽	1	1.9
医療・福祉	1	1.9
複合サービス	1	1.9
サービス	2	3.6
公務員	2	3.6
その他	0	0.0
合計	54	—





4) コース別概要
(12期生) 札幌市立大学デザイン学部 2020年度卒業生

1. コース別進路状況

コース	卒業生数①	1. 就職希望		就職者(起業含)		2. 進学希望		3. その他 ⑥※2
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤	
旧カリキュラム	5	4	0	2	0	0	0	1
人間空間	38	21	2	21	2	14	14	3
人間情報	41	32	0	31	0	7	7	2
合計	84	57	2	54	2	21	21	6
割合		67.9%	3.5%	94.7%	3.7%	25.0%	100.0%	7.1%

②÷①

③÷② ※1

④÷①

⑤÷④ ※3

⑥÷①

(備考)

※1: 就職希望者に対する就職者の割合

※2: 就職希望・進学希望以外の者(アルバイト・公務員浪人等、将来的な就職に関する進路選択をしたもの)

※3: 進学希望者に対する進学先決定者の割合

2. 内定先の内訳(市内24社26名、道内7社7名、道外19社21名)

コース	道内企業(札幌市内含む)		道外企業
旧カリキュラム	市内	(株)アイティ・コミュニケーションズ [情報通信:事務職]	(株)ADKホールディングス [専門・技術:プロダクションマネージャー職]
	道内		
人間空間	市内	(株)NTTファシリティーズ北海道 [建設:設計職] (株)WONDER CREW [飲食・宿泊:グラフィックデザイナー] (株)アートフル [情報通信:プログラマー] (株)エステイデザイン [情報通信:設計職] 札幌市 [公務:造園職] (2名) (有)自然社 [製造:DTFデザイナー] (株)ジャパンテクニカルソフトウェア [情報通信:SE] 新和グループ [生活・娯楽:総合職] 北海道農業団体健康保険組合 [複合サービス:総合職] 北海道三菱自動車販売(株) [卸・小売:総合職] 豊栄建設(株) [建設:総合職]	(株)アンジェラックスプランニング [サービス:エステティシャン] (株)オープンハウス・ディベロップメント [建設:設計職] 国豊積算(株) [専門・技術:積算職] (2名) トランスコスモス(株) [情報通信:エンジニア] (2名) (株)ビックカメラ [卸・小売:総合職]
	道内	(福)帯広福祉協会 [医療・福祉:生活支援員] (株)メイセイ・エンジニアリング [建設:設計職]	



コース	道内企業（札幌市内含む）	道外企業
人間情報	市内 AMAYADORI株式会社〔情報通信：デザイナー〕 Septeni Ad Creative株式会社〔情報通信：デザイナー〕 株式会社オプテック北海道〔情報通信：SE〕 株式会社セコマ〔卸・小売：総合職〕 大丸株式会社〔卸・小売：総合職〕 トライ・ユー株式会社〔製造：デザイナー〕 日本グランド株式会社〔不動産：デザイナー〕 株式会社ファーストコネクト 〔サービス：マーケティング職〕 （同）メタサイト 〔専門・技術：Live2Dクリエイター〕 株式会社ロイズコンフェクト〔製造：総合職〕 株式会社和らいふ〔卸・小売：販売職〕 フリーランス〔情報通信：デザイナー〕（2名）	道外企業 株式会社mtc.〔専門・技術：デザイナー〕 mode株式会社〔情報通信：総合職〕 青山商事株式会社〔卸・小売：販売職〕 株式会社アカシック〔情報通信：プログラマー〕 アクセンチュア株式会社 〔専門・技術：クリエイティブ職〕 クリナップソリューション株式会社 〔情報通信：プログラマー〕 株式会社サブプリメイション 〔情報通信：3DCGクリエイター〕 株式会社電縁〔情報通信：SE〕 株式会社電通東日本〔専門・技術：クリエイティブ職〕 トヨタ自動車株式会社〔製造：デザイナー〕 トランスコスモス株式会社〔情報通信：デザイナー〕 株式会社ニシカワ〔情報通信：クリエイティブ職〕 株式会社ホクリン〔情報通信：SE〕
	道内 株式会社NKユナイテッド〔卸・小売：総合職〕 帯広信用金庫〔金融・保険：総合職〕 東洋株式会社〔製造：デザイナー〕 長谷川産業株式会社〔卸・小売：総合職〕 フィールド・クラブ株式会社〔製造：デザイナー〕	
小計	31社 33名	19社 21名
合計	50社 54名	

3.進学状況（大学院20名、その他1名）

コース	進学先			
人間空間	大学院	札幌市立大学大学院11名、東京工業大学大学院1名、京都工芸繊維大学大学院1名		
	研究生			
	その他	札幌ミュージック&ダンス・放送専門学校1名		
人間情報	大学院	札幌市立大学大学院7名		
	研究生			
	その他			
合計	大学院	20	研究生 0	その他 1



2 看護学部（助産学専攻科含む）

1) 概要

看護学部キャリア支援委員会は、学生の進路相談や就職活動、国家試験への支援だけでなく、就職後の支援も視野に入れ、学生を支援する体制を整えている。

看護学部における支援体制には、①進路相談、②就職活動支援、③国家資格試験対策、④卒業後のキャリア支援の4つの取組を軸に、次のような活動の企画・運営を行っている。①看護学部キャリア支援相談室の管理・運営、②進路希望調査の実施、③看護学部キャリア支援・進路活動ガイダンスの実施、④各種就職・進学説明会の開催、⑤国家試験自主ゼミの組織化、⑥国家試験受験に向けたガイダンスの実施。

学生のニーズ調査に基づき、経験豊富な看護管理者を模擬面接官として招聘した「模擬面接プログラム」を実施し、参加学生から好評価を得ている。

また、卒業生を対象としたシャトル研修を実施し、卒後のキャリア支援を行った。

これらの活動が学生のニーズに合う内容であること及び学生の将来に有用な指針を示すものであることを念頭に、進路希望調査の結果など学生の声を重視し、計画立案に反映させながら支援を行っている。

2) 支援体制

看護学部キャリア支援委員9名により、次の表のとおり年間活動計画及び進路相談などを行った。また、学生による国家試験対策自主ゼミグループを組織し、自主ゼミリーダー会議を定期的に開催した。

月	4年次生、助産学専攻科生	3年次生
4月	前期ガイダンス	
	キャリアハンドブック配布（専攻科生） 進路希望調査	キャリアハンドブック配布（編入生）
5月	WEB模擬面接（10日間）	
6月		
7月		
8月	再学修セミナー（8月～9月）※オンデマンド配信 模試①（看護師） 模試②（保健師）	
9月	後期ガイダンス	
		進路活動ガイダンス※オンデマンド配信 特別講義（就職活動への心構え）※オンデマンド配信
10月	模試③（看護師） 模試④（助産師） シャトル研修（札幌、卒業生（卒後6ヶ月））	第1回進路希望調査 国家試験対策自主ゼミ結成
11月	国家試験対策講座※オンデマンド配信 模試⑤（保健師） 国家試験説明会 シャトル研修※ZOOMミーティング	
12月		
1月	模試⑥（看護師） 模試⑦（助産師） 模試⑧（保健師）	



月	4年次生、助産学専攻科生	3年次生
2月	国家試験受験事前説明会 スキルアップトレーニング※新型コロナウイルス 対応のため日程縮小	特別講義（マナー講座）※オンデマンド配信 学内キャリア説明会（道内26施設、道外13施設） ※ZOOMオンライン開催 低学年用国家試験模試
3月	特別講義（就労支援）※オンデマンド配信 卒業・修了前ガイダンス	

3) 就職・進学結果

① 進路状況

(単位：名)

	卒業者数	就職希望者数 (a)	進学者数	就職者数 (b)	内定率 (%) (b/a)
看護学部	91	81	10	80	98.8
助産学専攻科	9	9	0	9	100.0

② 就職者の職種

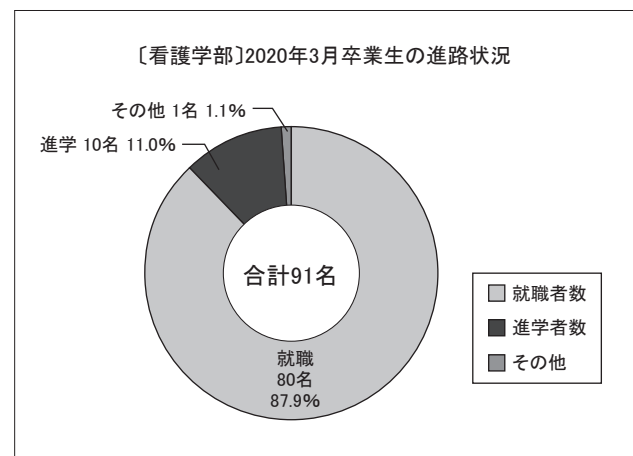
(単位：名)

看護師	70
保健師	9
助産師	9
その他	1
合計	89

2020年3月卒業生・修了生

看護学部

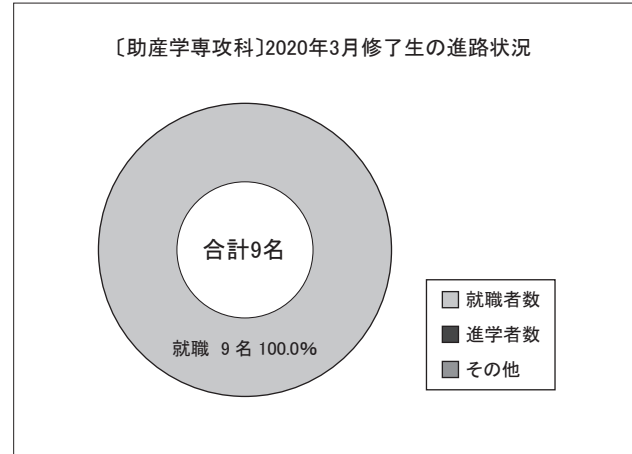
進路状況	人数(名)	割合(%)
就職	80	87.9
進学	10	11.0
その他	1	1.1
合計	91	—





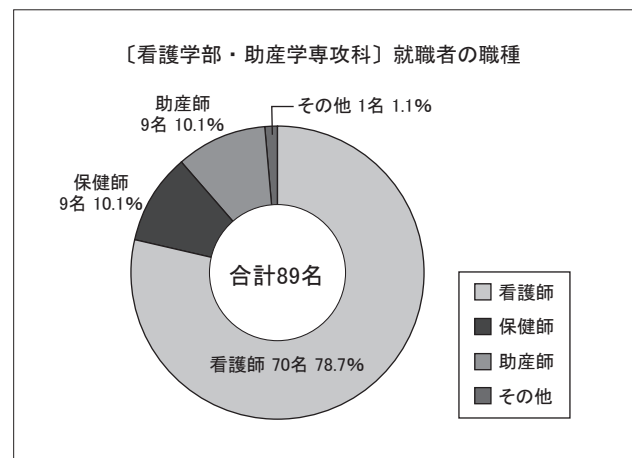
助産学専攻科

進路状況	人数(名)	割合(%)
就職	9	100.0
進学	0	0.0
その他	0	0.0
合計	9	—



看護学部・助産学専攻科

産業分類	人数(名)	割合(%)
看護師	70	78.7
保健師	9	10.1
助産師	9	10.1
その他	1	1.1
合計	89	—



4) 国家試験の結果

(単位：名)

	出願者数(名)	受験者数(名)	合格者数(名)	合格率(%)
看護師	84	84	82	97.6
保健師	29	28	28	100.0
助産師	9	9	9	100.0



3 デザイン研究科

1) 就職・進学結果

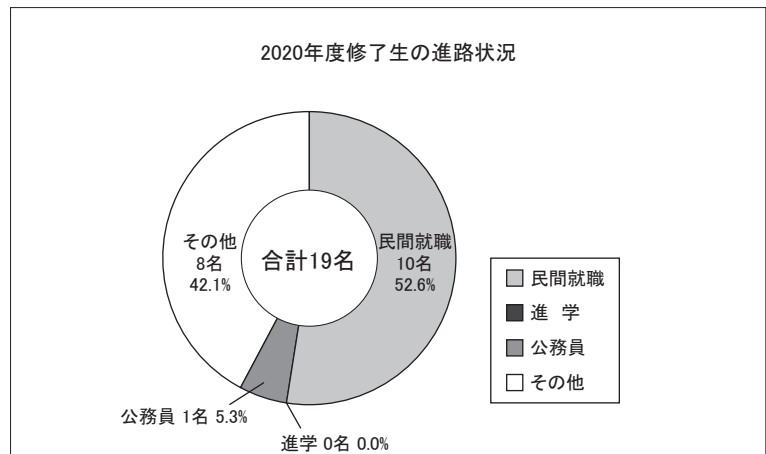
(10期生) 札幌市立大学 (デザイン研究科博士前期課程) 2020年度修了生

就職 先	■建設業 (株)NTTファシリティーズ北海道/(株)オープンハウス・ディベロップメント/清水建設(株)
	■製造業 クリナップ(株)/本田技研工業(株)
	■卸・小売業 テイクワンテクノロジー(株)
	■専門・技術サービス業 (株)IAO竹田設計
	■サービス業 (株)アークコミュニケーションズ/(株)アルトナー/総合キャリアグループ
	■公務 札幌市 (建築職)

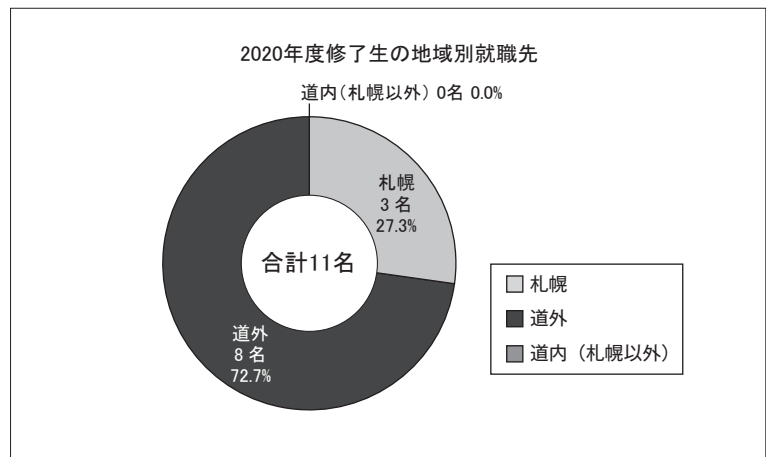


(10期生) デザイン研究科博士前期課程 2020年度修了者 就職状況

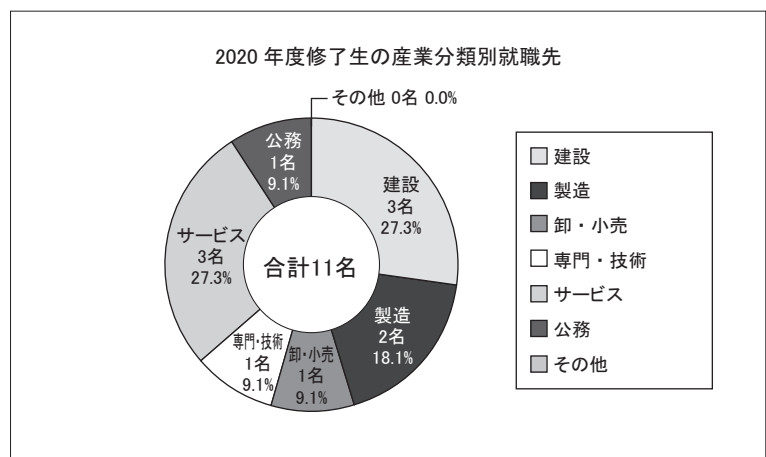
進路状況	人数(名)	割合(%)
民間就職	10	52.6
進学	0	0.0
公務員	1	5.3
その他	8	42.1
合計	19	—



地域別就職先	人数(名)	割合(%)
札幌	3	27.3
道外	8	72.7
道内(札幌以外)	0	0.0
合計	11	—



産業分類	人数(名)	割合(%)
建設	3	27.3
製造	2	18.1
卸・小売	1	9.1
専門・技術	1	9.1
サービス	3	27.3
公務	1	9.1
その他	0	0.0
合計	11	—



2) 進路決定状況概要

1.進路状況

(10期生) 札幌市立大学デザイン研究科博士前期課程 2020年度修了者

(単位:名)

	修了生数①	1. 就職希望		就職者(起業含)※1		2. 進学希望		3. その他
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤※3	⑥※2
人数	19	15	1	11	1	0	0	4
割合	100.0%	78.9%	6.7%	73.3%	9.1%	0.0%	0.0%	21.1%
	①÷①	②÷①		③÷②		④÷①	⑤÷④	⑥÷①

(7期生) デザイン研究科博士後期課程 2020年度修了者 ※修了者なし

(単位:名)

	修了生数①	1. 就職希望		就職者(起業含)※1		2. 進学希望		3. その他
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤※3	⑥※2
人数	0	0	0	0	0	0	0	0
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	①÷①	②÷①		③÷②		④÷①	⑤÷④	⑥÷①

(備考)

※1: 就職希望者に対する就職者の割合

※2: 就職希望・進学希望以外の者(社会人学生、アルバイト・公務員浪人、将来的な就職に関する進路選択をしたもの等)

※3: 進学希望者に対する進学先決定者の割合

2.内定先の内訳(市内3社3名、道外8社8名)

コース	道内企業(札幌市内含む)		道外企業
デザイン専攻	市内	(株)NTTファシリティーズ北海道〔建設:設計職〕 札幌市〔公務:建築職〕 テイクワンテクノロジー(株) 〔卸・小売:総合職〕	(株)IAO竹田設計〔専門・技術:意匠設計〕 (株)アークコミュニケーションズ 〔サービス:WEBデザイナー〕 (株)アルトナー〔サービス:エンジニア〕 (株)オープンハウス・ディベロップメント 〔建設:技術職〕
	道内		クリナップ(株)〔製造:総合職〕 清水建設(株)〔建設:設備施工〕 総合キャリアグループ〔サービス:総合職〕 本田技研工業(株)〔製造:3DCGモデラー〕
小計	3社 3名		8社 8名
合計	8社 11名		

3.進学状況(大学院0名)

課程	進学先			小計(名)	
デザイン研究科博士前期課程	大学院			0	
	研究生			0	
	その他			0	
合計	大学院博士後期課程	0	研究生 0	その他 0	0



VI 令和3年度入学者選抜結果

1 デザイン学部・看護学部

1) 入学者選抜要項

① アドミッション・ポリシー

【全学部共通アドミッション・ポリシー】

本学は、教育研究上の理念、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、以下の方針を定め、入学者を受け入れます。

<求める学生像>

- 1 人間重視を理解し、自身の専門性を生かして未来を創造しようとする姿勢をもつ人
- 2 人々の幸福や地域社会の持続的な発展に貢献しようとする意志をもつ人
そのため、本学は、高等学校等における基礎学力、課外活動等によって培われた協調性及び責任感のある人を求めています。入学者には、日ごろから、生命、人間及びその生活に興味・関心をもち、地域社会が抱える課題の発見や解決に向けて、日々の学修の中で幅広い知識・思考力・判断力・表現力を身につけるとともに、多様な人々と協同するためのコミュニケーション能力を備え、学ぶ意欲があることが求められます。

<入学者選抜の在り方>

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めるため、複数の選抜区分により行う。
- 2 入学者に求める基礎学力の水準は、大学入学共通テストの成績、調査書等で測る。
- 3 各学部が求める能力等は、個別試験で測る。

【デザイン学部アドミッション・ポリシー】

<求める学生像>

- 1 人間重視の姿勢をもち、デザインを通して社会に貢献しようとする姿勢をもつ人
- 2 豊かな感性と見識をもって、主体的かつ協同して未来のデザインを創造することに意欲のある人
- 3 デザインを通じ、地域活性化のリーダーとして文化・産業の発展に寄与する意志をもつ人

これらの学生像は、高等学校等における次のような学習により導かれるものです。

- ・「国語」及び「英語」において、基本的な読解力とコミュニケーション力を身につけること。
- ・「数学」及び「理科」において、論理的思考力や、自然科学に対する教養を身につけること。
- ・「社会」において、人間と社会の諸問題に関心をもつこと。
- ・「芸術（美術・音楽等）」や課外活動等において、美や文化を理解する感性を育むこと。

<入学者選抜の在り方>

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めるため、一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、特別選抜（社会人・私費外国人留学生）及び3年次編入学で行う。
- 2 入学者に求める基礎学力の水準は、選抜区分ごとに、大学入学共通テスト、英語の資格・検定試験、個別試験の成績及び調査書等を組み合わせて測る。
- 3 観察力、想像力、思考力、判断力、表現力、自分の考えを他者へ伝える力は、個別試験のデザイン総合問題やグループワーク・個別発表で測る。
- 4 専門分野への関心、主体性（学習意欲、目的意識等）、社会性（コミュニケーション能力等）は、個別試験の面接やグループワークで測る。
- 5 3年次編入学では、面接に加え、学修・研究成果、適性等を口頭試問で測る。

<入学者選抜方法>

- 1 一般選抜は、大学入学共通テスト（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語）と個別試験



(デザイン総合問題、面接)により行う。配点は、大学入学共通テストを800点、個別試験を300点とする。

- 2 学校推薦型選抜は、個別試験(デザイン総合問題、面接)により行う。デザイン総合問題と面接の配点は、それぞれ200点とする。
- 3 総合型選抜は、個別試験(グループワーク・個別発表)により行う。グループワークと個別発表の配点は、それぞれ200点とする。
- 4 特別選抜(社会人・私費外国人留学生)は、個別試験(デザイン総合問題、面接)により行う。デザイン総合問題と面接の配点は、それぞれ200点とする。
- 5 3年次編入学は、面接・口頭試問、英語の資格・検定試験により行う。配点は、面接・口頭試問を300点、英語の資格・検定試験を100点とする。
- 6 調査書等の提出書類は、面接やグループワークの際の参考資料とするとともに選抜の総合的な判定資料とする。

【看護学部アドミッション・ポリシー】

<求める学生像>

- 1 人々の健康・心・暮らしに関心をもち、生命の尊厳を理解しようとする姿勢をもつ人
 - 2 豊かな感性と探究心をもって、柔軟に物事を考え、自主的に学修できる人
 - 3 他者と協調し、信頼関係を築くことができ、積極的に地域に貢献する意志をもつ人
- このため看護学部では、高等学校等における「国語」「英語」「数学」「理科」などの基礎的な学力及び課外活動等によって培われた協調性や責任感のある人を求めています。

<入学者選抜の在り方>

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めるため、一般選抜、学校推薦型選抜、特別選抜(社会人)で行う。
- 2 入学者に求める基礎学力、読解力、論理的思考力、判断力、表現力、専門分野への関心、主体性、社会性等は、大学入学共通テストの成績及び個別試験で測る。

<入学者選抜方法>

- 1 一般選抜は、大学入学共通テスト及び面接の合計得点を算出する。
- 2 学校推薦型選抜は、小論文及び面接の合計得点を算出する。
- 3 特別選抜(社会人)は、総合問題及び面接の合計得点を算出する。
- 4 調査書等の提出書類は、面接の際の参考資料とするとともに、選抜の総合的な判定資料とする。

② 令和3年度入学者選抜概要

入学定員・募集人員

(単位：名)

学部・学科名	入学定員	募集人員				
		一般選抜 前期日程	学校推薦型 選抜	総合型選抜	特別選抜 (社会人)	特別選抜 (私費外国人 留学生)
デザイン学部 デザイン学科	90	57	25	8	若干名	若干名
看護学部 看護学科	85	48	37	—	若干名	—



選抜日程

選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
一般選抜 前期日程	2021年1月25日 ～2月5日	2021年2月25日	2021年3月8日 【入学手続期間】 2021年3月8日～15日
学校推薦型選抜	2020年11月2日～5日	2020年11月21日	2020年12月7日 【入学手続期間】 2020年12月7日～14日
総合型選抜（※）	2020年9月15日～18日	2020年10月10日	2020年11月2日 【入学手続期間】 2020年11月2日～9日
特別選抜（社会人）	デザイン学部 2020年11月2日～5日	デザイン学部 2020年11月21日	デザイン学部 2020年12月7日 【入学手続期間】 2020年12月7日～14日
	看護学部 2020年8月12日～18日	看護学部 2020年9月12日	看護学部 2020年9月29日 【入学手続期間】 2020年9月29日～10月6日
特別選抜 （私費外国人留学生）（※）	2021年1月25日 ～2月3日	2021年2月25日	2021年3月8日 【入学手続期間】 2021年3月8日～15日

（※）は、デザイン学部のみ実施

試験会場

学部・学科名	試験会場
デザイン学部デザイン学科	芸術の森キャンパス
看護学部看護学科	桑園キャンパス



選抜方法

選抜区分	学部・学科名	選抜方法
一般選抜 前期日程	デザイン学部 デザイン学科	大学入学共通テスト及び本学が実施する個別試験の成績並びに調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。ただし、看護学部においては、面接の得点が一定基準以下の場合には不合格とすることがある。
	看護学部 看護学科	
学校推薦型選抜	デザイン学部 デザイン学科	デザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接、提出書類を総合的に判定して行う。
	看護学部 看護学科	小論文及び面接の成績、提出書類を総合的に判定して行う。ただし、小論文か面接いずれかの得点が一定基準以下の場合、不合格とすることがある。
総合型選抜	デザイン学部 デザイン学科	講義1・講義2に基づいた2回のグループワーク、個別発表（レポート作成、口頭試問含む）、提出書類を総合的に判定して行う。
特別選抜（社会人）	デザイン学部 デザイン学科	本学が実施するデザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接、提出書類を総合的に判定して行う。
	看護学部 看護学科	総合問題及び面接の成績、提出書類を総合的に判定して行う。ただし、総合問題か面接いずれかの得点が一定基準以下の場合、不合格とすることがある。
特別選抜 （私費外国人留学生）	デザイン学部 デザイン学科	本学が実施するデザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接、提出書類を総合的に判定して行う。

一般選抜試験の大学入学共通テスト及び個別試験の教科・科目

学部・学科名	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テスト		個別試験
		教科	科目名等（略称）	
デザイン学部 デザイン学科	前期日程	国語	「国」（古文・漢文を含む。）	デザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接
		地歴公民	「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」「現社」「倫理」「政・経」「倫理、政・経」から1科目	
		数学	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」の2科目	
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目、もしくは「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目	
		外国語	「英」（リーディング及びリスニング）	
看護学部 看護学科	前期日程	国語	「国」（古文・漢文を含む。）	面接
		数学	「数Ⅰ・数A」	
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目、もしくは「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目	
		外国語	「英」（リーディング及びリスニング）	



注1) 【デザイン学部】

- ・ 地歴公民について、2科目選択した場合は、第1解答科目を合否判定に利用します。
- ・ 理科について、「基礎を付した科目」（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）と「基礎を付していない科目」（「物理」「化学」「生物」「地学」）の両方を選択した場合は、「基礎を付した科目」の得点を利用します。
「基礎を付していない科目」のみを選択した場合は、1科目の得点（2科目選択した場合は第1解答科目の得点）を利用します。

注2) 【看護学部】

- ・ 理科について、「基礎を付した科目」（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）と「基礎を付していない科目」（「物理」「化学」「生物」「地学」）の両方を選択した場合には、「基礎を付した科目」の得点を利用します。

注3) 【デザイン学部・看護学部共通】

- ・ 外国語について、「英語」のリーディング及びリスニングの合計得点を利用します。いずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格はありません。ただし、大学入学共通テストの受験上の配慮において、リスニングを免除された者を除きます。

③ 令和3年度3年次編入学者選抜概要

募集人員

(単位：名)

学部・学科名等	募集人員
デザイン学部デザイン学科	若干名

選抜日程・試験会場

学部・学科名	出願期間	試験日	試験会場	合格発表
デザイン学部 デザイン学科	2020年6月19日 ～26日	2020年7月18日	芸術の森キャンパス	2020年8月11日

選抜方法

学部・学科名	選抜方法
デザイン学部 デザイン学科	本学が実施する面接・口頭試問、英語、提出書類を総合的に判定して行う。



2) 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン学部

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜 前期日程	57	86	83	60	59
学校推薦型選抜	25	42	42	27	27
総合型選抜	8	43	30	8	8
特別選抜（社会人）	若干名	0	0	0	0
特別選抜 （私費外国人留学生）	若干名	0	0	0	0

看護学部

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜 前期日程	48	107	103	48	48
学校推薦型選抜	37	97	96	38	38
特別選抜（社会人）	若干名	6	6	2	2

b. 入学者の内訳

(単位：名)

学部	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン学部	94	46	30	18	28	66
看護学部	88	33	43	12	7	81
合計	182	79	73	30	35	147

② 編入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

(単位：名)

学部	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
デザイン学部	人間空間デザイン	若干名	3	2	1	1
	人間情報デザイン		5	5	2	1
	計	若干名	8	7	3	2



b. 入学者の内訳

(単位：名)

学部	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン学部	2	0	1	1	1	



2 デザイン研究科・看護学研究科

1) 博士前期課程

i 入学者選抜要項

① アドミッションポリシー

【デザイン研究科博士前期課程】

本課程は、地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育・研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、産業・芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜デザイン研究科博士前期課程の求める学生像＞

- 1 デザインに関する基礎知識を備え、豊かな感性と深い見識を持ち、人間重視の視点からデザインの発展に寄与できる人
- 2 各種のデザインを統合し、先導的なプロジェクトを主体的・戦略的に展開することに意欲のある人
- 3 デザインを通じ、地域を創成していくリーダーとして文化・産業の発展に貢献する意思を持った人

【看護学研究科】

本課程では、広い視野に立って看護学の基盤を学修した個々人の専門性及び学識を深めつつ、看護学の発展、様々な形態での看護の実践及び幅広く地域社会に貢献できる高度で専門的な人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜看護学研究科博士前期課程が求める学生像＞

- 1 看護学の基礎知識と総合的な学力を有し、豊かな人間性と高い探究心を持って、自主的・意欲的に看護実践の向上に寄与できる人
- 2 柔軟で論理的な思考を持って保健・医療・福祉の諸問題に積極的に取り組み、問題解決に向けた研究を遂行できる人
- 3 高い倫理観を有し、地域社会や国際社会に貢献する意志と責任感を持った人

② 令和3年度入学者選抜概要

募集人員

(単位：名)

研究科・専攻名	推薦選抜	一般選抜	特別選抜 (社会人)	特別選抜 (私費外国人留学生)
デザイン研究科 デザイン専攻	9	9	若干名	若干名
看護学研究科 看護学専攻	-	18 (一般選抜、特別選抜を含む)		

※デザイン研究科の特別選抜（社会人・私費外国人留学生）の若干名は、入学定員18名に含む。



選抜日程

研究科・専攻名	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
デザイン研究科 デザイン専攻	推薦選抜	2020年6月19日 ～26日	2020年7月18日	2020年7月30日 【入学手続期間】 2020年7月30日～8月5日
	一般選抜	2020年9月1日 ～8日	2020年9月26日	2020年10月13日 【入学手続期間】 2020年10月13日～20日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）			
	一般選抜 【第2次募集】	2021年1月29日 ～2月5日	2021年3月6日	2021年3月17日 【入学手続期間】 2021年3月17日～23日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生） 【第2次募集】			
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	2020年8月18日 ～24日	2020年9月26日	2020年10月28日 【入学手続期間】 2020年10月28日～11月4日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）			
	一般選抜 【第2次募集】	2021年1月5日 ～12日	2021年2月6日	2021年2月24日 【入学手続期間】 2021年2月24日～3月3日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生） 【第2次募集】			

試験会場

研究科名	試験会場
デザイン研究科	芸術の森キャンパス
看護学研究科	桑園キャンパス

選抜方法

研究科・専攻名	選抜区分	選抜方法
デザイン研究科 デザイン専攻	推薦選抜	面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	一般選抜	学力検査、面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。 ※英語はTOEIC/TOEFLのスコアにより評価する。
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）	学力検査、面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	筆記試験（専門科目）、面接（口頭試問含む）、TOEICのスコア及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）	

※デザイン研究科一般選抜及び特別選抜（社会人・私費外国人留学生）第2次募集の選抜方法は、学力検査を含まない。



ii 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン研究科 【第1次・第2次募集合計】 (単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
推薦選抜	9	7	7	7	7	
一般選抜	9	13	12	11	10	
特別選抜	社会人	若干名	1	1	0	0
	私費外国人留学生	若干名	10	9	7	7

看護学研究科 【第1次・第2次募集合計】 (単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
一般選抜	18	1	1	1	1	
特別選抜		社会人	4	4	3	3
特別選抜		私費外国人留学生	0	0	0	0

b. 入学者の内訳 (単位：名)

研究科	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン研究科	24	22	1	1	9	15
看護学研究科	4	2	1	1	0	4
合計	28	24	2	2	9	19

2) 博士後期課程

i 入学者選抜要項

① アドミッションポリシー

【デザイン研究科博士後期課程】

<教育研究の理念>

本課程は、人間重視を根幹とした高度な教育・研究を実践し、「知と創造の拠点」として地域からの負託に応え、高度の専門知識・技術を基盤に地域社会の発展に寄与します。さらに、高度で先進的な教育・研究の中核機関として機能し、新たな理論構築や技術開発に独創的に取り組み、新たな社会価値の創造を図ることが教育研究の理念です。

<教育研究の目的>

本課程は、地域社会に内在する様々な課題をデザインの視点から幅広く発見するとともに、高度な教育・研究の成果を通じて、その解決策を見出し、より豊かな人間生活や地域社会の実現に貢献できる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

<デザイン研究科博士後期課程の求める学生像>

1 柔軟な思考と独創的な視点に立って地域課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて



- 旺盛な探究心を持って自立した研究を遂行できる人
- 2 豊かな感性と深い見識を持ち、高度な教育・研究による成果をもとにデザインの発展に貢献しようとする意識を有する人
 - 3 既成の概念にとらわれず、自立して独自のデザイン理論構築や技術開発に取り組み、新たな社会価値の創造を目指す意欲と実行力を有する人

【看護学研究科博士後期課程】

本課程では、高度な学識と豊かな実践経験を基礎に様々な看護現象の分析や評価を行い、その研究成果をもとに将来を見据えた看護の枠組みを再構築し、システム開発などを行うことができる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜看護学研究科博士後期課程が求める学生像＞

- 1 柔軟な思考と独創的な視点に立って、看護を軸とした諸課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて旺盛な探究心を持って自立した教育・研究を遂行できる人
- 2 保健医療福祉分野における新たな理論構築や技術開発等を通じて、より質の高い看護サービスのあり方を探求する意欲を有する人
- 3 卓越した看護知識と高い倫理観に基づく実践能力を有し、教育・管理能力の研鑽に励み、将来を見据えた保健医療福祉分野の指導者となりうる人

② 令和3年度入学者選抜概要

募集人員 (単位：名)

研究科・専攻名	一般選抜
デザイン研究科 デザイン専攻	3
看護学研究科 看護学専攻	3

選抜日程

研究科・専攻名	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
デザイン研究科 デザイン専攻	一般選抜	2021年1月29日 ～2月5日	2021年3月6日	2021年3月17日 【入学手続期間】 2021年3月17日～23日
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	2021年1月5日 ～12日	2021年2月6日	2021年2月24日 【入学手続期間】 2021年2月24日～3月3日

試験会場

研究科名	試験会場
デザイン研究科	芸術の森キャンパス
看護学研究科	桑園キャンパス



選抜方法

研究科・専攻名	選抜区分	選抜方法
デザイン研究科 デザイン専攻	一般選抜	面接（入学前の研究成果・研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	面接（研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）、TOEICのスコア及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

ii 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン研究科

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	3	3	3	3	3

看護学研究科

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	3	6	6	5	5

b. 入学者の内訳

(単位：名)

研究科	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン研究科	3	2	0	1	2	1
看護学研究科	5	3	2	0	0	5
合計	8	5	2	1	2	6



3 助産学専攻科

1) 入学者選抜要項

① アドミッションポリシー

本専攻科は、看護学を基盤に、助産に関する幅広く高度な知識と正確な技術を育み、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目的としています。

これらの目的を達成するために、本専攻科が求める学生像は次のとおりです。

<助産学専攻科が求める学生像>

- 1 「生命の誕生」に、責任を持って真摯に向き合える誠実で優しい人
- 2 看護学を基盤に、倫理観を持ち、主体的に「助産学」を積み重ねることができる人
- 3 広い視野で現代社会をとらえ、母子保健を取り巻くさまざまな課題の解決を追求できる人

② 令和3年度入学者選抜概要

募集人員 (単位：名)

専攻科名	募集人員
助産学専攻科	10

選抜日程

出願期間	試験日	合格発表等
2020年8月12日 ～18日	2020年9月12日	2020年9月29日 【入学手続期間】 2020年9月29日～10月6日

試験会場

専攻科名	試験会場
助産学専攻科	桑園キャンパス

選抜方法

専攻科名	選抜方法
助産学専攻科	筆記試験（専門科目（看護学一般）、小論文）、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

2) 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況 (単位：名)

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
10	32	32	10	10

b. 入学者の内訳 (単位：名)

入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
	道内		道外	男	女
	札幌市内	札幌市外			
10	7	2	1	—	10



VI 附属図書館

1 概要

1) 施設規模

芸術の森キャンパス図書館 延べ床面積／1,480㎡
 桑園キャンパス図書館 延べ床面積／519㎡

2) 図書・雑誌・視聴覚資料・電子ジャーナル所蔵数

(2021年3月31日現在)

図書館の名称	図書の冊数				雑誌の種数		
	和書	洋書	計	うち 視聴覚資料	和雑誌	洋雑誌	電子 ジャーナル
芸術の森 キャンパス図書館	75,285	9,957	85,242	2,334	304	47	0
桑園 キャンパス図書館	40,829	1,918	42,747	690	428	10	12
合計	116,114	11,875	127,989	3,024	732	57	12

3) 2020年度年間受入状況

区分		和	洋	計	
芸術の森 キャンパス 図書館	図書 (冊)	購入	1,123	59	1,182
		寄贈	135	3	138
		計	1,258	62	1,320
	雑誌 (種)	購入	57	2	59
		寄贈	42	0	42
		計	99	2	101
桑園 キャンパス 図書館	図書 (冊)	購入	886	8	894
		寄贈	52	2	54
		計	938	10	948
	雑誌 (種)	購入	60	2	62
		寄贈	50	0	50
		計	110	2	112



2 利用状況

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開館時間を短縮し、利用者を学内関係者に限定した。

1) 開館時間・休館日

開館時間	平 日：午前9時～午後5時
休 館 日	土曜・日曜・祝日・年末年始

2) 利用資格

学内関係者

3) 貸出冊数・期間

利用者	貸出冊数	貸出期間
学部生 (科目等履修生を含む)	10冊	図書：2週間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可） 視聴覚資料：1週間 ※登校禁止の期間については、返却期限を延長した。
教職員	無制限	図書：2ヶ月間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可） 視聴覚資料：1週間
市民等学外者	—	—

4) 年間利用者数・貸出冊数等

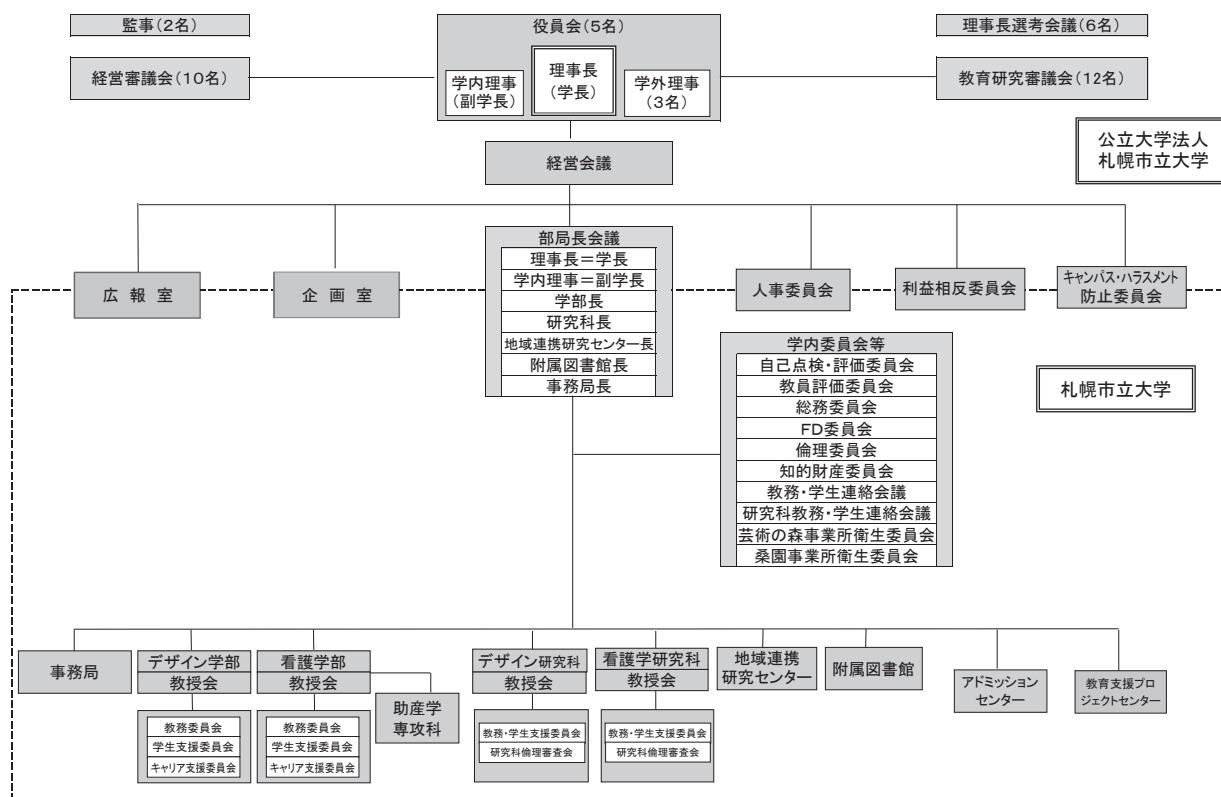
図書館の 名称	利用者	開館 日数	入館 者数	貸出 人数	貸出 冊数	ILL件数	
						受付	依頼
芸術の森 キャンパス図書館	学生・ 教職員	234	1,056	931	2,271	20	185
	市民等 学外者	—	—	—	—	—	—
桑 園 キャンパス図書館	学生・ 教職員	234	2,472	1,292	3,484	272	833
	市民等 学外者	—	—	—	—	—	—
合計		—	3,528	2,223	5,755	292	1,018

ILL：Inter-Library Loan（相互貸借）



VIII 法人・学内運営の概要

1 2020年度 公立大学法人札幌市立大学 組織図



2 役員会及び審議会の審議状況

回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第1回	(1) 2019年度決算及び事業報告について (2) 2019年度計画の実績報告について	(1) 2020～2021年度の教育研究審議会委員（外部委員）について	(1) 2019年度決算及び事業報告について (2) 2019年度計画の実績報告について
第2回	(1) 理事長選考会議の委員選任について (2) 2021年度予算編成方針について (3) 「公立大学法人札幌市立大学内部統制規程」の制定について	(1) 2019年度計画の実績報告について (2) キャリア支援センターの廃止について (3) 名誉教授の発議について (4) 昇任及び降任等に係る関係規程類の改正について	(1) 公立大学法人札幌市立大学役員関係規程の改正について
第3回	(1) 公立大学法人札幌市立大学の給与規程の改正について	(1) 理事長選考会議の委員選任について (2) 教員の再任について	(1) 2021年度予算編成方針について (2) 「公立大学法人札幌市立大学内部統制規程」の制定について



回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第4回	(1) 2021年度計画及び予算について (2) 学則、各種規則及び規程等の改正等について (3) 教員の人事について	(1) 2021年度計画及び予算について (2) 学則、各種規則及び規程等の改正等について (3) 教員の人事について	(1) 公立大学法人札幌市立大学の給与規程の改正について
第5回			(1) 2021年度計画及び予算について (2) 学則の改正について

3 役員会及び審議会委員名簿（2020年4月1日現在）

1) 役員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	学長
理事（常勤）	松浦 和代	副学長
理事（常勤）	小野 聡	事務局長
理事（非常勤）	恩村 裕之	北電興業株式会社 取締役社長
理事（非常勤）	石垣 靖子	北海道医療大学名誉教授
理事（非常勤）	大友 裕之	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
監事（非常勤）	橋場 弘之	田村・橋場法律事務所（札幌市任命）
監事（非常勤）	谷口 雅子	谷口雅子公認会計士事務所（札幌市任命）

2) 経営審議会委員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	
理事	松浦 和代	
理事	恩村 裕之	北電興業株式会社 取締役社長
理事	大友 裕之	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
事務局長	小野 聡	
学外委員	酒井 裕司	一般財団法人さっぽろ産業振興財団 専務理事
学外委員	花井 秀勝	フュージョン株式会社 代表取締役社長
学外委員	水落 隆志	札幌商工会議所常務理事・事務局長
学外委員	町野 和夫	北海道武蔵女子短期大学学長
学外委員	上田 順子	公益財団法人北海道看護協会会長

3) 教育研究審議会委員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	
理事	松浦 和代	
デザイン学部長	細谷 多聞	



役職	氏名	現職
看護学研究科長	菊地 ひろみ	
デザイン研究科長	石井 雅博	
附属研究所長	安齋 利典	
附属図書館長	川村 三希子	
事務局 長	小野 聡	
学 外 委 員	前田 弘志	バナナムーン・ステュディオ代表
学 外 委 員	石井 知子	札幌市教育委員会委員
学 外 委 員	石垣 靖子	北海道医療大学名誉教授

4 経営会議

2020年度は10回の会議を開催した。

会議では、法人の経営及び札幌市立大学の教育研究に関する重要事項について協議を行った。

5 部局長会議

回数	開催日	議題
第1回	4月1日	(1) 新型コロナウイルス感染症に係る対応について
第2回	5月7日	(1) 新型コロナウイルス感染症に係る対応について
第3回	6月3日	(1) 2019年度決算について (2) 2019年度計画の実績報告に係る自己点検・評価結果について (3) キャリア支援センターの廃止について (4) 昇任及び降任に係る関係規定の改正について
第4回	6月8日	(1) 昇任及び降任に係る関係規定の改正について
第5回	7月1日	(1) 産学融合拠点創出事業について
第6回	7月17日	(1) 2019事業年度の実績報告に係るヒアリング回答（案）について
第7回	8月11日	(1) 札幌市地方独立行政法人評価委員会の評価結果（案）に対する意見の有無について
第8回	9月2日	(1) 修学支援新制度に係る機関認定について (2) 9月卒業式について (3) AIラボの今後について
第9回	10月7日	(1) 「公立大学法人札幌市立大学内部統制規程」の制定について (2) 2021年度予算編成方針について (3) 道内出張旅費の取り扱いについて
第10回	11月4日	(1) 芸術の森キャンパスでのドラマ撮影について
第11回	12月2日	(1) 学則の変更について (2) 2021年度入学式及び卒業式・修了式の日程について (3) 2020年度計画半期の進捗状況について (4) デザイン研究科博士前期課程における早期修了に関する要領について (5) 今年度の卒業式の実施方法について



回数	開催日	議題
第12回	1月6日	(1) 研究費に係る規程改正について (2) A I Tセンターを見据えた教員公募について (3) 学則の改定について
第13回	2月3日	(1) 新型コロナウイルスへの対応について (2) 保健師助産師看護師学校養成所指定規則改正に伴う変更承認申請及び学則等改正について (3) 札幌市立大学助産学専攻科規則の改正について (4) 大学院学則の改正について (5) 令和4年度以降入学者 デザイン研究科博士前期課程入学者選抜試験（一般選抜、社会人・私費外国人留学生特別選抜）の変更について (6) 2021年度前期 授業実施方針について (7) 2021年度入学式について
第14回	3月3日	(1) 2021年度計画について (2) 公立大学法人札幌市立大学履修等に関する規則の改正について (3) 諸規程等の改正について

6 企画室

企画室は、全学ポリシーの策定に関する事、教育改革に関する事について企画・立案し、経営会議へ提案する組織である。2020年度については検討事案が発生しなかったことから、会議の開催はなかった。

7 広報室

広報室は、主に広報戦略の推進に関する事項等を所管している。2020年度の会議の開催数は11回であった。

主な活動として、2021年度版大学パンフレットの発行及び2022年度版大学パンフレットの検討・制作のほか、大学公式ウェブサイトの管理・更新を行った。また、北海道新聞への広告掲載などのメディア展開を行った。

8 教授会

1) デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、2020年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、2020年度に臨時教授会3回を含む15回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、進級卒業判定及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても本教授会において、幅広く審議を行った。

なお、本教授会において、各学内委員会及び学部委員会からの報告も行った。



3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、2020年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、2020年度に臨時教授会4回を含む16回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

9 地域連携研究センター

運営会議（計11回）の開催に加え、地域・産学連携部門、国際交流部門、まこまない班の3セッションに構成員を配置し、公開講座、地域貢献事業、産学連携事業、国際交流活動、知的財産管理、研究活動推進に関する活動、まこまないキャンパスに係わる事業を実施した。主な活動内容は以下のとおりである。

<公開講座>

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象とした8コース23コマの講座を、延べ576名が受講した。また、ちえりあとの連携講座として1コマ20名が受講した。さらに、今年度も北海道立総合研究機構との共催講座「知活（ちいき）ゼミナール」を開催。「意外と知らない身近なモノ」をテーマとしたセミナーを29名が受講した。

また、COVID-19の影響により、オンライン講座を開催したことで、札幌市内のみならず、北海道内から広く参加があった。

<地域・産学連携>

地域からの協力要請に対して、教員・学生が教育・研究の成果を地域に還元するため、地域連携活動への協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し産学官金連携のきっかけを探るために、展示会「ビジネスEXPO」へ出展したほか、SCU産学官金研究交流会をSCU-TV（YouTube）にて配信するオンライン開催を行い、COVID-19の影響を受けながらも、更なるネットワークづくりを図った。

<国際交流>

国際化に関する基本方針および行動計画に基づき、推進することを計画していたが、COVID-19の影響により、予定していた交流プログラムを中止または延期し、新たにオンライン国際交流プログラムを行った。

「学生の国際化」

台中科技大学とオンライン国際交流プログラムを実施し、看護学部学生15名ならびに教職員5名が参加した。

「教職員の国際化」

学術奨励研究において、教員の国際学会・国際展示会への発表に関わる補助制度、国際学会誌への投稿を促進する補助制度を実施した。

ラップランド大学とは国際ワークショップを実践するために、共同研究の一環として遠隔システムを活用しつつ、意見交換を行い、COVID-19の影響により直接の訪問は延期となったが、今後の研究発展に向けた取り組みを継続している。



「提携校との交流の活性化」

ラップランド大学との学生交流協定に基づき、交流学生1名を派遣した。
台中科技大学との学生交流協定に基づき、特別聴講生1名を受け入れた。

「海外とのネットワーク化」

アメリカ・サヴァナ州立大学、イタリア・ミラノNABA等との新たな交流を検討した。

＜知的財産＞

学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。「産学連携知的財産アドバイザー派遣プログラム（工業所有権情報・研修館主催）」に採択され、当該事業から派遣される知的財産アドバイザーの支援を受け、意匠出願3件を行ったほか、イノベーションジャパンへの知的財産シーズ出展などの活動を行った。また、「看護系大学連携による知的財産創出ネットワーク」に参画し、ネットワーク会議（1回）、知的財産研修会（1回）を開催した。

＜研究推進＞

地域や産業界等から依頼された受託研究6件、共同研究7件、寄附金3件の受入れを行ったほか、前年度に改善した学内競争的研究費（学術奨励研究費・共同研究費・田村ICT基金）制度を実施した。また、両学部の教員の交流を図るため研究交流会を企画・実施した。

10 附属図書館

2020年度は全11回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。主な協議内容は、図書館サービス、図書館予算、データベース・電子ジャーナル・購読雑誌の契約検討、除却、等であった。

SCUジャーナル編集ワーキングでは、研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第14巻」を2020年7月に発行した。また、第15巻発行に向けて、投稿論文の査読を開始した。

この他、図書館利用案内の動画をデザイン学部学生へ依頼し作成した。

11 アドミッションセンター

アドミッションセンターは、2020年度に13回の会議を開催し、新型コロナウイルス感染症対応の検討、前年度の入試結果の分析、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領に関する審議、入学者選抜試験に係る現状分析を行った。

また、学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、大学・大学院等説明会、高校訪問及び中学生向け広報活動等を企画・実施した。

12 教育支援プロジェクトセンター

教育支援プロジェクトセンターは、文部科学省の補助事業や公的機関が実施する事業に関するプロジェクト等を所管している。2020年度は会議を4回開催し、「サードレベル部門」「看護コンソーシアム部門」の各部門において活動を行った。



13 学内委員会

1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や年度計画の進捗管理に関する事項等を所管しており、2020年度は8回開催した。

2020年度の主な活動として、2019年度計画の実績報告書（案）の作成を行ったほか、2020年度計画に係る半期の取組状況の進捗管理や2023年度の大学評価（認証評価）受審に向けて認証評価機関の選定に係る情報収集を行った。

2) 教員評価委員会

2020年度は委員会を6回開催した。看護学部によるワーキング、学部ごとの専門部会を開催し、各教員から提出された教員活動に係る実績申告の確認作業や教員業績評価書の作成作業を行い、次年度に向け記入要領及び申告様式等の検討を行った。

評価結果については、2020年度末に任期満了を迎える教員の再任審査及び2020年度に実施した学内昇任選考による書類審査の資料として活用した。

3) 総務委員会

2020年度は委員会を11回開催した。対面授業開始に係る新型コロナウイルス感染症予防対策、学生を対象とした安否確認訓練、2020年度卒業式・修了式、2021年度入学式等の検討を行い実施した。

また、昨年に引き続き、学内の防災訓練、夏季及び冬季の節電対策についても実施した。

4) FD委員会

FD委員会は、2020年度に15回開催し、教員の資質向上、FDに関する情報の共有化・情報収集のため、他部署からの企画も含め学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を行ったほか、授業評価アンケートの集計結果に対する教員所見のとりまとめを行った。

5) 倫理委員会

倫理委員会では、申請された研究計画の倫理的配慮が充分であるか否かについて、人権擁護の観点に基づき審査を行っている。

2020年度は、原則、毎月第4水曜日に委員会を開催した（計11回開催）。

2012年度から始めた審査方法として、審査資料の事前確認を行い、申請者へ委員のコメントを送付し、最終版の申請書及び資料の提出を委員会開催までに求めている。この審査方法の採用により、審査時間の短縮化、審査申請から研究開始までの迅速化を図っていたが、更に迅速審査を含めて効率化ならびに迅速化を図るため、2020年度から新様式、新審査フローを導入した。

年間の審査申請総数は29件であったが3件の申請取下げならびに差戻しがあり、最終的に承認したのは26件であり、1回当たり平均2.6件の審査を実施した。

審査結果は「承認」、「条件付承認」、「再提出」、「不承認」、「非該当」のいずれかで判定した。

審査の社会的透明性及び客観性を担保すると同時に、申請者や委員に係るリスク管理の保全のため、2011年度から継続して弁護士1名に外部委員として委嘱し、委員会を組織している。

2014年12月告示の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）に基づき、2015年度から人を対象に介入・侵襲を伴う医学系研究の倫理審査を扱う特別審査部門を設置した。この指針において、倫理審査委員会の成立要件として、構成員は「倫理審査委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること」とされていることから、この特別審査部門の外部委員として、前述の弁護士に加え、医師1名を追加で委嘱した（2020年度は、特別審査部門の開催は0回）。

6) 利益相反委員会

利益相反委員会は、産学官連携活動において大学と教職員等が利益相反の疑いを持たれることを



防ぎ、大学の社会的信頼の維持を目的として、2016年度に設置された。

2020年度は該当する案件がなかったことから委員会は開催しなかった。

7) 教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、2020年度に13回開催し、共通教育、デザイン・看護両学部の連携教育に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について審議した。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関する事、また、奨学金、大学祭、チューター制度に関する事等について審議した。また、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を報告し、両学部の情報を共有した。特に、新型コロナウイルス感染症への対応に関しては両キャンパスの情報共有の場になったとともに、授業実施方針や課外活動に関する方針などの原案を作成し各教授会に諮った。

8) 研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、2020年度に7回開催し、研究科連携科目に関する事項及び学生生活に関する事項等について審議した。



14 構成員名簿

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	経営会議	◎中島 秀之 松浦 和代 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 事務局長
	部局長会議	◎中島 秀之 松浦 和代 細谷 多聞 石井 雅博 菊地 ひろみ 安齋 利典 川村 三希子 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 地域連携研究センター長 附属図書館長 事務局長
	企画室	◎中島 秀之 松浦 和代 細谷 多聞 石井 雅博 菊地 ひろみ 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長
	広報室	細谷 多聞 小田 和美 福田 大年 須之内 元洋 石田 勝也 伊東 健太郎 高橋 奈美 鬼塚 美玲 ◎小野 聡	デザイン学部長 看護学部教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 事務局長
	人事委員会	◎中島 秀之 松浦 和代 細谷 多聞 石井 雅博 菊地 ひろみ 小野 聡	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長
	キャンパス・ハラスメント防止委員会	◎中島 秀之 松浦 和代 細谷 多聞 石井 雅博 菊地 ひろみ 小野 聡	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長
	利益相反委員会	◎中島 秀之 松浦 和代 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 事務局長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	地域連携研究センター	◎安 齋 利典 山田 良 貝谷 敏子 武田 亘明 張 浦華 森 朋子 横溝 賢 藤井 瑞恵 本田 光 金 秀敬 武富 貴久子 森川 由紀 山本 真由美 近藤 圭子 上田 理子	地域連携研究センター長 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 事務局地域連携課長
	図書館	◎川村 三希子 松井 美穂 神島 滋子 藤井 瑞恵 片山 めぐみ 松永 康佑 矢野 祐美子 金子 晋也 上田 理子	附属図書館長 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 デザイン学部助教 事務局地域連携課長
	教育支援プロジェクトセンター	◎松浦 和代 佐藤 ひとみ 樋之津 淳子 阿部 大	副学長 兼 看護学部長 看護学部教授 看護学部教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長
	アドミッションセンター	◎松浦 和代 細谷 多聞 山田 信博 菅原 美樹 本田 光 守村 洋 大淵 一博 小宮 加容子 須之内 元洋 福田 大年 原井 美佳 福原 啓祐 布廣 成規	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	情報基盤センター	佐藤 ひとみ 樋之津 淳子 ◎大淵 一博 矢久保 空遥 阿部 大	看護学部教授 看護学部教授 デザイン学部講師 デザイン学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長



区分	委員会等	委員・構成員		
		教職員名	所属・職位等	
学内委員会	常置委員会	自己点検・評価委員会	松浦 和代 細谷 多聞 ◎石井 雅博 菊地 ひろみ 川村 三希子 椎野 亜紀夫 小野 聡	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 附属図書館長 デザイン学部教授 事務局長
		教員評価委員会	◎松浦 和代 細谷 多聞 石井 雅博 菊地 ひろみ 樋之津 淳子 小野 聡	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 看護学部教授 事務局長
		総務委員会	齊藤 雅也 藤木 淳 卯野木 健 定廣 和香子 大淵 一博 工藤 京子 ◎小野 聡	デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 デザイン学部講師 看護学部講師 事務局長
		FD委員会	◎若林 尚樹 佐藤 ひとみ 武田 亘明 張 浦華 檜山 明子 石引 かずみ 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
		倫理委員会	◎川村 三希子 荒木 奈緒 三谷 篤史 山田 良 小林 重人 大野 夏代 上田 理子	附属図書館長 助産学専攻科長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 事務局地域連携課長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
連絡調整会議	学部間 教務・学生連絡会議	松浦 和代 ◎細谷 多聞 柿山 浩一郎 齊藤 雅也 町田 佳世子 小田 和美 喜多 歳子 福原 啓祐 布廣 成規	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	研究科間 研究科教務・学生連絡会議	◎石井 雅博 菊地 ひろみ 椎野 亜紀夫 樋之津 淳子 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン研究科長 看護学研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
衛生委員会	芸術の森事業所衛生委員会	森 朋子 ◎阿部 大 安藤 貴之 廣瀬 瑞絵	デザイン学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 事務局総務課庶務係員 保健室保健管理員
	桑園事業所衛生委員会	大友 舞 田仲 里江 ◎阿部 大 佐々木 亜矢子	看護学部助教 看護学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 桑園事務室学生支援係員
学部委員会	デザイン学部 教務委員会	◎柿山 浩一郎 藤木 淳 丸山 洋平 小林 重人 森 朋子 山田 信博 矢久保 空遥	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部助教
		◎齊藤 雅也 三谷 篤史 松井 美穂 横溝 賢 小宮 加容子 松永 康佑 金子 晋也	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部助教
	キャリア支援委員会	◎若林 尚樹 石田 勝也 大島 卓 片山 めぐみ 金 秀敬 福田 大年	デザイン学部教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師



区分	委員会等	委員・構成員		
		教職員名	所属・職位等	
学部委員会	看護学部	教務委員会	◎喜多 歳子 卯野木 健 大野 夏代 村松 真澄 伊東 健太郎 工藤 京子 黒田 紀子 高橋 奈美 武富 貴久子 山本 真由美 鬼塚 美玲 齋 若奈 田仲 里江 牧田 靖子	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教
		学生支援委員会	◎小田 和美 貝谷 敏子 守村 洋 原井 美佳 森川 由紀 矢野 祐美子 大友 舞 渋谷 友紀 中田 亜由美	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教
		キャリア支援委員会	◎荒木 奈緒 神島 滋子 菅原 美樹 檜山 明子 石引 かずみ 柏倉 大作 近藤 圭子 高橋 葉子	助産学専攻科長 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手
研究科委員会	デザイン研究科	教務・学生支援委員会	◎椎野 亜紀夫 三谷 篤史 小林 重人 横溝 賢 大島 卓 金 秀敬	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師
		研究科倫理審査会	◎三谷 篤史 丸山 洋平 小宮 加容子 阿部 大	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
研究科委員会 看護学研究科	教務・学生支援委員会	◎樋之津 淳子 定廣 和香子 神島 滋子 黒田 紀子	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師
	研究科倫理審査会	荒木 奈緒 ◎卯野木 健 村松 真澄 阿部 大	助産学専攻科長 看護学部教授 看護学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長

◎印：所管部局長等

15 FD・SD活動

FD活動 年間活動概要（学内研修会）

（単位：名）

全学FD	研修会名	参加者数
4月9日	SharePoint・Teams研修会	71
8月25日	2020年度札幌市立大学研究交流会	78
12月1日	WithCoronaにおける感染対策	69
1月20日	本学の情報セキュリティポリシーについて	115
1月26日	キャンパスハラスメント防止に対する組織的取り組み—具体例をもとに—	26
3月9日	コロナ禍の学生相談の傾向、メンタルヘルスに対する適切な対応について	53
3月17日	オンライン型国際交流プログラム企画のススメ	42
3月17日	授業の質を担保するハイブリッド授業の基本	74

（単位：名）

デザイン学部・研究科FD	研修会名	参加者数
6月17日	21年卒学生の就職採用状況の現状	37
7月15日	Teamsに制限された中でのオンライン授業の工夫と方策	32
7月22日	Teams+αならここまでする！オンライン授業の可能性	30
12月16日	今後の遠隔授業のあり方に関する意見収集	39



(単位：名)

看護学部・ 研究科FD	研修会名	参加者数
8月18日	令和2年度前期における看護学実習の内容と課題	41
11月9日	効果的な遠隔授業の方法と選択	24
12月16日	ICT利用による教育改善研究発表会報告	37
12月23日	COVID-19における医療連携と施設の取り組み	24
3月2日	被害者も加害者も出さないキャンパスハラスメント防止の取組	46
3月11日	教職員のためのメンタルヘルスケア～瞑想とヨガによるこころと体の対話～	42

SD活動 年間活動概要

(単位：名)

SD	研修名	形態	受講者数
通年	障害者差別解消法に関する研修 (e-learning)	札幌市立大学 総務課	22
通年	情報セキュリティ研修 (e-learning)	札幌市立大学 総務課	65
4月2日	新採用職員採用時研修	札幌市立大学 総務課	4
4月10日	SharePoint+Teams研修会	札幌市立大学 総務課	29
5月8日	公立大学の現状と課題	学外	3
6月8日	新採用職員ミニフォローアップ研修	学外	6
6月13日	オンラインフォーラム「仕事の知恵を共有しよう」	学外	2
6月25日、26日	公立大学職員セミナー	学外	6
6月26日	説明力UPセミナー～話す力と情報整理力を高める～	学外	1
7月17日	クリティカルシンキング研修～本質を見抜く力を養う～	学外	2
7月28日	職場におけるハラスメントトラブルと予防策	学外	1
7月28日	整理力向上研修～生産性の高い職場環境を作る	学外	2
7月29日	マニュアル作成研修～改善・合理化を促す業務マニュアルの作り方	学外	2
7月30日	Zoomを使用した会議の運営方法	学外	3
8月19日	メンタリストが教える!ストレスや不安に負けることなくスッキリ楽しく仕事をし続けるために今、知っておくべき前提と行動	学外	3
8月20日	論理的で分かりやすい文書の書き方研修 (オンライン)	学外	1
8月21日	新採用職員フォローアップ研修	札幌市立大 学総務課	6
9月2日	目利き人材育成研修【研究推進マネジメントコース】	学外	1
9月3日	「新型コロナウイルス感染症」下の中退予防～充実した大学生活へのステップ～	学外	1
9月7日	リスクマネジメント研修～未然に防ぐ方法を学ぶ～ (オンライン)	学外	1
9月8日	問題社員トラブル対応の実務	学外	1
9月11日	中堅社員研修	学外	2



SD	研修名	形態	受講者数
9月17日	タイムマネジメント研修～仕事を効率的に進めるための時間管理を学ぶ～	学外	1
9月18日	公立大学法人会計セミナー	学外	6
10月5日	URA質保証事業研修試行Fundamentalレベル	学外	1
10月6日	自治体実務オンラインセミナー ニューノーマルに対応した「新しい働き方」へのシフト	学外	1
10月29日	奉行クラウドフォーラム2020	学外	2
10月31日	ウェビナー：これからの時代に活躍するデータサイエンス大学職員の資質	学外	1
11月4日	今こそ見直しを！オフィスの感染症対策	学外	1
11月12日	これからの就業規則を考える・働き方改革対応版	学外	1
11月16日	組織のタイムマネジメント研修～管理職の立場から組織の効率化を目指す～	学外	1
11月17日	2021新人・若手育成セミナー～コロナ禍におけるイマドキ世代の育て方	学外	1
12月1日	With Coronaにおける感染対策	札幌市立大学 総務課	60
12月4日	新採用職員フォローアップ研修	札幌市立大学 総務課	6
1月20日	情報セキュリティポリシー研修	札幌市立大学 総務課	116
1月22日	COVID-19感染予防を踏まえた学校教室の冬季暖房時の換気手法について	学外	2
1月26日	キャンパスハラスメント防止に対する組織的取り組み－具体例をもとに－	札幌市立大学 総務課	26
2月13日	地方大学におけるコロナ禍での対応事例紹介～手探りの中うまれた対応と収束期に向けた準備～	学外	2
2月13日	公立大学リスク・マネジメントセミナー	学外	7
3月2日	被害者も加害者も出さないキャンパスハラスメント防止の取組	札幌市立大学 総務課	43



IX 資料

1 2020年度計画

I 教育に関する目標を達成するための措置

1 専門職業人の育成に関する目標を達成するための措置

【項目番号1】

- ・ 両学部の学生が協働して地域課題に取り組み、それぞれの専門性を理解しながら異分野連携に必要な基礎的知識・技術・態度を習得する2年次前期開講科目「学部連携基礎論」、その基礎を踏まえて課題解決プロセスを習得する3年次後期開講科目「学部連携演習」等の地域志向科目を、シラバスに基づき着実に実施する。

- ・ 「学部連携演習」の成果について、卒業時の教育評価アンケートを基に経年的な検証を行う。

[指標] 卒業時に地域の課題発見、解決提案する能力が身に付いたと認識した学生の割合：65%

【項目番号2】

- ・ 共通教育科目の外国語科目により基礎的な外国語力を養う。特に英語については新入生に対するTOEIC¹試験を実施する。

- ・ 既存の科目において、国際的な共通性と多様性への理解を深めるための内容を充実する。

[指標] TOEIC受験率（1年次）：100%

[指標] 卒業時に国際的な文化の理解を深めたと認識した学生の割合：60%

【項目番号3】

- ・ [デザイン学部] カリキュラムを着実に運用するとともに、特に3年次前期開講科目「デザイン総合実習Ⅲ」において専門コース間による連携授業を実施し、互いの専門性を客観的に理解させるとともに、専門職業人としてのデザイン、コミュニケーション等の実践能力を養う。

[指標] 卒業時に社会で活用できるデザイン、コミュニケーション等の実践能力向上を認識した学生の割合：60%

【項目番号4】 【重点取組項目】

- ・ [デザイン学部] 3年次後期開講科目「デザイン総合実習Ⅳ」において企業や外部機関と連携した授業を実施し、専門職業人として地域や仕事の現場で活躍できる実践能力を養う。

[指標] 専門科目における企業等連携課題の実施：2件

【項目番号5】 【重点取組項目】

- ・ [看護学部・助産学専攻科] OSCE²やシミュレーターを用いた実践型教育を効果的に実施し、看護実践能力及び助産実践能力の向上を図る。

[指標] [看護学部] 卒業時の看護実践能力の達成度：7.5（10段階自己評価）

[指標] [助産学専攻科] 修了時の助産実践能力の到達度：6.5（10段階自己評価）

【項目番号6】

- ・ [看護学部] 道内の保健医療機関との関係構築を通じて、臨地教員³が関わる授業を積極的に行い、実際の臨床現場の理解を促す。

[指標] 専門科目における臨地教員の活用：29科目

【項目番号7】

- ・ [大学院博士前期課程] 実践的な演習・実習に加えて、研究指導教員による専門的な研究指導を行い、地域や仕事の現場を先導できる課題解決能力やマネジメント能力等を養う。

[指標] [デザイン研究科] 修了時における在学中の教育に対する総合的満足度（直近3年間平均）：80%（5段階自己評価）

1 TOEIC (Test of English for International Communication)

国際コミュニケーション英語能力テスト。英語を母語としない者向けの試験で、日本では一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会が実施している。

2 OSCE (Objective Structured Clinical Examination)

客観的臨床能力試験。ペーパーテストによる知識重視の教育ではなく、判断力・技術力・マナーなど実際の現場で必要とされる臨床技能の習得を適正に評価する。

3 臨地教員

医療機関等から招き、実際の現場の実践的能力を教授する現役の看護師・保健師・助産師等



〔指標〕 [看護学研究科] 修了時における在学中の教育に対する総合的満足度（直近3年間平均）：90%（5段階自己評価）

〔項目番号8〕

- ・ [大学院博士後期課程] 1年次の研究計画書の立案・審査、2年次の公開発表会、3年次の学位審査を通して、自立的かつ計画的に研究活動を進める能力を養う。また、研究指導教員による専門的な研究指導に加え、他の教員の助言・指導を通して学生の幅広い視野を養う。

〔指標〕 博士後期課程研究計画書審査：3件

2 学生に対する支援に関する目標を達成するための措置

〔項目番号9〕

- ・ [デザイン学部] キャリアガイダンスを開催するとともに、キャリア教育科目「キャリアデザイン」「インターンシップ」を開講する。また、キャリア支援室において進路希望に対応したサポートを行う。
- ・ [看護学部] キャリアガイダンスを開催するとともに、国家試験対策を含めたキャリア支援対策講座を計画的に実施する。また、キャリア支援相談室において学生の要望に応じた進路支援を随時行う。

〔指標〕 [デザイン学部] 就職内定率（直近3年間平均）：93%

〔指標〕 [デザイン学部] キャリアガイダンスの開催：10回

〔指標〕 [看護学部] 就職内定率（直近3年間平均）：97%

〔指標〕 [看護学部] キャリア支援対策講座の開催：8回

〔項目番号10〕

- ・ 授業料減額免除の制度により、家計基準及び成績基準に該当する者に対し、経済的な支援を実施する。
- ・ 2020年4月に運用が開始される修学支援新制度に係る授業料の減額免除を実施する。

〔指標〕 授業料減額免除基準に該当する学生のうち、経済的理由による退学者：なし

〔項目番号11〕

- ・ キャンパス施設のバリアフリー⁴化に係る整備状況等を踏まえ、「キャンパスの活用等に関するプラン」における年次別整備計画（2020年度以降）を見直し、順次整備を行う。
- ・ あらゆる差別の解消に向け、障害者やLGBTQ⁵等について、教職員や学生に対する啓発・研修等を実施する。

〔指標〕 「キャンパスの活用等に関するプラン」に基づくバリアフリー工事の計画的な執行

〔指標〕 「障害者差別解消法」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」についての教職員及び学生への周知：1回

〔項目番号12〕

- ・ 学生のメンタルヘルスに対する教職員の理解を深めるため、研修会等を実施する。
- ・ 本学のメンター⁶制度を理解し効果的なメンター活動につなげるため、新任教員に対するガイダンスを実施する。

〔指標〕 学生のメンタルヘルスに関する教職員向け研修の実施：1回

〔指標〕 新任教員に対するメンターガイダンスの実施：1回

〔項目番号13〕

- ・ 留学生の日本語能力の向上を目的として、デザイン研究科の両学期において日本語講座を開講し、受講者アンケート等により効果検証を行う。

〔指標〕 日本語能力の向上に役立ったと認識した留学生の割合：80%

4 バリアフリー

高齢者や障がい者など社会的弱者が、社会生活の上で支障となる物理的・社会的・制度的・心理的など全ての障壁を除去すること。

5 LGBTQ (Lesbian Gay Bisexual Transgender Questioning(Queer))

性的指向及び性自認に関する呼称の一つ

6 メンター

学生に対して学業上の問題だけではなく生活面においても助言や支援を行う者。一人の教員が学生を個別に担当し、定期的・継続的に対話を行い、気軽に相談できるようにしている。



II 研究に関する目標を達成するための措置

1 特色のある活発な研究の推進に関する目標を達成するための措置

【項目番号14】 【重点取組項目】

- ・ 学内の競争的資金⁷である共同研究費を通じて、デザイン・看護の両分野の連携や外部機関との連携による研究課題に対して重点的に支援する。

[指標] デザインと看護の両分野の連携による研究：6件

【項目番号15】

- ・ 学内の競争的資金である学術奨励研究費や共同研究費において、超高齢社会への対応、地域コミュニティの再生、地域産業の振興など、北海道や札幌などの地域特性・地域課題等に関する研究を推進する。

[指標] 地域特性や地域課題等に関する研究：15件

【項目番号16】

- ・ [デザイン学部] 3年次後期開講科目「デザイン総合実習Ⅳ」等における企業や外部機関と連携した取組から、社会において有用性の高い研究を推進するための課題を抽出する。

[指標] 企業や外部機関との連携による課題研究：1件

2 研究機関としての地位の向上に関する目標を達成するための措置

【項目番号17】

- ・ e-Rad（府省共通研究開発管理システム）を中心とした様々な外部資金の募集情報を定期的に周知する。

- ・ 科学研究費助成事業⁸への効果的な申請支援策を展開し、申請を積極的に行う。

[指標] 教員向け情報提供：3回

[指標] 科学研究費助成事業への新規申請：対象教員⁹の79%

【項目番号18】

- ・ 学術奨励研究費の「国際学会・国際展示会等発表者補助」「学術論文掲載料等補助」を運用し、教員の研究成果について国内外へ積極的に発表する。

[指標] 国際学会・国際展示における研究成果の発表：11件

III 地域貢献に関する目標を達成するための措置

1 地域産業及び地域医療への貢献に関する目標を達成するための措置

【項目番号19】 【重点取組項目】

- ・ 産業界及び保健・医療・福祉業界等とのネットワークや展示会への出展などを通じて、地域産学連携協力依頼¹⁰の制度を周知するとともに、外部機関との契約支援や研究成果の知財化支援¹¹等の体制を充実し、産学連携活動の増進を図る。

[指標] 産業界及び保健・医療・福祉業界等からの地域産学連携協力依頼の受諾：8件

【項目番号20】

- ・ [デザイン学部] キャリアガイダンス・キャリア教育科目「キャリアデザイン」における講座や学内企業セミナーにおいて、北海道・札幌市内の企業担当者を招き、企業を知る機会を設ける。また求人紹介や個別相談等を通して、当該企業の情報を提供する。

- ・ [デザイン学部] キャリア教育科目「インターンシップ」において、北海道・札幌市内の企業等へ学生を派遣する。

7 競争的資金

研究課題を公募の上、複数の者による客観的かつ厳正な審査を経て優れた課題を採択し、研究者に配分する研究資金

8 科学研究費助成事業

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会が実施する助成事業。全ての分野にわたり基礎から応用までのあらゆる学術研究を段階に発展させることを目的に競争的資金を助成する。

9 対象教員

退職者や定年退職予定者等を除いた科学研究費補助事業に応募資格のある専任教員。なお、第三期中期計画期間の最終年度である2023年度までに、在籍した教員総数の90%の申請を目指す予定である。

10 地域産学連携協力依頼

地域や企業等が研究や地域貢献活動等について本学に協力を求める依頼

11 知財化支援

特許権や商標権など知的財産の権利化に向けて行う支援



- ・ [看護学部] 道内の医療機関や市町村（保健師）の採用担当者、当該医療機関等に勤める卒業生が参加するキャリア説明会を開催し、直接情報を得られる機会を提供する。
- [指標] [デザイン学部] 専門教育科目「インターンシップ」において道内企業への理解が深まったと認識した学生の割合：60%
- [指標] [看護学部] 就職希望先の道内医療機関等に対する理解が深まったと認識した学生の割合：80%

項目番号21

- ・ 地元企業等の競争力強化や地域の専門職の資質向上等に寄与する公開講座を開催する。
- [指標] 職業人向け公開講座の開催：8件

項目番号22

- ・ [看護学部] 市内の病院等が参加する看護コンソーシアム¹²の会議を定期的に行い、看護職のスキル向上やキャリア形成に関する課題を共有するとともに、連携しながら必要な研修を企画、実施する。
- [指標] 看護コンソーシアムの研修において、スキル向上やキャリアの育成に効果を感じた受講生の割合：80%

2 地域社会への貢献に関する目標を達成するための措置

項目番号23

- ・ 市民がより良い生活を送るための新しい知見を獲得できるような生涯学習の機会提供や健康寿命の延伸等をテーマとした市民向け公開講座を開催する。
- ・ 公開講座受講者を対象にアンケートを実施し、講座内容の妥当性を確認する。
- [指標] 公開講座の開催（職業人向けを除く。）：25件
- [指標] 公開講座の受講（職業人向けを除く。）：630人
- [指標] 公開講座の受講者満足度（職業人向けを除く。）：4.5（5段階評価）

項目番号24

- ・ 札幌市の各部局に対して受託研究・共同研究や地域産学連携協力依頼の制度等の活用を周知するとともに、市の課題解決に向けた提案や市の事業・施策の推進に係る依頼を積極的に受け入れる。
- [指標] 札幌市からの受託研究・共同研究依頼及び地域産学連携協力依頼の受諾：20件

項目番号25

- ・ 公式ウェブサイトにおける行政との連携事例の公開や、「研究・活動事例集」及び「教員研究紹介」の活用により、道内市町村へ広報活動を行うとともに、道内市町村の振興・活性化に資する地域産学連携協力依頼を積極的に受け入れる。
- [指標] 行政からの地域産学連携協力依頼の受諾：15件

IV 教育・研究・地域貢献の取組を推進する大学運営に関する目標を達成するための措置

1 教育・研究・地域貢献の取組を推進する連携・国際化・情報発信に関する目標を達成するための措置

項目番号26

- ・ サテライトキャンパスの利便性を有効活用し、市民や外部機関、他大学、行政等との連携を促進する。
- [指標] 外部機関や他大学等との連携の場としてのサテライトキャンパスの利用：2,500人

項目番号27

- ・ 同窓会との連携により社会で活躍している卒業生・修了生の講演会等を開催し、同窓の絆を深めるとともに在学生の就業意欲向上等を図る。
- [指標] 卒業生・修了生による講演会等の開催：1回
- [指標] 卒業生・修了生による講演会への参加：20人/回

¹² 看護コンソーシアム

本学を拠点として医療機関等と連携し、社会ニーズに対応できる看護システムの構築や看護の質を保証することなどを目指す共同体



項目番号28

- 海外提携校（承德医学院、清華大学美術学院、華梵大学、ラップランド大学、国立台中科技大学、パシフィック・ノースウェスト・カレッジ・オブ・アート）との交流活動を実施するとともに、他の海外校とも連携し、教職員及び学生の国際交流の機会を充実する。

〔指標〕 教職員・学生の派遣と受入：60人

〔指標〕 海外提携校との交流活動：提携校ごと1件

項目番号29

- 本学の特長である「D×N（デザインと看護の連携）」の取組を中心に、公式ウェブサイトやマスメディア等を通じて、受験生や保護者、市民や企業などステークホルダーごとに戦略的かつ効果的な広報活動を展開する。

〔指標〕 公式ウェブサイトへのアクセス：315,000件

〔指標〕 プレスリリースの実施：10回

項目番号30

- デザイン及び看護関連の学術情報を収集し、図書館機能を充実させる。
- 学生向けの文献検索ガイダンスを実施し、修学・研究の円滑な遂行を支援する。
- 機関リポジトリ¹³を活用して、紀要や博士論文など、教員や学生の研究成果を学外に公表する。

〔指標〕 書籍、資料の購入：2,000冊

〔指標〕 文献検索ガイダンスの受講：延べ250人

〔指標〕 機関リポジトリによる研究論文等の公表：11件

項目番号31

- 本学の活動内容について高校生や保護者の理解を深めるため、オープンキャンパス¹⁴の開催、進学相談会及び出前授業等への参加など多様な機会を設けるとともに、高校教員を対象とする大学説明会を開催する。また、前年度までの出願状況、入学後の成績及び入学アンケート等の結果を分析し、必要に応じて各種広報活動の内容や参加に係る見直しを行う。

〔指標〕 オープンキャンパスの開催：各キャンパス2回

〔指標〕 オープンキャンパスにおいて本学への理解が深まったと回答した参加者の割合：70%

〔指標〕 進学相談会及び出前授業等への参加：50件

〔指標〕 高校教員説明会の開催：各キャンパス1回

2 大学運営の改善・効率化に関する目標を達成するための措置

項目番号32 【重点取組項目】

- 学内委員会等による定例的な各種会議の開催回数を見直し、運営効率化を図る。
- 事務局において、定例業務の更なる見直し・改善により効率化を図るなど、職員の超過勤務時間の縮減に取り組む。
- 全教職員に対して有給休暇の取得を啓発し、ワーク・ライフ・バランス¹⁵の向上に取り組む。特に休暇取得率が低い教職員に対しては、機会をとらえて休暇取得を促す。

〔指標〕 学内委員会等が開催する各種会議：400回以下

〔指標〕 全教職員の有給休暇取得率：40%

項目番号33

- 教員の定員計画及び「本学が求める教員像」に基づき、退職者の補充など適切な教員採用を行う。

〔指標〕 定員計画及び「本学が求める教員像」に基づく教員の採用

13 機関リポジトリ

研究成果の論文など、大学・研究機関とその構成員による知的生産物を電子的な形態で保存・管理し、原則的に無償で公開・発信するために構築されたインターネット上のシステム

14 オープンキャンパス

大学が施設内を公開し、特に入学を希望する者や考慮している者に対して大学への理解・関心を深めてもらうことを目的に開催する入学促進イベント

15 ワーク・ライフ・バランス

仕事と生活の調和。やりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活等においても多様な生き方が選択・実現できること。



項目番号34

- ・ 適切に教員評価を実施するとともに、評価項目や配点などの検証及び評価結果の活用など、制度及び運用の見直し・改善を行う。

[指標] 教員評価項目や配点の検証・見直し：1回

項目番号35

- ・ 教育内容の充実や教員の資質向上を図るため、FD¹⁶研修会を実施するとともに、学外で開催される研修会の情報を適切に提供する。

[指標] 教育改善に資するFD研修の実施：7回

[指標] 教育改善に資するFD研修の受講：延べ200人

項目番号36

- ・ 職員が多彩な研修を受講できるよう研修機会を充実し、職員の能力向上を図る。
- ・ 適切な人事異動を実施し、大学運営に求められる様々な知識・経験の蓄積を図る。

[指標] 職員を対象としたSD¹⁷研修への派遣：15回/年

[指標] 職員を対象としたSD研修の受講：延べ100人/年

[指標] SD研修報告会の実施：1回/年

3 自己点検・評価の実施・公表に関する目標を達成するための措置

項目番号37

- ・ 2019年度の業務実績や2020年度計画の進捗状況について、PDCAサイクル¹⁸による自己点検・評価を適切に実施するとともに、札幌市地方独立行政法人評価委員会や認証評価¹⁹機関等の評価結果を踏まえ、随時改善を図り、その結果を公式ウェブサイト等により公表する。
- ・ 2023年度の認証評価受審に向け、認証評価機関の選定に係る情報収集を行う。

[指標] 年度計画に係る自己点検・評価の実施：半期ごと

[指標] 認証評価に係る説明会への参加：2回以上

項目番号38

- ・ 2021年度計画の策定に当たり、前年度の実績見込みを参考に可能な限り各項目に適切な成果指標を設定する。

[指標] 年度計画のうち「教育」「研究」「地域貢献」に関する目標の全項目に成果指標を設定

4 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

項目番号39

- ・ 受託研究・共同研究・寄附金による成果事例を公式ウェブサイトで紹介するとともに、産学官のマッチング等を趣旨とした展示会において「研究・活動事例集」や「教員研究紹介」のほか大学グッズを配布するなど、自主財源の充実に向けたPR活動を積極的に行う。

[指標] 受託研究・共同研究の受入：15件

項目番号40

- ・ 戦略的な経費の確保に向け、管理的経費（消耗品費、備品購入費、印刷製本費、光熱水費等）の削減を図る。
- ・ 決算見込みを基に、適正な予算の執行管理を行う。

[指標] 一般管理費の節減額：170万円

5 その他業務運営の適切な遂行に関する目標を達成するための措置

項目番号41

- ・ 保全計画に基づき、芸術の森キャンパスD・G・H棟ほか衛生設備更新工事、芸術の森キャンパススカイウェイ屋上防水工事、芸術の森キャンパス図書館・E棟ほか空調・衛生設備更新工事実

16 FD (Faculty Development)

教員を対象に、授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な研修等の取組

17 SD (Staff Development)

職員を対象に、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な研修等の取組

18 PDCA サイクル

計画 (plan)、実施 (do)、検証 (check)、改善 (act) のサイクルを確実かつ継続的に繰り返すことにより、レベルアップを図ること。

19 認証評価

学校教育法に基づき、文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価。大学の教育研究等の総合的な状況について、7年以内ごとに受けることが義務付けられている。



施設設計を適正に実施する。

- ・ キャンパス施設のバリアフリー化に係る整備状況等を踏まえ、「キャンパスの活用等に関するプラン」における年次別整備計画（2020年度以降）を見直し、順次整備を行う。（項目番号11再掲）
- ・ 大学内の要修繕箇所のリストを更新し、緊急度や予算の執行状況を踏まえ、順次可能なものから速やかに修繕等を実施する。

[指標] 保全計画及び「キャンパスの活用等に関するプラン」に基づく計画的な執行

項目番号42

- ・ 安全管理の徹底について、研修等の機会を通じて災害や感染症など有事の際の危機管理マニュアル等を周知する。
- ・ 防災訓練の実施を通じて学生や教職員等の防災意識を高め、学生や教職員等の安全を確保する体制の強化を図る。
- ・ 全学的な危機管理体制の検証・見直しを行う。避難経路を確保するために必要な校舎周辺の整備や、対策本部体制等の見直し等、可能なものから検討を進める。

[指標] リスク管理に関する研修の実施：1回

[指標] 防災訓練の実施：2回

項目番号43

- ・ 施設管理支援システム（CAFМ）を活用し施設でのエネルギー使用状況を把握するとともに、学生や教職員へ節電等の意識啓発及び省エネルギー対策に取り組む。

[指標] 電気使用量：1,650千kWh以下

[指標] ガス使用量：426千m³以下

[指標] 水道使用量：9千m³以下

項目番号44

- ・ 個人情報の保護・管理に係る研修を行う。
- ・ 関係法令及び情報セキュリティポリシー等を周知するとともに、遵守状況に関する定期的な点検を実施する。

[指標] 情報セキュリティに関する研修の実施：1回

[指標] 情報セキュリティに関する研修の受講：全教職員

項目番号45

- ・ コンプライアンス²⁰に係る研修を行う。

- ・ 教育・研究・地域貢献・大学運営のあらゆる場面において、関係法令及び学内規則等を遵守するよう周知する。

[指標] コンプライアンスに関する研修の実施：1回

[指標] コンプライアンスに関する研修の受講：全教職員

項目番号46

- ・ 新任教員全員及び新規に研究費に関わる業務に着任した職員に対し、研究倫理教育の受講を促す。

- ・ 利益相反²¹に係わる申請に基づき、適切な管理を行う。

[指標] 研究倫理教育の受講：対象者²²全員

項目番号47

- ・ 2020年度から実施する本学の入学者選抜試験（2021年度入試）を円滑に実施する。

[指標] 新テストに対応した入学者選抜試験の円滑な実施

20 コンプライアンス

法令等を遵守することは元より、社会規範に反することなく高い倫理観に基づき務めを果たすこと。

21 利益相反

外部との経済的な利益関係等により、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は、第三者から懸念が表明されかねない事態

22 対象者

新任教員、新規に研究費の執行管理や研究倫理を担当する職員、研究倫理教育受講後5年を経た教員及び担当職員



V 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画
別紙参照

VI 短期借入金の限度額

- 1 短期借入金の限度額
2億円
- 2 想定される理由
運営費交付金の受入遅延及び事故の発生等により、緊急に必要となる対策費として借り入れることが想定される。

VII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画
なし。

VIII 剰余金の使途

決算において地方独立行政法人法第40条第1項に規定する残余が発生した場合、教育研究の質の向上及び組織運営の改善その他札幌市が大学の運営上必要と認めた経費に充てる。

IX 施設及び設備に関する計画

- 1 施設整備
 - ・ 芸術の森キャンパスD・G・H・エントランス棟ほか衛生設備更新工事
予算額：121,145千円
 - ・ 芸術の森キャンパススカイウェイ棟屋上防水ほか保全工事
予算額：18,403千円
 - ・ 芸術の森キャンパス図書館・E棟空調・衛生設備更新工事実施設計
予算額：5,333千円
- 2 キャンパスの活用等に関するプラン
 - ・ 芸術の森キャンパスA・B棟空調整備工事
予算額：18,000千円

（注）金額については見込みであり、上記のほか、業務の実施状況に応じた施設・設備の改善や、老朽度合いに応じた改修等を追加することもあり得る。

X 人事に関する計画

- 1 教職員の採用
 - ・ 教員の定員計画及び「本学が求める教員像」に基づき、退職者の補充など適切な教員採用を行う。（再掲）
 - ・ 職員については、定年退職等の時期に基づき、計画的な採用を行う。
- 2 教職員の育成
 - ・ 教育内容の充実や教員の資質向上を図るため、FD研修会を実施するとともに、学外で開催される研修会の情報を適切に提供する。（再掲）
 - ・ 職員が多彩な研修を受講できるよう研修機会を充実し、職員の能力向上を図る。（再掲）
 - ・ 適切な人事異動を実施し、大学運営に求められる様々な知識・経験の蓄積を図る。（再掲）
- 3 ワーク・ライフ・バランスの向上
 - ・ 学内委員会等による定例的な各種会議の開催回数を見直し、運営効率化を図る。（再掲）
 - ・ 事務局において、定例業務の更なる見直し・改善により効率化を図るなど、職員の超過勤務時間の縮減に取り組む。（再掲）
 - ・ 全教職員に対して有給休暇の取得を啓発し、ワーク・ライフ・バランスの向上に取り組む。特に休暇取得率が低い教職員に対しては、機会をとらえて休暇取得を促す。（再掲）



別紙 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1. 予算 (単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	1,506
施設整備費補助金	145
授業料等収入	436
受託研究等収入及び寄附金収入	65
その他収入	24
目的積立金取崩	118
計	2,294
支出	
教育研究経費	452
受託研究等経費及び寄附金事業費等	65
人件費	1,309
一般管理費	323
施設整備費	145
計	2,294



2. 収支計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	
経常費用	2,222
教育研究経費	435
受託研究等費	61
人件費	1,309
一般管理費	295
財務費用	2
減価償却費	120
収益の部	
経常収益	2,104
運営費交付金収益	1,488
授業料等収益	479
受託研究等収益	61
寄付金収益	4
資産見返運営費交付金戻入	39
資産見返寄附金戻入	2
資産見返物品受贈額戻入	7
資産見返補助金戻入	0
雑益	24
その他収益	24
純利益（純損失）	△118
目的積立金取崩益	118
総利益（総損失）	0

3. 資金計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	2,415
業務活動による支出	2,057
投資活動による支出	162
財務活動による支出	74
翌年度への繰越金	122
資金収入	2,415
業務活動による収入	2,031
運営費交付金による収入	1,506
授業料及び入学金検定料による収入	436
受託研究等による収入	61
寄付金による収入	4
その他収入	24
投資活動による収入	145
施設費による収入	145
前年度よりの繰越金	239



2 2020年度 決算報告書

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,506	1,506	-	
施設整備費補助金	145	144	△ 1	
授業料等収入	436	428	△ 8	
受託研究等収入及び寄附金収入	65	69	4	
補助金収入	-	2	2	
その他収入	24	9	△ 15	(注1)
目的積立金取崩	118	118	-	
計	2,294	2,276	△ 18	
支出				
教育研究経費	452	366	△ 86	(注2)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	65	62	△ 3	
人件費	1,309	1,163	△ 146	(注2)
一般管理費	323	302	△ 21	(注3)
施設整備費	145	144	△ 1	
計	2,294	2,037	△ 257	
収入-支出	-	239	239	

○ 予算と決算の差異について

(注1) 認定看護管理者教育課程サードレベルの休講等により減少しました。

(注2) 教員の欠員等により、減少しました。

(注3) 光熱費の使用量減等により減少しました。



3 教職員数 (2021年3月31日現在)

1) 学部別教員数 (単位：名)

学	長	1
副	学 長	1
デ	ザ イ ン 学 部	30
看	護 学 部	37
合計		69

2) 職位別教員数 (単位：名)

		教授	准教授	講師	助教	助手	計	非常勤講師
デザイン学部	男	11	5	6	2	0	24	31
	女	1	3	3	0	0	7	14
看護学部	男	1	2	1	0	0	4	55
	女	10	5	9	9	1	34	37
合計		23	15	19	11	1	69	137

3) 職員数 (単位：名)

	事務系	教務系	技術・技能系	医療系	その他	計
男	17	2	0	0	0	19
女	20	2	0	0	0	22
合計	37	4	0	0	0	41

4 管理職一覧表 (2021年3月31日現在)

役職名	教職名
学長	中島 秀之
副学長 兼 看護学部長	松浦 和代
デザイン学部長	細谷 多聞
看護学研究科長	菊地 ひろみ
デザイン研究科長	石井 雅博
地域連携研究センター長	安齋 利典
附属図書館長	川村 三希子
事務局長	小野 聡
事務局次長 兼 桑園事務室長	阿部 大
事務局総務課長	木田 敏郎
事務局地域連携課長	上田 理子
事務局学生課長	福原 啓祐
事務局桑園担当課長	布廣 成規



5 学生定員及び学生数（2020年5月1日現在）

1) 学生定員 (単位：名)

学部	入学定員	3年次編入学定員	総定員
デザイン学部	90	若干名	360
看護学部	85	-	340
合計	175	-	700

2) 学生数 (単位：名)

学部	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン学部	1学年	22	72	94
	2学年	25	64	89
	3学年	19	77	96
	4学年	30	67	97
看護学部	1学年	6	77	83
	2学年	8	83	91
	3学年	3	75	78
	4学年	5	87	92
助産学専攻科		0	10	10
合計		118	612	730

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士前期課程	1学年	8	9	17
	2学年	14	11	25
看護学研究科 博士前期課程	1学年	7	11	18
	2学年	8	8	16
合計		37	39	76

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士後期課程	1学年	2	1	3
	2学年	2	0	2
	3学年	2	1	3
看護学研究科 博士後期課程	1学年	1	4	5
	2学年	2	2	4
	3学年	1	6	7
合計		10	14	24



3) 科目等履修生・聴講生・研究生 (単位：名)

学部	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン学部	0	1	0	1
看護学部	0	0	0	0
合計	0	1	0	1

研究科	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン研究科	0	0	12	12
看護学研究科	4	0	1	5
合計	4	0	13	17

6 授業料等

(単位：円)

区分	検定料	入学料		授業料
		札幌市内居住者	札幌市外居住者	
学部生	17,000	141,000	282,000	535,800
科目等履修生・聴講生	9,800	14,100	28,200	1単位につき 14,800
研究生	9,800	42,300	84,600	月額29,700

7 奨学金貸与・授業料減免実施状況 (2021年3月31日現在)

奨学金利用状況

(単位：名)

学年	日本学生支援機構			その他	計
	給付型	第1種	第2種		
学部1年生	28	52	40	2	122
学部2年生	20	42	39	2	103
学部3年生	20	53	34	4	111
学部4年生	24	53	34	2	113
助産学専攻科	-	1	1	-	2
研究科(博士前期)1年生	-	7	2	-	9
研究科(博士前期)2年生	-	4	3	-	7
研究科(博士後期)1年生	-	-	1	-	1
研究科(博士後期)2年生	-	1	-	-	1
研究科(博士後期)3年生	-	-	-	-	0
合計	92	213	154	10	469



授業料減免実施状況

(単位：名)

学年	学期	全額減免者	2/3減免者	半額減免者	1/3免除者	計
学部1年生	前期	18	5	1	8	32
	後期	17	4	0	13	34
学部2年生	前期	12	5	6	6	29
	後期	15	6	3	5	29
学部3年生	前期	13	5	10	5	33
	後期	14	6	8	6	34
学部4年生	前期	15	4	11	10	40
	後期	12	7	11	11	41
助産学専攻科	前期	—	—	—	1	1
	後期	—	—	—	1	1
研究科（博士前期） 1年生	前期	—	—	2	3	5
	後期	—	—	3	2	5
研究科（博士前期） 2年生	前期	—	—	3	—	3
	後期	—	—	2	—	2
合計	前期	58	19	33	33	143
	後期	58	23	27	38	146



8 学生の入選・受賞（デザイン学部）

入選・受賞 年月	氏名	タイトル及び入賞・受賞の別	主催者
2020年5月	【入賞】西内寛大（デザイン学部4年）	『第20回学生限定・立体アートコンペティション「ART MEETS ARCHITECTURE COMPETITION 2020」』の募集告知ポスターにおいて、入賞	株式会社アーバンネットコーポレーション
2020年6月	【コミットコーポレーション賞】 証明日花（デザイン学部3年）	子ども虐待防止オレンジリボン運動「公式ポスターコンテスト2020」において、コミットコーポレーション賞を受賞	認定特定非営利活動法人児童虐待防止全国ネットワーク
2020年6月	【優秀賞】守屋杏（デザイン学部4年）	アートボックス2020	JRタワー
2020年9月	【最優秀賞】森宗優香（デザイン学部3年） 【優秀賞】長内絵美（デザイン学部2年） 【社長特別賞】川口伽椰（デザイン研究科1年）	札幌日信電子株式会社「50周年記念企業イメージ」の作成において、最優秀賞、優秀賞、社長特別賞を受賞	札幌日信電子株式会社
2020年10月	【グッドデザイン賞】 中谷航平（デザイン研究科2年） 廣林大河（デザイン研究科1年）	株式会社遠藤建設アトリエ 株式会社安藤耕作構造計画事務所との協同で設計した「遠藤建設アトリエ新社屋」で受賞	公益財団法人日本デザイン振興会
2020年10月	【キッズデザイン賞】小泉花乃、小島千乃、澤田春風、鈴木萌乃、竹内菜実、中茂裕貴、古内あやな、森宗優香、山岸小百合、山田実来（デザイン学部3年）	第14回キッズデザインにおいて、キッズデザイン賞を受賞	特定非営利活動法人キッズデザイン協議会
2020年10月	【優秀賞】目時莉那（デザイン学部2年）	「2020年度 日本造園学会北海道支部大会」ポスター発表において、優秀賞を受賞	公益財団法人日本造園学会北海道支部
2020年10月	【奨励賞】伊藤冠介、相馬功希、佐藤来香、泉朝緒（デザイン学部3年）	第45回「北の住まい」住宅設計コンペにて、奨励賞を受賞	一般社団法人北海道建築士事務所協会
2020年11月	【最優秀賞】千葉彩織（デザイン学部3年） 【優秀賞】鈴木萌乃、堀江海月（デザイン学部3年）	札幌市立芸術の森小学校の校章デザインコンペティションにおいて、最優秀賞、優秀賞を受賞	札幌市立芸術の森小学校
2020年12月	【古屋蔵人賞】 高田若葉（デザイン学部4年）	GIFアニメコンテスト「the GIFs 2020 Award」において、古屋蔵人賞を受賞	アドビ株式会社、株式会社GIFMAGAZINE
2020年12月	【入選】西内寛大（デザイン学部3年）	第20回学生限定立体アートコンペ「ART MEETS ARCHITECTURE COMPETITION (AAC) 2020」の募集告知ポスターにて入選	株式会社アーバンネットコーポレーション
2020年12月	【ウッドデザイン賞】 中谷航平（デザイン研究科2年） 廣林大河（デザイン研究科1年）	株式会社遠藤建設アトリエ 株式会社安藤耕作構造計画事務所との協同で設計した「遠藤建設アトリエ新社屋」で受賞	公益財団法人日本デザイン振興会
2020年12月	【入賞】竹内花（デザイン学部3年）	「第6回痴漢抑止バッジデザインコンテスト」において、入賞	一般社団法人痴漢抑止活動センター
2021年3月	【優秀賞】喜多山翔（デザイン学部3年）	「第1回学生の学生による学生のためのエコバッグデザインコンテスト」において、優秀賞を受賞	総合資格学院



年月	氏名	内容	主催者
2021年3月	【金賞】加倉瑛晃（デザイン学部4年）	卒業設計優秀作品審査において、金賞を受賞	一般社団法人日本建築学会北海道支部
2021年3月	【グランプリ】 斎藤来瞳（デザイン学部4年）	第2回関西SDGsコース・アイデアコンテスト2020にて「親子で学ぶジェンダーバイアスに気づく絵本」グランプリ受賞	関西SDGsプラットフォーム
2021年3月	【個人賞】桂明日花（デザイン学部3年）	「全国学生オンライン演劇祭」において個人賞を受賞	劇団ノーマーツ

9 学生の課外活動

	公認団体	主な入選・受賞等
1	バスケットボール部	
2	軽音楽部「halo」	
3	美術部「noumenon」	
4	YOSAKOIソーラン部「～真花～」	
5	グラフィックデザイン部「chips」	
6	服飾制作部「Alice」	
7	写真映像部「SEED」	
8	演劇部「デンコラ」	
9	茶道部「Cha部」	
10	バレーボール部	
11	絵本ボランティアサークル「しゃぼん玉」	
12	創作活動サークル「創-KIZ-」	
13	ダンスサークル「VOLUME」	
14	カレー研究サークル「SCUカレー研究会」	
15	アウトドアサークル「PEAK」	
16	アルティメットサークル「Fly☆Fly」	
17	バドミントンサークル	
18	吹奏楽サークル「芸術の森 音楽隊」	
19	地域交流ボランティア同好会「act」	
20	アナログゲーム同好会「OFF」	
21	ふまねっと同好会「COC STUDENTPLAZA」	
22	日本語デザイン研究会「しろ」	
23	合唱同好会「Forte」	
24	球技同好会「Mt.」	
25	手芸同好会「もふもふ」	
26	団地同好会「団地さーくる」	
27	当事者研究同好会「のっきんおん～レッツ当事者研究！」	



10 後援会

後援会（2007年2月発足）は、学生の福利厚生推進等、学生生活の充実に向けて必要な支援を行い、教育目的の達成に寄与することを目的として活動している。

2019年度

役員	(会 長) 石井 敏三 (副会長) 河波 秀旭 (理 事) 北川 真由子、川嶋 嘉史、高野 祐子、近 圭司、木下 健二、 若本 彩子、男澤 誠一、上原 佳子 (監 事) 宇佐美 晴己、橋本 和幸
主な事業	・課外活動（部活動、大学祭、地域ボランティア活動等）支援 ・就職対策（就職試験対策、写真撮影補助、資格取得支援、国家試験対策） ・後援会報「SSA News」発行
後援会費	40,000円（ただし、編入学者は20,000円、助産学専攻科生は10,000円）

11 教育・研究刊行物一覧

発行年月	名称
2020年4月	札幌市立大学後援会 会報2019 (SSA NEWS)
2020年4月	令和3年度デザイン学部3年次編入学学生募集要項
2020年5月	2021大学案内
2020年5月	令和3年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 推薦選抜）
2020年5月	令和3年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 一般選抜・特別選抜）
2020年5月	令和3年度入学者選抜要項（デザイン学部・看護学部）
2020年6月	令和3年度学生募集要項（デザイン学部 総合型選抜）
2020年6月	令和3年度学生募集要項（デザイン研究科 博士後期課程）
2020年7月	令和3年度学生募集要項（デザイン学部 特別選抜）
2020年6月	令和3年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程）
2020年6月	令和3年度学生募集要項（助産学専攻科）
2020年7月	令和3年度学生募集要項（看護学部 社会人特別選抜）
2020年7月	令和3年度学生募集要項（看護学研究科 博士後期課程）
2020年7月	SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING2020 札幌市立大学研究論文集第14巻第1号
2020年8月	令和3年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 学校推薦型選抜）
2020年10月	令和3年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 一般選抜）
2020年11月	令和3年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程 第2次募集）
2020年12月	令和3年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 第2次募集）
2020年12月	札幌市立大学年報 2019年度 第14号
2021年1月	札幌市立大学附属図書館ニュースレターのほほん第14号
2021年2月	デザイン学部・デザイン研究科卒業修了研究展（2021 図録）
2021年3月	2021年度学生生活ハンドブック
2021年3月	2021年度履修要項<履修の手引き>デザイン学部・看護学部



12 施設

1) 校地・校舎、講義室・演習室等の面積

(2020年4月1日現在)

区分	校地・校舎		講義室・演習室等	
	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	総数	面積 (㎡)
芸術の森キャンパス	167,617	23,087	53	5,696
桑園キャンパス	18,152	12,367	30	3,132
合計	185,769	35,454	82	8,828
サテライトキャンパス	178	178	2	152

2) 芸術の森キャンパス・桑園キャンパス・サテライトキャンパス・まこまないキャンパス

(施設配置図・校舎配置図)

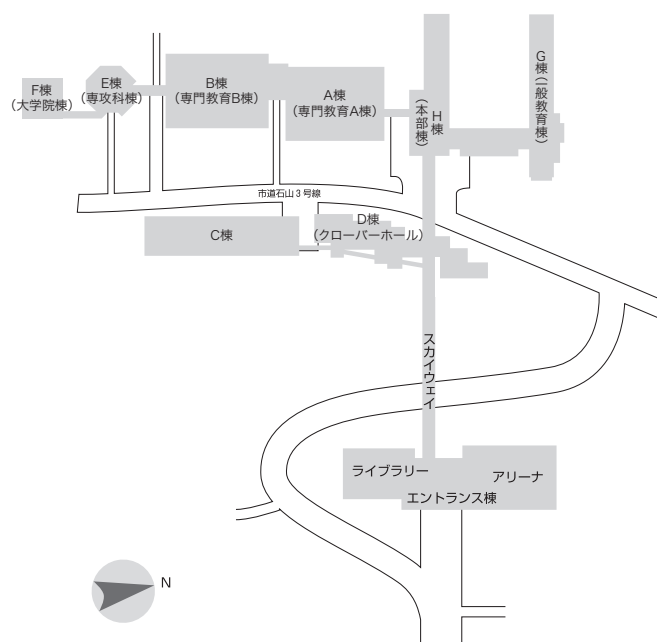
芸術の森キャンパス

〒005-0864

北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 (代)

FAX : 011-592-2369



●桑園キャンパス

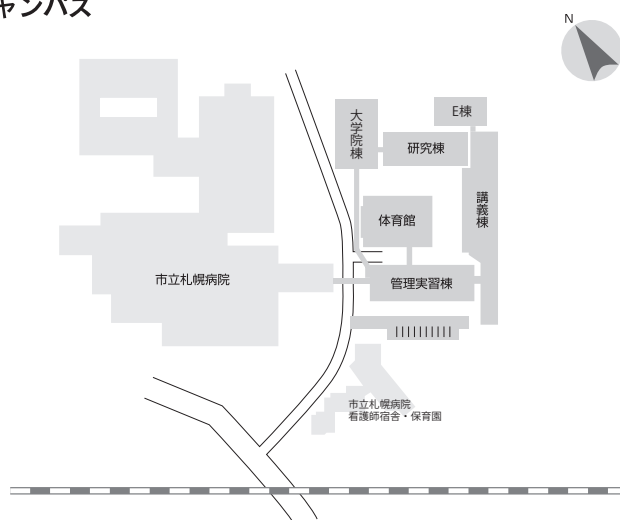
桑園キャンパス

〒060-0001

北海道札幌市中央区北11条西13丁目

TEL : 011-726-2500 (代)

FAX : 011-726-2506





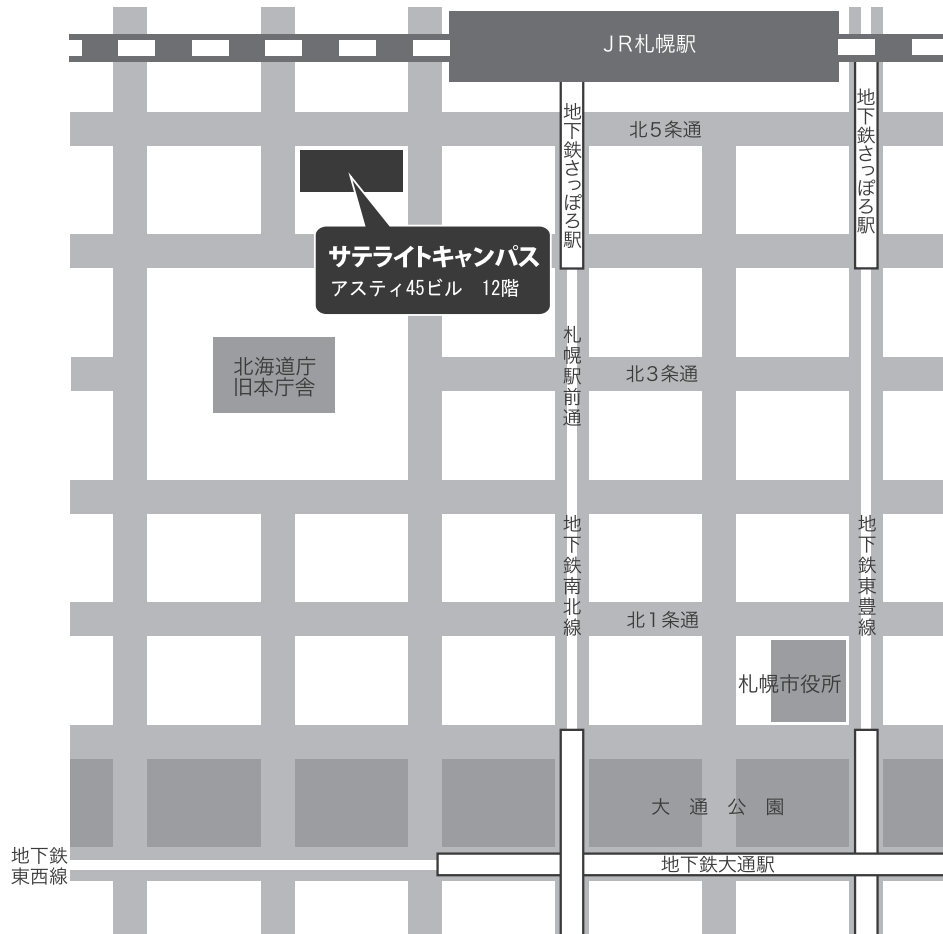
サテライトキャンパス

〒060-0004

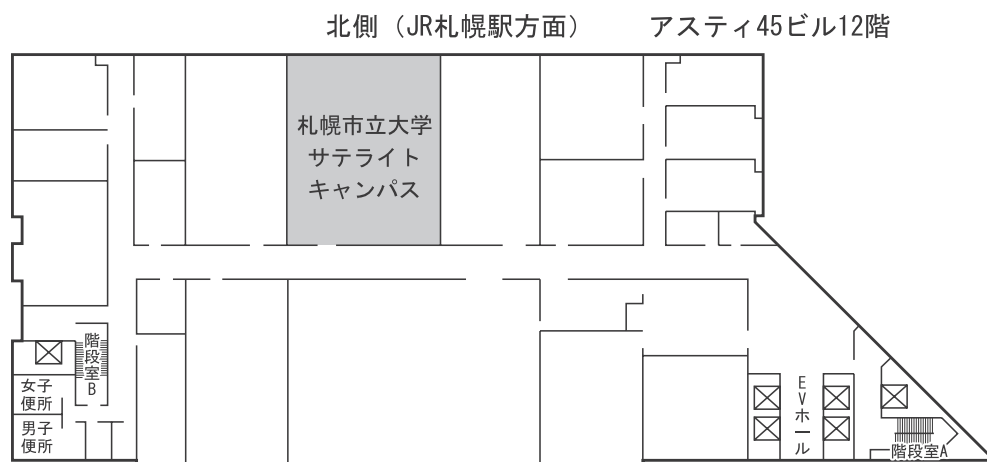
北海道札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45ビル12階

TEL : 011-218-7500 (代)

FAX : 011-218-7507



〈施設平面図〉





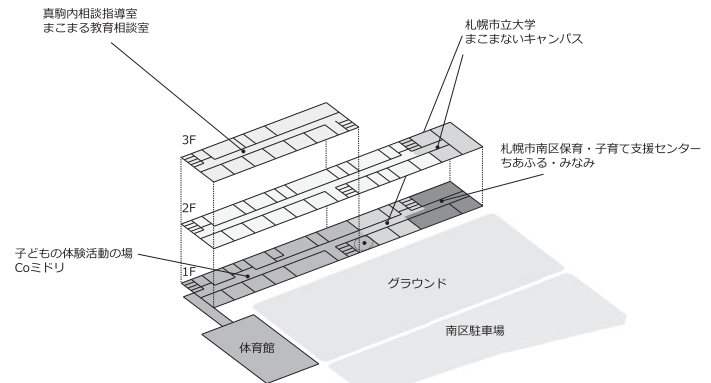
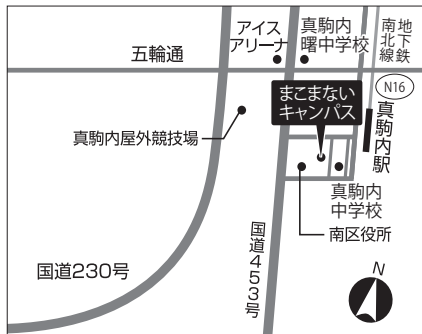
まこまないキャンパス

〒005-0014

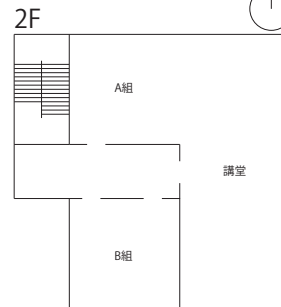
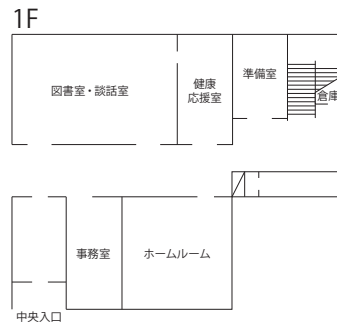
北海道札幌市南区真駒内幸町2丁目2-2まこまる（旧真駒内緑小学校）内

TEL：011-596-6675

FAX：011-596-6676

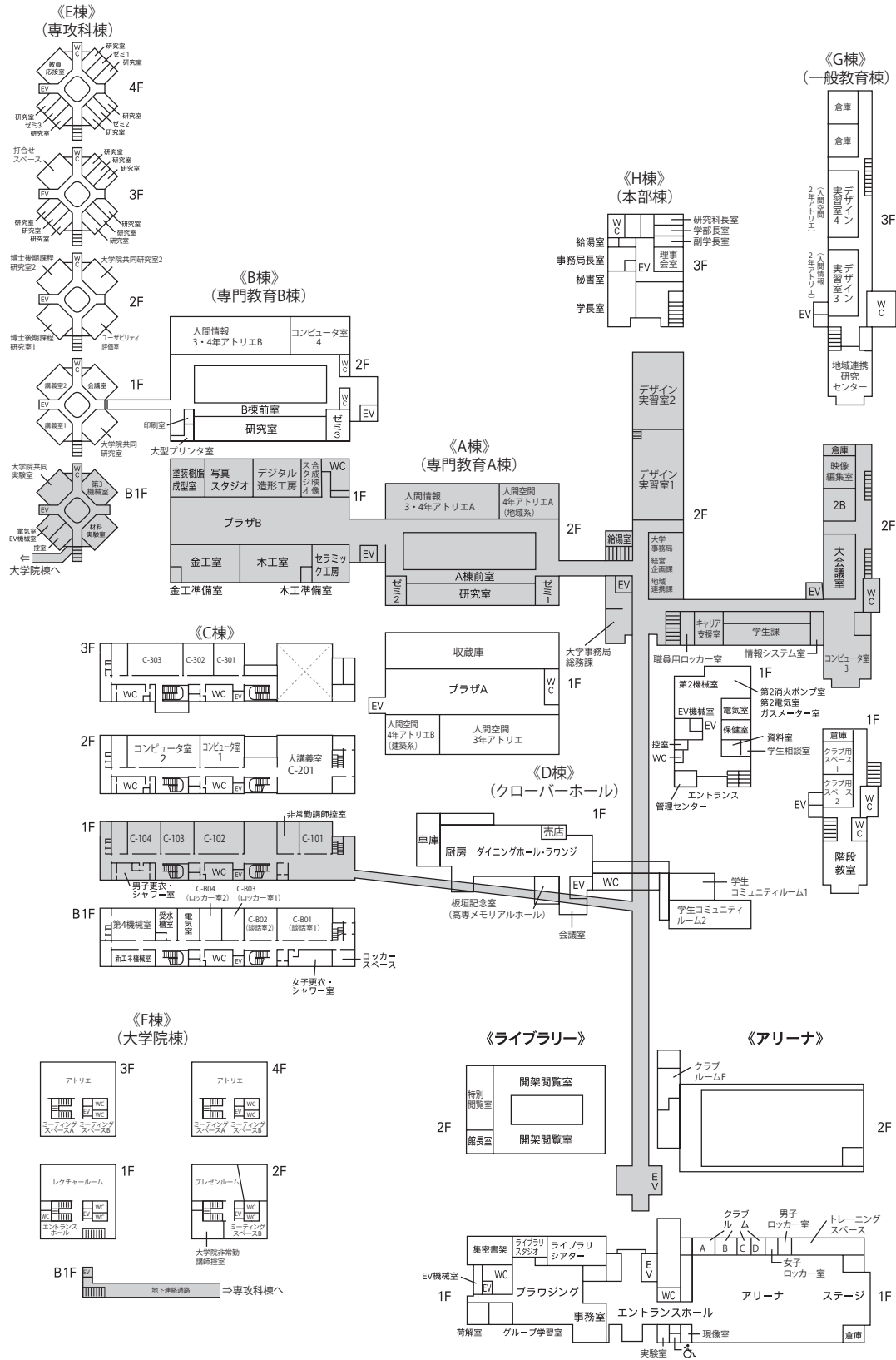


〈まこまないキャンパス施設平面図〉



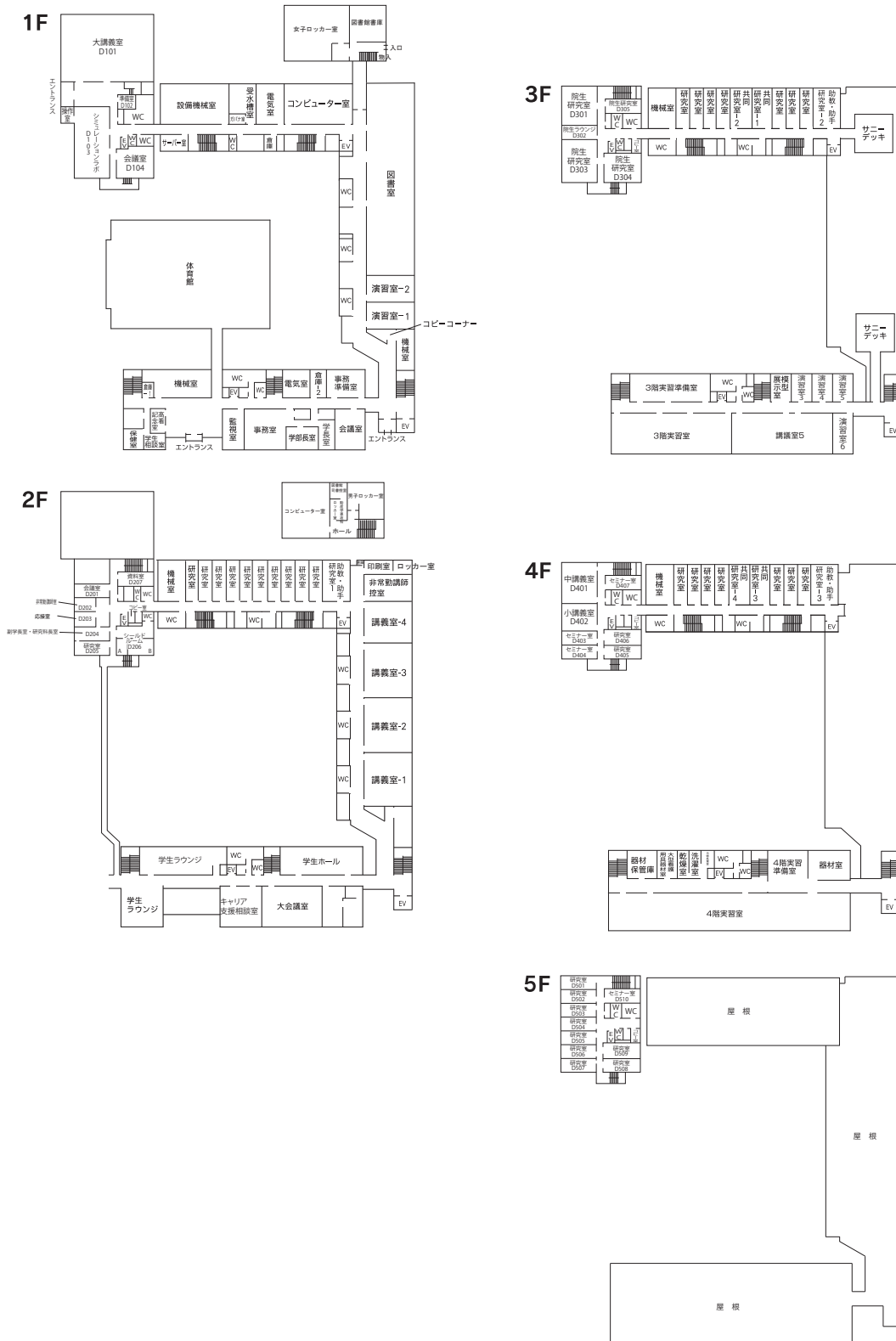


芸術の森キャンパス(校舎配置図)





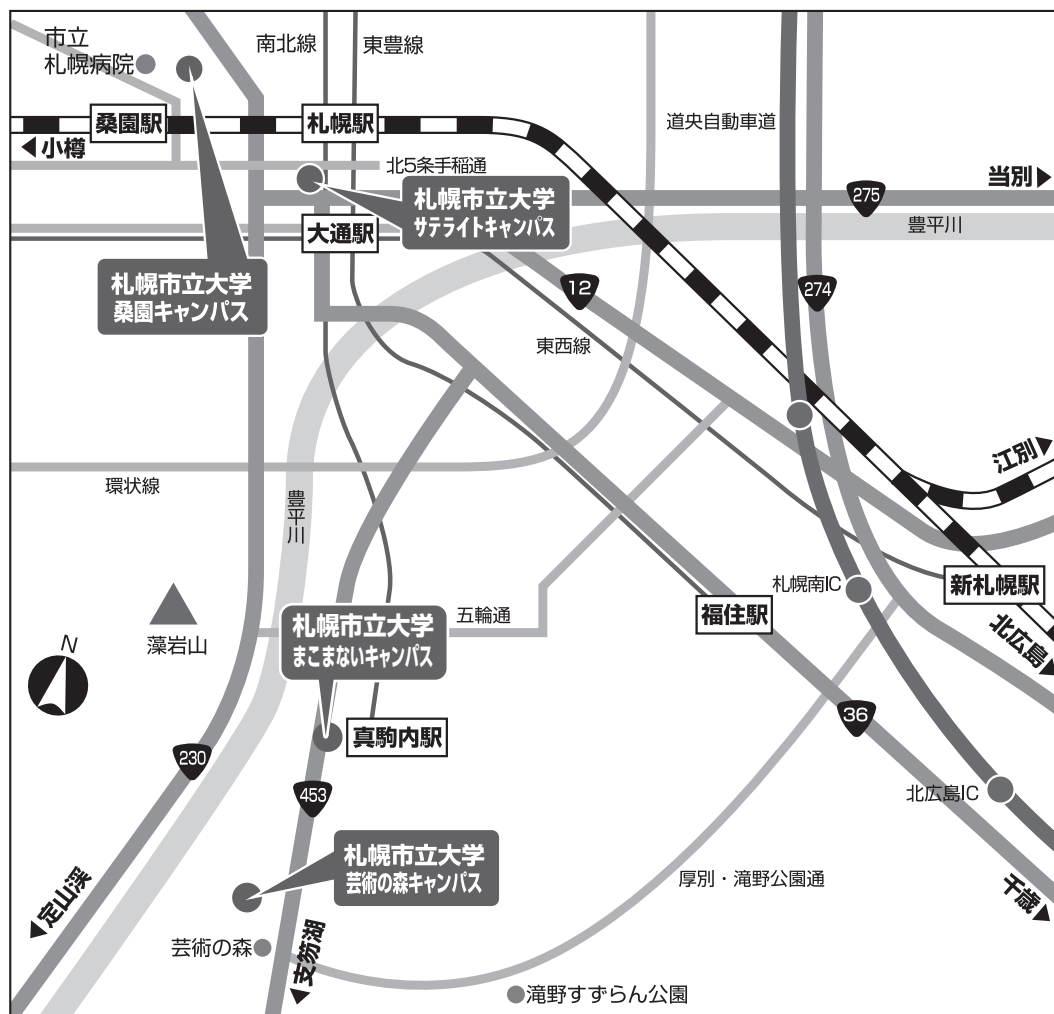
桑園キャンパス〈校舎配置図〉



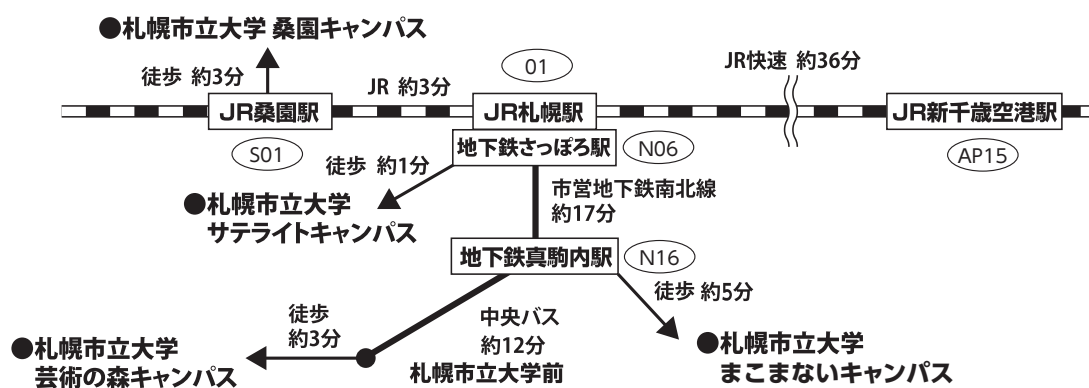


13 大学へのアクセス

1) アクセスマップ



2) 交通案内





14 札幌市立大学 大学歌『みらいの手』

作詞: 後藤優太・首藤翠 (デザイン学部 第4期生)
作曲: 堀 彩菜 (デザイン学部 第3期生)

力強く風が吹き抜ける
新たな希望をたずさえて
さあ飛び出そう
翼広げて
光の指す方へと

ともに笑いともに競った仲間たち
これからは別々の道を往く
強い風に吹かれ
立ち止まりかけても
恐れず歩き続けて

僕らには創りあげる手がある
僕らには支えあえる手がある
同じ空の下には今も
走り続ける仲間がいるだろう

僕らには創りあげる手がある
僕らには支えあえる手がある
あの地平の彼方にはきっと
君の染める世界がある

僕らには導く能力(ちから)がある
僕らには差し伸べる精神(こころ)がある
その壁の向こうにはきっと
君を待つ世界がある

『みらいの手』

公立大学法人 札幌市立大学 大学歌

作詞: 後藤優太・首藤 翠
作曲: 堀 彩菜

The musical score is presented in two columns. The left column contains the vocal line and piano accompaniment, with lyrics written below the notes. The right column shows the piano accompaniment with chord symbols (A, B, C) and dynamic markings (mf, f, sf, sfz). The score includes various musical notations such as clefs, time signatures, and articulation marks. The lyrics are in Japanese and are repeated across the score to match the melody.



X 教員一覧

1 教員一覧

デザイン学部		看護学部	
職位・コース	教員名	職位・領域	教員名
学長	中島 秀之	教授・小児	松浦 和代
教授・人間情報	細谷 多聞	教授・在宅	菊地 ひろみ
教授・人間情報	石井 雅博	教授・成人	川村 三希子
教授・人間情報	安齋 利典	教授・母性	荒木 奈緒
教授・人間情報	柿山 浩一郎	特任教授・成人	中村 恵子
教授・人間空間	齊藤 雅也	教授・成人	卯野木 健
教授・人間空間	椎野 亜紀夫	教授・成人	小田 和美
教授・人間情報	藤木 淳	教授・老年	貝谷 敏子
教授・共通教育	町田 佳世子	教授・地域	喜多 歳子
教授・人間情報	三谷 篤史	教授・基礎	定廣 和香子
教授・人間空間	山田 良	教授・管理	佐藤 ひとみ
教授・人間情報	若林 尚樹	教授・基礎	樋之津 淳子
准教授・人間空間	小林 重人	准教授・基礎	大野 夏代
准教授・人間空間	武田 亘明	准教授・成人	神島 滋子
准教授・人間情報	張 浦華	准教授・成人	菅原 美樹
准教授・共通教育	松井 美穂	准教授・成人	藤井 瑞恵
准教授・共通教育	丸山 洋平	准教授・地域	本田 光
准教授・人間空間	森 朋子	准教授・老年	村松 真澄
准教授・人間空間	山田 信博	准教授・精神	守村 洋
准教授・人間情報	横溝 賢	講師・精神	伊東 健太郎
講師・人間空間	石田 勝也	講師・成人	工藤 京子
講師・人間空間	大島 卓	講師・母性	黒田 紀子
講師・人間情報	大淵 一博	講師・在宅	高橋 奈美
講師・人間空間	片山 めぐみ	講師・基礎	武富 貴久子
講師・人間情報	金 秀敬	講師・老年	原井 美佳
講師・人間空間	小宮 加容子	講師・基礎	檜山 明子
講師・人間空間	須之内 元洋	講師・母性	森川 由紀
講師・人間情報	福田 大年	講師・管理	矢野 祐美子
講師・人間情報	松永 康佑	講師・母性	山本 真由美
助教・人間空間	金子 晋也	助教・母性	石引 かずみ
助教・人間情報	矢久保 空遥	助教・母性	大友 舞
		助教・管理	鬼塚 美玲
		助教・成人	柏倉 大作
		助教・地域	近藤 圭子
		助教・成人	齋 若奈
		助教・基礎	渋谷 友紀
		助教・地域	田仲 里江
		助教・老年	中田 亜由美
		助教・小児	牧田 靖子
		特任助教・小児	田中 純
		助手・基礎	高橋 葉子
地域連携研究センター			
職位・担当	教員名		
特任准教授・AIラボ	高橋 尚人	助教・成人	
特任助教・AIラボ	福谷 遼太	助教・基礎	
特任助教・AIラボ	吉田 彩乃	助教・地域	



2 教員業績一覧

デザイン学部

中島 秀之

＜著書＞1. 「人工知能 チューリング/ブルックス/ヒントン」 (共著、2020年、岩波書店)

＜所属学会・研究会＞人工知能学会／情報処理学会／日本認知科学会／PRICAI／サービス学会／日本ソフトウェア科学会／観光情報学会／日本工学アカデミー会員／日本工学会

＜講演会・講習会活動＞はこだて未来大学 オンライン公開講座「人工知能のデザイン」(2020年7月2日、はこだて未来大学)／芝浦工業大学「アーバン・エコ・モビリティ研究拠点の形成 ～私立大学研究ブランディング事業シンポジウム～」 「AI技術で支える社会とモビリティ」(2021年3月2日、芝浦工業大学)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞講演「2020年度人工知能学会大会全国大会」 「AIと社会」(2020年6月9日、人工知能学会)／講演「人生100年時代 アフターコロナに立ち向かう社会を考える」 「AI技術の社会応用：皆が健康に暮らせる社会のデザイン」(2020年6月27日、豊生会)／講演「日本産学フォーラム リベラルアーツ企業研修会」 「人工知能技術と社会」(2020年7月8日、日本産学フォーラム)／パネリスト「WAIC2020 Summit Online 世界人工智能大会(上海)」 “Future Challenges and Breakthroughs of Artificial Intelligence” (2020年7月9日、WAIC)／公正取引委員会からの意見聴取(2020年7月21日、公正取引委員会)／講師「トヨタ「技術者の一日」(2020年7月22日、トヨタ自動車株式会社 トヨタ技術会)／講演「第2回人生100年時代 アフターコロナに立ち向かう社会を考える」 「AIを用いた健康脆弱化予知予防への挑戦 ～健康設計コンシェルジュを目指して～」(2020年8月8日、豊生会)／パネリスト「FIT2020 情報科学技術フォーラム」 「NoMapsが切り拓く地図なき世界」(2020年9月2日、NoMaps実行委員会)／講演「NINJALシンポジウム 言語コミュニケーションの多様性」 「AIと対話」(2020年10月3日、国立国語研究所)／講演「NoMaps札幌証券取引所70周年記念セッション」 「AIで北海道を活性化する」(2020年10月14日、札幌証券取引所)／パネリスト「AI/SUM&TRAN/SUM」 「AIをコアとするデジタル基盤がもたらす変革」(2020年10月21日、日本経済新聞社)／講演「経営知恵サロン”無関”」 「これからの社会と人工知能-道具としてのAI-」(2020年10月25日、新鋭経営会)／講演 ノボシビルスク市主催「まちづくり国際フォーラム」 「未来シェアの考えるMaaS: Smart Access Vehicle Service」(2020年10月29日、札幌市経済観光局)／講師「データサイエンティスト協会 7thシンポジウム」 「データ処理とAIの歴史と未来」(2020年11月9日、データサイエンティスト協会)／講演「UHB大学」 「人工知能とは」(2020年11月24日、北海道文化放送)／講演「産業技術総合研究所人工知能技術コンソーシアム神戸支部WG特別講演会」 「日本社会はAIで変わる」(2020年12月4日、神戸商工会議所)／講演「中部科学技術推進会 講演会」 「DXとITとAIと社会」(2020年12月8日、中部科学技術センター)／講演「Ed-AIへの挑戦」 「AIの現状と教育の未来」(2021年3月9日、NTTラーニングシステムズ株式会社)／講演「CVMW(心血管代謝週間)2020」 「AI技術が可能にする社会デザイン」(2021年3月12日、心血管代謝週間運営事務局)／取締役会長(未来シェア)／副代表理事(社会システムデザインセンター)／公立はこだて未来大学特任教授(公立はこだて未来大学)／公立はこだて未来大学未来AI研究センター顧問(公立はこだて未来大学)／理事(本田財団)／理事(産学連携推進機構)／会長(北海道MaaS推進研究会)／連携会員(日本学術会議)／有識者会員(日本ディープリンング協会)／新白書有識者委員会委員(情報処理推進機構)／NEDO技術委員(NEDO)／「情報システム本部研究開発部門計算工学応用開発ユニット」客員主管研究員(理化学研究所)／国立障害者リハビリテーションセンター研究所評価委員会委員(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)／未来社会創造事業 研究開発運営会議委員(科学技術振興機構)／公立大学法人会津大学参与会 参与(公立大学法人会津大学)／大学機関別認証評価委員会専門委員(大学改革支援・学位授与機構)／「Sapporo AI Lab」エグゼクティブ・アドバイザー(さっぽろ産業振興財団)／NoMaps実行委員会 顧問(NoMaps実行委員会)／札幌国際芸術祭実行委員会 副会長(札幌国際芸術祭実行委員会事務局)／最終審査員「第8回星新一賞」(星新一賞実行委員会)／審査委員長「ビッグデータ・AIコンペティション」(ビッグデータ・AIコンペティション実行委員会)／審査員「MITテクノロジーレビュー Innovators Under 35 Japan」(社角川アスキー総合研究所)



細谷 多聞

＜論文査読・学会抄録査読＞1.デザイン学研究作品集（3件、日本デザイン学会）
 ＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（2020年度作品審査委員会、委員（学会理事））

石井 雅博

＜学会発表＞1.着装者の印象判断において多数の評価者が選好する色相は存在するか（視覚学会、2020年）／2.見下げ時の足圧中心の動き（電子情報通信学会ヒューマン情報処理研究会、2020年）
 ＜所属学会・研究会＞Vision Sciences Society／日本視覚学会／日本光学会／日本感性工学会／日本バーチャルリアリティ学会／芸術科学会／映像情報メディア学会／電子情報通信学会／情報処理学会
 ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞幹事（視覚科学技術コンソーシアム）

安齋 利典

＜学会発表＞1.デスクランプの造形デザイン向上に関する研究（共同、日本デザイン学会、2020年6月）／2.癒しのためのテラリウムの提案（共同、日本デザイン学会、2020年6月）／3.落書きコミュニケーションによるデザイン思考体験（共同、日本デザイン学会、2020年6月）／4.落書きコミュニケーションによる視覚的対話手法の分析（共同、日本デザイン学会、2020年6月）／5.BtoB企業に対するUXワークショップの試行-01（共同、日本デザイン学会、2020年6月）／6.BtoB企業に対するUXワークショップの試行-02（共同、日本デザイン学会、2020年6月）／7.ものづくりを通じた木への関心度向上の研究（共同、日本感性工学会北海道支部、2021年2月）／8.デスクランプの造形デザイン向上に関する研究（共同、日本感性工学会北海道支部、2021年2月）
 ＜論文査読・学会抄録査読＞1.芸術工学会誌（1件、芸術工学会誌）
 ＜学会役員就任状況＞芸術工学会（理事）
 ＜学会座長就任状況＞感性フォーラム札幌2021（2021年2月、日本感性工学会北海道支部発表番号：01～04（第1セッション））
 ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞航空機のより快適でスムーズな利用のためのサービスデザイン（2020年6月～2021年3月、株式会社AIRDO）／NoMaps2020「ニューNoMapsを考える。オンライン落書きコミュニケーションに挑戦！」（2020年10月16日、JAA（日本アダプタイザーズ協会）Web広告研究会）／次世代オンラインワークショップ「アナログってなんだろう？」（2021年3月13日、株式会社オーディオテクニカ）

柿山 浩一郎

＜著書＞1.地域創生デザイン論：“まち育て”に大学力をどう活かすか（共著、2020年8月、札幌市立大学地域創生デザイン研究チーム、pp.165-224、pp.284-294）
 ＜学会発表＞1.BtoB企業に対するUXワークショップの試行-02（口頭発表）（共同、日本デザイン学会誌 第67回研究発表大会概要集2020 セッションID:H-02 p.106-p.107、2020年6月）
 ＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本感性工学会論文誌（1件、日本感性工学会）
 ＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（梗概集編集委員会、委員長）／日本デザイン学会（研究推進委員会、委員）／日本デザイン学会（理事）／日本感性工学会（理事）／日本感性工学会（論文審査委員会、委員）／日本感性工学会（北海道支部、支部長）／日本感性工学会（感性インタラクシオン研究部会 部会長）
 ＜学術集会運営＞日本デザイン学会春季研究発表大会2020（日本デザイン学会）／感性フォーラム札幌2021（日本感性工学会 感性インタラクシオン研究部会、あいまいと感性研究部会）
 ＜所属学会・研究会＞日本感性工学会／日本デザイン学会／日本教育工学会

齊藤 雅也

＜著書＞1.地域創生デザイン論：“まち育て”に大学力をどう活かすか（共著、2020年8月、札幌市立大学地域創生デザイン研究チーム、pp.127-146）
 ＜国際会議での発表＞1.Architectural Planning and the Planning Studies after COVID 19（China, Japan and South Korea Living Environment integration Symbiosis Academic Conference（Online）、2020年12月）



＜学会発表＞1.双曲放物屋根をもつ木造オフィスの冬季の室内気候と快適性 スタッフの想像温度と快適感・行動について（共同、2020年度日本建築学会北海道支部研究報告集、2020年6月）／2.建築家上遠野徹「札幌の家・自邸」の冬季の熱環境と設備に関する考察（共同、2020年度日本建築学会北海道支部研究報告集、2020年6月）／3.積雪寒冷地の環境情報としての「氷柱」のデザイン さっぽろ垂氷まつり2020の取組みについて（共同、2020年度日本建築学会北海道支部研究報告集、2020年6月）／4.ヒトの温度想像力と夏の住みこなしに関する考察（共同、2020年度日本建築学会大会（関東）学術講演会（環境工学Ⅱ）、2020年9月）／5.住まい手の「温度想像力」養成に関する研究 その1 札幌・福山・熊本における夏季・秋季・冬季の熱的感覚と想像温度（共同、2020年度日本建築学会大会（関東）学術講演会（環境工学Ⅱ）選抜梗概、2020年9月）／6.住まい手の「温度想像力」養成に関する研究 その2 札幌・福山・熊本における夏季・秋季・冬季の被験者の生活と想像温度（共同、2020年度日本建築学会大会（関東）学術講演会（環境工学Ⅱ）選抜梗概、2020年9月）／7.冬季災害時における「紙管シェルター」のデザインと熱性能（共同、2020年度日本建築学会大会（関東）学術講演会（環境工学Ⅱ）、2020年9月）／8.岩見沢市における心理好転的デトックスを促すホスピス併設型病院及び周辺施設の提案（共同、2020年度日本建築学会大会（関東）デザイン発表会、2020年9月）／9.建築家上遠野徹「札幌の家・自邸」の夏季の熱環境について（共同、2020年度日本太陽エネルギー学会講演論文集、2020年11月）／10.熱環境に対する「温度想像力」養成に関する研究 ～札幌・福山・熊本における2019年夏季と2020年夏季の被験者実験～（共同、2020年度第60回日本建築学会九州支部研究発表会、2021年3月）／11.室内熱環境における「温度想像力」養成に関する研究 福山における冬季・春季調査（共同、2020年度日本建築学会中国支部研究発表会、2021年3月）／12.札幌の住宅における出身国・地域が異なる住まい手に冬季の乾き感・想像温度の関係（共同、空気調和・衛生工学会北海道支部第55回学術講演会、2021年3月）／14.多湿な室内気候デザインに関する基礎的研究 トカゲとシダの生態に基づく視点から（共同、空気調和・衛生工学会北海道支部第55回学術講演会、2021年3月）

＜学会座長就任状況＞日本太陽エネルギー学会学術集会（2020年10月5日（オンライン））／日本建築学会環境工学委員会合同発表会（2020年12月12日（オンライン））

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会環境系論文集（論文査読（2件）、日本建築学会）／2.空気調和・衛生工学会技術振興賞（審査委員（5件）、空気調和・衛生工学会）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会地球環境委員会環境ライフスタイル普及小委員会（幹事）／日本建築学会熱環境委員会バイオクライマティックデザイン小委員会（委員）／空気調和・衛生工学会北海道支部（幹事）／日本建築学会北海道支部環境工学専門委員会（委員）／NPO法人パッシブシステム研究会（顧問）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本デザイン学会／空気調和・衛生工学会／日本太陽エネルギー学会／日本感性工学会／日本看護科学学会／日本公衆衛生学会／LowEx. Net（Network of International Society for Low Exergy Systems in Buildings）

＜講演会・講習会活動＞文部科学省スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業 北海道旭川西高等学校 特別講師（2012年4月～現在）／BIS養成講習会（2020年10月、北海道建築技術協会）／BIS更新講習会（2020年10月、北海道建築技術協会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞環境工学専門委員（2001年4月～現在、日本建築学会 北海道支部）／環境工学委員会 熱環境運営委員会 バイオクライマティックデザイン小委員会（2015年4月～現在、日本建築学会 本部）／北海道支部 常任幹事（2015年12月～現在、公益社団法人空気調和・衛生工学会）／パッシブシステム研究会（顧問）（2018年～現在）／技術振興賞（北海道支部）審査（2020年11月4日、公益社団法人空気調和・衛生工学会）／第12回JIA（日本建築家協会）・テスチャレンジ設計コンペ審査委員会（2021年3月～9月、日本建築家協会北海道支部）

椎野 亜紀夫

＜学術論文＞1.まちづくり市民活動団体の役割構造のモデル化（共著、2021年3月、日本建築学会計画系論文集、第86巻、第781号、pp.961-970）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.ランドスケープ研究（5件、日本造園学会）／2.ランドスケープ研究（オンライン論文集）（7件、日本造園学会）／3.日本都市計画学会学術研究論文集（5件、日本都市計画学会）／4.日本建築学会計画系論文集（2件、日本建築学会）／5.日本建築学会技術報告集（1件、日本建築学会）／6.こども環境学研究（2件、こども環境学会）



<学会役員就任状況> 日本造園学会（北海道支部副支部長（2017年～現在））／日本造園学会（ランドスケープ作品選集委員会委員（2020年～現在））
 <学術集会運営> 日本造園学会北海道支部大会（日本造園学会）
 <所属学会・研究会> 日本造園学会／日本都市計画学会／日本建築学会／こども環境学会／日本博物館協会／環境情報科学センター
 <講演会・講習会活動> 札幌市立常盤小学校 総合的な学習の時間における講師派遣
 <専門職者・企業・展覧会等への支援> ランドスケープ作品選集 応募作品審査（書類審査・現地審査）（日本造園学会）

藤木 淳

<学術論文> 1. みやざきアートセンター10周年に対するメッセージ（単著、2021年3月、THE DECADE OF MIYAZAKI ART CENTER みやざきアートセンターの10年、pp.19）
 <作品発表> 1. おいかけっこ（共同、2021年、札幌芸術の森美術館「アフターダーク」展からの依頼を受け制作）／2. 1フレーム（共同、2021年、札幌芸術の森美術館「アフターダーク」展からの依頼を受け制作）／3. 夜の朝顔（共同、2021年、札幌芸術の森美術館「アフターダーク」展からの依頼を受け制作）／4. オンとオフ（共同、2021年、札幌芸術の森美術館「アフターダーク」展からの依頼を受け制作）／5. P055E5510N2020（単独、2021年、東京現代美術館「おさなごころを、きみに」展からの依頼を受け制作）／6. A day in their lives（共同、2021年、東京現代美術館「おさなごころを、きみに」展からの依頼を受け展示）／7. 動き続ける静止画（単独、2021年、芸術科学会誌DiVA50号）／8. Ich hätte mich doch wohl früher（単独、2021年、芸術科学会誌DiVA50号）
 <学会発表> 1. 「P055E5510N2020」「A day in their lives」（単独、東京現代美術館企画展「おさなごころを、きみに」、2020年7月）／2. 食物とコミュニケーション能力の改変によるアリの行動変容 -アリの適応力を活用したアート作品の制作に向けて-（共同、Entertainment Computing 2020、2020年8月）／3. 無意識に容貌変形することによるwell-being向上手法の検討（共同、Entertainment Computing 2020、2020年8月）／4. Time Flyer：観念的タイムマシンの制作（共同、Entertainment Computing 2020、2020年8月）／5. コンテキストを維持しつつ複数人に同じ感情を抱かせるアニメーション表現のための基礎研究（共同、Entertainment Computing 2020、2020年8月）／6. フラッグクエスト：仮想世界指向インタフェースを備えたゲームシステムの提案（共同、インタラクショナル2020、2020年9月）／7. 「おいかけっこ」「1フレーム」「夜の朝顔」「オンとオフ」（単独、札幌芸術の森美術館企画展「アフターダーク」、2021年2月）
 <学術集会運営> 日本バーチャルリアリティ学会2021年全国大会（日本バーチャルリアリティ学会）
 <所属学会・研究会> 日本バーチャルリアリティ学会／感性工学会／芸術科学会

三谷 篤史

<学術論文> 1. 力覚センサを用いた口腔ケアシミュレータのための計測アルゴリズムの構築（共著、2020年10月、看護理工学会誌、第7巻、pp.59-67）／2. Development of the Second Prototype of an Oral Care Simulator（共著、2021年2月、Journal of Robotics and Mechatronics, Vol.33, No.1, 2021）
 <学会発表> 1. 看護・介護における基礎技術習得のための食事介護シミュレータの開発：（スプーンを口腔から引き抜く際の口唇刺激を評価するモデルの開発）（共同、ロボティクス・メカトロニクス 講演会 2020 in Kanazawa（オンライン開催）、2020年5月）
 <所属学会・研究会> 日本ロボット学会／日本機械学会／アメリカ電気電子学会（IEEE）／ロボティクス・オートメーション部門（RAS）およびパワー・エナジー部門（PES）／精密工学会／計測自動制御学会／日本デザイン学会／看護理工学会／日本感性工学会／日本トライボロジー学会
 <専門職者・企業・展覧会等への支援> イノベーション・ジャパン2020における展示（共同発表）「数値的指標に基づく訓練が可能な口腔ケアシミュレータ」（2020年9月28日～11月30日、JST）／ビジネスEXPOにおけるランプシェードの展示「1/fゆらぎを用いたランプシェードのデザイン提案」（2020年11月5日～6日、清水勸業株式会社）／北海道 健康・医療研究シーズ集2020への研究内容掲載「看護・介護における基礎技術学習のためのシミュレーション教育用シミュレータの開発」（北海道庁）



山田 良

＜学術論文＞1. インスタレーションによるアート・イン・ホスピタル (Art in Hospital) の普及 — 札幌市をフィールドとした アクションリサーチを通して — (査読付) (共著、2020年8月、アートミーツケア学会学会誌 (オンラインジャーナル)、11号、pp.1-30)

＜作品発表＞1. ホスピタルアート・Shadow Landscape・北新病院 (招待・依頼作品) (単独、2020年5月、北海道札幌市)

＜論文査読・学会抄録査読＞1. 環境芸術 (2件、環境芸術学会)

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／環境芸術学会

＜講演会・講習会活動＞関口勇揮記念美術館 屋外展 (2020年7月)

若林 尚樹

＜学術論文＞1. 工作を中心とした体験プログラムにおける工程の違いによる主観的評価の分析 (査読有) (共著、2020年8月、こども環境学研究、Vol.16, No.1 (C.N.45), pp.117-122)

＜国際会議での発表＞1. Web Application for Multidimensional Evaluation of Experience Based on Subjective Impressions (査読有) (共著 (Yuko Masakura, Naoki Wakabyashi, Rina Tanabe)、2020年9月、International Conference on Kansei Engineering and Emotion Research (KEER 2020) P.1-P.6 (Tokyo, Japan))

＜学会発表＞1. 落書きコミュニケーションによる視覚的対話手法の分析 (共著、デザイン学会第67回春期発表大会、2020年6月) / 2. 動物園ワークショップにおける「やってみる」工程の比較分析 (共著、デザイン学会第67回春期発表大会、2020年6月) / 3. 動物園ワークショップにおける「観察する」工程の比較分析 (共著、デザイン学会第67回春期発表大会、2020年6月) / 4. 視覚的対話手法による体験の可視化と体験印象マップの分析2 (共著、デザイン学会第67回春期発表大会、2020年6月) / 5. 落書きコミュニケーションによるデザイン思考体験 (共著、デザイン学会第67回春期発表大会、2020年6月) / 6. 食品パッケージデザインにおける意味化機能に着目した表現手法の日中比較 (共著、デザイン学会第67回春期発表大会、2020年6月)

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会 (2020年4月～ 子どものためのデザイン部会 幹事)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞Webデザイナーテキストブック編集委員長、Webデザイナー検定委員「CR-ARTS協会委員」 (2020年4月～2021年3月、画像情報教育印稿協会、画像情報教育振興協会) / 商品パッケージのデザイン及びブランディング開発 (2020年4月～9月、ス特定非営利活動法人 ステップバイステップ、特定非営利活動法人 ステップバイステップ) / 画像情報教育振興協会委員 (2020年4月～、画像情報教育振興協会) / 芸術の森小学校交渉デザインコンペ「札幌市立芸術の森小学校 校章デザイン募集事業」 (2020年5月～11月、常盤小学校、常盤小学校) / 「洗濯せっけん」「食器用せっけん」の宣材資料の制作 (2020年5月～9月、特定非営利活動法人ステップバイステップ) / 元気ショップいこ～る 商品ディスプレイプロジェクト 他1件「元気ショップいこ～る商品ディスプレイプロジェクト」 (2020年6月～9月、札幌市手をつなぐ育成会、札幌市手をつなぐ育成会) / 共同研究 コミュニケーションツールとしての絵本の研究 (2020年6月～2021年3月、株式会社AIRDO) / 共同研究 航空教室の形態と教材開発 (2020年6月～2021年3月、株式会社AIRDO) / 常盤小 石山東小 工作ワークショップ事業 計4回実施「常盤小 石山東小 工作ワークショップ事業」 (2020年8月～12月、常盤小 石山東小、常盤小学校、石山小学校) / 円山動物園のモデル観覧ルートとより教育効果の高い子ども向け体験プログラムの検討 (2020年8月～2021年3月、札幌市円山動物園、札幌市円山動物園) / 航空機により快適でスムーズな利用のためのサービスデザイン他2件「地域産学教職依頼もとづくデザイン総合実習IVでの協力、共同研究「AIRDOのコミュニケーションツールとしての絵本の研究」「AIRDO 航空教室の形態と教材 発」」 (2020年10月～2021年3月、株式会社AIRDO、株式会社AIRDO) / 札幌シティジャズライブコースターデザイン (2020年10月、株式会社オーディオテクニカ) / NoMaps2020「ニューNoMapsを考える。オンライン落書きコミュニケーションに挑戦！」「No Maps 2019北海道をどう変える？業界ごとのイノベーションを考える」 (2020年10月17日、JAA (日本アドバタイザーズ協会) Web広告研究会、JAA (日本アドバタイザーズ協会) Web広告研究会) / 2020年3月13日実施ワークショップ「アナログってなんだろう？」の企画運営実施「ワークショップ「アナログってなんだろう？」の企画運営実施」 (2021年3月13日、株式会社オーディオテクニカ、株式会社オーディオテクニカ)



<所属学会・研究会>日本デザイン学会（国内学会）会員／子ども環境学会（国内学会）会員／感性工学会（国内学会）会員／芸術科学会（国内学会）会員／日本動物園水族館教育研究会（国内研究会）会員／アジアデジタルアートアンドデザイン学会（国際学会）会員

小林 重人

<著書>1. Relationship Between Community Currency Issuance Organization's Philosophy and Its Issuance Form: A Japanese Case Study（共著、2021年3月、International Journal of Community Currency Research, (25, 1, 1-15)）

<国際会議での発表>1. Consideration of Relationship Between Decommissioning With Digital-Twin and Knowledge Management, (The 28th International Conference on Nuclear Engineering, 2020年8月、アメリカ・アナハイム)

<学会発表>1. 理念と発行形態の関係性からみる日本の地域通貨発行組織の比較分析（共同、進化経済学会第24回大会、2020年5月）／2. アナログ地域通貨とデジタル地域通貨の発行形態に対する印象と評価の差異ーゲーミング・シミュレーションによる検討ー（共同、進化経済学会第24回大会、2020年5月）／3. アナログ地域通貨とデジタル地域通貨の違いに対する利用者の評価と行動：ゲーミング・シミュレーションを用いた分析（共同、第56回経済社会学会、2020年10月）／4. 働き方の課題を把握するシミュレーションゲームと法教育の展開（共同、日本シミュレーション&ゲーミング学会 2020年度秋期全国大会、2020年12月）／5. 主権者教育とS&G（共同、日本シミュレーション&ゲーミング学会 2020年度秋期全国大会、2020年12月）／6. 発行形態によって形成される地域通貨像の差異（共同、進化経済学会 第25回大会、2021年3月）

<論文査読・学会抄録査読>1. 「経済社会学会年報」（1件、経済社会学会）／2. 「シミュレーション&ゲーミング」（1件、日本シミュレーション&ゲーミング学会）／3. 「International Journal of Community Currency Research」（1件、Research Association on Monetary Innovation and Community and Complementary Currency Systems）

<学会役員就任状況>日本シミュレーション&ゲーミング学会（学術委員会、理事）／進化経済学会 北海道・東北部会（事務局長）

<学術集会運営>日本シミュレーション&ゲーミング学会 春季及び秋季全国大会（日本シミュレーション&ゲーミング学会）

<所属学会・研究会>情報処理学会／進化経済学会／地域活性学会／社会・経済システム学会／日本シミュレーション&ゲーミング学会／経済社会学会／経済教育学会

<講演会・講習会活動>国立大学協会共催シンポジウム「地域における価値創造と大学院教育の新たな展開」での講師「自分たちが望む暮らしを自分たちで実現するためのソーシャルデザイン」（2020年11月6日、山梨大学）／国際会議主催者セミナーでの講師「地域通貨を媒介とする世界の研究者と地元の行政・実践者のコラボを通じた産学官金融融合型MICEによる地域活性化」（2021年2月25日、日本政府観光局）

<専門職者・企業・展覧会等への支援>研究倫理審査専門部会における学外委員として参加（2020年7月31日、小樽商科大学グローバル戦略推進センター研究支援部門）

武田 亘明

<学会発表>1. 地域学校協働活動プロジェクトのデザイン（単独、日本教育工学会2021年春季全国大会講演論文集pp.69-70、協調学習・学習科学（1）1-S061-4、2021年3月）

<学会役員就任状況>日本教育工学協会（評議員）／教育とコンピュータ利用研究会（副会長・北海道支部長）

<所属学会・研究会>情報処理学会／日本教育工学会／日本教育工学協会（評議員）／北海道中国哲学会／教育とコンピュータ利用研究会（副会長・北海道支部長）

<講演会・講習会活動>「市民が共に創る地域学校協働活動のあり方」（2021年2月27日、千歳市教育委員会主催令和2年度市民教養セミナー「子どもたちのための、地域と学校の未来ーそれ、地域学校協働活動が実現します！ー」基調講演）

<専門職者・企業・展覧会等への支援>令和2年度地域と学校の連携推進協議会あ寝るパネルディスカッション「各学校や地域が抱える課題解決と今後の取組に向けて」（2020年11月4日、北海道教育委



員会) / 全日本中学高校WebコンテストThinkQuest JAPAN審査員「全日本中学高校WebコンテストThinkQuest JAPAN二次審査員」(2020年12月、特定非営利活動法人学校インターネット教育推進協会)

張 浦華

＜作品発表＞1.銀線上のホリホック(花器・生け花)(単独、2020年7月28日～、オンライン展) / 2.カトラリー置き(10セット)(単独、2020年9月、札幌市立大学公式記念品) / 3.ぐい呑み(10個)(単独、2020年9月、札幌市立大学公式記念品) / 4.朝陽(単独、2021年3月、退職教員贈呈記念品) / 5.賞杯(単独、2021年3月、退職職員贈呈記念品)

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会 / 日本感性工学会 / 北海道陶芸会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞ANBD2020年展について、中国大陸、台湾ANBD協会との連絡調整翻訳などを行った。(ANBD) / 北海道陶芸会のDM担当並びに、窯地図、など関連資料の制作を行った。(北海道陶芸会)

松井 美穂

＜著書＞1.Understanding the Short Fiction of Carson McCullers(共著、2020年4月、Mercer University Press、pp.34-53)

＜学会役員就任状況＞日本アメリカ文学会(北海道支部、代議員)

＜所属学会・研究会＞日本英文学会 / 日本アメリカ文学会 / 日本ウィリアム・フォークナー協会 / Carson McCullers Society / アメリカ学会 / カナダ文学会 / 文学と評論社

丸山 洋平

＜学術論文＞1.札幌市をめぐる人口移動の人口学的分析—間接標準化によるモビリティ変動への着目—(査読付論文)(単著、2020年7月、札幌市立大学研究論文集、第14巻、第1号、pp.23-35) / 2.人口移動が親との同居率の地域差に与える影響(査読付論文)(単著、2021年3月、人口問題研究、第77巻、第1号、pp.21-40)

＜学会発表＞1.地域人口の再生産指標に人口移動の影響を反映させる試み(単独、経済統計学会2020年(第64回)全国大会、Web報告、2020年11月8日) / 2.人口再生産指標に人口移動の影響を反映させる試み(単独、日本人口学会第72回大会、Web報告、2020年11月15日) / 3.孤立的高齢者の分析—住宅所有関係別に見た遠居子と無子の地域差—(単独、2020年度日本人口学会中部地域部会、Web報告、2020年12月5日) / 4.人口移動が親との同居率の地域差に与える影響(単独、日本の家族300年研究会、Web報告、2021年3月23日)

＜学会座長就任状況＞2019年度日本人口学会関西地域部会(2020年8月8日) / 日本人口学会第72回大会(2020年11月15日) / 2020年度日本人口学会関西地域部会(2021年3月14日)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.人口学研究、査読付き論文の査読(1件、日本人口学会) / 2.人口問題研究、査読付き論文の査読(1件、国立社会保障・人口問題研究所) / 3.人文地理、査読付き論文の査読(1件、人文地理学会)

＜学会役員就任状況＞人口学研究会(総務幹事) / 日本人口学会(編集委員)

＜所属学会・研究会＞日本人口学会 / 日本家族社会学会 / 人文地理学会 / 日本地理学会 / 日本都市計画学会 / 経済統計学会 / 北海道社会学会 / 人口学研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞新潟市都市政策部GISセンター研究参与(2020年度、新潟市) / 『少子化対策地域評価ツール』を活用した対応策等に関する調査研究事業への参加(2020年度、内閣府) / 北海道高等学会「高校生対流促進事業」推進協議会への参加(2020年度、北海道教育委員会) / 人口移動調査研究プロジェクト外部委員(2020年度、国立社会保障・人口問題研究所) / 特別区長会調査研究機構研究員『将来人口推計のあり方』、『特別区における小地域人口・世帯分析及び壮年期単身者の現状と課題』(2020年度、特別区長会) / 札幌一極集中に関する記事作成への助言(2020年度、北海道新聞) / 少子化対策モデル事業への助言(2020年度、江別市役所) / コロナ禍の人口移動分析に関する助言(2020年度、北海道庁) / 「令和2年度品目横断的販売促進緊急対策事業のうち地域の創意による販売促進事業」有識者審査委員(2020年度、博報堂テーマビジネスデザイン局) / 職員の自主勉強グループ「『地域包括ケア「見える化」システム』の活用にかかる検討を行うた



めの勉強会」への参加（2020年9月～、北海道庁）／勝山市長選の記事に関する地域人口面からの助言（2020年11月、朝日新聞福井支局）／道内町村の人口減少対策に関する助言（2021年1月、共同通信社）

森 朋子

＜学術論文＞1.国際連合による事業化プロセスから見る丹下健三「ルンビニ開発計画」、1972年マスタープラン大綱完成まで（査読は論文）（共著、2020年10月、都市計画論文集、5513、pp.1304-1309）

＜学会発表＞1.行政区分から見る歴史的集落保全の法的枠組みに関する課題、ネパール・カトマンズ盆地の文化的景観に関する研究 その2（単独、2020年度日本建築学会北海道支部研究報告集、93、pp.233-236、2020年6月）／2.カトマンズ盆地内歴史的集落保全における法的枠組み、2015年ネパール地震後の世界遺産暫定リスト・コカナにおける被災状況調査報告 その13（共同、2020年度日本建築学会大会（関東）、pp.955-956、2020年9月）／3.カトマンズ盆地内歴史的集落における建築条例、2015年ネパール地震後の世界遺産暫定リスト・コカナにおける被災状況調査報告 その14（共同、2020年度日本建築学会大会（関東）、pp.957-958、2020年9月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会計画系論文集、査読付論文の査読（1件、日本建築学会）／2.日本都市計画学会論文集、査読付論文の査読（1件、日本都市計画学会）／3.土木学会論文集F2分冊（地下空間研究）第26回地下空間シンポジウム、査読付論文の査読（1件、土木学会）／4.札幌市立大学研究論文集、論文査読（1件、SCUジャーナル編集ワーキング）

＜学会役員就任状況＞日本都市計画学会北海道支部（幹事、2020年度日本都市計画学会北海道支部研究発表会 実行委員）／日本建築学会北海道支部（都市計画専門委員会 委員、第93回日本建築学会北海道支部研究発表会 実行委員）／日本イコモス国内委員会（第8小委員会 幹事）

＜学術集会運営＞2020年度日本都市計画学会北海道支部研究発表会、2020年11月28日（日本都市計画学会北海道支部）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本都市計画学会／日本イコモス国内委員会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞2020年度支部研究発表会実行委員として発表論文の審査「日本都市計画学会北海道支部2020年度研究発表会」（2020年11月28日、日本都市計画学会北海道支部）／文化的景観WSへの参加（次年度調査研究に向けた提案・ディスカッション参加）「第1回・第2回 文化的景観ワークショップ」（2021年1月19日、2月18日、北海道大学観光学高等研究センター）／「ユネスコ・日本信託基金-世界遺産ルンビニ保存管理強化事業」でのWS開催・事業支援「世界遺産暫定の普遍的価値に関するワークショップ開催・国際科学委員会への出席等」（2021年3月16日～18日、ユネスコ・カトマンズ事務所）

山田 信博

＜学術論文＞1.北海道UR賃貸住宅の団地整備方針に関する研究（査読付論文）（単著、2020年11月、都市学研究57 北海道都市地域学会 研究論文集、pp.15-20）

＜学会発表＞1.拡張型団地コミュニティ形成に向けた実証実験の評価と考察 公的集合住宅団地の集約化手法に関する研究 その6（単独、日本建築学会全国大会学術講演、2020年9月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.都市学研究（2件、北海道都市地域学会）／2.日本建築学会住宅系報告会（1件、日本建築学会）

＜学会役員就任状況＞北海道都市地域学会（理事、論文編集委員）／日本建築学会北海道支部（常議員）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本居住福祉学会／北海道都市地域学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞店舗ディスプレイの作品審査「元気ショップいこーるディスプレイ提案コンペ」（2020年8月17日、元気ショップいこーる、札幌市手をつなぐ育成会）／ホール活用提案の作品審査「札幌エレクトロニクスセンターホール提案コンペ」（2020年12月2日、札幌エレクトロニクスセンター、札幌市）／真駒内のまちづくりに関する事例を札幌市、UR都市再生機構と協議している（真駒内まちづくり協議会）



横溝 賢

＜学術論文＞1.住民共創による下北ジオパークPRバスのラッピングデザイン（共著、2020年刊行予定、日本デザイン学会 デザイン学研究 作品論文 25号掲載予定）

＜学会発表＞1.林業女子、絵本をつくる！活動の振り返り（共同、日本デザイン学会第67回春季研究発表大会pp20-21、2020年6月）／2.他人以上共同体未満の状態をかたちづくるデザイン活動の考察（共同、日本デザイン学会第67回春季研究発表大会pp20-21、2020年6月）／3.語らう道具のデザインー他人以上共同体未満の関係を形づくるデザインアプローチ（共同、第4回共創学会年次大会予稿集、2020年12月）／4.生活の想像を生む活動のデザイン-回想鳥瞰図法を用いた二人称的デザインアプローチ（共同、第4回共創学会年次大会予稿集、2020年12月）

＜学会座長就任状況＞第67回日本デザイン学会春季研究発表大会（2020年6月26日～28日、日本デザイン学会（座長就任予定であったが感染症拡大防止のため中止））／情報デザイン研究部会企画 オルタナティブデザイン（2020年9月19日、日本デザイン学会 情報デザイン研究部会）／第11回日本デザイン学会第1支部大会「むだのデザイン」（2020年10月4日、日本デザイン学会 第1支部会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本デザイン学会 作品論文（3件、日本デザイン学会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（日本デザイン学会理事会、理事）／日本デザイン学会（日本デザイン学会 第1支部会、第1支部会 支部長）／日本デザイン学会（日本デザイン学会 情報デザイン研究部会、主査）

＜学術集会運営＞情報デザイン研究部会企画 オルタナティブデザイン（日本デザイン学会情報デザイン研究部会）／第11回日本デザイン学会第1支部大会「むだのデザイン」（日本デザイン学会 第1支部会）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本工学教育協会／共創学会

＜講演会・講習会活動＞日本デザイン学会情報デザイン研究部会 小部会「もちよ～る01」（2020年6月、情報デザイン研究部会）／日本デザイン学会情報デザイン研究部会企画 オルタナティブデザイン：オーガナイズドセッション（2020年9月、情報デザイン研究部会）／日本デザイン学会情報デザイン研究部会 小部会「もちよ～る02」（2020年11月、情報デザイン研究部会）／日本デザイン学会情報デザイン研究部会研究会社会人情報デザイナー交流会（2021年1月、情報デザイン研究部会）／社会実践型ラボラジオ（2021年3月、科研・社会実践型ラボラトリー）／INS-SDGs研究会 in 花巻、地域におけるSDGsについて（2021年3月、INS-SDGs研究会）／第11回共創学研究会 共創ワークショップ（2021年3月、共創学会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞日本デザイン学会 情報デザイン研究部会主査として部会の運営に携わる（2020年度1年間、情報デザイン研究部会）／日本デザイン学会第1支部会の支部長として同支部会の運営に携わる（2020年度1年間、JSSD第1支部会）／日本デザイン学会理事として同学会の運営に携わる（2020年度1年間、日本デザイン学会）／NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会の理事として同団体の運営に携わる（2020年度1年間、NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会）／岩手大学が運営する産官学民連携プラットフォーム岩手ネットワークシステムの研究部会、INS SDGs研究会の運営に会著として携わる。（2020年度1年間、INS SDGs研究会）／情報デザイン部会・小部会「もちよ～る01」実施「Info-D小部会「もちよ～る01」」（2020年6月26日、情報デザイン研究部会）／昆布加工業者向け昆布デザインリサーチの実施「KONBOOKデザインリサーチ」（2020年8月～2021年3月、NPO法人さっされん）／2020年度作品集論文 投稿2作品の査読実施「2020年度デザイン学研究 作品集 26号（2020）」（2020年9月～2021年1月、日本デザイン学会）／情報デザイン部会企画研究発表会オルタナティブデザインを9月19日に企画運営実施「オルタナティブデザイン～実践者たちのデザインの知のはたらき～」（2020年9月19日、情報デザイン研究部会）／2020年度日本デザイン学会秋季企画大会と合わせて開催された第一支部大会の企画運営に携わる「日本デザイン学会第11回第1支部大会「むだのデザイン」」（2020年10月4日、JSSD第1支部会）／情報デザイン部会・小部会「もちよ～る02」実施「Info-D小部会「もちよ～る02」」（2020年11月20日、情報デザイン研究部会）／情報デザイン部会研究会・社会人情報デザイナー交流会「製品やサービス開発現場に起きる新たなデザイン：異なる専門領域との応答」（2021年1月23日、情報デザイン研究部会）／科研基盤研究C デザイン実践研究方法の研修会「ラボラジオ」「ラボラジオ 社会実践のそもそもの記録」（2021年3月5日、社会実践型ラボラトリー）／就労支援施設事業者向け・商品開発ワークショップの実施「商品開発ワークショップ」（2021年3月15日、NPO法人さっされん）／第11回共創学研究会「共創のまちを共創す



る」(2021年3月27日、共創学会)

石田 勝也

＜所属学会・研究会＞環境芸術学会／情報処理学会／芸術科学会

＜講演会・講習会活動＞スノーシューとGPSロガーで描くモエレの雪上絵(2021年1月9日、SIAFラボ)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞アイヌ語普及のための語学講座動画の制作指針検討「アイヌ語動画講座企画編集委員会」(2020年度、公益財団法人アイヌ民族文化財団)／番組審議委員会(2020年度、FM北海道)

大島 卓

＜学術論文＞1.北海道七重官園における明治初期農畜産業施設の土地利用の特徴(単著、2020年7月、『札幌市立大学研究論文集』、札幌市立大学、第14巻、第1号、pp.13-22)／2.札幌市駒岡小学校屋上緑化施設の施工時植栽種および植物出現種の実態調査(単著、2021年2月、日本造園学会誌『ランドスケープ研究 増刊 技術報告集11 2021』、pp.104-107)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本造園学会誌『ランドスケープ研究』Vol.84 No.5(2021年発行)(1件、公益社団法人日本造園学会)

＜学術集会運営＞日本造園学会北海道支部大会(公益社団法人日本造園学会北海道支部)

＜所属学会・研究会＞公益社団法人日本造園学会／一般社団法人日本建築学会

＜講演会・講習会活動＞筑波大学特別講義「環境デザイン放浪記」(2020年8月6日、筑波大学大学院人間総合科学研究科)

大淵 一博

＜学会発表＞1.特別養護老人ホーム入居者の誤嚥性肺炎と口腔の状態・機能における前向き調査(共同、日本老年看護学会第25回学術集会(誌上開催)、2020年6月)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.SCUジャーナル(1件)

＜学会役員就任状況＞日本感性工学会北海道支部(幹事(庶務・会計担当))

＜学術集会運営＞感性フォーラム2021(日本感性工学会北海道支部)

＜所属学会・研究会＞電子情報通信学会／日本感性工学会／日本医療情報学会

＜講演会・講習会活動＞札幌モーニングロータリークラブ 第1480回例会「札幌サンタファンの活動について」(2020年12月、札幌モーニングロータリークラブ)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞パッケージデザイン制作協力(2020年7月～12月、社会福祉法人白老宏友会 多機能型事業所ポプリ)／札幌市長グリーンディングカード デザイン審査会(2020年10月5日、札幌市国際部)／システム開発協力(通年、札幌の美しい景観を考える会)／ソフトウェア利用に関する個別指導等・Webサイトデザイン制作協力(随時、札幌イメージコーディネイト研究会)／イベント企画・運営・デザイン制作協力(通年、北海道グレートサンタラン実行委員会)

片山 めぐみ

＜著書＞1.地域創生デザイン論、「まち育て」に大学力をどう活かすか(共著、2020年8月、文眞堂)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.デザイン学研究(2件、日本デザイン学会)

＜学会役員就任状況＞日本建築学会北海道支部(都市計画委員会委員)／日本建築学会北海道支部(日本建築学会北海道支部研究発表会実行委員会)／人工知能学会(「仕掛学」オーガナイズドセッション組織委員)

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本デザイン学会／日本社会福祉学会

＜講演会・講習会活動＞「地域ささえあいサミット2020」でのYouTubeオンライン講演(<https://www.youtube.com/watch?v=FTC5qcQjaE8>) (オンライン、一般財団法人北海道住宅管理公社)

金 秀敬

＜著書＞1.論地域創生デザイン論:「まち育て」に大学力をどう活かすか(共著、2020年8月、札幌市立大学地域創生デザイン研究チーム(編集))



＜学会発表＞1.地域ならではの色の探し方の提案～風景に着目した魅力の可視化～（共同、日本感性工学会北海支部、2020年2月）／2.美術作品の理解を深めるアートカードの遊び方（共同、日本感性工学会北海支部、2020年2月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.International Journal of Economic Policy in Emerging Economies（1件、Economic Policy in Emerging Economies）／2.The REDO biannual Cumulus Conference Proceedings（4件、Cumulus Association）／3.日本感性工学会論文集（1件、日本感性工学会）／4.International Journal of Affective Engineering（5件、日本感性工学会）／5.International Conference on Tangible, Embedded and Embodied Interactions Proceedings（1件、Association for Computing Machinery）／6.International Conference on Engineering and Product Design Education（4件、International Design Society）／7.SCU Journal of Design & Nursing（1件、札幌市立大学）

＜学術集会運営＞感性フォーラム札幌2020（感性工学会北海道支部）／学生会 第8回研究発表会（感性工学会北海道支部）／感性フォーラム札幌2019（感性工学会北海道支部）／学生会 第7回研究発表会（感性工学会北海道支部）／感性フォーラム札幌2018（感性工学会北海道支部）／学生会 第6回研究発表会（感性工学会北海道支部）

＜所属学会・研究会＞日本感性工学会／日本デザイン学会／The Design Society／The Design Principles & Practices Research Network

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞査読（2020年5月より、日本感性工学会）

小宮 加容子

＜学術論文＞1.アタマ・ココロ・カラダをつなぐ遊びのデザイン（共著、2020年5月、デザイン学研究特集号Vol.28-1、pp.24-29）

＜学術集会運営＞第67回日本デザイン学会春季研究発表大会（概要編集委員）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞介護ロボットのニーズ・シーズ連携協議会北海道協議会委員（介護ロボット協議会）／理事（北のユニバーサルデザイン協議会）

須之内 元洋

＜学術論文＞1.Proposal of the Aesthetic Experience-Oriented Evaluation Framework for Field-recording Sound Retrieval System（共著、2021年3月、Proceedings of the 2021 3rd International Conference on Image, Video and Signal Processing (ISBN 978-1450388917 ACM Digital Library)）

＜作品発表＞1.柳宗理 デジタルアーカイブ（大規模開発・運用）（単独、2020年8月、一般財団法人柳工業デザイン研究会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.ACH2021 国際会議 抄録査読（5件、ACH2021 (The Association for Computers and the Humanities 2021)）

＜所属学会・研究会＞Association for Computing Machinery／デジタルアーカイブ学会／芸術科学会／情報処理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞福祉支援施設入居者の表現に関するデジタルアーカイブ企画・構築支援（みずのき美術館）／福祉支援施設入居者の表現に関するデジタルアーカイブ企画・構築支援（軀の津ミュージアム）／福祉支援施設入居者の表現に関するデジタルアーカイブ企画・構築支援（はじまりの美術館）／陶磁器デザイナー森正洋氏のデジタルアーカイブ構築アドバイス・支援（合同会社森正洋デザイン研究所）／デジタルアーカイブの運用・構築及びギャラリー広報の支援（京都府）／「アートトリサーチ」データベースの運用支援（"さっぽろ天神山アートスタジオ"）／企画展「国立工芸館 石川移転開館記念展Ⅱ うちにこんなあったら展 気になるデザイン×工芸コレクション」資料探索・提供支援（東京国立近代美術館工芸館）／東京都小金井市立前原小学校での教育プログラム前年実施後の記録・考察執筆等（NPOアートフル・アクション）／インダストリアルデザイナー 柳宗理氏のデジタルアーカイブ構築アドバイス・支援（一般財団法人 柳工業デザイン研究会）／南区U-40アートフェスティバル2020 映像コンペティション（札幌市南区）／都市と建築の論考雑誌アーカイブ「10+1 DATABASE」の永続化支援・サーバー移設等（株式会社LIXIL）



福田 大年

- <学術論文>1.協創スケッチ法による協働的な創造活動生成過程の解明（原著論文）（共著、2020年8月（論文受領日：2020年1月6日）、「デザイン学研究」、第67巻、第1号、pp.11-18）
- <学会発表>1.オンラインの協創で生成される学び場（単独、共創学会第4回年次大会、2020年12月）
- <学会座長就任状況>日本デザイン学会情報デザイン研究部会（info-D）研究会（2020年9月、日本デザイン学会情報デザイン研究部会（info-D））／日本デザイン学会第一支部大会（2020年10月、日本デザイン学会第一支部会）
- <学会役員就任状況>日本デザイン学会（情報デザイン部会、幹事（2020年4月～現在に至る））
- <学術集会運営>日本デザイン学会情報デザイン研究部会（info-D）研究会「オルタナティブデザイン」（日本デザイン学会情報デザイン研究部会（info-D：2020年9月））／日本デザイン学会第一支部大会「むだのデザイン」（日本デザイン学会第一支部会（2020年10月））／第11回共創学研究会「共創のまちを共創する」（共創学会（2021年3月））
- <所属学会・研究会>日本デザイン学会／ヒューマンインタフェース学会／共創学会
- <講演会・講習会活動>オンラインイベント「ビジュアル思考大全出版記念トークイベント：創造性とビジュアル思考」講師（2021年3月5日、株式会社グラグリッド）
- <専門職者・企業・展覧会等への支援>「札幌日信電子株式会社 創立50周年記念企業イメージ」制作・作品審査の支援（2020年7月20日～10月19日、札幌日信電子株式会社、札幌市立大学）／「さっぽろ受動喫煙防止宣言ロゴマーク」制作・作品審査の支援（2020年8月17日～10月30日、札幌市保健福祉局、札幌市立大学）／「厚真町 観光ルート創出事業」企画運営の支援（2020年11月20日～2021年12月31日、厚真町、JAF札幌支部、札幌市立大学）／「厚真町 復興PR事業」企画運営の支援（2020年12月2日～2021年3月31日、厚真町、札幌市立大学）

松永 康佑

- <意匠出願>パズル遊戯具（創作者、2021-6765、2021年3月）
- <報告書>モーションキャプチャおよびCG技術による樺太アイヌ古式舞踊の再現（pp.13-23、2020年3月）
- <学会発表>1.数式に基づく曲線の深度情報による可視化表現（単独、2020年11月）／2.2つの異なる立体表現手法を混ぜたキャラクターアニメーション（中原ひかり、松永康佑、EC.2020、2020年8月30日）
- <学会役員就任状況>ADADA JAPAN（論文編集副委員長）
- <所属学会・研究会>日本デザイン学会／ADADA学会／ACM SIGGRAPH／日本図学会／日本看護科学学会

金子 晋也

- <学術論文>1.函館市青柳町・宝来町における 一棟二戸の形態的特徴（単著、2021年3月、芸術工学会誌、第82号、2021、pp.78-85）
- <学会発表>1.札幌市東区元村街道における玉ねぎ倉庫の活用実態（発表連名者、日本建築学会北海道支部研究報告集、NO.93、pp.341-344、2020年6月）
- <学会役員就任状況>日本建築学会（設計計画・構法計画運営委員会 委員）／日本建築学会（建築歴史・意匠委員会近代建築史小委員会 委員）／日本建築学会（木造構法小委員会 委員・幹事）／日本建築学会（北海道支部 建築歴史・意匠委員会 委員）
- <学術集会運営>2020年6月（日本建築学会 北海道支部研究発表会 実行委員）
- <所属学会・研究会>日本建築学会／芸術工学会／生活学会／日本在宅ケア学会
- <講演会・講習会活動>2020年度 北海道ヘリテージマネジメント専門職（第6期）育成講座「登録文化財所見演習」（2020年11月1日、北海道文化遺産活用活性化実行委員会）／ヘリテージマネジメント専門職育成講座の最終講義「私が見つけた文化財（最終発表）」（2020年12月12日、北海道文化遺産活用活性化実行委員会）
- <専門職者・企業・展覧会等への支援>建築設計事務所に対する札幌の建設業に関する知見の提供（2020年7月）／厚真町震災関係メモリアル計画に対する知見の提供（2020年11月、株式会社 地域計画連合 北海道事務所）／北海道ヘリテージマネジメント専門職（第6期）育成講座「登録文化財所見



演習」(2020年11月1日) / 「空き家対策」に関する特集記事の取材(2021年3月、公益財団法人北海道市町村振興協会(2021年5月発行))

矢久保 空遥

<著書>1.地域創生デザイン論: “まち育て” に大学力をどう活かすか(共著、2020年8月、文眞堂)

<学術集会運営>感性フォーラム札幌2020(日本感性工学会)

<所属学会・研究会>日本デザイン学会 / 日本音響工学会 / 日本感性工学会 / 芸術工学会 / 日本サウンドスケープ協会

<専門職者・企業・展覧会等への支援>観光商材開発支援事業における専門家個別相談会でのデザインに関する支援「観光商材開発支援事業 専門家個別相談会」(2020年11月20日、(株)小六・(株)北海道エゾ鹿ファクトリー、札幌市) / オンライン授業に関するFD「限られた環境でオンライン授業をより豊かにする工夫」(札幌市立大学デザイン学部、札幌市立大学)



看護学部

松浦 和代

＜学術論文＞1.NICUにおける子ども虐待予防に向けた新生児集中ケア認定看護師の臨床判断（共著、2020年5月、日本新生児看護学会、26巻、pp.32-40）／2.児童養護施設における感染症と感染症対策に関する実態調査（共著、2020年5月、日本小児保健研究、79巻、3号、pp.242-249）／3.在宅呼吸ケアの実際（共著、2020年11月、小児科、61巻、12号、pp.1619-1627）

＜学会発表＞1.幼児後期の子どもが予防接種を受ける直前に示す同意のサインと看護（共同、2020年10月、日本小児看護学会第30回学術集会）

＜学会招聘講演＞1.モンゴル国における小児看護支援（単独、2020年12月、モンゴル小児がん学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本小児看護学会第30回学術集会講演集（5件、日本小児看護学会）／2.日本看護学教育学会第30回学術集会講演集（4件、日本看護学教育学会）／3.第40回日本看護科学学会学術集会（4件、日本看護科学学会）

＜学会役員就任状況＞日本小児看護学会（評議員）／日本看護学教育学会（評議員）／日本看護科学学会（社員（代議員））／全国病弱教育研究会（北海道・東北ブロック世話人）／北海道成育看護研究会（理事長）／北海道学校保健学会（理事）／北海道臨床工学技士会（理事）／北海道小児保健研究会（幹事）

＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会／日本学校保健学会／日本小児保健研究／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本新生児看護学会／日本口腔衛生学会／北海道成育看護研究会／北海道学校保健学会／北海道臨床工学技士会／北海道小児保健研究会／全国病弱教育研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞ノーステック財団「医療機関ニーズ対応型開発補助事業」審査委員（2020年6月～2021年3月）／特定非営利活動法人ファミリーハウス アドバイザー（2021年1月～3月）

菊地 ひろみ

＜学術論文＞1.新卒訪問看護師育成プログラムの分析（共著、2021年3月、北海道公衆衛生学雑誌、34巻、2号、pp.139-147）

＜学会発表＞1.訪問看護ステーション管理者が認識する新卒看護師のコンピテンシー（共同、2020年6月、第25回日本在宅ケア学会学術集会）／2.北海道都道府県型保健所管内の新人訪問ナースの雇用・育成の現状と課題（共同、2020年6月、第25回日本在宅ケア学会学術集会）／3.認知症対応型共同生活介護における介護職の看取りに関する文献検討（共同、2020年6月、第25回日本在宅ケア学会学術集会）／4.訪問看護ステーションにおける新卒看護師採用意向と体制との関（共同、2020年11月、第10回日本在宅看護学会学術集会）／5.医療依存度の高い在宅難病療養者のレジリエンスの様相（共同、2020年12月、第25回日本難病看護学会学術集会）／6.倫理的感受性の高い看護師を育成するための看護管理者の組織的取り組み（共同、2020年12月、第40回日本看護科学学会学術集会）

＜研究会発表等＞1.食の地産地消を通して地域高齢者の健康支援を行うための基礎調査（共同、産学官金研究交流会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.第25回日本難病看護学会学術集会（6件、難病看護学会）

＜学会役員就任状況＞日本看護科学学会（代議員）／日本難病看護学会（代議員）／北海道公衆衛生学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本難病看護学会／日本難病医療ネットワーク学会／日本在宅ケア学会／日本在宅看護学会／日本がん看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞新卒ナースを訪問看護で育成する取り組みについて研修した「新人訪問ナース応援フォーラム」（2021年2月27日、新人訪問ナースを応援する会）／新卒訪問看護師の採用育成に関する意見交換会において講師を担当した「新卒訪問看護師の採用育成に関する意見交換会」（2021年3月27日、北海道看護協会）

川村 三希子

＜学術論文＞1.倫理的感受性のアセスメントの視点と倫理的感受性を育むアプローチがん看護専門看護師の倫理調整場面から（共著、2020年9月、SCU journal of Design & Nursing.、14巻、1号、



pp.3-12) / 2.在宅療養中の高齢がん患者のがん疼痛の体験と方略 (共著、日本がん看護学会誌、35巻、pp.20-28) / 3.これだけは知っておきたい! オピオイド! ヒドロモルフィン. 26 (1), 22-25 (共著、がん看護、26巻、1号、pp.22-25)

〈著書〉1.エンパワメントケアを可視化 中範囲理論・看護モデル 事例を読み解く型紙. (共著、2021年3月、南江堂)

〈学会発表〉1.倫理的感受性のアセスメントの視点と倫理的感受性を育むアプローチ—老人看護専門看護師の倫理調整場面から— (共同、2020年6月、日本CNS看護学会) / 2.倫理的感受性の高い看護師を育成するための看護管理者の組織的取り組み. (共同、2020年12月、第40回日本看護科学学会.) / 3.わが国の専門的緩和ケアに従事する看護師のクリニカルラダーの開発. (共同、2021年2月、第35回日本がん看護学会学術集会) / 4.専門的緩和ケアを担う看護師に求められるコアコンピテンシー尺度の開発—信頼性・妥当性の検証— (共同、2021年2月、第35回日本がん看護学会学術集会)

〈論文査読・学会抄録査読〉1.日本がん看護学会誌 (3件、日本がん看護学会) / 2.日本緩和医療学会誌 (6件、日本緩和医療学会) / 3.日本死の臨床研究会会誌 (1件)

〈学会役員就任状況〉日本ホスピス緩和ケア協会 (理事・看護師教育支援委員) / 日本緩和医療学会 (代議員・渉外委員) / 日本死の臨床研究会 (編集委員) / 日本緩和医療学会 北海道支部 (運営委員) / 日本看護科学学会 (評議員) / 北海道がん心療心身ネットワーク研究会 (世話人) / 日本がん看護学会 (査読委員・代議員・倫理委員)

〈所属学会・研究会〉日本緩和医療学会 / 日本がん看護学会 / 日本死の臨床研究会 / 日本看護科学学会 / European Association for Palliative Care / 日本老年看護学会 / 日本ホスピス緩和ケア協会

〈専門職者・企業・展覧会等への支援〉医療事故調査・支援センター 個別調査部会 部会員 (一般社団法人 日本医療安全調査機構) / 専門的緩和ケアを担う看護師のコンピテンシーを高めるための取り組み (2020年7月9日、日本ホスピス緩和ケア協会 分科会)

荒木 奈緒

〈論文査読・学会抄録査読〉1.第30回日本新生児看護学会学術集会 (4件、日本新生児看護学会)

〈学会役員就任状況〉日本遺伝看護学会 (学会誌編集委員) / 日本助産学会 (代議員) / 日本看護学会 (日本看護学会学術集会抄録選考委員) / 北海道母性衛生学会 (理事)

〈所属学会・研究会〉日本助産学会 / 日本看護科学学会 / 日本遺伝看護学会 / 日本看護技術学会 / 日本母性衛生学会 / 日本遺伝カウンセリング学会 / 日本小児看護学会 / 日本小児保健協会 / 日本生命倫理学会 / 北海道母性衛生学会

〈専門職者・企業・展覧会等への支援〉臨床看護研究指導 講師「看護研究オンライン研修会 (Webex)」 (2020年7月29日、NTT東日本札幌病院) / 教育委員会企画セミナー ファシリテーター「遺伝看護教育を始めよう (Zoom)」 (2021年2月11日、日本遺伝看護学会)

卯野木 健

〈学術論文〉1.Effects of social support on mental health for critical care nurses during the coronavirus disease 2019 (COVID-19) pandemic in Japan: A web-based cross-sectional study. (共著、2020年4月、Acute Med Surg、8巻、1号、pp.e645) / 2.Survey on the actual number of nurses required for critical patients with COVID-19 in Japanese intensive care unit (共著、2020年6月、Jpn J Nurs Sci、pp.e12424) / 3.Translation, reliability and validity of Japanese version the TeamSTEPS® teamwork perceptions questionnaire. (共著、2020年8月、Nurs Open、8巻、1号、pp.114-122) / 4.Effects of Manual Rib Cage Compressions on Mucus Clearance in Mechanically Ventilated Pigs (共著、2020年8月、Respir Care、65巻、8号、pp.1135-1140) / 5.鎮静・鎮痛・せん妄・睡眠管理、ICU diaryに関する実態 Webアンケート調査の結果から (共著、2020年9月、日本集中治療医学会雑誌、27巻、5号、pp.429-432) / 6. Personal Protective Equipment Use by Healthcare Workers in Intensive Care Unit During the COVID-19 Pandemic in Japan: Comparative Analysis With the PPE-SAFE Survey. (共著、2020年10月、Acute Med Surg、7巻、1号、pp.e584) / 7.Association between intensive care unit delirium and delusional memory after critical care in mechanically ventilated patients. (共著、2021年1月、Nurs Open、8巻、3号、pp.1436-43) / 8.日本版敗血症診療ガイドライン2020 (共著、2021年3月、日本集中治療医学会雑誌、28巻、Suppl号、



pp.S1-S411)

＜資料＞1.COVID-19 重症患者看護実践ガイド（共著、2020年4月、日本クリティカルケア看護学会/日本集中治療医学会）／2.ICUにおけるCOVID-19患者に対する看護Q&A（共著、2020年5月、日本クリティカルケア看護学会/日本集中治療医学会）／3.ICU/HCU における COVID-19 患者受け入れ体制準備チェックリスト：看護師版（共著、2020年5月、日本集中治療医学会）

＜学会発表＞1.クリティカルケア領域の看護師が知っておきたい最新知見（単独、2020年7月、第16回日本クリティカルケア看護学会学術集会）／2.超急性期医療における身体拘束。-なぜ身体拘束をやめられないのか？（単独、2020年8月、日本看護管理学会）／3.健康的な職場環境が看護のパフォーマンスを変える-AACN Healthy Work Environment（単独、2021年2月、第48回日本集中治療医学会学術集会）／4.ICU退室後から1年後におけるPICSの実態とリスク因子に関する多施設共同研究: SMAP-HoPe study（共同、2021年2月、第48回日本集中治療医学会学術集会）

＜学会シンポジウム＞1.集中治療看護と研究（単独、2021年2月、第48回日本集中治療医学会学術集会）／2.看護薬理学と看護実践（単独、2021年3月、第94回日本薬理学会年会）

＜学会座長就任状況＞集中治療領域での早期離床における背面開放座位の導入と効果（単独、2021年2月、日本ニューロサイエンス看護学会第8回学術集会）／集中治療で働く看護師のキャリア形成-自分らしいキャリアビジョンを描こう（単独、2021年2月、第48回日本集中治療医学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本臨床看護マネジメント学会雑誌（2件、日本看護理工学会）／2.日本クリティカルケア看護学会誌（2件、日本クリティカルケア看護学会）／3.日本看護理工学会誌（1件、日本看護理工学会）／4.日本集中治療医学会学術集会（3件、日本集中治療医学会）／5.Irish Journal of Medical Science（1件、Royal Academy of Medicine in Ireland）／6.第17回日本クリティカルケア看護学会学術集会（5件、日本クリティカルケア看護学会）／7.日本クリティカルケア看護学会誌（1件、日本クリティカルケア看護学会）

＜学会役員就任状況＞日本集中治療医学会（理事）／日本クリティカルケア看護学会（理事）／日本集中治療医学会（集中治療早期リハビリテーション委員会委員長）／看護理工学会（評議員）／日本呼吸療法医学会（評議員）

＜学術集会運営＞看護理工学会

＜所属学会・研究会＞American Association for Critical Care Nurses/Society of Critical Care Medicine/日本集中治療医学会/日本クリティカルケア看護学会/看護理工学会/日本呼吸療法医学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞臨床指導者新人研修「臨床指導者研修Ⅰ」（2020年8月3日、市立札幌病院）／超急性期医療における身体拘束。-なぜ身体拘束をやめられないのか？（2020年10月1日、手稲溪仁会病院）／医療事故調査「個別調査部会部会員」（2020年11月1日、日本医療安全機構）／超急性期医療における身体拘束。-なぜ身体拘束をやめられないのか？（2021年1月12日、石巻赤十字病院）／超急性期医療における身体拘束。-なぜ身体拘束をやめられないのか？（2021年1月27日、聖路加国際病院）／J Clin MedのTopic Editor「https://www.mdpi.com/journal/jcm/topic_editors/Intensive_Care」（MDPI）

小田 和美

＜資料＞1.サービソロジー オンラインコラム「VDT症候群」（共著、2020年6月、サービス学会）

＜学会発表＞1.「治療の看護仕立て」でスタンダードな療養法をアレンジする！-看護の教育的関わりモデル-（共同、2020年9月、第25回日本糖尿病教育・看護学会学術集会）

＜学会役員就任状況＞日本保健医療行動科学会（日本保健医療行動科学会評議員）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会/日本糖尿病教育・看護学会/日本保健医療行動科学会/日本糖尿病学会/日本糖尿病妊娠学会/日本看護研究学会/日本看護管理学会/日本慢性看護学会/日本看護学教育学会/日本循環器看護学会/日本がん看護学会/千葉看護学会/日本老年行動科学会/日本心身医学会

貝谷 敏子

＜学術論文＞1.糖尿病足潰瘍治癒過程モニタリングスケール（DMIST）の適用（共著、2020年12月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌、24巻、4号、pp.401-410）



<資料>1.COVID-19が看護研究にもたらす影響と対応（単著、2020年8月、看護研究、53巻、5号、pp.352-356）
 <学会発表>1.介護老人福祉施設における褥瘡管理の実態（共同、2020年7月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）
 <学会座長就任状況>日常にある専門職倫理 立ち止まり、選択に向き合い、物語を共に紡ぐ（2020年7月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）
 <論文査読・学会抄録査読>1.日本褥瘡学会誌（1件、日本褥瘡学会）／2.日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌（1件、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）／3.日本看護科学学会誌（1件、日本看護科学学会）／4.SCUジャーナル（1件、札幌市立大学）／5.Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association（10件、9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association）
 <学会役員就任状況>日本創傷・オストミー・失禁管理学会（監事）／日本褥瘡学会（評議員）／日本看護科学学会（編集査読委員）
 <学術集会運営>9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association／第23回日本褥瘡学会
 <所属学会・研究会>日本褥瘡学会／日本看護科学学会／日本創傷オストミー失禁管理学会／日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会／日本創傷治療学会／看護理工学学会／日本褥瘡学会北海道地方会／医療経済学会
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>札幌市立大学公開講座 ELNEC-J高齢者プログラム2020「札幌市立大学公開講座「ELNEC-J高齢者プログラム2020-in 北海道」」（2020年10月24日、25日、札幌市立大学）

喜多 歳子

<学術論文>1.A strategy to rescue mothers from isolated parenting: Development of the "social connectivity of mother with people in the community scale"（共著、2020年11月、Children and Youth Services Review、118巻）
 <実践報告等>1.新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大に伴い実施された保健師基礎教育における代替的実習の実践報告（共著、2021年3月、保健師教育、5巻、1号、pp.75-85）
 <学会発表>1.子どもの貧困対策における自治体保健師の支援の特徴（共同、2020年11月、北海道公衆衛生学会）／2.子どものいる貧困世帯に対する支援チームにおける保健師の役割（共同、2021年1月、日本公衆衛生看護学会学術集会）／3.新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施された代替としての学内実習第1報（共同、2021年1月、日本公衆衛生看護学会学術集会）／4.新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施された代替としての学内実習第2報（共同、2021年1月、日本公衆衛生看護学会学術集会）
 <研究会発表等>1.子どもの貧困から考える健康と地域の力（単独、2021年1月、SCU産学官金研究交流会）
 <論文査読・学会抄録査読>1.日本公衆衛生看護学会（5件、第9回日本公衆衛生看護学会）／2.保健師教育（1件、全国保健師教育協議会）／3.北海道公衆衛生学会誌（1件、北海道公衆衛生学会）
 <学会役員就任状況>北海道公衆衛生学会（理事）
 <学術集会運営>第93回日本産業衛生学会
 <所属学会・研究会>日本公衆衛生看護学会／北海道公衆衛生学会／日本産業衛生学会／日本看護科学学会／看護総合科学学会／日本看護教育学会／日本地域看護学会／日本疫学会
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>公開講座：保健師のためのWeb講座2021「こころ動かすデータの見せ方」（2021年2月27日、北海道内の保健師）

定廣 和香子

<学会発表>1.Development of Delivery System for Art in Hospital through Spatial Installation Art, "Breathing House" in Japan（共同、2020年6月、STTI European Conference）／2.COVID-19後の看護学実習をデザインする-フィールドハイブリッド型遠隔実習の提案（共同、2020年12月、日本看護科学学会）
 <学会シンポジウム>1.理事会企画：新時代の看護学教育制度についてはなそう！-諸外国の看護教育制度の調査報告（共同、2020年9月、日本看護学教育学会第30回学術集会）



＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護学教育学会誌（2件、日本看護学教育学会）／2.SCUジャーナル（1件、SCUジャーナル）

＜学会役員就任状況＞日本看護学教育学会（理事）／日本看護技術学会（評議員）

＜学術集会運営＞日本看護教育学会第30回記念大会（2021年度に開催延期;継続担当）

＜所属学会・研究会＞日本看護教育学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／医療の質・安全学会／Tigma Theta Tau International

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞専任教員養成講習会講師「2020年度北海道専任教員養成講習会」（2020年4月～11月、北海道、北海道・北海道看護協会企画）／学会代表委員（診療報酬のあり方検討会）として要望提出書について審議「診療報酬のあり方検討会」（2021年3月5日、看護社会保険連合）

佐藤 ひとみ

＜所属学会・研究会＞日本医療情報学会／日本看護管理学会／日本看護科学学会／北海道医学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞一般理事「常務理事会、理事会、総会の参加」（年間通じて、北海道看護協会）／病院機能評価サーベイヤー「病院機能評価実施」（2021年3月4日・5日、日本医療機能評価機構）

樋之津 淳子

＜学会発表＞1.睡眠に対するラベンダーオイルに関する文献レビュー（共同、2020年12月、第40回日本看護科学学会学術集会）

＜学会座長就任状況＞教育講演2「思い出を未来へと紡ぐ博物館」（2020年8月、日本看護研究学会第46回学術集会）／薬理学と看護学の新たな融合を目指して：実践的薬物治療研究の展開（2021年3月、第94回日本薬理学会年会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.看護技術学会誌（1件、看護技術学会）／2.看護人間工学会誌（1件、看護人間工学会）／3.看護理工学会誌（1件、看護理工学会）／4.札幌市立大学研究論文集（1件、札幌市立大学）

＜学会役員就任状況＞看護理工学会（評議員・監事）／日本看護技術学会（評議員）／日本看護研究学会北海道地方会（北海道地方会会長）／看護人間工学会（理事）／日本看護科学学会（理事）／日本看護学教育学会（評議員）

＜学術集会運営＞第9回看護理工学会学術集会／日本看護研究学会第46回学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／看護人間工学会／看護理工学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本看護技術学会／日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研究会の運営委員、意見交換（2021年2月、北のケア環境研究会）

神島 滋子

＜学術論文＞1.積極的介入がカギになる!病棟看護師が担うリハビリテーション栄養（最終回） 連載を振り返って（単著、2020年12月、看護技術、66巻、14号、pp.1532-1536）

＜著書＞1.私の夫は高次脳機能障害です（共著、2020年9月、医歯薬出版株式会社、9.78426E+12、pp.81,95,110-84,96,111）

＜学会発表＞1.高齢者施設・地域在住の女性高齢者におけるサルコペニアの実態（共同、2020年11月、第4回日本リハビリテーション栄養学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本脳神経看護研究学会誌（3件、日本脳神経看護研究学会）／2.日本脳神経看護研究学会誌（4件、日本脳神経看護研究学会）

＜学会役員就任状況＞日本脳神経看護研究学会（理事）／日本慢性看護学会（評議員）

＜学術集会運営＞日本脳神経看護研究学会北海道地方部会総会・研究発表会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本脳神経看護研究学会／日本高次脳機能障害学会／日本リハビリテーション看護学会／日本リハビリテーション栄養学会／日本慢性看護学会／日本看護学教育学会／日本看護研究学会／日本ニューロサイエンス看護学会／日本医療情報学会／日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞新人研修会 講師「新人看護師のための看護に生かす基礎知



識」(2020年8月1日、日本脳神経看護研究会北海道地方部会) / 看護研究発表会座長および講評
(2021年2月20日、社団法人北海道看護協会小樽支部)

菅原 美樹

＜学術論文＞1.クリティカルケア看護専門看護師の直接ケアコンピテンシーの明確化(共著、2020年12月、日本クリティカルケア看護学会誌、16巻、pp.104-113) / 2.クリティカルケア看護専門看護師の直接ケアコンピテンシー評価指標の開発(単著、2021年3月、札幌市立大学)

＜資料＞1.コロナウイルス感染症COVID-19と戦う保健所への協力ー看護師免許を持つ大学教職員にできること(共著、2020年6月、サーピロロジーwebマガジン)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本クリティカルケア看護学会(1件) / 2.SCUジャーナル(1件) / 3.日本循環器看護学会(1件) / 4.日本救急看護学会(4件) / 5.日本クリティカルケア看護学会(5件)

＜学会役員就任状況＞日本救急看護学会(医療政策担当理事) / 日本クリティカルケア看護学会(将来構想委員会委員) / 日本循環器看護学会(専任査読委員)

＜学術集会運営＞第23回日本救急看護学会学術集会集会長

＜所属学会・研究会＞日本救急看護学会 / 日本クリティカルケア看護学会 / 日本災害看護学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護研究学会 / 日本看護教育学学会 / 日本看護管理学会 / 北海道救急医学会 / 日本集中治療医学会 / 日本循環器看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「2020年度一般社団法人看護系学会等社会保険連合社員総会」(2020年7月21日、一般社団法人看護系学会等社会保険連合) / 看護の診療報酬・介護報酬体系に関する審議・提案 社員「2020年度第1回診療報酬体系等のあり方検討委員会」(2020年12月11日、一般社団法人看護系学会等社会保険連合) / 看護の診療報酬・介護報酬体系に関する審議・提案 社員「2020年度第2回 診療報酬体系のあり方検討委員会」(2021年3月5日、一般社団法人看護系学会等社会保険連合)

藤井 瑞恵

＜学会発表＞1.Perceived Barriers are Associated with Immunosuppressive Medication Adherence among Japanese Kidney Transplant Recipients: A Cross-Sectional Study(共同、2020年5月、American Transplant Congress) / 2.実践報告を学術誌に投稿しよう(編集委員会企画)(共同、2020年8月、第24回日本看護管理学会) / 3.WEB会議システムによる大学と施設をつないだ中堅看護師研修の学びの様相ー参加者へのインタビューからー(共同、2020年12月、第40回日本看護科学学会学術集会) / 4.大学と施設をつないだ中堅看護師研修の効果と課題ー教育担当者への研修1か月後のインタビューからー(共同、2020年12月、第40回日本看護科学学会学術集会) / 5.介護福祉施設の入居者における内服薬と口腔の状態と機能の関連(共同、2021年2月、日本疫学会第31回学術総会) / 6.腎移植におけるピアサポートの実態と課題に関する文献研究(共同、2021年2月、第54回臨床腎移植学会) / 7.COVID-19パンデミック下におけるオンライン・シミュレーション演習の試み(共同、2021年2月、第2回シミュレーション看護学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.北海道公衆衛生学会誌(1件、北海道公衆衛生学会)

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生協会(編集委員)

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会 / 日本糖尿病教育・看護学会 / 日本看護学教育学学会 / 日本看護学会 / 日本看護管理学会 / 日本慢性看護学会 / 日本腎不全看護学会 / 日本糖尿病学会 / 日本透析医学会 / 日本老年医学会 / 日本疫学会 / 日本循環器病予防学会 / 日本褥瘡学会 / 北海道公衆衛生協会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞中堅看護師研修、プレマネージャー研修「中堅看護師研修1 学ぶと教えるのコミュニケーション」(2020年11月～2021年2月、看護コンソーシアム会議、看護コンソーシアムプロジェクト) / 中堅看護師研修、プレマネージャー研修「中堅看護師研修2 健康教育指導法」(2020年11月～2021年1月、看護コンソーシアム会議、看護コンソーシアムプロジェクト) / 中堅看護師研修、プレマネージャー研修「プレマネージャー研修」(2020年12月～2021年2月、看護コンソーシアム会議、看護コンソーシアムプロジェクト)



本田 光

＜学術論文＞1.A strategy to rescue mothers from isolated parenting: Development of the “social connectivity of mother with people in the community scale”（共著、2020年10月、Children and Youth Services Review、118巻、pp.1-7）／2.新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施された保健師基礎教育における代替的実習の実践報告（共著、2020年12月、保健師教育、5巻、1号、pp.75-85）／3.保健師が気に掛ける地域とのつながりが少ない母親の特徴（単著、2021年3月、北海道公衆衛生学雑誌、34巻、2号、pp.115-121）

＜実践報告等＞1.新型コロナウイルス感染症COVID-19と戦う保健所への協力-看護師免許を持つ大学教職員にできること（共著、2020年6月、サービソロジーwebコラム、web掲載）

＜学会発表＞1.新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施された代替としての学内実習 第1報 地域保健に関する実習における有効性の検証（共同、2021年1月、第9回日本公衆衛生看護学会学術集会）／2.新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施された代替としての学内実習 第2報 産業保健・学校保健に関する実習と実習方法に関する有効性の検証（共同、2021年1月、第9回日本公衆衛生看護学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.Public Health Nursing（3件）／2.日本公衆衛生看護学会誌（1件）／3.SCU Journal（1件）／4.BMC Health Services Research（1件）

＜学会役員就任状況＞日本公衆衛生看護学会（査読委員）／名寄市立大学紀要（査読委員）

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本看護科学学会／日本公衆衛生学会／日本産業衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本看護教育学会

＜講演会・講習会活動＞みなみの杜高等支援学校「ここだけの話をしよう—男性の心とからだ」（2021年3月17日、みなみの杜高等支援学校）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞道内の新任期保健師を対象にWeb講座を企画・講師「どさんこ若葉保健師Web講座：つながろう北海道の若葉保健師」（2021年2月13日、本学公開講座、札幌市立大学）／道内の保健師を対象に4回シリーズのWeb講座を企画・講師「保健師Web講座：やりたかった活動を実現できる力をつけよう」（2021年2月20日～3月13日、本学公開講座、札幌市立大学）／保健師職能部会委員「総会、部会会議等」（2021年2月21日、北海道看護協会札幌第一支部）

村松 真澄

＜学術論文＞1.積雪寒冷地に住む高齢者の外出目的別楽しみの程度と外出に対する自己効力感との関係（共著、2020年7月、老年看護学（1346-9665）、25巻、1号、pp.123-131）／2.口腔ケアでの対応の編集、「パート1、口腔ケアの前に知っておきたいことコラム」「3COVID19予防にも口腔ケアが有効」の出筆（単著、2020年11月、expertナース、36巻、13号、pp.42-47）／3.看護・介護基礎教育のための食事介護シミュレータの開発（共著、2020年12月、アグリバイオ、4巻、14号、pp.38-41）／4.地域歯科口腔保健の現状と課題 公衆衛生モニタリング・レポート委員会口腔保健分野 活動総括（原著論文）（共著、2021年2月、日本公衆衛生雑誌、68巻、2号、pp.83-91）／5.地域在住高齢者の健康関連Qolに影響を及ぼす要因（共著、2021年2月、北海道公衆衛生学会、34巻、2号、pp.49-58）

／6.Development of the Second Prototype of an Oral Care Simulator（共著、2021年2月、Journal of Robotics and Mechatronics（JRM）、33巻、1号、pp.172-179）

＜学会発表＞1.かかりつけ歯科医療機関の有無と口腔状態・口腔管理との関連 介護老人福祉施設女性入居者を対象とした横断研究（共同、2020年6月、日本歯科医療管理学会）／2.特別養護老人ホーム入居者の誤嚥性肺炎と口腔の状態・機能における前向き調査（共同、2020年6月、第25回日本老年看護学会）／3.看護基礎教育における認知症ケアに関する教育に対する教員の考え（共同、2020年8月、第46回日本看護研究学会）／4.北海道のサービス付き高齢者向け住宅における情報共有に関する実態（共同、2020年8月、第46回日本看護研究学会）／5.介護基礎技術教育のための食事介護シミュレータに関する被験者実験（共同、2020年9月、第17回日本口腔ケア学会）／6.特別養護老人ホーム入居者の口腔機能が1年間で低下するか？（共同、2020年9月、第17回日本口腔ケア学会）／7.北海道のサービス付き高齢者向け住宅における訪問歯科との連携状況（共同、2020年9月、第17回日本口腔ケア学会）／8.介護福祉施設入居者の口腔状態と機能の変化、肺炎発症率 1年間前向きコホート研究（共同、2020年10月、第79回日本公衆衛生学会総会）／9.小規模ケアホームの質を担保するための取り組みの現状と課題（共同、2020年11月、第10回日本在宅看護学会）／10.介護保険施設入所者における既往歴とOral



Assessment Guideによるスクリーニング結果との関係（共同、2020年11月、日本老年歯科医学会第31回学術大会）／11.高齢者施設・地域在住の女性高齢者におけるサルコペニアの実態（共同、2020年12月、第10回日本リハビリテーション栄養学会）／12.睡眠に対するラベンダーオイルの影響に関する文献レビュー（共同、2020年12月、第40回日本看護科学学会学術集会）／13.モーションキャプチャによる食支援技術の可視化の基礎研究（共同、2020年12月、第40回日本看護科学学会学術集会）／14.介護福祉施設の入居者における内服薬と口腔の状態と機能の関連（共同、2021年1月、第31回日本疫学会学術総会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本老年看護学会第25回学術集会（4件、日本老年看護学会）

＜学会役員就任状況＞日本老年看護学会（代議員）／日本摂食嚥下リハビリテーション学会（評議員）／日本口腔ケア学会（評議員）／日本老年看護学会（評議員、政策検討委員・査読委員）／日本公衆衛生学会（モニタリング委員）／日本口腔ケア学会（学術委員・口腔ケアチーム委員）／北海道公衆衛生学会（評議員）

＜学術集会運営＞第9回看護理工学会実行委員

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会会員／日本老年歯科医学会会員／北海道歯学会会員／日本公衆衛生学会会員モニタリング委員／日本看護科学学会会員／日本看護技術学会会員／看護理工学会会員／日本在宅ケア学会会員／日本歯科医療管理学会会員／日本在宅看護学会会員／北海道口腔ケア研究会会員世話人／日本口腔看護研究会副代表世話人／日本口腔ケア学会評議員・学術委員／日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員・査読委員／日本老年看護学会評議員・査読委員・政策検討委員／日本がん看護学会会員／日本看護管理学会会員／日本看護教育学会会員／日本地域看護学会会員／日本看護技術学会会員／北海道医療大学歯学会会員／日本歯科医学会会員／旭川口腔ケア普及会会員

＜講演会・講習会活動＞米国CA州オレンジ郡日系協会でのZOOMでの市民向け講演「口腔ケアでのトラブル対応」（2021年2月20日）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研修会の企画・リーフレットの作成等への助言（上川中部地域歯科保健推進協議会 旭川口腔ケア普及会）／5月に研修会を企画していたが、COVID19で延期（北海道口腔ケア研究会）／ZOOMでの研修会を企画し、実施した（日本口腔看護研究会）

守村 洋

＜学術論文＞1.札幌市立大学における精神看護学シミュレーション教育の成果検証と今後の方向性（共著、2020年9月、日本シミュレーション医療教育学会雑誌、8巻、pp.1-8）

＜実践報告等＞1.スロー・イズ・ビューティフル 遅さとしての文化（2021年2月、北海道精神保健協会、146号、pp.65-66）

＜学会発表＞1.シミュレーション教育における精神看護学演習のプログラム開発と今後の取り組み（共同、2020年6月、第1回日本看護シミュレーションラーニング学会学術集会）／2.精神看護学シミュレーション教育において、単元「当事者への問診」を取り入れたことによる教育評価（共同、2020年8月、日本精神保健看護学会第30回学術集会・総会）／3.精神看護学シミュレーション教育における模擬患者養成の検討（共同、2020年8月、日本精神保健看護学会第30回学術集会・総会）／4.精神看護学シミュレーション教育を用いたオンライン実習の試み（共同、2020年10月、第7回日本シミュレーション医療教育学会）／5.模擬患者を活用した精神看護学シミュレーション教育 ～模擬患者が看護学生にフィードバックを行う際の思い～（共同、2020年12月、第40回日本看護科学学会学術集会）／6.大学と遠隔地の病院をつないだ中堅看護師研修の学びの様相 ―WEB会議システムを利用した研修を行って―（共同、2020年12月、第40回日本看護科学学会学術集会）／7.大学と施設をつないだ中堅看護師研修の効果と課題 ―教育担当者への研修1か月後のインタビューから―（共同、2020年12月、第40回日本看護科学学会学術集会）／8.COVID-19パンデミック下におけるオンライン・シミュレーション演習の試み（共同、2021年2月、第2回日本看護シミュレーションラーニング学会学術集会）／9.COVID-19パンデミック下におけるシミュレーション演習を用いた精神看護学実習の試み（共同、2021年2月、第2回日本看護シミュレーションラーニング学会学術集会）／10.若年層の自殺予防教育プログラム構築に向けての実態調査（単独、2021年3月、第40回日本社会精神医学会）／11.精神看護学シミュレーション教育への検討 ―模擬患者が望む教育方法―（共同、2021年3月、第40回日本社会精神医学会）

＜学会シンポジウム＞1.新時代の教育方略を考える「シミュレーション教育における精神看護学演習の



プログラム開発」(単独、2020年9月、第30回日本看護学教育学学会)

＜学会招聘講演＞1.広がる社会精神医学に対応する看護学教育(単独、2021年3月、第40回日本社会精神医学会)

＜学会座長就任状況＞1.数理モデルを利用したCOVID-19の制御(単独、2021年3月、第40回日本社会精神医学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.第40回日本社会精神医学会(5件、日本社会精神医学会)

＜学術集会運営＞第40回日本社会精神医学会

＜所属学会・研究会＞日本看護シミュレーションラーニング学会／日本精神保健看護学会／日本シミュレーション医療教育学会／日本看護科学学会／日本社会精神医学会／日本自殺予防学会／日本看護学教育学会／日本公衆衛生学会／日本うつ病学会

＜講演会・講習会活動＞一般社団法人メンタルケア協会・メンタルヘルス・スペシャリスト養成講座「精神保健」(2020年7月19日)／札幌連「新型コロナに立ち向かう新しい生活様式 ～こころの健康の維持・増進～」(2021年1月23日)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「心の健康」編集委員会(2020年度、北海道精神保健協会)／「令和2年度札幌市教育センター専門研修・自殺予防の取り組み」(2020年7月28日、札幌市教育委員会)／「生活支援員登録に向けた研修 説明会」(2020年9月14日、札幌市社会福祉協議会)／『～「いつもと違う」同僚と部下に早くきづく～メンタルヘルス研修』(2020年10月29日、北海道社会福祉協議会)

伊東 健太郎

＜学術論文＞1.札幌市立大学における精神看護学シミュレーション教育の成果検証と今後の方向性—学生への教育国か模倣患者の育成教育の視点から—(共著、2020年9月、日本シミュレーション医療教育学会雑誌、8巻、pp.1-8)

＜学会発表＞1.精神看護学シミュレーション教育における模倣患者養成の検討～気分障害・自殺念慮の講義聴講を通して～(共同、2020年6月、日本精神保健看護学会)／2.精神看護学シミュレーション教育において、単元「当事者への問診」を取り入れたことによる教育評価(共同、2020年9月、日本精神保健看護学会)／3.精神看護学シミュレーション教育を用いたオンライン実習の試み(共同、2020年10月、日本シミュレーション医療教育学会)／4.模倣患者を使用した精神科シミュレーション教育～模倣患者が看護学生にフィードバックを行う際の思い～(共同、2020年12月、日本看護科学学会)／5.COVID-19パンデミック下におけるシミュレーション演習を用いた精神看護学実習の試み(共同、2021年3月、日本看護シミュレーションラーニング学会)／6.精神看護学シミュレーション教育における模倣患者養成の検討～気分障害・自殺念慮の講義聴講を通して～(共同、2021年3月、日本社会精神医学会)／7.COVID-19パンデミック下におけるオンライン・シミュレーション演習の試み(共同、2021年3月、日本看護シミュレーションラーニング学会)

＜所属学会・研究会＞日本精神保健看護学会／日本看護科学学会／日本看護教育学会／日本自殺予防学会／日本社会精神医学会／日本看護研究学会／日本看護シミュレーションラーニング学会／日本シミュレーション医療教育学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞現役看護師を中心とした参加者が当事者研究を行い自身のメンタルヘルスについて分析するための支援(毎月、当事者研究会「ぱちぱちの会」)／医療職者が当事者研究を行い、生きづらさについて共有し分かち合う会の支援(毎月、当事者研究「Supaの会」)／当事者研究北海道大会ネットワーク運営の支援(2020年4月～2021年3月、北海道当事者研究ネットワーク)／当事者研究、SSTの研修(2021年1月21日、すずらん会)／保健師、精神保健福祉士へ精神障害者支援のための研修(2021年2月1日、むつみ会)

工藤 京子

＜学会役員就任状況＞日本看護研究学会北海道地方会(事務局、会計)

＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本呼吸ケア・リハビリテーション学会／日本看護研究学会／日本慢性看護学会／日本看護管理学会／日本看護技術学会／日本認知症ケア学会／日本災害医学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞フェイスシールド20個作成、ガウン20着作成「打ち合わせ



に一回行った後、作成したのを届けて終了」(2020年4月21日、KKR札幌医療センター) / フェイスシールド300個作成、ポンチョ320着作成「一定数が揃ったら届けることの繰り返しを行った」(2020年4月22日～7月1日、市立札幌病院)

黒田 紀子

＜論文査読・学会抄録査読＞1.第30回日本新生児看護学会(再査読)(10件、第30回日本新生児看護学会) / 2.SCUジャーナル(1件)

＜学会役員就任状況＞日本小児保健協会(若手による小児保健検討会準備委員会)

＜学術集会運営＞第30回日本新生児看護学会

＜所属学会・研究会＞日本母性衛生学会 / 日本新生児看護学会 / 日本小児保健協会 / 日本小児看護学会

高橋 奈美

＜学術論文＞1.ALS患者の病気と進行が家族の生活にもたらす影響(単著、2021年3月、北海道医療大学大学院、pp.1-245)

＜学会発表＞1.医療依存度の高い在宅難病療養者のレジリエンスの様相(共同、2020年11月、日本難病看護学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.SCUジャーナル(1件) / 2.日本プライマリ・ケア連合学会誌(1件、日本プライマリ・ケア連合学会)

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会 / 日本難病看護学会 / 日本慢性看護学会 / 日本在宅ケア学会 / 日本在宅看護学会 / 北海道医療大学看護福祉学部学会

武富 貴久子

＜学会発表＞1.ダイバーシティ時代の女性医師の育成と支援 九州大学病院のキャリア支援策と当科における女性外科医師支援の現状と取り組み(共同、2020年8月、第120回日本外科学会定期学術集会)

＜学会シンポジウム＞1.看護マネジャーは、なぜ孤独なのか?-[経験×リフレクション×コミュニティ]の可能性- 大学・病院によるコンソーシアムを通じた看護管理者の学習者コミュニティ形成の可能性(共同、2020年8月、第10回日本看護評価学会学術集会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本プライマリ・ケア連合学会誌(1件、日本プライマリケア・連合学会)

＜学会役員就任状況＞日本看護学教育学会(看護学教育制度委員会委員) / 日本看護科学学会(看護倫理検討委員会委員) / 日本医学教育学会(研究推進委員会委員) / 日本プライマリケア・連合学会(和文誌編集委員会委員)

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会 / 日本看護教育学学会 / 日本看護研究学会 / 日本医学教育学会 / 日本医療・病院管理学会 / 日本血管看護研究会 / 日本公衆衛生学会 / 日本看護シミュレーションラーニング学会 / 日本プライマリ・ケア連合学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞中堅看護師、副師長研修会運営「ステップアップ! プレマネージャーの実践リフレクション」(2020年9月1日～2021年2月12日、看護コンソーシアム部門) / OSCE運営支援(標準模擬患者に対する演技および評価の助言)(2020年9月5日・10月17日、北海道大学医学部) / 看護研究研修会「2020年度事例検討研修」(2020年9月11日、中標津病院看護部) / 「看護研究」研修「看護研究研修会:研究テーマを決めるまでの過程」(2020年10月24日、北海道看護協会)

原井 美佳

＜実践報告等＞1.コロナウイルス感染症COVID-19による緊急事態宣言下における遠隔会議システムを用いた看護学実習科目への挑戦(共著、2020年6月、サービソロジーwebマガジン(2020-06-05)、札幌市立大学学術機関リポジトリ)

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会(評議員)

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会 / 日本老年泌尿器科学会 / 日本排尿機能学会 / 日本公衆衛生学会 / 北海道公衆衛生学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護科学学会 / 日本農村医学会 / 日本認知症ケア学会 / 札幌市介護支援専門員連絡協議会 / 全国福祉用具専門相談員協会 / 日本産業カウンセラー協会 /



日本コンチネンス協会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌市立大学専門セミナー「ELNEC-J高齢者プログラム2020in北海道」企画運営の支援「札幌市立大学公開講座「ELNEC-J高齢者プログラム2020in北海道」」（2020年10月24日～25日、ELNEC-J高齢者プログラム2020in北海道）

檜山 明子

＜資料＞1.転倒予防のための看護ケア（単著、2020年9月、医学書院 総合リハビリテーション、48巻、9号、pp.877-882）

＜学会発表＞1.病棟看護師用の転倒リスク別転倒予防看護実践評価尺度の開発（単独、2020年9月、日本看護研究学会第46回学術集会）／2.看護師が実践するNICUに入院する新生児へのポジショニング技術の文献検討（共同、2020年9月、日本看護研究学会第46回学術集会）／3.転倒リスク予測のための身体認識の誤差測定に関する検討（共同、2020年12月、第40回日本看護科学学会学術集会）／4.睡眠に対するラベンダーオイルの影響に関する文献レビュー（共同、2020年12月、第40回日本看護科学学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.SCUジャーナル（1件）

＜学会役員就任状況＞日本看護研究学会北海道地方会（運営委員）

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本看護倫理学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／看護総合科学研究会／北のケア環境研究会／日本看護技術学会／日本医療・病院管理学会／看護総合科学研究会／日本看護管理学会／日本精神保健看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞運営委員（事務局）（2020年4月1日～2021年3月31日、北のケア環境研究会）／看護論演習講師「専任教員養成研修会 看護論演習」（2020年12月9日～2021年1月8日、北海道看護協会）

矢野 祐美子

＜学術論文＞1.米国の施政権下における沖縄の看護行政と制度：1945－1972（共著、2021年3月、聖路加国際大学紀要、7巻、pp.91-96）

＜学会発表＞1.倫理的感受性のアセスメントの視点と倫理的感受性を育むアプローチー老人看護専門看護師の倫理調整場面からー（共同、2020年6月、第7回日本CNS看護学会学術集会）／2.創立25周年記念事業「看護管理用語集第3版の作成に向けて」（共同、2020年8月、第24回日本看護管理学会学術集会）／3.倫理的感受性の高い看護師を育成するための看護管理者の組織的取り組み（共同、2020年12月、第40回日本看護科学学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護評価学会誌（1件、日本看護評価学会）／2.日本看護管理学会誌（1件、日本看護管理学会）

＜学会役員就任状況＞日本看護管理学会（学術活動推進委員）

＜学術集会運営＞日本看護管理学会 例会in北海道／日本看護管理学会 例会from神戸／日本看護管理学会 例会in北陸・甲信越・東海

＜所属学会・研究会＞日本看護管理学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本看護評価学会／日本医療・病院管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研修講師「実習指導者研修Ⅰ・プリセプター研修Ⅰ」（2021年1月26日、苫小牧市立病院）

山本 真由美

＜学会発表＞1.助産学実習前後に実施したOSCE「新生児観察」の得点の比較から教育方法を考える（共同、2021年3月、日本助産学会）／2.助産師教育におけるプロジェクト学習の取り組み第1報～プロジェクト学習の実際と意義～（共同、2021年3月、日本助産学会）／3.助産師教育におけるプロジェクト学習の取り組み第2報～プロジェクト学習の効果と課題～（共同、2021年3月、日本助産学会）

＜学術集会運営＞第9回看護理工学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本助産学会／日本母性衛生学会／日本看護科学学会／日本看護管理学会／日本看護学教育学会／日本看護研究学会／日本看護技術学会／看護理工学会／北海道母性衛生学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞助産師の能力向上等の研修計画等「昨年は10月に研修を企画



していたがCOVID-19 感染症のため中止となる」(月1回第3火曜日、北海道看護協会札幌第一支部助産師職能委員) / 札幌小樽地区の会議に出席し看護師教育に関する動向の把握、教員に対する研修の企画等(奇数月第3火曜日、北海道看護教育施設教育協議会)

石引 かずみ

＜著書＞1.事例で学ぶ 疾患別看護過程 Vol.2 (共著、2020年9月、学研メディカル秀潤社、978-4-7809-1406-1、pp.235-264)

＜学会発表＞1.助産師教育におけるプロジェクト学習の取り組み 第1報 ～プロジェクト学習の実際と意義～ (共同、2021年3月、第35回日本助産学会学術集会) / 2.助産師教育におけるプロジェクト学習の取り組み 第2報 ～プロジェクト学習の効果と課題～ (共同、2021年3月、第35回日本助産学会学術集会) / 3.助産学実習前後に実施したOSCE「新生児観察」の得点の比較から教育方法を考える (共同、2021年3月、第35回日本助産学会学術集会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本フォレンジック看護学会誌 第7巻1号 (2件、日本フォレンジック看護学会)

＜学術集会運営＞第7回 日本フォレンジック看護学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本助産学会 / 日本母性衛生学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護研究学会 / 日本フォレンジック看護学会 / 日本保健医療福祉連携教育学会

大友 舞

＜学会発表＞1.助産師教育におけるプロジェクト学習の取り組み第1報～プロジェクト学習の実際と意義～ (共同、2021年3月、第35回日本助産学会学術集会) / 2.助産師教育におけるプロジェクト学習の取り組み第2報～プロジェクト学習の効果と課題～ (共同、2021年3月、第35回日本助産学会学術集会) / 3.助産学実習前後に実施したOSCE[新生児観察]の得点の比較から教育方法を考える (共同、2021年3月、第35回日本助産学会学術集会)

＜所属学会・研究会＞日本助産学会 / 日本母性衛生学会 / 日本口腔衛生学会 / 日本看護科学学会 / 日本小児看護学会

鬼塚 美玲

＜学術論文＞1.母親役割を持つ看護師における看護の専門性を発揮できる職場環境の評価 (共著、2020年7月、日本医療マネジメント学会誌、21巻、1号、pp.14-19) / 2.母親役割を持つ看護師のワーク・ファミリー・コンフリクトにおける因果関係モデルの検証 (単著、2021年3月、日本医療マネジメント学会誌、21巻、4号、pp.197-204)

＜学会発表＞1.Disaster Nursing in the Event of an Earthquake in Japanese Hospitals: Research trends and Challenges (共同、2020年9月、2020 Taiwan International Nursing Conference) / 2.A Literature Review on Nurse Managers' Approval in Japan (共同、2020年9月、2020 Taiwan International Nursing Conference) / 3.特別養護老人ホームにおける介護職のユニットリーダー研修の効果ーリーダーシップ・スタイルに焦点を当ててー (単独、2020年11月、第10回国際医療福祉大学学会学術大会) / 4.「ウィズコロナ」の時代に求められる看護系大学の教育技法の変革 第1報ーオンライン授業で生じた事象と教員の対応ー (共同、2020年11月、第10回国際医療福祉大学学会学術大会) / 5.「ウィズコロナ」の時代に求められる看護系大学の教育技法の変革 第2報ーオンライン授業の経験を通して、改めて対面授業の意義を考えるー (共同、2020年11月、第10回国際医療福祉大学学会学術大会)

＜所属学会・研究会＞日本防衛衛生学会 / 日本看護管理学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護研究学会 / 日本統合医療学会 / 日本医療マネジメント学会 / 日本職業・災害医学会 / 日本災害看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞院内看護研究の指導 (年4回) (2020年5月15日・9月8日・12月9日・2021年3月12日、自衛隊札幌病院)

近藤 圭子

＜実践報告等＞1.新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 拡大に伴い実施された保健師基礎教育における代替的実習の実践報告 (共著、保健師教育、5巻、1号、pp.75-85)



＜学会発表＞1.高齢者施設・地域在住の女性高齢者におけるサルコペニアの実態（共同、2020年11月、日本リハビリテーション栄養学会）／2.新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施された代替としての学内実習 第1報（共同、2021年1月、日本公衆衛生看護学会）／3.新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施された代替としての学内実習 第2報（共同、2021年1月、日本公衆衛生看護学会）／4.子どものいる貧困世帯に対する支援チーム内での保健師の役割（共同、2021年1月、日本公衆衛生看護学会）

＜所属学会・研究会＞日本プライマリケア連合学会／日本公衆衛生看護学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本地域看護学会／日本在宅ケア学会／日本看護科学学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞訪問指導員研修会連絡会（2020年8月25日、札幌市社会福祉協議会）／「在宅看護師・保健師のための保健医療福祉行政の概要と高齢者の健康課題と支援」（2020年9月30日）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議委員）

齋 若奈

＜学術論文＞1.倫理的感受性のアセスメントの視点と倫理的感受性を育むアプローチ-がん看護専門看護師の倫理調整場面から（共著、SCU journal of Design & Nursing、14巻、1号）

＜著書＞1.ケアを可視化！中範囲理論・看護モデル（共著、2021年3月、南江堂、978-4-524-24661-8、pp.124-137）

＜学会発表＞1.倫理的感受性のアセスメントの視点と倫理的感受性を育むアプローチ 老人看護専門看護師の倫理調整場面から（共同、2020年6月、日本CNS看護学会）／2.倫理的感受性の高い看護師を育成するための看護管理者の組織的取り組み（共同、2020年12月、日本看護科学学会学術集会）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本がん看護学会／日本緩和医療学会／日本専門看護師協議会

渋谷 友紀

＜学会発表＞1.ケーススタディで重要視する考え方と指導上の困難-3年課程看護学校における看護研究の教育に着眼して-（共同、2020年9月、日本看護学教育学会第30回学術集会）／2.COVID-19パンデミック下におけるオンライン・シミュレーション演習の試み（共同、2021年2月、第2回日本看護シミュレーションラーニング学会学術集会）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本精神保健看護学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本看護学教育学会

田中 里江

＜学会発表＞1.子どもの貧困対策における自治体保健師の支援の特徴（共同、2020年11月、第72回北海道公衆衛生学会）／2.WEB会議システムによる大学と施設をつないだ中堅看護師研修の学びの様相-参加者へのインタビューから-（共同、2020年12月、第40回日本看護科学学会学術集会）／3.大学と施設をつないだ中堅看護師研修の効果と課題-教育担当者への研修1か月後のインタビューから-（共同、2020年12月、第40回日本看護科学学会学術集会）／4.子どものいる貧困世帯に対する支援チーム内での保健師の役割（共同、2020年12月、第9回日本公衆衛生看護学会）／5.新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施された代替としての学内実習 第1報～地域保健に関する実習における有効性の検証～（共同、2020年12月、第9回日本公衆衛生看護学会）／6.新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施された代替としての学内実習 第2報 産業保健・学校保健に関する実習と実習方法に関する有効性の検証（共同、2020年12月、第9回日本公衆衛生看護学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員 2023年11月30日まで）

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本学校保健学会／看護総合科学研究会／日本フォレンジック看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞中堅看護師研修1（企画運営）中堅看護師研修2（研修講師、企画・運営）、副師長研修（企画運営）に従事

**中田 亜由美**

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本在宅ケア学会／日本公衆衛生学会／日本小児保健協会／北海道成育看護研究会／看護総合科学研究会／日本老年看護学会／日本看護学教育学会

牧田 靖子

＜学術論文＞1.在宅呼吸ケアの実際（共著、2020年11月、小児科、61巻、12号、pp.1619-1627）

＜実践報告等＞1.思春期のインフォームド・コンセント実践例（共著、2020年6月、日総研出版、15巻、2号、pp.67-73）

＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会／日本子ども虐待防止学会／北海道子どもの虐待防止協会／小児集中治療研究会／小児救急医学会／日本糖尿病教育看護学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／北海道地域医療研究会／北海道成育看護研究会

高橋 葉子

＜学会発表＞1.看護師が実践するNICUに入院する新生児へのポジショニング技術の文献検討（共同、2020年9月、日本看護研究学会）／2.COVID-19後の看護学実習をデザインする フィールドハイブリッド型遠隔実習の提案（共同、2020年12月、日本看護科学学会）／3.転倒リスク予測のための身体認識の誤差測定に関する検討（共同、2020年12月、日本看護科学学会）

＜学会役員就任状況＞日本看護研究学会北海道地方会（事務局）

＜学術集会運営＞第9回看護理工学会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本看護技術学会／日本小児看護学会／日本新生児看護学会／日本看護学教育学会／母乳哺育学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞ELNEC-J高齢者プログラムの開催「ELNEC-J高齢者プログラム2020 in 北海」（2020年10月24日～25日、現職の医療従事者）

「札幌市立大学のシンボルマークについて」

札幌市立大学のシンボルマークは、
英国の著名なクリエイティブグループtomatoの
ジョン・ワーウィッカー氏によってデザインされました。
雪の結晶のイメージは、札幌の自然環境を特徴づけると共に、
大学での学習過程を図像的にあらわしたものです。(登録商標)



札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY

札幌市立大学年報 2020年度 第15号

編 集 広報室

担 当 事 務 経営企画課

発 行 日 2021年12月1日

発 行 行 札幌市立大学

〒005-0864 北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 FAX : 011-592-2369

URL <https://www.scu.ac.jp>